

平成 28 年度
分娩取扱施設における
ウィメンズヘルスケアと助産ケア提供状況等に
関する実態調査 報告書

平成29年3月

公益社団法人 日本看護協会



目次

はじめに	i
要旨.....	iii
第Ⅰ章 調査概要	1
1. 調査の背景	2
2. 調査の概要	3
1) 調査の目的.....	3
2) 調査期間	3
3) 調査対象	3
4) 調査方法	4
5) 回収状況	8
6) 倫理的配慮.....	8
7) 分析の視点.....	8
第Ⅱ章 調査結果	9
1. 回答施設の概要	10
1) 総合・地域周産期母子医療センター・一般病院の概要	10
(1) 設置主体	10
(2) 施設種類（単科・複数科）	11
(3) 医療機能	11
(4) 一般病棟の入院基本料	12
(5) 加算の算定状況	12
(6) 許可病床数	13
(7) 施設全体における看護職の実人数（平成28年8月1日時点）	14
(8) 分娩件数の状況	17
(9) 産科関連病棟の概要	24
(10) 産科関連病棟の病床数	26
(11) 産科外来と産科関連病棟の一元管理の実施状況	29
(12) 産科関連病棟等における看護職員の実人数（平成28年8月1日時点）	30
(13) 産科関連病棟勤務の常勤助産師のうち、産休、育休、休職、長期研修中の助産師数 （平成28年8月1日時点）	36
(14) 産科関連病棟における常勤の助産師に関する年齢階層別人数（平成28年8月1日時点）	37
(15) 助産師の産科関連病棟におけるオンコール体制等の有無	41
(16) 施設における産科医、新生児科医数（平成28年8月1日時点）	42
(17) 分娩時（第1期から4期）に常時1名の助産師を配置できる体制の有無	45
(18) 高度生殖医療の実施状況	46
(19) 看護職員の資格等の保有状況	47
(20) 専門的自律能力の育成に関する研修の実施状況	48
(21) 看護職員を対象としたウィメンズヘルスケアに関する研修の機会の提供状況	50
2) 診療所の概要	52

(1) 分娩の取扱状況（平成28年8月1日時点）	52
(2) 単科・複数の診療科別	52
(3) 施設全体における看護職員の実人数（平成28年8月1日時点）	53
(4) 分娩件数の状況	54
(5) 過去3年間の分娩件数の状況	56
(6) 専門的自律能力の育成に関する研修の実施状況	58
2. ウィメンズヘルスケアの提供状況	59
1) 総合・地域周産期母子医療センター・一般病院におけるウィメンズヘルスケアの提供状況	59
(1) ウィメンズヘルスケア能力（案）11項目の提供状況	59
(2) 周産期医療機能別にみたウィメンズヘルスケアの実施状況	62
(3) 女性に対する支援の内容に関連した普及啓発の実施状況	73
(4) 周産期医療機能別にみた女性に対する支援の内容に関連した普及啓発の実施状況	76
2) 診療所における“助産師が担うウィメンズヘルスケア”11項目の提供状況	83
3. 病院・診療所（分娩取扱施設）における助産ケア提供状況等	84
1) 助産外来の実施状況	84
(1) 助産外来の実施状況	84
(2) 助産外来の対象（利用条件）	85
(3) 助産外来の対象を「一部の妊産婦に実施する」具体的な条件	86
(4) 助産外来に関わる助産師の人数（実人数）	87
(5) 助産外来に関わる助産師の所属（病院）	89
(6) 助産外来に関わる助産師の要件（病院）	90
(7) 助産外来を実施していない場合の導入・再開の条件	91
(8) 助産外来の導入・再開の希望・予定	92
2) 院内助産の実施状況	94
(1) 院内助産の実施状況	94
(2) 院内助産の対象（利用条件）	95
(3) 院内助産の対象を「一部の妊産婦に実施する」具体的な条件	96
(4) 院内助産に関わる助産師の実人数	97
(5) 院内助産に関わる助産師の所属（病院）	99
(6) 院内助産に関わる助産師の要件（病院）	100
(7) 院内助産を実施していない場合の導入・再開の条件	101
(8) 院内助産の導入・再開の希望・予定	102
3) 産科混合病棟の状況（病院）	104
(1) 助産師が受け持つ患者	104
(2) 産科空床時の対応（病院）	105
(3) 他科診療科の患者が混合病棟や産科患者入院の病室に入院する際のルールや基準	106
(4) 「産科混合病棟ユニットマネジメント導入の手引き」（日本看護協会）の認知度	107
(5) ユニットマネジメントの導入	108
4) 助産師の現任教育（病院）	110
(1) 助産師に特化したクリニカルラダーの有無	110

(2) 助産師に特化した教育目標の有無.....	111
(3) 助産師に特化した研修の実施状況.....	112
(4) 産科関連病棟への教育担当者の配置状況.....	113
5) 助産師出向システムの状況.....	114
(1) 助産師の出向システムの取り組み.....	114
(2) 他施設への出向状況.....	115
(3) 他施設からの出向の受け入れ状況.....	116
(4) 助産師の出向システムに取り組む理由.....	117
6) 助産実習の受け入れ状況.....	118
(1) 助産実習等の受け入れ状況.....	118
(2) 平成27年度の助産実習の受け入れ学校数（病院）.....	119
(3) 平成27年度の助産実習の1校当たりの平均受け入れ助産学生数（病院）.....	120
(4) 平成27年度の助産実習の1回当たりの平均受け入れ助産学生数（病院）.....	121
(5) 複数の実習受け入れ時期が重なることの有無（病院）.....	122
(6) 夜間実習の受け入れの有無（病院）.....	122
(7) 助産実習専任の実習指導者の配置状況（病院）.....	123
(8) 助産実習専任の実習指導者を配置していない場合の指導状況（病院）.....	124
(9) 助産実習受け入れにおける学校からの費用の受け取り状況（病院）.....	125
(10) 助産学生の実習受け入れが可能になる条件.....	126
第Ⅲ章 考察	129
1. 助産師が担う“ウィメンズヘルスケア”の提供状況について.....	130
1) 分娩取扱施設におけるウィメンズヘルスケアの実施状況と助産師の関与.....	130
(1) 周産期医療機能別にみた“助産師が担うWHC”11項目の実施状況.....	130
(2) 周産期医療機能別にみた“助産師が担うWHC”11項目の相談等の受付窓口体制と助産師の関与.....	131
(3) 助産師数別にみた“助産師が担うWHC”11項目の実施状況と助産師の関与.....	135
(4) 産科関連病棟における病棟編成別にみた“助産師が担うWHC”11項目の実施状況と助産師の関与.....	138
(5) 診療所におけるWHC11項目の実施状況と助産師の関与について.....	143
2. 専門的自律能力の育成に関する研修実施について.....	144
1) ウィメンズヘルスケアに必要な専門的自律能力の育成に関する研修.....	144
2) 助産師のキャリアパスとウィメンズヘルスケア能力の習熟過程.....	145
3. 助産ケア提供状況について.....	146
1) 助産ケアの提供状況について.....	146
(1) 助産外来・院内助産について.....	146
4. 産科病棟の形態とケア提供の現状とマネジメント.....	150
1) 産科病棟の混合化.....	150
2) 産科混合病棟における助産師の患者の受け持ち方.....	151
3) 産科混合病棟におけるマネジメント.....	152
5. 助産実践能力強化の状況について.....	154

1) 助産師に特化したクリニカルリーダーの有無について	154
2) 助産師出向の現状	155
6. 実習の受け入れ状況について	158
1) 助産実習の受け入れについて	158
7. 本調査の限界	162
8. おわりに	162
第IV章 提言	165
1. “助産師が担うウィメンズヘルスケア”の普及に向けた提言	166
2. 助産ケア提供状況等の推進に向けた提言	166
資料編	167

はじめに

日本看護協会では、『2025 年に向けた看護の挑戦 看護の将来ビジョン』において、「いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護」として、地域包括ケアシステムは、療養する高齢者だけでなく、子どもを産み育てる人々、子どもたち、障がいのある人々などを含む全ての人々の生活を地域で支えるものであると示しており、人々の生涯にわたり、生活と保健・医療・福祉をつなぐ看護に、健やかに生まれ育つことへの支援をあげている。また、リプロダクティブ・ヘルス/ライツを尊重し、出産・育児を担うことになる女性とその家族が、新たな命を授かり、育てていく経験に主体的に臨むことができるように支えることや、出産・育児を担う女性が孤立しないように、家族・妊産婦同士・地域住民が子育てを支え合う関係づくり・地域づくりを行うこととしている。

助産師は女性の一生に寄り添う専門職であり、妊娠・分娩・産褥期以外にも女性の健康、性と生殖に関する健康や育児を含む、女性とその家族や地域に対する健康相談や教育を行うことがその業務として位置づけられている。つまり、「ウィメンズヘルスケア能力」は専門職として必須の能力であり、その発揮がこれまで以上に求められていることから、分娩取り扱い施設で働く助産師にとっても「ウィメンズヘルスケア能力」を強化していくことが必要である。

以上のことを踏まえ、本会では 2015 年度（平成 27 年度）に地域母子保健に関するワーキンググループを設置し、“助産師に求められるウィメンズヘルスケア能力”の検討を行ってきた。しかし、分娩取扱施設に勤務する助産師のウィメンズヘルスケアの実践状況については、先行研究等で明らかにされていないことから、現状や課題を明らかにし、より現実に即した助産師の担うウィメンズヘルスケアの検討の必要性が、地域母子保健に関するワーキンググループによって示唆された。

加えて、2012 年（平成 24 年）に実施した「助産師の出向システムと助産実習の受入れ可能性等に関する調査」から 4 年が経過した。その間、産科医の減少により分娩取扱施設を休止または閉鎖した施設や、産科混合病棟に移行した施設がある等、周産期を取り巻く現状はますます厳しくなっている。

そこで、本会助産関連事業に関連し、院内助産・助産外来、ユニットマネジメント、助産師出向、助産実習に関して実態や動向を把握し、あらたな政策提言へと繋げていくために、本調査を実施した。

本実態調査から、今後の事業展開や政策提言に活用することのできる結果を得ることができた。なかでも、平成 27 年に本会が提案する 11 項目の“助産師に求められるウィメンズヘルスケア能力（案）”について、実態を把握することができ、平成 24 年に全国の分娩取扱施設を対象に実施した調査項目の動向も把握することができた。

本調査結果をもとに、出産環境をさらに良くするための取り組みや、ウィメンズヘルスケア能力を強化するための取り組みに、多くの皆さまに活用していただければ、幸いである。

本調査にご協力をいただいた、日本産婦人科医会をはじめ、分娩取扱施設の関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

2017 年（平成 29 年）3 月吉日
公益社団法人 日本看護協会
常任理事 福井トシ子

要旨

I. 調査の背景

日本看護協会（以下、本会）では、平成 23 年度より、助産実践能力強化を目的に、助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）（以下、CLoCMiP[®]）を開発し、普及啓発に取り組んできた。CLoCMiP[®]は、院内助産を自律して実践できる能力と位置付け、助産師のコア・コンピテンシー¹⁾の 4 つの構成要素である「倫理的感応力」「マタニティケア能力」「専門的自律能力」「ウィメンズヘルスケア能力」のうち、「ウィメンズヘルスケア能力」を除く 3 つの構成要素で作成した。

しかし、子どもへの虐待や女性への暴力、家族形態の多様化等により、妊娠期から子育て期における切れ目ない支援や女性の健康に対する包括的な支援が、これまでに増して強く求められている。母子へのケア提供と女性の生涯における性と生殖にかかわる支援を役割とする助産師には、その専門性を発揮するための実践能力の強化が不可欠である。

上記を踏まえ、本会では平成 27 年度に地域母子保健に関するワーキンググループを設置し、“助産師に求められるウィメンズヘルスケア能力”の検討を行い、その枠組みと内容を整理した。一方、分娩取扱施設に勤務する助産師のウィメンズヘルスケア（以下、WHC）の提供状況については明らかにされていないため、実態に即した WHC を検討するために、WHC の提供状況等を把握する必要があると考えた。

また、平成 24 年に本会が実施した「助産師の出向システムと助産実習の受入れ可能性等に関する調査」²⁾等（以下、平成 24 年実態調査）をもとに政策提言や事業を展開してきた。その後、本会助産関連事業である院内助産・助産外来、産科混合病棟（ユニットマネジメント）、助産師出向システム、助産実習等の変化を把握し、さらなる政策提言や事業推進に繋げていくために、本調査を実施した。

II. 調査の概要

1. 調査目的

1) 分娩取扱施設における WHC の提供状況

- (1) 分娩取扱施設が実施している WHC 内容を把握する。
- (2) 分娩取扱施設が実施している WHC に助産師が関与しているかどうかを把握する。

2) 助産ケア提供体制の動向把握

- (1) 平成 24 年実態調査のうち、分娩取扱施設の体制に関する項目である、助産外来・院内助産、産科混合病棟（ユニットマネジメント）、助産師出向システム、助産実習等について、助産ケア提供体制に関する動向を把握する。

2. 調査期間：平成 28 年 8 月 1 日～9 月 9 日

3. 調査方法：郵送調査（自己式調査票の郵送発送・郵送回収）

4. 調査対象および回収率

1) 調査対象：全国の分娩取扱施設 2,415 施設

2) 回収率：

調査対象	発送数	回収数	回収率
病院	1,047 施設	694 施設	66.3%
分娩取扱施設	—	684 施設	(65.3%)
分娩休止・中止施設	—	10 施設	(1.0%)
総合周産期母子医療センター	105 施設	85 施設	(81.0%)
地域周産期母子医療センター	286 施設	196 施設	(68.5%)
一般病院	656 施設	403 施設	(61.4%)
診療所	1,368 施設	488 施設	35.7%

5. 倫理的配慮：日本看護協会 研究倫理審査委員会の承認を得た。

Ⅲ. 結果の概要

Ⅲ-1. 分娩取扱施設における WHC の提供状況に関する調査結果の概要

1) “助産師に求められる WHC 能力（案）” 11 項目はすべての医療機関で実施

本調査に回答した 684 病院*における“助産師に求められる WHC 能力（案）” 11 項目（以下、11 項目）について、最も多く実施されていたのは「妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援」84.8%（580 施設）であった。そのうち、相談窓口や体制等があると回答した 69.7%（404 施設）の施設では、97.3%（393 施設）の施設において助産師が関わっていた。2 番目に多く実施されていたのは、「家族計画の支援」79.5%（544 施設）であり、そのうち、相談窓口や体制等があると回答した 48.2%（262 施設）の施設では、95.0%（249 施設）の施設において助産師が関わっていた。11 項目のうち、最も実施されていなかったのは、「多様な性の支援」13.7%（94 施設）であり、そのうち、相談窓口や体制等があると回答した 56.4%（53 施設）の施設では、77.4%（41 施設）の施設において助産師が関わっていた。

全体を通して、11 項目の実施状況については、「相談窓口等が設けられている施設では助産師が関わっている」傾向が明らかになった。

本調査に回答した 471 診療所における 11 項目について、最も多く実施されていたのは「産前・産後のメンタルヘルスケア」76.4%（360 施設）、最も実施されていなかったのは「多様な性の支援」24.2%（114 施設）であった。11 項目を実施していると回答した施設において、医師が関わっていたと回答した施設の割合が 7 割以上の項目は、「妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援」「子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援」を除く 9 項目であった。一方、助産師が関わっていたと回答した施設の割合が 9 割以上の項目は、「子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援」「子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援」であった。

*総合・地域周産期母子医療センターおよび一般病院を指す。

2) 専門的自律能力の育成に関する研修で最も実施されていたのは接遇

本調査において、最も実施されていたのは、「接遇」78.1%（534 施設）、次いで「コミュニケーション」52.0%（356 施設）であり、「コーディネーション」「企画力」は 2 割を下回っていた。

3) 看護職を対象にした院内外における WHC に関する研修の提供状況は 6 割以下

看護職員を対象に「WHC に関する研修の機会を提供している」施設は、全体の 26.2%（179 施設）であり、そのうち、最も多く実施されていたのは「子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援」62.6%（112 施設）、次いで「産前・産後のメンタルヘルスケア」58.1%（104 施設）あった。また、WHC に関する研修機会を提供している施設において、研修企画や講師に助産師が関わっている施設は、全体の 67.0%（120 施設）であった。

2. 考察および課題

1) 助産師に求められる WHC 能力（案）11 項目について

(1) WHC 能力（案）11 項目の実施状況と助産師の関与等について

○病院および診療所における 11 項目は、いずれの項目も実施されており、本会が提案する“助産師に求められる WHC 能力（案）”は、実態に即していることが明らかになった。

○11 項目の実施状況を周産期医療機能別にみると、「不妊・不育の悩みを持つ女性の支援」「予期せぬ妊娠をした女性の支援」「妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援」「子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援」の 4 項目で、有意差（ $p < 0.05$ ）が見られ、総合・地域周産期母子医療センター、一般病院に多い傾向がみられた。このことから、施設の機能や特徴によって、11 項目の実施状況に差があることが示唆された。

○施設における 11 項目の実施状況に関わらず、相談等を受け付ける窓口や体制が設けられている施設では、助産師が関わっていることが明らかになった。しかし、11 項目に関連した研修を提供している施設は 26.2%（179 施設）に留まっており、特に、「子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援」「妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族への支援」「産前・産後のメンタルヘルスケア」以外の 8 項目は、3 割を下回っていた。このことから、助産師が WHC 能力を獲得していくためには、研修体制の整備が喫緊の課題であることが伺えた。

(2) WHC に必要な専門的自律能力の育成に関する研修について

○施設内外における WHC に必要な専門的自律能力の育成に関する研修実施項目は、「意思決定支援」22.4%（153 施設）、「企画力」15.1%（103 施設）、「コーディネーション」11.8%（81 施設）に留まっていた。支援を必要とする女性や家族が、地域で暮らしていくためには、多職種・多機関との連携が重要であることから、これらの項目についても研修環境を整え、意図的に学習していくことが必要である。

(3) 助産師のキャリアパスと WHC の習熟過程について

- 助産師は、就業する施設の機能や特徴によって、WHC 能力の獲得に差が生じており、11 項目を意図的かつ計画的に獲得していくための習熟過程を示すことが重要である。
- 11 項目の習熟過程については、「助産師のキャリアパス」(『CLOCMiP[®]活用ガイド』³⁾、日本看護協会)の経験年数と「キャリアの分岐点」「キャリアカウンセリングの時期」「キャリアの開発の方向付け」等の他に、女性や家族を取り巻く社会状況、看護教育・助産教育等を踏まえた方向性を示し、実践力強化を図っていく必要がある。
- 今後は、11 項目と習熟過程を提示するとともに、助産師個人が、WHC 能力を獲得していくことができるように研修等の支援を行う。

3. WHC に関する調査の限界

今回実施した調査では、本会が提案する“助産師に求められる WHC 能力(案)”11 項目について、分娩取扱施設における実施状況と助産師の関与を把握する目的で実施し、初めて、その実態が明らかとなった。関与した助産師の実践能力や具体的な支援の内容及びその程度については明らかにできていない。また、相談等を受け付ける窓口や体制についても、具体的な実施状況については、今後、明らかにしていくことが求められる。引き続き、詳細分析を行い、“助産師に求められる WHC 能力”の獲得にむけた課題の抽出を行っていく必要がある。

III-2. 助産ケア提供体制の調査結果の概要

1. 助産ケア提供状況について

1) 助産外来・院内助産(病院・診療所)の実施施設は増加傾向

病院における「助産外来の実施」は 57.7% (395 施設)、「院内助産の実施」は 12.7% (87 施設)、診療所における「助産外来の実施」は 25.5% (120 施設)、「院内助産の実施」は 5.3% (25 施設)であった。

院内助産の対象について、「全ての妊産婦」を対象にしていたのは診療所 60.0% (15 施設)、病院 6.9% (6 施設)であった。また、助産外来や院内助産に関わる助産師の要件「助産師として一定の経験年数を満たしていること」では、助産外来実施病院 94.4% (373 施設)、院内助産実施病院 86.2% (75 施設)であった。

2) 産科混合病棟(病院)を持つ施設数は横ばいだったが助産ケア提供状況は悪化

産科関連病棟における診療科は、「その他」49.6% (339 施設)を除く、「産科と婦人科の混合病棟」27.8% (190 施設)が最も多く、次いで「産科単科」22.5% (154 施設)であった。産科混合病棟における助産師の患者の受け持ち方では、「他科患者と産婦を同時に受け持つ」43.7% (230 施設)が最も多く、次いで「分娩介助時のみ他科患者は受け持たない」19.4% (102 施設)、「常に他科患者は受け持たない」16.3% (86 施設)であった。また、産科混合病棟における産科空床時の対応は、「産科患者と他科患者の入院状況によって、他科患者を産科病床に入院させる」63.9% (336 施設)が最も多く、次いで「常に空床にしておき、他患者を入院させない」16.5% (87 施設)、「産科病床の空床確保は特に行っていない」12.2% (64 施設)であった。

3) 助産師出向（病院・診療所）は増加

「助産師の出向システムに取り組んでいる」病院は、15.2%（104 施設）であった。周産期医療機能別では、総合周産期母子医療センター29.4%（25 施設）、地域周産期母子医療センター17.3%（34 施設）、一般病院 10.4%（35 施設）であった。「助産師の出向システムに取り組んでいる」病院のうち、「他施設への出向に取り組んでいる」施設は 44.2%（46 施設）であった。周産期医療機能別では、総合周産期母子医療センター76.0%（19 施設）、地域周産期母子医療センター41.2%（14 施設）、一般病院 25.7%（9 施設）であった。

「助産師の出向システムに取り組んでいる」診療所は 5.1%（24 施設）であり、そのうち、「他施設への出向に取り組んでいる」のは 12.5%（3 施設）、「他施設から出向を受け入れている」は 75.0%（18 施設）であった。

4) 助産実習（病院・診療所）の受け入れ施設は減少

「助産実習の受け入れをしている」病院は 57.5%（393 施設）、周産期医療機能別では、総合周産期母子医療センター84.7%（72 施設）、地域周産期母子医療センター63.8%（125 施設）、一般病院 49.6%（166 施設）であった。「助産実習の受け入れをしている」病院のうち、平成 27 年度の受け入れ教育機関数は、「1 校」が 67.9%（267 施設）で最も多く、「2 校」22.9%（90 施設）、「3 校」4.8%（19 施設）であった。

診療所では、「母性看護実習・助産実習ともに受け入れている」は 14.0%（66 施設）、「助産実習のみ受け入れている」は 7.2%（34 施設）であった。

2. 助産ケア提供状況に関する考察

1) 助産外来・院内助産について

○助産外来・院内助産については、病院および診療所ともに、平成 24 年度実態調査より増加（病院 50.5%→58.4%、診療所 23.2%→25.9%）していた。このことから、助産師が主体的に妊産褥婦と新生児に関わる体制が整いつつあると考えられたが、引き続き、助産 外来・院内助産のさらなる推進が必要である。

○助産外来を実施している診療所の 64.2%（77 施設）では、妊産婦全員を助産外来の対象としていたが、病院 27.6%（109 施設）、院内助産では 6.9%（6 施設）に留まっていた。このことから、診療所とは異なりハイリスク妊産婦が一定割合を占めていることが要因と考えられる。

○助産外来や院内助産に関わる要件では、「助産師として一定の経験年数をみたしていること」としている施設は、助産外来実施病院の 94.4%（373 施設）、院内助産実施病院の 86.2%（75 施設）であった。

2) 助産外来・院内助産担当者の要件について

○「特定のプログラムを修了していること」としている施設は、助産外来実施病院 27.3（108 施設）、院内助産実施施設 41.4%（36 施設）、そのうち、21.8%（19 施設）で「アドバンス助産師として認定されていること」を要件としていた。

○助産外来や院内助産に関わる助産師について、一定の要件を設けていることは、助産師の専門的なケアを提供する体制が進んでいると考えられ、平成 27 年度から開始となった

CLoCMiP[®]レベルⅢ認証制度により「自律して助産ケアを提供できる実践能力」を認証されたアドバンス助産師の増加により、今後さらに助産外来・院内助産の開設が推進されると考えられる。

3) 産科混合病棟の形態とケア提供の現状とマネジメント

(1) 産科混合病棟の形態とケア提供の現状について

- 産科単科と混合病棟の割合は、平成 24 年実態調査と大きな変化はなかった。
- しかし、産科混合病棟における助産師の患者の受け持ち方では、「常に他科患者は受け持たない」16.3%（86 施設）であり、平成 24 年度調査結果 55.2%（318 施設）に比べ、減少しており、「他科患者と産婦を同時に受け持つ」は 43.7%（230 施設）で、平成 24 年実態調査結果 10.4%（60 施設）に比して有意に増加していた。
- この傾向は、周産期医療機能別においても同様の傾向がみられ、「他科患者と産婦を同時に受け持つ」は、総合周産期母子医療センターや地域周産期母子医療センターで 3 割、一般病院では 4 割を超えていた。
- ハイリスク妊産婦の割合が多く、より頻繁な観察や手厚い看護が必要な総合周産期母子医療センターや地域周産期母子医療センターにおいても、一定割合の混合病棟が存在する上、助産師が他科患者と産婦を同時に受け持つ状況であることは、医療安全の観点からも問題であり、妊産婦や他科患者にとっても安心で安全な環境とは言えない。

(2) 産科混合病棟におけるマネジメントについて

- 「産科患者と他科患者の入院状況によって、他科患者を産科病床に入院させる」施設の割合は、平成 24 年実態調査に比べて平成 28 年実態調査において有意に増え、「産科病床の空床確保は特に行っていない」施設の割合は、平成 24 年実態調査に比べて平成 28 年実態調査において有意に減っていた。
- 本会では、産科混合病棟における解決方法の一つとして「ユニットマネジメント」を提案してきたが、導入している産科混合病棟は 38.4%（202 施設）にとどまり、導入していない割合は 50.4%（265 施設）であった。
- 「ユニットマネジメント」導入に必要な条件として、「職員の理解・協力」や「経営者の理解」の回答が 6 割を超えており、看護管理者に向け、産科混合病棟におけるユニットマネジメントの強化を図っていく。

4) 助産実践能力強化の状況について

(1) 助産師に特化したクリニカルラダーについて

- 「助産師に特化したクリニカルラダーがある」「現在作成中」施設 64.3%（439 施設）は、平成 24 年実態調査結果に比べ約 1.7 倍に増加していた。
- また、「助産師に特化したクリニカルラダーがある」「現在作成中」施設のうち、CLoCMiP[®]導入施設は 94.1%であった。

- 第1回・第2回 CLoCMiP[®]レベルⅢ認証制度では、総合評価について課題が挙げられた。平成29年度事業としては、CLoCMiP[®]を活用した総合評価について、オンデマンド研修『アドバンス助産師と産科管理者のための研修～CLoCMiP[®]の活用－総合評価の方法－』を配信し、さらなる周知を図っていくことは有用であるとする。

(2) 助産師出向について

- 助産師出向は、平成24年実態調査結果と比べ、病院・診療所ともに増加(病院3.0%→15.2%、診療所3.1%→5.1%)していることが明らかとなった。
- 助産師出向に取り組む理由について、病院では「自施設の助産師に経験を積ませるため」68.3%(71施設)、診療所では「自施設の助産師が不足しているため」62.5%(15施設)が多かった。
- 助産師出向においては、助産学等を学習する実習施設確保等が期待されるが、助産師出向の理由として、「実習受入れのため」と回答した割合は、病院4.8%(5施設)、診療所37.5%(9施設)であった。
- 助産師出向に取り組む理由等から、助産実践能力強化を目的とした出向が実施されていることが明らかになったが、助産師の就業先の偏在是正や実習施設の確保等に関する出向の状況については、引き続き現状の把握が必要である。
- 平成27年度より看護職員確保対策総合的推進事業として助産師出向支援導入事業が実施されている。助産師の就業先偏在是正や実習施設の確保等を含めた出向を推進していく必要があることから、平成29年度事業では、都道府県行政や都道府県看護協会担当者等を対象に、「助産師出向事業推進会議」を開催し、現状把握とさらなる推進を図っていくことは有用であるとする。

5) 実習の受け入れ状況について

- 助産実習を「受け入れている」病院は、平成24年実態調査結果68.1%(405施設)より減少し、57.5%(393施設)であった。
- 診療所において「母性看護実習・助産実習共に受け入れている」は14.0%(66施設)、「助産実習のみ受け入れている」は7.2%(34施設)であり、平成24年実態調査結果18.6%(66施設)よりも増加していた。
- 病院では助産実習の受け入れが減少傾向にあり、診療所では増加傾向にあることは、ローリスク妊産婦の割合が多い診療所において実習が行われるようになりつつあることが示唆された。
- また、助産実習を受け入れている施設のうち、「専任の実習指導者を配置している」のは61.6%(242施設)、「配置していない」が36.9%(145施設)であった。専任の実習指導者を配置している病院のうち、実習指導者が「業務から独立して実習指導を行う」25.2%(61施設)、74.8%(181施設)は、「業務とかねて実習指導を行う」と回答した。平成24年実態調査結果との有意差は見られず、引き続き、助産実習の指導体制の強化が求められる。

6) 助産ケア提供体制に関する調査結果と今後について

平成 24 年実態調査結果をもとに事業推進をしてきた。その後の動向では、いずれも推進されている状況であったが、顕著に推進されているとは言えない。今後も引き続き、推進していくための事業を展開していく。

IV. 調査結果のまとめ

本調査結果より、医療機関に勤務する助産師の WHC 実施に関する実態と助産師の関与状況、助産ケア提供状況の動向について把握することができた。

今後、これらの結果を活かすためには、少子超高齢社会を背景に医療提供体制が変化し、周産期医療提供体制にも影響を及ぼしていることを理解した上で、先を見据えた対応が必要である。

本会における助産関連事業においては、これまでの取組みをさらに推進していく事業と、社会の変化や医療提供体制の変化に対応し、新たに提案を行うべき事業があると考えられた。

特に本調査で明らかになった WHC の実態を踏まえ、助産師による WHC の提供を確実なものにすることは重要である。

妊娠期から育児期において切れ目のない支援を提供していくために、本会では、引き続き関係団体と協議しながら産後ケア事業等において、助産師が子育て包括支援センターとの連携を図っていくことができるよう支援する必要があると考えられた。加えて、支援が必要な妊産褥婦のスクリーニングについては、院内助産や助産外来が有用であることから、院内助産・助産外来の開設を推進するとともに、運営については産後ケア事業等と合わせて進めていく必要がある。これらへの対策・支援で重視すべきことは、本会助産関連事業と関連させながら取り組んでいきたい。

今後は、本調査結果を活用し一体的な推進の在り方について、関係者間で議論し、少子化が分娩取扱施設や地域に影響している状況をよりよく改善するための支援を行うことが必要である。

【参考・引用文献】

- 1) 日本助産師会. 助産師の声明／コア・コンピテンシー. 日本助産師会出版, 2010.
- 2) 日本看護協会. 平成 24 年度「助産師の出向システムと助産実習の受入れ可能性等に関する調査」
- 3) 日本看護協会. 助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）活用ガイド. 平成 25 年 8 月 2 日

第 I 章 調査概要

1. 調査の背景

日本看護協会（以下、本会）では、平成 23 年度より、勤務助産師の助産実践能力強化を目的に、助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）（以下、CLoCMiP[®]（クロックミップ））を開発し、普及啓発に取り組んできた。

CLoCMiP[®]の助産実践能力のカテゴリーには、国際助産師連盟の「基本的助産業務に必須な助産能力」を基に、日本助産師会が提言している「助産師のコア・コンピテンシー」¹⁾の 4 つの構成要素のうち、＜WHC 能力＞を除いた＜倫理的感応力＞＜マタニティケア能力＞＜専門的自律能力＞の 3 つのカテゴリーで構成している。この理由として、大半の助産師が病院に就業しておりウィメンズヘルスケア（以下、WHC）を発揮する機会が少ないのではないかと考えられたからである。

しかし、子どもへの虐待や女性への暴力、家族形態の多様化等により、妊娠期から子育て期における切れ目ない支援や女性の健康に対する包括的な支援が、これまでに増して強く求められている。母子へのケア提供と女性の生涯における性と生殖にかかわる支援を役割とする助産師には、その専門性を発揮するための実践能力の強化が不可欠である。

このような背景を踏まえ、本会では平成 27 年度に地域母子保健に関するワーキンググループを設置し、“助産師に求められる WHC 能力”の検討を行い、その枠組みと内容を整理した。一方、分娩取扱施設に勤務する助産師の WHC の提供状況については明らかにされていないため、より実態に即した WHC を検討するためには、WHC の提供状況等を把握する必要があると考えた。

また、平成 24 年に本会が実施した「助産師の出向システムと助産実習の受入れ可能性等に関する調査」²⁾等（以下、平成 24 年実態調査）をもとに政策提言や事業を展開してきた。その後、本会助産関連事業である院内助産・助産外来、産科混合病棟（ユニットマネジメント）、助産師出向、助産実習等の変化を把握し、さらなる政策提言や事業推進に繋げていくために、本調査を実施した。

2. 調査の概要

1) 調査の目的

前述の背景を踏まえ、以下の2点を目的として調査を実施した。

(1) 分娩取扱施設における WHC の提供状況

- ①分娩取扱施設が実施している WHC 内容を把握する。
- ②分娩取扱施設が実施している WHC に助産師が関与しているかどうかを把握する。

(2) 助産ケア提供体制の動向把握

平成24年実態調査のうち、分娩取扱施設の体制に関する項目である、院内助産・助産外来、産科混合病棟（ユニットマネジメント）、助産師出向、助産実習等、助産ケア提供状況に関する動向を把握する。

目的(1)(2)の達成にむけ、本調査では「Ⅰ. 分娩取扱施設における WHC 提供状況と助産師の関与等に関する項目」と「Ⅱ. 助産ケア提供状況に関する項目」の2部構成とした。

なお、本調査は、全国の分娩取扱施設のうち、総合・地域周産期母子医療センターと一般病を対象とした「病院調査」と、診療所を対象とした「診療所調査」の2種類とした。

2) 調査期間

平成28年8月1日～9月9日

3) 調査対象

全国の分娩取扱施設 2,415 施設（病院：1,047 施設、診療所：1,368 施設）を対象とした。

総合周産期母子医療センター※1	104
地域周産期母子医療センター※1	292
病院※2	659
診療所※2	1,308
計	2,363

※1 公益社団法人日本産婦人科医会：総合・地域 周産期母子医療センター（H27.4.1 現在）
<http://www.jaog.or.jp/sep2012/JAPANESE/jigyo/JYOSEI/center.html>

※2 厚生労働省：平成26年医療施設調査（平成26年9月中の分娩取扱施設）

4) 調査方法

自記式調査票を郵送し、「病院調査」は看護管理者（看護部長、産科関連病棟師長、外来師長）に「診療所」は看護師長等に記載を依頼し、郵送にて回収した。

なお、「病院調査」については、2種類の調査票を送付し、分娩取り扱い状況にあわせて該当する調査票への回答を依頼した。

調査送付時点で分娩を取り扱っている施設には、「分娩取扱実施施設」への回答を、調査票が施設に届いた時点で、分娩の取扱を休止・中止している施設には「分娩取扱休止・中止施設」への回答を依頼した。

図表 1 病院調査 調査項目

I 施設概要と WHC の提供状況	
調査項目	内 容
施設概要	<input type="checkbox"/> 設置主体、単科/複数科、医療機能 <input type="checkbox"/> 一般病棟入院基本料、許可病床数 <input type="checkbox"/> 看護職員数 等
産科関連病棟の概要	<input type="checkbox"/> 診療科、病棟病床数 <input type="checkbox"/> 産科外来と産科関連病棟の一元管理の実施状況 <input type="checkbox"/> 主な勤務形態、オンコール体制等の有無 <input type="checkbox"/> 専門的自律能力の育成に関する研修の実施状況 等
分娩件数	<input type="checkbox"/> 平成 27 年度の分娩件数 <input type="checkbox"/> 最近 3 年間の分娩件数の状況 <input type="checkbox"/> 今後の分娩取扱の方向性 等
女性のライフサイクルを通じた支援	<input type="checkbox"/> 妊娠中・産後における禁煙や禁酒に関する指導の実施状況 <input type="checkbox"/> 周産期以外の女性に対する支援への助産師の関わり <input type="checkbox"/> 疾患等を抱える女性からの相談への対応状況 等
WHC の実施状況	<input type="checkbox"/> “助産師が担う WHC 能力” 11 項目の実施の有無 <input type="checkbox"/> （実施している場合）相談等を受け付ける窓口・体制の有無、助産師の関わり の有無、助産師の所属・保有資格、支援の対象者、支援に当たっての多機 関・多職種との連携状況 等
WHC に関連した普及啓発の実施状況	<input type="checkbox"/> 各支援の実施の有無 <input type="checkbox"/> （実施している場合）助産師の関わりの有無、啓発方法、啓発の対象者、実 施主体、啓発に要する費用 等
母児の 2 週間健診 分娩 2 週間以内の母児の健診 生後 1 か月健診 新生児訪問 乳幼児家庭全戸訪問事業 母乳外来 育児相談	<input type="checkbox"/> 実施状況 <input type="checkbox"/> （実施している場合）対象（利用条件）、費用の支弁方法、助産師の関わり の状況、運営状況 <input type="checkbox"/> （実施していない場合）導入・再開の条件、導入・再開の希望・予定 等
II 分娩取扱施設の助産ケア提供状況等に関する動向	
調査項目	内 容
助産外来 院内助産	<input type="checkbox"/> 実施状況 <input type="checkbox"/> （実施している場合）対象（利用条件）、費用の支弁方法、助産師の関わり の状況、運営状況 <input type="checkbox"/> （実施していない場合）導入・再開の条件、導入・再開の希望・予定 等
産後ケア事業	<input type="checkbox"/> 実施状況
産科混合病棟	<input type="checkbox"/> 助産師が受け持つ患者 <input type="checkbox"/> 産科空床時の対応

	<input type="checkbox"/> 他科診療科患者の入院・入室のルールの有無 <input type="checkbox"/> ユニットマネジメントの導入の有無 等
助産師の出向システム	<input type="checkbox"/> 助産師の出向システムへの取組状況 <input type="checkbox"/> 助産師の出向システムに取り組む理由 等
助産師の現任教育	<input type="checkbox"/> 助産師に特化したクリニカルリーダーの有無 <input type="checkbox"/> 助産師に特化した教育目標の有無 <input type="checkbox"/> 助産師に特化した研修の有無 等
助産実習 母性看護実習	<input type="checkbox"/> 実習の受け入れ状況 <input type="checkbox"/> （受け入れている場合）受け入れ実績、実習指導者の配置状況、学校からの費用徴収の有無 <input type="checkbox"/> （受け入れていない場合）受け入れが可能になる条件

*本調査報告書には、一部の結果を掲載した。

図表 2 診療所調査 調査項目

I 施設概要と WHC の提供状況	
調査項目	内 容
施設概要	<input type="checkbox"/> 分娩の取扱状況 <input type="checkbox"/> 単科/複数科 <input type="checkbox"/> 看護職員数 <input type="checkbox"/> 分娩件数 等
分娩件数	<input type="checkbox"/> 最近 3 年間の分娩件数の状況 <input type="checkbox"/> 今後の分娩取扱の方向性 等
WHC 能力 11 項目の実施状況	<input type="checkbox"/> 各支援の実施の有無 <input type="checkbox"/> (実施している場合) 支援に関わっている職種 等
母児の 2 週間健診 分娩 2 週間以内の母児の健診 生後 1 か月健診 新生児訪問 乳幼児家庭全戸訪問事業 母乳外来 育児相談	<input type="checkbox"/> 実施状況 <input type="checkbox"/> (実施している場合) 対象 (利用条件)、費用の支弁方法、助産師の関わりの状況、運営状況 <input type="checkbox"/> (実施していない場合) 導入・再開の条件、導入・再開の希望・予定 等
産後ケア事業	<input type="checkbox"/> 実施状況
II 分娩取扱施設の助産ケア提供状況等に関する動向	
調査項目	内容
助産外来 院内助産	<input type="checkbox"/> 実施状況 <input type="checkbox"/> (実施している場合) 対象 (利用条件)、費用の支弁方法、助産師の関わりの状況、運営状況 <input type="checkbox"/> (実施していない場合) 導入・再開の条件、導入・再開の希望・予定 等
助産師の出向システム	<input type="checkbox"/> 助産師の出向システムへの取組状況 <input type="checkbox"/> 助産師の出向システムに取り組む理由 等
助産実習 母性看護実習	<input type="checkbox"/> 実習の受け入れ状況 <input type="checkbox"/> (受け入れている場合) 受け入れ実績、実習指導者の配置状況、学校からの費用徴収の有無 <input type="checkbox"/> (受け入れていない場合) 受け入れが可能になる条件

* 本調査報告書には、一部の結果を掲載した。

5) 回収状況

病院調査、診療所調査の回収状況は以下のとおり。

図表 3 回収状況

調査対象	発送数	回収数	回収率
病院	1,047 施設	694 施設	66.3%
分娩取扱施設	—	684 施設	(65.3%)
分娩休止・中止施設	—	10 施設	(1.0%)
総合周産期母子医療センター	105 施設	85 施設	(81.0%)
地域周産期母子医療センター	286 施設	196 施設	(68.5%)
一般病院	656 施設	403 施設	(61.4%)
診療所	1,368 施設	488 施設	35.7%

*有効回答については、P19 参照

6) 倫理的配慮

日本看護協会 研究倫理審査委員会の承認を経て実施した。

7) 分析の視点

以下の 5 点を明らかにするために、調査分析を行った。

1. 分娩取扱施設における WHC の提供状況等

視点 1：本会が提案する“WHC 能力” 11 項目は、分娩取扱施設で実施され、助産師は関与しているか。

視点 2：助産師が関与している項目は、相談窓口等の体制整備と関係しているのか

視点 3：本会が提案する“WHC 能力” 11 項目のうち、より多く実施され、助産師が関与している項目は何か、全く実施されていない項目は何か。

視点 4：実施されている“WHC”の実施状況と助産師の関与に、どのような変数（医療機能・産科単科の有無・助産師数等）が影響しているか。

2. 助産ケア提供状況（助産外来・院内助産、産科混合病棟、助産師出向、助産実習）等

視点 1：平成 24 年実態調査から助産ケア提供体制の実態がどのように変化しているか。

第Ⅱ章 調査結果

1. 回答施設の概要

全国の分娩取扱施設 2,415 施設を対象に本調査を実施した。

病院調査（総合・地域周産期母子医療センター、一般病院）では 694 施設から、診療所調査では 488 施設から、それぞれ回答・協力が得られた。そのうち、ここでは「分娩取扱い休止・中止中」の施設、23 施設（病院調査 10 施設、診療所 13 施設）、無効回答 4 施設（診療所調査）を除いた 1,155 施設（病院調査 684 施設、診療所調査 471 施設）の分析結果を掲載する。

主な調査結果は、以下の通りである。

1) 総合・地域周産期母子医療センター・一般病院の概要

(1) 設置主体

本調査において回答のあった 684 病院の設置主体は、「都道府県・市町村（一部事務組合を含む）」が 27.8%（190 施設）で最も多く、次いで「医療法人（社会医療法人を含む）」17.8%（122 施設）、「日本赤十字社」7.7%（53 施設）であった。

図表 4 病院の設置主体（複数回答）

上段：回答数
下段：割合（%）

	全体	総合周産期 母子医療セ ンター	地域周産期 母子医療セ ンター	一般病院	無回答
合計	684 100.0	85 100.0	196 100.0	335 100.0	68 100.0
厚生労働省（国立ハンセン病療養所）	1 0.1	0 0.0	1 0.5	0 0.0	0 0.0
独立行政法人国立病院機構	28 4.1	3 3.5	10 5.1	12 3.6	3 4.4
国立大学法人	36 5.3	15 17.6	14 7.1	7 2.1	0 0.0
独立行政法人労働者健康福祉機構	9 1.3	0 0.0	0 0.0	9 2.7	0 0.0
独立行政法人地域医療機能推進機構	13 1.9	0 0.0	4 2.0	7 2.1	2 2.9
その他の国（防衛省、法務省、宮内庁等）	2 0.3	0 0.0	0 0.0	2 0.6	0 0.0
都道府県・市町村（一部事務組合を含む）	190 27.8	22 25.9	59 30.1	90 26.9	19 27.9
地方独立行政法人（公立大学法人を含む）	36 5.3	8 9.4	11 5.6	15 4.5	2 2.9
日本赤十字社	53 7.7	9 10.6	31 15.8	13 3.9	0 0.0
済生会	18 2.6	1 1.2	8 4.1	7 2.1	2 2.9
厚生農業協同組合連合会	39 5.7	2 2.4	9 4.6	22 6.6	6 8.8
北海道社会事業協会	2 0.3	0 0.0	2 1.0	0 0.0	0 0.0
社会保険関係団体※1	8 1.2	0 0.0	3 1.5	5 1.5	0 0.0
公益社団法人・公益財団法人	18 2.6	1 1.2	6 3.1	10 3.0	1 1.5
私立学校法人	45 6.6	16 18.8	15 7.7	12 3.6	2 2.9
医療法人（社会医療法人を含む）	122 17.8	1 1.2	11 5.6	91 27.2	19 27.9
社会福祉法人	21 3.1	4 4.7	4 2.0	9 2.7	4 5.9
医療生協	7 1.0	0 0.0	0 0.0	4 1.2	3 4.4
会社	7 1.0	1 1.2	2 1.0	4 1.2	0 0.0
その他の法人	16 2.3	0 0.0	5 2.6	8 2.4	3 4.4
個人	4 0.6	0 0.0	0 0.0	3 0.9	1 1.5
その他	7 1.0	2 2.4	0 0.0	4 1.2	1 1.5
無回答	2 0.3	0 0.0	1 0.5	1 0.3	0 0.0

(2) 施設種類 (単科・複数科)

単科・複数科の別は、全体では「複数の診療科を有する病院」が 93.6% (640 施設)、「単科の病院」は 6.1% (42 施設) であった。

周産期医療機能別に「単科の病院」の割合を見ると、総合周産期母子医療センターでは 3.5% (3 施設)、地域周産期母子医療センターでは 1.5% (3 施設)、一般病院では 8.4% (28 施設) であった。

図表 5 単科・複数科の別

上段：回答数
下段：割合 (%)

	合計	単科の病院	複数の診療科を有する病院	無回答
全体	684	42	640	2
	100.0	6.1	93.6	0.3
総合周産期母子医療センター	85	3	82	0
	100.0	3.5	96.5	0.0
地域周産期母子医療センター	196	3	191	2
	100.0	1.5	97.4	1.0
一般病院	335	28	307	0
	100.0	8.4	91.6	0.0
無回答	68	8	60	0
	100.0	11.8	88.2	0.0

(3) 医療機能

施設の医療機能について、特定機能病院は「総合・地域周産期医療センター以外の病院」が 50.8% (30 施設) で最も多く、次いで「地域周産期母子医療センター」28.8% (17 施設)、「総合周産期母子医療センター」20.3% (12 施設) であった。

地域医療支援病院は「総合・地域周産期医療センター以外の病院」が 78.8% (190 施設) で最も多く、次いで「地域周産期母子医療センター」17.0% (41 施設)、「総合周産期母子医療センター」4.1% (10 施設) であった。

図表 6 施設の医療機能 (複数回答)

上段：回答数
下段：割合 (%)

	合計	総合周産期母子医療センター	地域周産期母子医療センター	総合・地域周産期医療センター以外の病院	無回答
特定機能病院	59	12	17	30	0
	100.0	20.3	28.8	50.8	0.0
一般病院	241	10	41	190	0
地域医療支援病院	100.0	4.1	17.0	78.8	0.0
上記以外の一般病院	132	3	5	124	0
	100.0	2.3	3.8	93.9	0.0

(4) 一般病棟の入院基本料

一般病棟の入院基本料（平成 28 年 8 月 1 日時点）は、全体では「7 対 1」が 79.4%（543 施設）で大半を占めており、次いで「10 対 1」18.7%（128 施設）、「特別入院基本料」0.7%（5 施設）であった。

図表 7 一般病棟の入院基本料

	合計	7対1	10対1	13対1	15対1	特別入院基本料	取っていない	無回答
全体	684 100.0	543 79.4	128 18.7	4 0.6	3 0.4	5 0.7	0 0.0	1 0.1
総合周産期母子医療センター	85 100.0	83 97.6	2 2.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
地域周産期母子医療センター	196 100.0	179 91.3	16 8.2	1 0.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
一般病院	335 100.0	236 70.4	90 26.9	3 0.9	1 0.3	4 1.2	0 0.0	1 0.3
無回答	68 100.0	45 66.2	20 29.4	0 0.0	2 2.9	1 1.5	0 0.0	0 0.0

上段：回答数
下段：割合（%）

(5) 加算の算定状況

加算の算定状況（平成 28 年 7 月実績）は、全体では「ハイリスク妊娠管理加算」が 72.2%（494 施設）で最も多く、次いで「ハイリスク分娩管理加算」59.4%（406 施設）、「妊産婦緊急搬送入院加算」46.6%（319 施設）であった。

図表 8 加算の算定状況

	合計	ハイリスク妊娠管理加算	ハイリスク分娩管理加算	妊産婦緊急搬送入院加算	ハイリスク妊産婦共同管理料 I	ハイリスク妊産婦共同管理料 II	新生児特定集中治療室退院調整加算	総合周産期特定集中治療室管理料	新生児治療回復室入院医療管理料	無回答
全体	684 100.0	494 72.2	406 59.4	319 46.6	58 8.5	21 3.1	94 13.7	83 12.1	118 17.3	169 24.7
総合周産期母子医療センター	85 100.0	79 92.9	79 92.9	72 84.7	7 8.2	4 4.7	37 43.5	70 82.4	55 64.7	2 2.4
地域周産期母子医療センター	196 100.0	176 89.8	164 83.7	141 71.9	24 12.2	13 6.6	48 24.5	10 5.1	56 28.6	18 9.2
一般病院	335 100.0	205 61.2	144 43.0	92 27.5	21 6.3	4 1.2	9 2.7	3 0.9	7 2.1	118 35.2
無回答	68 100.0	34 50.0	19 27.9	14 20.6	6 8.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	31 45.6

上段：回答数
下段：割合（%）

(6) 許可病床数

許可病床数（平成 28 年 8 月 1 日時点）の全体での平均は 420.8 床であり、「400～499 床」が 17.7%（121 施設）で最も多く、次いで「300～399 床」16.8%（115 施設）、「500～599 床」13.2%（90 施設）であった。

周産期医療機能別では、総合周産期母子医療センターでは平均 707.8 床であり、「1000 床以上」が 20.0%（17 施設）で最も多く、次いで「600～699 床」16.5%（14 施設）、「700～799 床」14.1%（12 施設）であった。

地域周産期母子医療センターでは平均 510.6 床であり、「400～499 床」が 22.4%（44 施設）で最も多く、次いで「500～599 床」21.9%（43 施設）、「600～699 床」14.8%（29 施設）であった。

一般病院では平均 323.2 床であり、「300～399 床」が 19.7%（66 施設）で最も多く、次いで「400～499 床」18.2%（61 施設）、「20～99 床」14.6%（49 施設）であった。

図表 9 許可病床数

	合計	上段：回答数											平均	
		下段：割合 (%)												
		20 ～99床	100 ～199床	200 ～299床	300 ～399床	400 ～499床	500 ～599床	600 ～699床	700 ～799床	800 ～899床	900 ～999床	1000床 以上	無回答	
全体	684 100.0	67 9.8	63 9.2	78 11.4	115 16.8	121 17.7	90 13.2	62 9.1	29 4.2	14 2.0	12 1.8	22 3.2	11 1.6	420.8
総合周産期母子医療センター	85 100.0	4 4.7	2 2.4	3 3.5	1 1.2	7 8.2	11 12.9	14 16.5	12 14.1	7 8.2	5 5.9	17 20.0	2 2.4	707.8
地域周産期母子医療センター	196 100.0	3 1.5	8 4.1	13 6.6	28 14.3	44 22.4	43 21.9	29 14.8	9 4.6	5 2.6	7 3.6	5 2.6	2 1.0	510.6
一般病院	335 100.0	49 14.6	46 13.7	48 14.3	66 19.7	61 18.2	34 10.1	18 5.4	7 2.1	2 0.6	0 0.0	0 0.0	4 1.2	323.2
無回答	68 100.0	11 16.2	7 10.3	14 20.6	20 29.4	9 13.2	2 2.9	1 1.5	1 1.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 4.4	283.6

(7) 施設全体における看護職の実人数（平成 28 年 8 月 1 日時点）

施設全体における看護職員の実人数について、全体では「351～400 人」が 7.6%（52 施設）で最も多く、次いで「251～300 人」7.3%（50 施設）、「11～50 人」6.9%（47 施設）であった。

図表 10 施設全体における看護職の実人数

上段：回答数
下段：割合（%）

	全体	総合周産期 母子医療セ ンター	地域周産期 母子医療セ ンター	一般病院	無回答
合計	684 100.0	85 100.0	196 100.0	335 100.0	68 100.0
1～10人	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
11～50人	47 6.9	3 3.5	0 0.0	35 10.4	9 13.2
51～100人	30 4.4	1 1.2	0 0.0	25 7.5	4 5.9
101～150人	25 3.7	0 0.0	5 2.6	19 5.7	1 1.5
151～200人	43 6.3	0 0.0	6 3.1	28 8.4	9 13.2
201～250人	40 5.8	2 2.4	5 2.6	23 6.9	10 14.7
251～300人	50 7.3	3 3.5	14 7.1	28 8.4	5 7.4
301～350人	42 6.1	0 0.0	10 5.1	26 7.8	6 8.8
351～400人	52 7.6	0 0.0	18 9.2	28 8.4	6 8.8
401～450人	31 4.5	4 4.7	6 3.1	19 5.7	2 2.9
451～500人	34 5.0	1 1.2	16 8.2	15 4.5	2 2.9
501～550人	43 6.3	5 5.9	17 8.7	20 6.0	1 1.5
551～600人	38 5.6	5 5.9	24 12.2	8 2.4	1 1.5
601～650人	24 3.5	2 2.4	9 4.6	13 3.9	0 0.0
651～700人	29 4.2	6 7.1	14 7.1	8 2.4	1 1.5
701～750人	24 3.5	7 8.2	10 5.1	7 2.1	0 0.0
751～800人	18 2.6	6 7.1	11 5.6	1 0.3	0 0.0
801～900人	19 2.8	6 7.1	11 5.6	2 0.6	0 0.0
901～1000人	13 1.9	6 7.1	6 3.1	1 0.3	0 0.0
1000人以上	24 3.5	20 23.5	4 2.0	0 0.0	0 0.0
無回答	58 8.5	8 9.4	10 5.1	29 8.7	11 16.2

施設全体の助産師免許保持者数について、全体では「11～15人」が16.4%（112施設）で最も多く、次いで「21～25人」15.8%（108施設）、「16～20人」14.3%（98施設）であった。

図表 11 施設全体における助産師免許保持者の実人数

上段：回答数
下段：割合（%）

	全体	総合周産期 母子医療セ ンター	地域周産期 母子医療セ ンター	一般病院	無回答
合計	684 100.0	85 100.0	196 100.0	335 100.0	68 100.0
0人	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
1～5人	17 2.5	0 0.0	2 1.0	15 4.5	0 0.0
6～10人	76 11.1	0 0.0	4 2.0	54 16.1	18 26.5
11～15人	112 16.4	2 2.4	15 7.7	79 23.6	16 23.5
16～20人	98 14.3	0 0.0	27 13.8	61 18.2	10 14.7
21～25人	108 15.8	2 2.4	36 18.4	57 17.0	13 19.1
26～30人	59 8.6	3 3.5	30 15.3	23 6.9	3 4.4
31～35人	42 6.1	5 5.9	26 13.3	10 3.0	1 1.5
36～40人	43 6.3	11 12.9	21 10.7	10 3.0	1 1.5
41～45人	30 4.4	13 15.3	11 5.6	5 1.5	1 1.5
46～50人	20 2.9	12 14.1	4 2.0	4 1.2	0 0.0
51～55人	21 3.1	10 11.8	6 3.1	5 1.5	0 0.0
56～60人	12 1.8	6 7.1	3 1.5	3 0.9	0 0.0
61～70人	7 1.0	4 4.7	3 1.5	0 0.0	0 0.0
71～80人	9 1.3	5 5.9	2 1.0	2 0.6	0 0.0
81人以上	10 1.5	8 9.4	2 1.0	0 0.0	0 0.0
無回答	20 2.9	4 4.7	4 2.0	7 2.1	5 7.4

施設全体のアドバンス助産師数について、全体では「1～5人」が35.5%（243施設）で最も多く、次いで「0人」27.0%（185施設）、「6～10人」22.7%（155施設）であった。

図表 12 施設全体におけるアドバンス助産師数の実人数

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26人～30 人	31人以上	無回答
全体	684 100.0	185 27.0	243 35.5	155 22.7	49 7.2	14 2.0	4 0.6	4 0.6	3 0.4	27 3.9
総合周産期母子医療センター	85 100.0	12 14.1	23 27.1	24 28.2	11 12.9	5 5.9	1 1.2	3 3.5	3 3.5	3 3.5
地域周産期母子医療センター	196 100.0	42 21.4	64 32.7	56 28.6	21 10.7	5 2.6	1 0.5	1 0.5	0 0.0	6 3.1
一般病院	335 100.0	110 32.8	125 37.3	66 19.7	13 3.9	4 1.2	2 0.6	0 0.0	0 0.0	15 4.5
無回答	68 100.0	21 30.9	31 45.6	9 13.2	4 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 4.4

施設全体における看護職員の実人数（平成 28 年 8 月 1 日時点）について 1 施設当たり平均人数をみると、全体では 1 施設当たり平均 425.5 人であり、周産期医療機能別では、総合周産期母子医療センターで平均 756.9 人、地域周産期母子医療センターで平均 536.9 人、一般病院で平均 309.0 人であった。そのうち、助産師免許保持者の人数は、全体では 1 施設当たり平均 26.3 人であり、周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターで平均 53.6 人、地域周産期母子医療センターで平均 30.4 人、一般病院で平均 19.0 人であった。

助産師のうちアドバンス助産師の人数は、全体では 1 施設当たり平均 4.7 人であり、周産期医療機能別では、総合周産期母子医療センターで平均 9.0 人、地域周産期母子医療センターで平均 5.5 人、一般病院で平均 3.5 人であった。（いずれも有効回答のあった施設の平均を示す。）

図表 13 施設全体の看護職員数（平均）

	回答数	施設全体の看護職員数 (人)	1施設当たり平均人数 (人)
全体	673	286,386	425.5
総合周産期母子医療センター	83	62,821	756.9
地域周産期母子医療センター	194	104,161	536.9
一般病院	331	102,273	309.0
無回答	65	15,614	240.2

図表 14 施設全体の助産師免許保持者数（平均）

	回答数	施設全体の助産師免許保持者数 (人)	1施設当たり平均人数 (人)
全体	626	16,461	26.3
総合周産期母子医療センター	77	4,129	53.6
地域周産期母子医療センター	186	5,648	30.4
一般病院	306	5,824	19.0
無回答	57	945	16.6

図表 15 施設全体のアドバンス助産師数（平均）

	回答数	施設全体のアドバンス助産師数 (人)	1施設当たり平均人数 (人)
全体	664	3,118	4.7
総合周産期母子医療センター	81	729	9.0
地域周産期母子医療センター	192	1,048	5.5
一般病院	328	1,148	3.5
無回答	63	184	2.9

(8) 分娩件数の状況

①年間分娩件数

平成 27 年度の年間分娩件数は、全体では「401～500 件」が 14.2% (97 施設) で最も多く、次いで「201～300 件」13.6% (93 施設)、「101～200 件」11.4% (78 施設) であった。

周産期医療機能別では、総合周産期母子医療センターでは「1001 件以上」が 21.2% (18 施設) で最も多く、次いで「401～500 件」15.3% (13 施設)、「601～700 件」14.1% (12 施設) であった。

地域周産期母子医療センターでは「401～500 件」が 18.9% (37 施設) で最も多く、次いで「301～400 件」14.3% (28 施設)、「601～700 件」12.2% (24 施設) であった。

一般病院では「101～200 件」が 17.3% (58 施設) で最も多く、次いで「201～300 件」17.0% (57 施設)、「401～500 件」10.4% (35 施設) であった。

図表 16 平成 27 年度の分娩件数

上段：回答数
下段：割合 (%)

	合計	0件	1～50件	51～100件	101～200件	201～300件	301～400件	401～500件	501～600件	601～700件	701～800件	801～900件	901～1000件	1001件以上	無回答
全体	684 100.0	3 0.4	17 2.5	31 4.5	78 11.4	93 13.6	71 10.4	97 14.2	61 8.9	57 8.3	37 5.4	22 3.2	27 3.9	65 9.5	25 3.7
総合周産期母子医療センター	85 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 3.5	4 4.7	13 15.3	8 9.4	12 14.1	9 10.6	3 3.5	11 12.9	18 21.2	4 4.7
地域周産期母子医療センター	196 100.0	0 0.0	2 1.0	1 0.5	5 2.6	23 11.7	28 14.3	37 18.9	16 8.2	24 12.2	16 8.2	14 7.1	10 5.1	16 8.2	4 2.0
一般病院	335 100.0	3 0.9	12 3.6	25 7.5	58 17.3	57 17.0	33 9.9	35 10.4	32 9.6	18 5.4	10 3.0	5 1.5	5 1.5	28 8.4	14 4.2
無回答	68 100.0	0 0.0	3 4.4	5 7.4	15 22.1	10 14.7	6 8.8	12 17.6	5 7.4	3 4.4	2 2.9	0 0.0	1 1.5	3 4.4	3 4.4

平成 27 年度の予定帝王切開術件数は、全体では「101 件以上」が 28.2% (193 施設) で最も多く、次いで「21～30 件」7.0% (48 施設)、「51～60 件」6.9% (47 施設) であった。

周産期医療機能別では、総合周産期母子医療センターでは「101 件以上」が 67.1% (57 施設) で最も多く、次いで「61～70 件」5.9% (5 施設)、「71～80 件」「81～90 件」「91～100 件」が 3.5% (3 施設) であった。

地域周産期母子医療センターでは「101 件以上」が 41.8% (82 施設) で最も多く、次いで「51～60 件」7.1% (14 施設)、「81～90 件」6.1% (12 施設) であった。

一般病院では「101 件以上」が 14.3% (48 施設) で最も多く、次いで「11～20 件」10.7% (36 施設)、「21～30 件」10.4% (35 施設) であった。

図表 17 平成 27 年度の予定帝王切開術件数

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	0件	1~10件	11~20件	21~30件	31~40件	41~50件	51~60件	61~70件	71~80件	81~90件	91~100件	101件以上	無回答
全体	684	4	33	43	48	40	44	47	30	25	28	26	193	123
	100.0	0.6	4.8	6.3	7.0	5.8	6.4	6.9	4.4	3.7	4.1	3.8	28.2	18.0
総合周産期母子医療センター	85	0	0	0	0	0	0	0	5	3	3	3	57	14
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	3.5	3.5	3.5	67.1	16.5
地域周産期母子医療センター	196	0	2	0	7	4	9	14	10	7	12	11	82	38
	100.0	0.0	1.0	0.0	3.6	2.0	4.6	7.1	5.1	3.6	6.1	5.6	41.8	19.4
一般病院	335	3	25	36	35	32	27	27	14	12	11	11	48	54
	100.0	0.9	7.5	10.7	10.4	9.6	8.1	8.1	4.2	3.6	3.3	3.3	14.3	16.1
無回答	68	1	6	7	6	4	8	6	1	3	2	1	6	17
	100.0	1.5	8.8	10.3	8.8	5.9	11.8	8.8	1.5	4.4	2.9	1.5	8.8	25.0

平成 27 年度の緊急帝王切開術（予定していなかった帝王切開術）件数は、全体では「101 件以上」が 23.4%（160 施設）で最も多く、次いで「1~10 件」12.3%（84 施設）、「11~20 件」9.8%（67 施設）であった。

周産期医療機能別では、総合周産期母子医療センターでは「101 件以上」が 69.4%（59 施設）で最も多く、次いで「91~100 件」7.1%（6 施設）、「71~81 件」4.7%（4 施設）であった。

地域周産期母子医療センターでは「101 件以上」が 32.7%（64 施設）で最も多く、次いで「41~50 件」10.2%（20 施設）、「61~70 件」9.2%（18 施設）であった。

一般病院では「1~10 件」が 17.9%（60 施設）で最も多く、次いで「11~20 件」15.2%（51 施設）、「21~30 件」が 10.4（35 施設）であった。

図表 18 平成 27 年度の緊急帝王切開術件数

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	0件	1~10件	11~20件	21~30件	31~40件	41~50件	51~60件	61~70件	71~80件	81~90件	91~100件	101件以上	無回答
全体	684	13	84	67	48	46	54	40	29	34	19	27	160	63
	100.0	1.9	12.3	9.8	7.0	6.7	7.9	5.8	4.2	5.0	2.8	3.9	23.4	9.2
総合周産期母子医療センター	85	0	0	0	0	1	0	2	1	4	2	6	59	10
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	2.4	1.2	4.7	2.4	7.1	69.4	11.8
地域周産期母子医療センター	196	1	8	6	5	14	20	11	18	16	11	11	64	11
	100.0	0.5	4.1	3.1	2.6	7.1	10.2	5.6	9.2	8.2	5.6	5.6	32.7	5.6
一般病院	335	11	60	51	35	27	26	24	8	13	5	9	30	36
	100.0	3.3	17.9	15.2	10.4	8.1	7.8	7.2	2.4	3.9	1.5	2.7	9.0	10.7
無回答	68	1	16	10	8	4	8	3	2	1	1	1	7	6
	100.0	1.5	23.5	14.7	11.8	5.9	11.8	4.4	2.9	1.5	1.5	1.5	10.3	8.8

平成 27 年度の未妊健分娩（母子健康手帳を持たず、医療施設を問わず妊婦健康診査を一度も受診したことがない妊婦の分娩）件数は、「0 件」が 52.3%（358 施設）で最も多く、次いで「1～5 件」30.3%（207 施設）、「6～10 件」2.6%（18 施設）であった。

周産期医療機能別では、総合周産期母子医療センターでは「1～5 件」が 43.5%（37 施設）で最も多く、次いで「0 件」18.8%（16 施設）、「6～10 件」12.9%（11 施設）であった。

地域周産期母子医療センターでは「1～5 件」が 49.5%（97 施設）で最も多く、次いで「0 件」35.2%（69 施設）、「6～10 件」2.6%（5 施設）であった。

一般病院では「0 件」が 66.9%（224 施設）で最も多く、次いで「1～5 件」19.4%（65 施設）、「6～10 件」「21 件以上」が 0.6%（2 施設）であった。

図表 19 平成 27 年度の未妊健分娩件数

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	0件	1～5件	6～10件	11～20件	21件以上	無回答
全体	684 100.0	358 52.3	207 30.3	18 2.6	6 0.9	5 0.7	90 13.2
総合周産期母子医療センター	85 100.0	16 18.8	37 43.5	11 12.9	4 4.7	2 2.4	15 17.6
地域周産期母子医療センター	196 100.0	69 35.2	97 49.5	5 2.6	1 0.5	1 0.5	23 11.7
一般病院	335 100.0	224 66.9	65 19.4	2 0.6	1 0.3	2 0.6	41 12.2
無回答	68 100.0	49 72.1	8 11.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	11 16.2

②最近3年間の分娩件数の状況

最近3年間の分娩件数の状況は、全体では「分娩件数に大きな変化はない」が38.9%（266施設）で最も多く、次いで「分娩件数は減少傾向にある」33.6%（230施設）、「分娩件数は増加傾向にある」25.9%（177施設）であった。

周産期医療機能別では、総合周産期母子医療センターでは「分娩件数に大きな変化はない」が43.5%（37施設）で最も多く、次いで「分娩件数は増加傾向にある」31.8%（27施設）、「分娩件数は減少傾向にある」23.5%（20施設）であった。

地域周産期母子医療センターでは「分娩件数に大きな変化はない」が46.4%（91施設）で最も多く、次いで「分娩件数は増加傾向にある」と「分娩件数は減少傾向にある」のいずれも26.5%（52施設）であった。

一般病院では「分娩件数は減少傾向にある」が37.6%（126施設）で最も多く、次いで「分娩件数に大きな変化はない」34.9%（117施設）、「分娩件数は増加傾向にある」24.8%（83施設）であった。

図表 20 最近3年間の分娩件数の状況

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	分娩件数は増加傾向にある	分娩件数に大きな変化はない	分娩件数は減少傾向にある	その他	無回答
全体	684 100.0	177 25.9	266 38.9	230 33.6	7 1.0	4 0.6
総合周産期母子医療センター	85 100.0	27 31.8	37 43.5	20 23.5	0 0.0	1 1.2
地域周産期母子医療センター	196 100.0	52 26.5	91 46.4	52 26.5	1 0.5	0 0.0
一般病院	335 100.0	83 24.8	117 34.9	126 37.6	6 1.8	3 0.9
無回答	68 100.0	15 22.1	21 30.9	32 47.1	0 0.0	0 0.0

「分娩件数は減少傾向にある」と回答した施設の理由について、全体では「地域の妊産婦の減少」が46.1%（106施設）で最も多く、次いで「他の医療機関の新設・集中」45.2%（104施設）、「分娩件数の受け入れ増加による制限実施」4.3%（10施設）であった。

周産期医療機能別では、総合周産期母子医療センターでは「他の医療機関の新設・集中」が50.0%（10施設）で最も多く、次いで「地域の妊産婦の減少」35.0%（7施設）、「分娩件数の受け入れ増加による制限実施」10.0%（2施設）であった。

地域周産期母子医療センターでは「地域の妊産婦の減少」が53.8%（28施設）で最も多く、次いで「他の医療機関の新設・集中」36.5%（19施設）、「分娩件数の受け入れ増加による制限実施」1.9%（1施設）であった。

一般病院では「他の医療機関の新設・集中」が47.6%（60施設）で最も多く、次いで「地域の妊産婦の減少」44.4%（56施設）、「分娩件数の受け入れ増加による制限実施」4.8%（6施設）であった。

図表 21 分娩件数が減少傾向にある理由（複数回答）

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	地域の妊産婦の減少	分娩件数の受け入れ増加による制限実施	他の医療機関の新設・集中	その他	無回答
全体	230 100.0	106 46.1	10 4.3	104 45.2	55 23.9	4 1.7
総合周産期母子医療センター	20 100.0	7 35.0	2 10.0	10 50.0	7 35.0	1 5.0
地域周産期母子医療センター	52 100.0	28 53.8	1 1.9	19 36.5	16 30.8	0 0.0
一般病院	126 100.0	56 44.4	6 4.8	60 47.6	26 20.6	3 2.4
無回答	32 100.0	15 46.9	1 3.1	15 46.9	6 18.8	0 0.0

【その他】の具体的内容：

分娩件数が減少傾向にある理由のうち「その他」に記載のあった内容（n=51）は以下の通りであった。

- ・ 医師不足（28件）
- ・ NICUの受け入れ制限（3件）
- ・ ハイリスク妊婦の増加（2件）
- ・ ローリスクの分娩制限（2件）
- ・ 助産師不足（1件）
- ・ その他（15件）：面会制限が厳しい、分娩費が高い、施設の老朽化、ハイリスク妊婦に特化したため等

「分娩件数は増加傾向にある」と回答した理由は、「他の医療機関の産科廃止」が 60.5% (107 施設) で最も多く、次いで「地域の妊産婦の増加」 15.3% (27 施設) であった。

図表 22 分娩件数が増加傾向にある理由（複数回答）

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	地域の妊産婦の増加	他の医療機関の産科廃止	その他	無回答
全体	177 100.0	27 15.3	107 60.5	69 39.0	6 3.4
総合周産期母子医療センター	27 100.0	3 11.1	20 74.1	5 18.5	2 7.4
地域周産期母子医療センター	52 100.0	6 11.5	32 61.5	22 42.3	4 7.7
一般病院	83 100.0	13 15.7	46 55.4	36 43.4	0 0.0
無回答	15 100.0	5 33.3	9 60.0	6 40.0	0 0.0

【その他】の具体的内容：

分娩件数が増加傾向にある理由のうち「その他」に記載のあった主な内容（n=64）は以下の通りであった。

- ・施設の改装・新築（13 件）
- ・里帰り分娩の増加（7 件）
- ・医師の増員（7 件）
- ・分娩の受け入れ制限の廃止（6 件）
- ・ハイリスク分娩の増加（6 件）
- ・他施設からの紹介、搬送（6 件）
- ・無痛分娩の増加（4 件）
- ・その他（18 件）：分娩の再開、他施設の体制変更、院内助産の実施、分娩料金の見直し、精神科があるため等

③今後の分娩取扱の方向性

今後の分娩取扱の方向性は、全体では「特に変更の予定なし」が59.4%（406施設）で最も多く、次いで「分娩取扱件数を増やす予定である」30.1%（206施設）、「分娩取扱件数を制限する予定である」7.6%（52施設）であった。

周産期医療機能別では、いずれの医療機能の施設でも、同様の結果であった。

図表 23 今後の分娩取扱の方向性

	合計	分娩取扱件数を制限する予定である	分娩の廃止を検討（または予定）している	分娩取扱件数を増やす予定である	特に変更の予定なし	無回答	上段：回答数
							下段：割合（%）
全体	684 100.0	52 7.6	14 2.0	206 30.1	406 59.4	6 0.9	
総合周産期母子医療センター	85 100.0	7 8.2	0 0.0	25 29.4	51 60.0	2 2.4	
地域周産期母子医療センター	196 100.0	14 7.1	1 0.5	50 25.5	130 66.3	1 0.5	
一般病院	335 100.0	27 8.1	10 3.0	113 33.7	182 54.3	3 0.9	
無回答	68 100.0	4 5.9	3 4.4	18 26.5	43 63.2	0 0.0	

今後の分娩取扱の方向性について、「分娩取扱件数を制限する予定である」と回答した施設では、制限する分娩の内訳としては「ハイリスク分娩を制限」が42.3%（22施設）で最も多く、次いで「ローリスク分娩を制限」38.5%（20施設）、「リスクを問わず制限」21.2%（11施設）であった。

周産期医療機能別では、「ローリスク分娩を制限」する総合周産期母子医療センターは100%（7施設）、地域周産期母子医療センターは64.3%（9施設）であり、一般病院は「ハイリスク分娩を制限する」が66.7%（18施設）であった。

図表 24 制限する分娩の内訳

	合計	ハイリスク分娩を制限	ローリスク分娩を制限	リスクを問わず制限	無回答	上段：回答数
						下段：割合（%）
全体	52 100.0	22 42.3	20 38.5	11 21.2	1 1.9	
総合周産期母子医療センター	7 100.0	0 0.0	7 100.0	0 0.0	0 0.0	
地域周産期母子医療センター	14 100.0	1 7.1	9 64.3	4 28.6	0 0.0	
一般病院	27 100.0	18 66.7	3 11.1	7 25.9	1 3.7	
無回答	4 100.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	

(9) 産科関連病棟の概要

産科関連病棟における診療科は、全体では「その他」49.6% (339 施設) を除く、「産科と婦人科の混合病棟」27.8% (190 施設) が最も多く、次いで「産科単科」22.5% (154 施設) であった。

周産期医療機能別では、総合周産期母子医療センターの「産科単科」が64.7% (55 施設) と最も多く、次いで「産科と婦人科の混合病棟」18.8% (16 施設)、「その他」16.5% (14 施設) であった。

地域周産期母子医療センターでは「その他」39.3% (77 施設) を除く、「産科と婦人科の混合病棟」32.7% (64 施設)、「産科単科」28.1% (55 施設) であった。

一般病院では「その他」61.5% (206 施設) を除く、「産科と婦人科の混合病棟」27.5% (92 施設) が最も多く、次いで「産科単科」10.7% (36 施設) であった。

図表 25 産科関連病棟における診療科

	合計	産科単科	産科と婦人科の混合病棟	その他	無回答
全体	684 100.0	154 22.5	190 27.8	339 49.6	1 0.1
総合周産期母子医療センター	85 100.0	55 64.7	16 18.8	14 16.5	0 0.0
地域周産期母子医療センター	196 100.0	55 28.1	64 32.7	77 39.3	0 0.0
一般病院	335 100.0	36 10.7	92 27.5	206 61.5	1 0.3
無回答	68 100.0	8 11.8	18 26.5	42 61.8	0 0.0

上段：回答数
下段：割合 (%)

産科関連病棟における診療科について、「その他」と回答した施設の診療科 (産科、婦人科以外) についてみると、全体では「整形外科」38.3% (130 施設) が最も多く、次いで「外科」37.5% (127 施設)、「眼科」28.9% (98 施設) であった。

周産期医療機能別では、総合周産期母子医療センターでは「外科」と「耳鼻咽喉科」「皮膚科」がそれぞれ14.3% (2 施設) で最も多かった。

地域周産期母子医療センターでは、「外科」が32.5% (25 施設) で最も多く、次いで「眼科」31.2% (24 施設)、「整形外科」26.0% (20 施設) であった。

一般病院では、「整形外科」が47.1% (97 施設) で最も多く、次いで「外科」42.7% (88 施設)、「眼科」28.6% (59 施設) であった。

図表 26 産科関連病棟における診療科で「その他」と回答した施設の診療科 (複数回答)

	合計	外科	整形外科	脳神経外科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	眼科	歯科口腔外科	皮膚科	その他	無回答
全体	339 100.0	127 37.5	130 38.3	46 13.6	69 20.4	57 16.8	98 28.9	41 12.1	40 11.8	283 83.5	0 0.0
総合周産期母子医療センター	14 100.0	2 14.3	1 7.1	0 0.0	2 14.3	1 7.1	1 7.1	1 7.1	2 14.3	12 85.7	0 0.0
地域周産期母子医療センター	77 100.0	25 32.5	20 26.0	11 14.3	12 15.6	14 18.2	24 31.2	12 15.6	9 11.7	63 81.8	0 0.0
一般病院	206 100.0	88 42.7	97 47.1	30 14.6	45 21.8	34 16.5	59 28.6	22 10.7	21 10.2	171 83.0	0 0.0
無回答	42 100.0	12 28.6	12 28.6	5 11.9	10 23.8	8 19.0	14 33.3	6 14.3	8 19.0	37 88.1	0 0.0

上段：回答数
下段：割合 (%)

図表 27 図表 26 で「その他」と回答した施設の診療科（複数回答）

	回答数	割合(%)
全体	283	100.0
内科	128	45.2
小児科	122	43.1
消化器内科(胃腸内科)	18	6.4
形成外科	11	3.9
総合内科	9	3.2
神経内科	8	2.8
消化器科	8	2.8
循環器科	8	2.8
乳腺外科	8	2.8
血液内科	6	2.1
糖尿病内科(代謝内科)	6	2.1
呼吸器内科	5	1.8
腎臓内科	5	1.8
小児外科	4	1.4
循環器内科	3	1.1
緩和科	3	1.1
外科	3	1.1
放射線科	3	1.1
リハビリテーション科	3	1.1
地域包括ケア病床	3	1.1
リュウマチ科	2	0.7
眼科	2	0.7
消化器外科 (胃腸外科)	1	0.4
循環器外科	1	0.4
心療内科	1	0.4
麻酔科	1	0.4
膠原病内科	1	0.4
心臓外来	1	0.4
新生内科	1	0.4
母性内科	1	0.4
脳外科	1	0.4
大腸肛門科	1	0.4
泌尿器科	1	0.4

(10) 産科関連病棟の病床数

①産科関連病棟の病床数

産科関連病棟における病床数は平均 68.9 床であり、「30～40 床」が 27.9%（191 施設）で最も多く、次いで「40～50 床」26.6%（182 施設）、「20～30 床」「50～70 床」がそれぞれ 14.5%（99 施設）であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは平均 147.4 床であり、「30～40 床未満」が 20.0%（17 施設）で最も多く、次いで「20～30 床未満」「40～50 床未満」がそれぞれ 17.6%（15 施設）、「50～70 床未満」16.5%（14 施設）であった。

地域周産期母子医療センターでは平均 58.8 床であり、「30～40 床未満」が 35.7%（70 施設）で最も多く、次いで「40～50 床未満」24.0%（47 施設）、「20～30 床未満」「50～70 床未満」14.3%（28 施設）であった。

一般病院では平均 59.6 床であり、「40～50 床未満」が 28.7%（96 施設）で最も多く、次いで「30～40 床未満」27.8%（93 施設）、「20～30 床未満」14.0%（47 施設）であった。

図表 28 産科関連病棟の病床数（病棟病床数）

	合計	上段：回答数										平均
		10床未満	10～20床未満	20～30床未満	30～40床未満	40～50床未満	50～70床未満	70～100床未満	100～200床未満	200～300床未満	300床以上	
全体	684	2	40	99	191	182	99	8	10	7	34	68.9
	100.0	0.3	5.8	14.5	27.9	26.6	14.5	1.2	1.5	1.0	5.0	
総合周産期母子医療センター	85	0	4	15	17	15	14	3	3	1	11	147.4
	100.0	0.0	4.7	17.6	20.0	17.6	16.5	3.5	3.5	1.2	12.9	
地域周産期母子医療センター	196	0	6	28	70	47	28	1	4	3	7	58.8
	100.0	0.0	3.1	14.3	35.7	24.0	14.3	0.5	2.0	1.5	3.6	
一般病院	335	1	24	47	93	96	44	4	3	2	15	59.6
	100.0	0.3	7.2	14.0	27.8	28.7	13.1	1.2	0.9	0.6	4.5	
無回答	68	1	6	9	11	24	13	0	0	1	1	46.3
	100.0	1.5	8.8	13.2	16.2	35.3	19.1	0.0	0.0	1.5	1.5	

②産科関連病棟の病床数のうちの産科病床数

産科関連病棟数のうち産科病床数は平均 25.0 床であり、「10～20 床未満」が 16.2%（111 施設）で最も多く、次いで「20～30 床未満」15.8%（108 施設）、「30～40 床未満」13.3%（91 施設）であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは平均 33.8 床であり、「30～40 床未満」が 28.2%（24 施設）で最も多く、次いで「20～30 床未満」22.4%（19 施設）、「10～20 床未満」が 9.4%（8 施設）であった。

地域周産期母子医療センターでは平均 27.4 床であり、「20～30 床未満」が 21.4%（42 施設）で最も多く、次いで「30～40 床未満」16.8%（33 施設）、「10～20 床未満」が 12.2%（24 施設）であった。

一般病院では平均 21.4 床であり、「10～20 床未満」が 18.8%（63 施設）で最も多く、次いで「20～30 床未満」13.1%（44 施設）、「10 床未満」が 9.3%（31 施設）であった。

図表 29 産科関連病棟の病床数のうちの産科病床数

上段：回答数
下段：割合（％）

	合計	10床未満	10～ 20床未満	20～ 30床未満	30～ 40床未満	40～ 50床未満	50～ 70床未満	70～ 100床未満	100以上	平均
全体	684 100.0	40 5.8	111 16.2	108 15.8	91 13.3	24 3.5	20 2.9	4 0.6	0 0.0	25.0
総合周産期母子医療センター	85 100.0	1 1.2	8 9.4	19 22.4	24 28.2	7 8.2	5 5.9	4 4.7	0 0.0	33.8
地域周産期母子医療センター	196 100.0	1 0.5	24 12.2	42 21.4	33 16.8	7 3.6	5 2.6	0 0.0	0 0.0	27.4
一般病院	335 100.0	31 9.3	63 18.8	44 13.1	30 9.0	8 2.4	8 2.4	0 0.0	0 0.0	21.4
無回答	68 100.0	7 10.3	16 23.5	3 4.4	4 5.9	2 2.9	2 2.9	0 0.0	0 0.0	19.1

③MFICUの病床数

MFICUの病床数は平均1.7床であり、「10床未満」が14.6%（100施設）で最も多く、次いで「10～20床未満」0.4%（3施設）であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは平均6.7床であり、地域周産期母子医療センターでは平均0.8床、一般病院では平均0.1床であった。

図表 30 MFICUの病床数

上段：回答数
下段：割合（％）

	合計	10床未満	10～20床 未満	20～30床 未満	30～40床 未満	40～50床 未満	50床以上	平均
全体	684 100.0	100 14.6	3 0.4	0 0.0	1 0.1	0 0.0	0 0.0	1.7
総合周産期母子医療センター	85 100.0	74 87.1	3 3.5	0 0.0	1 1.2	0 0.0	0 0.0	6.7
地域周産期母子医療センター	196 100.0	22 11.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0.8
一般病院	335 100.0	4 1.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0.1
無回答	68 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0.0

④NICUの病床数

NICUの病床数は平均4.8床であり、「10床未満」が27.9%（191施設）で最も多く、次いで「10～20床未満」8.2%（56施設）であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは平均13.0床、地域周産期母子医療センターでは平均6.0床、一般病院では平均1.2床であった。

図表 31 のNICU 病床数

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	10床未満	10～20床 未満	20～30床 未満	30～40床 未満	40～50床 未満	50床以上	平均
全体	684 100.0	191 27.9	56 8.2	10 1.5	1 0.1	1 0.1	0 0.0	4.8
総合周産期母子医療センター	85 100.0	25 29.4	37 43.5	9 10.6	1 1.2	1 1.2	0 0.0	13.0
地域周産期母子医療センター	196 100.0	120 61.2	18 9.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6.0
一般病院	335 100.0	41 12.2	1 0.3	1 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1.2
無回答	68 100.0	5 7.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0.7

⑤GCUの病床数

GCUの病床数は平均6.1床であり、「10～20床未満」が13.7%（94施設）で最も多く、次いで「10床未満」8.8%（60施設）であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは平均16.9床、地域周産期母子医療センターでは平均7.6床、一般病院では平均0.8床であった。

図表 32 GCUの病床数

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	10床未満	10～20床 未満	20～30床 未満	30～40床 未満	40～50床 未満	50床以上	平均
全体	684 100.0	60 8.8	94 13.7	24 3.5	10 1.5	2 0.3	0 0.0	6.1
総合周産期母子医療センター	85 100.0	8 9.4	36 42.4	19 22.4	8 9.4	1 1.2	0 0.0	16.9
地域周産期母子医療センター	196 100.0	41 20.9	50 25.5	5 2.6	2 1.0	1 0.5	0 0.0	7.6
一般病院	335 100.0	10 3.0	7 2.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0.8
無回答	68 100.0	1 1.5	1 1.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0.5

(11) 産科外来と産科関連病棟の一元管理の実施状況

産科外来と産科関連病棟の一元管理の実施状況は、全体では「産科外来と産科関連病棟の一元管理を行っている」が 50.0%（342 施設）で多く、「産科外来と産科関連病棟の一元管理を行っていない」施設は 46.6%（319 施設）であった。

周産期医療機能別では、「産科外来と産科関連病棟の一元管理を行っている」施設の割合は、総合周産期母子医療センターでは 56.5%（48 施設）、地域周産期母子医療センターでは 49.0%（96 施設）一般病院では 50.4%（169 施設）であった。

図表 33 産科外来と産科関連病棟の一元管理の実施状況

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	産科外来と 産科関連病 棟の一元管 理を行って いる	産科外来と 産科関連病 棟の一元管 理を行って いない	無回答
全体	684 100.0	342 50.0	319 46.6	23 3.4
総合周産期母子医療センター	85 100.0	48 56.5	34 40.0	3 3.5
地域周産期母子医療センター	196 100.0	96 49.0	96 49.0	4 2.0
一般病院	335 100.0	169 50.4	155 46.3	11 3.3
無回答	68 100.0	29 42.6	34 50.0	5 7.4

(12) 産科関連病棟等における看護職員の実人数（平成 28 年 8 月 1 日時点）

①産科関連病棟勤務

a.常勤の助産師数

産科関連病棟勤務における常勤の助産師数は、全体では「11～15 人」が 21.6%（148 施設）で最も多く、次いで「6～10 人」19.4%（133 施設）、「16～20 人」18.0%（123 施設）であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは「31 人以上」が 31.8%（27 施設）で最も多く、次いで「21～25 人」23.5%（20 施設）、「16～20 人」21.2%（18 施設）であった。

地域周産期母子医療センターでは「21～25 人」が 22.4%（44 施設）で最も多く、次いで「16～20 人」21.4%（42 施設）、「26～30 人」17.3%（34 施設）であった。

一般病院では「11～15 人」が 27.5%（92 施設）で最も多く、次いで「6～10 人」26.3%（88 施設）、「16～20 人」16.7%（56 施設）であった。

図表 34 産科関連病棟に勤務する常勤の助産師数

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26人～30人	31人以上	無回答
全体	684 100.0	0 0.0	36 5.3	133 19.4	148 21.6	123 18.0	106 15.5	56 8.2	70 10.2	12 1.8
総合周産期母子医療センター	85 100.0	0 0.0	0 0.0	2 2.4	10 11.8	18 21.2	20 23.5	7 8.2	27 31.8	1 1.2
地域周産期母子医療センター	196 100.0	0 0.0	3 1.5	14 7.1	31 15.8	42 21.4	44 22.4	34 17.3	25 12.8	3 1.5
一般病院	335 100.0	0 0.0	30 9.0	88 26.3	92 27.5	56 16.7	35 10.4	11 3.3	18 5.4	5 1.5
無回答	68 100.0	0 0.0	3 4.4	29 42.6	15 22.1	7 10.3	7 10.3	4 5.9	0 0.0	3 4.4

b.常勤の看護師数

産科関連病棟勤務における常勤の看護師数は、全体では「1～5 人」が 22.1%（151 施設）で最も多く、次いで「11～15 人」19.7%（135 施設）、「6～10 人」19.2%（131 施設）であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは「1～5 人」が 37.6%（32 施設）で最も多く、次いで「11～15 人」12.9%（11 施設）、「0 人」10.6%（9 施設）であった。

地域周産期母子医療センターでは「1～5 人」が 28.6%（56 施設）で最も多く、次いで「6～10 人」22.4%（44 施設）、「11～15 人」15.8%（31 施設）であった。

一般病院では「11～15 人」が 24.2%（81 施設）で最も多く、次いで「6～10 人」21.2%（71 施設）、「1～5 人」14.0%（47 施設）であった。

図表 35 産科関連病棟に勤務する常勤の看護師数

上段：回答数
下段：割合 (%)

	合計	0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26人~30人	31人以上	無回答
全体	684 100.0	27 3.9	151 22.1	131 19.2	135 19.7	57 8.3	29 4.2	8 1.2	9 1.3	137 20.0
総合周産期母子医療センター	85 100.0	9 10.6	32 37.6	7 8.2	11 12.9	3 3.5	1 1.2	1 1.2	5 5.9	16 18.8
地域周産期母子医療センター	196 100.0	7 3.6	56 28.6	44 22.4	31 15.8	12 6.1	8 4.1	1 0.5	2 1.0	35 17.9
一般病院	335 100.0	10 3.0	47 14.0	71 21.2	81 24.2	35 10.4	18 5.4	5 1.5	2 0.6	66 19.7
無回答	68 100.0	1 1.5	16 23.5	9 13.2	12 17.6	7 10.3	2 2.9	1 1.5	0 0.0	20 29.4

c.非常勤の助産師数

産科関連病棟における非常勤の助産師数は、全体では「1人」が20.2%（138施設）で最も多く、次いで「0人」13.0%（89施設）、「2人」12.6%（86施設）であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは「1人」が27.1%（23施設）で最も多く、次いで「0人」16.5%（14施設）、「2人」10.6%（9施設）であった。

地域周産期母子医療センターでは「1人」が18.4%（36施設）で最も多く、次いで「0人」16.3%（32施設）、「2人」11.2%（22施設）であった。

一般病院では「1人」が18.2%（61施設）で最も多く、次いで「2人」13.7%（46施設）、「0人」11.9%（40施設）であった。

図表 36 産科関連病棟に勤務する非常勤の助産師数

上段：回答数
下段：割合 (%)

	合計	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
全体	684 100.0	89 13.0	138 20.2	86 12.6	46 6.7	29 4.2	10 1.5	30 4.4	256 37.4
総合周産期母子医療センター	85 100.0	14 16.5	23 27.1	9 10.6	0 0.0	3 3.5	3 3.5	3 3.5	30 35.3
地域周産期母子医療センター	196 100.0	32 16.3	36 18.4	22 11.2	11 5.6	8 4.1	2 1.0	5 2.6	80 40.8
一般病院	335 100.0	40 11.9	61 18.2	46 13.7	29 8.7	14 4.2	5 1.5	16 4.8	124 37.0
無回答	68 100.0	3 4.4	18 26.5	9 13.2	6 8.8	4 5.9	0 0.0	6 8.8	22 32.4

d.非常勤の看護師数

産科関連病棟における非常勤の看護師数は、全体では「0人」が19.2%（131施設）で最も多く、次いで「1人」13.2%（90施設）、「2人」4.7%（32施設）であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは「0人」が25.9%（22施設）で最も多く、次いで「1人」12.9%（11施設）、「2人」5.9%（5施設）であった。

地域周産期母子医療センターでは「0人」が20.4%（40施設）で最も多く、次いで「1人」15.3%（30施設）、「2人」3.6%（7施設）であった。

一般病院では「0人」が18.5%（62施設）で最も多く、次いで「1人」11.0%（37施設）、「2人」5.1%（17施設）であった。

図表 37 産科関連病棟に勤務する非常勤の看護師数

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
全体	684 100.0	131 19.2	90 13.2	32 4.7	21 3.1	11 1.6	4 0.6	6 0.9	389 56.9
総合周産期母子医療センター	85 100.0	22 25.9	11 12.9	5 5.9	1 1.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	46 54.1
地域周産期母子医療センター	196 100.0	40 20.4	30 15.3	7 3.6	2 1.0	3 1.5	0 0.0	1 0.5	113 57.7
一般病院	335 100.0	62 18.5	37 11.0	17 5.1	15 4.5	7 2.1	4 1.2	5 1.5	188 56.1
無回答	68 100.0	7 10.3	12 17.6	3 4.4	3 4.4	1 1.5	0 0.0	0 0.0	42 61.8

②産科外来勤務

a.常勤の助産師数

産科外来における常勤の助産師数は、全体では「1人」が15.9%（109施設）で最も多く、次いで「0人」14.3%（98施設）、「2人」8.0%（55施設）であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは「1人」が14.1%（12施設）で最も多く、次いで「0人」12.9%（11施設）、「2人」11.8%（10施設）であった。

地域周産期母子医療センターでは「1人」が15.8%（31施設）で最も多く、次いで「0人」12.2%（24施設）、「2人」9.2%（18施設）であった。

一般病院では「1人」が17.0%（57施設）で最も多く、次いで「0人」15.5%（52施設）、「2人」7.2%（24施設）であった。

図表 38 産科外来に勤務する常勤の助産師数

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
全体	684 100.0	98 14.3	109 15.9	55 8.0	18 2.6	14 2.0	5 0.7	14 2.0	371 54.2
総合周産期母子医療センター	85 100.0	11 12.9	12 14.1	10 11.8	2 2.4	3 3.5	1 1.2	5 5.9	41 48.2
地域周産期母子医療センター	196 100.0	24 12.2	31 15.8	18 9.2	8 4.1	6 3.1	3 1.5	5 2.6	101 51.5
一般病院	335 100.0	52 15.5	57 17.0	24 7.2	8 2.4	5 1.5	1 0.3	4 1.2	184 54.9
無回答	68 100.0	11 16.2	9 13.2	3 4.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	45 66.2

b.常勤の看護師数

産科外来における常勤の看護師数は、全体では「0人」が12.0%（82施設）で最も多く、次いで「1人」11.5%（79施設）、「2人」6.7%（46施設）であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは「0人」が17.6%（15施設）で最も多く、次いで「1人」11.8%（10施設）、「2人」3.5%（3施設）であった。

地域周産期母子医療センターでは「1人」が12.8%（25施設）で最も多く、次いで「0人」12.2%（24施設）、「2人」8.2%（16施設）であった。

一般病院では「0人」が11.0%（37施設）で最も多く、次いで「1人」10.1%（34施設）、「2人」6.6%（22施設）であった。

図表 39 産科外来に勤務する常勤の看護師数

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
全体	684 100.0	82 12.0	79 11.5	46 6.7	15 2.2	12 1.8	8 1.2	15 2.2	427 62.4
総合周産期母子医療センター	85 100.0	15 17.6	10 11.8	3 3.5	0 0.0	1 1.2	1 1.2	3 3.5	52 61.2
地域周産期母子医療センター	196 100.0	24 12.2	25 12.8	16 8.2	4 2.0	3 1.5	2 1.0	5 2.6	117 59.7
一般病院	335 100.0	37 11.0	34 10.1	22 6.6	11 3.3	6 1.8	5 1.5	6 1.8	214 63.9
無回答	68 100.0	6 8.8	10 14.7	5 7.4	0 0.0	2 2.9	0 0.0	1 1.5	44 64.7

c.非常勤の助産師数

産科外来における非常勤の助産師数は、全体では「1人」が17.1%（117施設）で最も多く、次いで「0人」11.5%（79施設）、「2人」7.5%（51施設）であった。

周産期医療機能別では、総合周産期母子医療センターでは「0人」が17.6%（15施設）で最も多く、次いで「1人」11.8%（10施設）、「3人」5.9%（5施設）であった。

地域周産期母子医療センターでは「1人」が17.9%（35施設）で最も多く、次いで「0人」8.2%（16施設）、「2人」6.6%（13施設）であった。

一般病院では「1人」が16.7%（56施設）で最も多く、次いで「0人」12.8%（43施設）、「2人」8.4%（28施設）であった。

図表 40 産科外来に勤務する非常勤の助産師数

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
全体	684 100.0	79 11.5	117 17.1	51 7.5	30 4.4	13 1.9	6 0.9	5 0.7	383 56.0
総合周産期母子医療センター	85 100.0	15 17.6	10 11.8	3 3.5	5 5.9	3 3.5	1 1.2	0 0.0	48 56.5
地域周産期母子医療センター	196 100.0	16 8.2	35 17.9	13 6.6	9 4.6	4 2.0	1 0.5	3 1.5	115 58.7
一般病院	335 100.0	43 12.8	56 16.7	28 8.4	15 4.5	4 1.2	4 1.2	2 0.6	183 54.6
無回答	68 100.0	5 7.4	16 23.5	7 10.3	1 1.5	2 2.9	0 0.0	0 0.0	37 54.4

d.非常勤の看護師数

産科外来における非常勤の看護師数は、全体では「0人」と「1人」が10.7%（73施設）で最も多く、次いで「2人」6.6%（45施設）であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは「0人」が14.1%（12施設）で最も多く、次いで「1人」8.2%（7施設）、「2人」7.1%（6施設）であった。

地域周産期母子医療センターでは「0人」と「1人」が10.7%（21施設）で最も多く、次いで「2人」7.1%（14施設）であった。

一般病院では「1人」が10.7%（36施設）で最も多く、次いで「0人」10.4%（35施設）、「2人」6.3%（21施設）であった。

図表 41 産科外来に勤務する非常勤の助産師数

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
全体	684 100.0	73 10.7	73 10.7	45 6.6	16 2.3	11 1.6	3 0.4	3 0.4	460 67.3
総合周産期母子医療センター	85 100.0	12 14.1	7 8.2	6 7.1	1 1.2	1 1.2	0 0.0	0 0.0	58 68.2
地域周産期母子医療センター	196 100.0	21 10.7	21 10.7	14 7.1	5 2.6	3 1.5	1 0.5	0 0.0	131 66.8
一般病院	335 100.0	35 10.4	36 10.7	21 6.3	9 2.7	6 1.8	2 0.6	2 0.6	224 66.9
無回答	68 100.0	5 7.4	9 13.2	4 5.9	1 1.5	1 1.5	0 0.0	1 1.5	47 69.1

**(13) 産科関連病棟勤務の常勤助産師のうち、産休、育休、休職、長期研修中の助産師数
(平成 28 年 8 月 1 日時点)**

産休、育休、休職、長期研修中の常勤助産師数は、全体では「0 人」が 56.5% (380 施設) で最も多く、次いで「1 人」18.6% (125 施設)、「2 人」9.2% (62 施設) であった。

周産期医療機能別では、総合周産期母子医療センターでは「0 人」が 53.6% (45 施設) で最も多く、次いで「1 人」20.2% (17 施設)、「2 人」9.5% (8 施設) であった。

地域周産期母子医療センターでは「0 人」が 58.0% (112 施設) で最も多く、次いで「1 人」17.6% (34 施設)、「2 人」9.3% (18 施設) であった。

一般病院では「0 人」が 57.9% (191 施設) で最も多く、次いで「1 人」17.9% (59 施設)、「2 人」8.8% (29 施設) であった。

図表 42 産科関連病棟勤務の常勤助産師のうち、産休、育休、休職、長期研修中の助産師数

	合計	上段：回答数 下段：割合 (%)							
		0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
全体	672 100.0	380 56.5	125 18.6	62 9.2	35 5.2	12 1.8	6 0.9	16 2.4	36 5.4
総合周産期母子医療センター	84 100.0	45 53.6	17 20.2	8 9.5	5 6.0	1 1.2	3 3.6	4 4.8	1 1.2
地域周産期母子医療センター	193 100.0	112 58.0	34 17.6	18 9.3	11 5.7	6 3.1	1 0.5	4 2.1	7 3.6
一般病院	330 100.0	191 57.9	59 17.9	29 8.8	16 4.8	4 1.2	1 0.3	7 2.1	23 7.0
無回答	65 100.0	32 49.2	15 23.1	7 10.8	3 4.6	1 1.5	1 1.5	1 1.5	5 7.7

(14) 産科関連病棟における常勤の助産師に関する年齢階層別人数（平成 28 年 8 月 1 日時点）

産科関連病棟における常勤の助産師数を年齢階層別にみると、全体では「25～29 歳」が 23.7%（3008 人）で最も多く、次いで「30～34 歳」16.2%（2064 人）、「25 歳未満」13.8%（1748 人）であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは「25～29 歳未満」が 27.7%（775 人）で最も多く、次いで「25 歳未満」19.2%（538 人）、「30～34 歳」17.1%（479 人）であった。

地域周産期母子医療センターでは「25～29 歳」が 24.9%（1131 人）で最も多く、次いで「30～34 歳」17.0%（774 人）、「25 歳未満」14.0%（637 人）であった。

一般病院では「25～29 歳未満」が 21.2%（963 人）で最も多く、次いで「30～34 歳」15.4%（699 人）、「35～39 歳」14.5%（660 人）であった。

図表 43 産科関連病棟における常勤の助産師に関する年齢階層別人数

上段：職員数
下段：割合（%）

	回答 施設数	職員合計	25歳未満	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上
全体	651	12712	1748	3008	2064	1684	1479	1230	861	511	127
		100.0	13.8	23.7	16.2	13.2	11.6	9.7	6.8	4.0	1.0
総合周産期母子医療センター	82	2802	538	775	479	331	248	219	116	81	15
		100.0	19.2	27.7	17.1	11.8	8.9	7.8	4.1	2.9	0.5
地域周産期母子医療センター	191	4540	637	1131	774	567	530	402	310	153	36
		100.0	14.0	24.9	17.0	12.5	11.7	8.9	6.8	3.4	0.8
一般病院	315	4549	500	963	699	660	577	510	358	218	64
		100.0	11.0	21.2	15.4	14.5	12.7	11.2	7.9	4.8	1.4
無回答	63	821	73	139	112	126	124	99	77	59	12
		100.0	8.9	16.9	13.6	15.3	15.1	12.1	9.4	7.2	1.5

産科関連病棟における常勤の助産師数を年齢階層別にみると、「25 歳」は全体で「1～3 人」が 37.8%（254 施設）で最も多く、次いで「4～6 人」14.1%（95 施設）、「0 人」11.0%（74 施設）であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは「4～6 人」が 27.4%（23 施設）、地域周産期母子医療センター「1～3 人」45.6%（88 施設）、一般病院「1～3 人」37.3%（123 施設）が最も多かった。

「25～29 歳」は、全体で「1～3 人」が 35.0%（235 施設）で最も多く、次いで「4～6 人」22.3%（150 施設）、「7～10 人」14.4%（97 施設）であった。周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは「7～10 人」と「11 人以上」が 29.8%（25 施設）、地域周産期母子医療センター「1～3 人」30.6%（59 施設）、一般病院「1～3 人」39.7%（131 施設）が最も多かった。

「30～34 歳」は、全体で「1～3 人」が 43.0%（289 施設）で最も多く、次いで「4～6 人」24.3%（163 施設）、「7～10 人」8.6%（58 施設）であった。周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センター「4～6 人」32.1%（27 施設）、地域周産期母子医療センター「1～3 人」40.4%（78 施設）、一般病院 46.4%（153 施設）が最も多かった。

「35～39 歳」は、全体で「1～3 人」が 53.4%（359 施設）で最も多く、次いで「4～6 人」21.1%（142 施設）、「0 人」5.8%（39 施設）であった。周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは「1～3 人」と「4～6 人」が 35.7%（30 施設）、地域周産期母子医療センターと一般病院では「1～3 人」が、それぞれ 59.6%（115 施設）と 53.6%（177 施設）で最も多かった。

「40～44歳」は、全体で「1～3人」が57.9%（389施設）で最も多く、次いで「4～6人」18.0%（121施設）、「0人」5.5%（37施設）であった。周産期医療機能別にみると、全てにおいて「1～3人」が最も多く、総合周産期母子医療センター56.0%（47施設）、地域周産期母子医療センター52.8%（102施設）、一般病院60.6%（200施設）であった。

「45～49歳」は、全体で「1～3人」が58.5%（393施設）で最も多く、次いで「4～6人」13.8%（93施設）、「0人」7.6%（51施設）であった。周産期医療機能別にみると、全てにおいて「1～3人」が最も多く、総合周産期母子医療センター52.4%（44施設）、地域周産期母子医療センター61.1%（118施設）、一般病院59.1%（195施設）であった。

「50～54歳」は、全体で「1～3人」が57.0%（383施設）で最も多く、次いで「0人」13.5%（91施設）、「4～6人」6.4%（43施設）であった。周産期医療機能別にみると、全てにおいて「1～3人」が最も多く、総合周産期母子医療センター45.2%（38施設）、地域周産期母子医療センター60.6%（117施設）、一般病院57.6%（190施設）であった。

「55～59歳」は、全体で「1～3人」が46.0%（309施設）で最も多く、次いで「0人」16.7%（112施設）、「4～6人」1.6%（11施設）であった。周産期医療機能別にみると、全てにおいて「1～3人」が最も多く、総合周産期母子医療センター44.0%（37施設）、地域周産期母子医療センター43.0%（83施設）、一般病院46.7%（154施設）であった。

「60歳以上」は、全体で「0人」が29.9%（201施設）で最も多く、次いで「1～3人」14.6%（98施設）であった。周産期医療機能別にみると、全てにおいて「0人」が最も多く、総合周産期母子医療センター42.9%（36施設）、地域周産期母子医療センター29.0%（56施設）、一般病院28.5%（94施設）であった。

図表 44 産科関連病棟における常勤の助産師に関する年齢階層別人数（25歳）

上段：回答数
下段：割合（%）

25歳未満

	合計	0人	1～3人	4～6人	7～10人	11人以上	無回答
全体	672 100.0	74 11.0	254 37.8	95 14.1	48 7.1	29 4.3	172 25.6
総合周産期母子医療センター	84 100.0	4 4.8	19 22.6	23 27.4	19 22.6	14 16.7	5 6.0
地域周産期母子医療センター	193 100.0	13 6.7	88 45.6	37 19.2	17 8.8	10 5.2	28 14.5
一般病院	330 100.0	44 13.3	123 37.3	31 9.4	12 3.6	4 1.2	116 35.2
無回答	65 100.0	13 20.0	24 36.9	4 6.2	0 0.0	1 1.5	23 35.4

25～29歳

	合計	0人	1～3人	4～6人	7～10人	11人以上	無回答
全体	672 100.0	29 4.3	235 35.0	150 22.3	97 14.4	64 9.5	97 14.4
総合周産期母子医療センター	84 100.0	1 1.2	12 14.3	18 21.4	25 29.8	25 29.8	3 3.6
地域周産期母子医療センター	193 100.0	3 1.6	59 30.6	57 29.5	40 20.7	26 13.5	8 4.1
一般病院	330 100.0	19 5.8	131 39.7	65 19.7	30 9.1	12 3.6	73 22.1
無回答	65 100.0	6 9.2	33 50.8	10 15.4	2 3.1	1 1.5	13 20.0

30～34 歳

	合計	0人	1～3人	4～6人	7～10人	11人以上	無回答
全体	672 100.0	31 4.6	289 43.0	163 24.3	58 8.6	17 2.5	114 17.0
総合周産期母子医療センター	84 100.0	4 4.8	21 25.0	27 32.1	21 25.0	7 8.3	4 4.8
地域周産期母子医療センター	193 100.0	2 1.0	78 40.4	63 32.6	25 13.0	7 3.6	18 9.3
一般病院	330 100.0	20 6.1	153 46.4	63 19.1	12 3.6	3 0.9	79 23.9
無回答	65 100.0	5 7.7	37 56.9	10 15.4	0 0.0	0 0.0	13 20.0

35～39 歳

	合計	0人	1～3人	4～6人	7～10人	11人以上	無回答
全体	672 100.0	39 5.8	359 53.4	142 21.1	31 4.6	6 0.9	95 14.1
総合周産期母子医療センター	84 100.0	6 7.1	30 35.7	30 35.7	10 11.9	2 2.4	6 7.1
地域周産期母子医療センター	193 100.0	11 5.7	115 59.6	42 21.8	13 6.7	2 1.0	10 5.2
一般病院	330 100.0	20 6.1	177 53.6	58 17.6	7 2.1	2 0.6	66 20.0
無回答	65 100.0	2 3.1	37 56.9	12 18.5	1 1.5	0 0.0	13 20.0

40～44 歳

	合計	0人	1～3人	4～6人	7～10人	11人以上	無回答
全体	672 100.0	37 5.5	389 57.9	121 18.0	20 3.0	3 0.4	102 15.2
総合周産期母子医療センター	84 100.0	6 7.1	47 56.0	20 23.8	4 4.8	2 2.4	5 6.0
地域周産期母子医療センター	193 100.0	9 4.7	102 52.8	54 28.0	10 5.2	1 0.5	17 8.8
一般病院	330 100.0	19 5.8	200 60.6	38 11.5	5 1.5	0 0.0	68 20.6
無回答	65 100.0	3 4.6	40 61.5	9 13.8	1 1.5	0 0.0	12 18.5

45～49 歳

	合計	0人	1～3人	4～6人	7～10人	11人以上	無回答
全体	672 100.0	51 7.6	393 58.5	93 13.8	11 1.6	2 0.3	122 18.2
総合周産期母子医療センター	84 100.0	10 11.9	44 52.4	17 20.2	4 4.8	2 2.4	7 8.3
地域周産期母子医療センター	193 100.0	13 6.7	118 61.1	33 17.1	4 2.1	0 0.0	25 13.0
一般病院	330 100.0	22 6.7	195 59.1	38 11.5	2 0.6	0 0.0	73 22.1
無回答	65 100.0	6 9.2	36 55.4	5 7.7	1 1.5	0 0.0	17 26.2

50～54 歳

	合計	0人	1～3人	4～6人	7～10人	11人以上	無回答
全体	672 100.0	91 13.5	383 57.0	43 6.4	4 0.6	1 0.1	150 22.3
総合周産期母子医療センター	84 100.0	22 26.2	38 45.2	9 10.7	0 0.0	1 1.2	14 16.7
地域周産期母子医療センター	193 100.0	19 9.8	117 60.6	19 9.8	4 2.1	0 0.0	34 17.6
一般病院	330 100.0	41 12.4	190 57.6	12 3.6	0 0.0	0 0.0	87 26.4
無回答	65 100.0	9 13.8	38 58.5	3 4.6	0 0.0	0 0.0	15 23.1

55～59 歳

	合計	0人	1～3人	4～6人	7～10人	11人以上	無回答
全体	672 100.0	112 16.7	309 46.0	11 1.6	2 0.3	0 0.0	238 35.4
総合周産期母子医療センター	84 100.0	23 27.4	37 44.0	3 3.6	1 1.2	0 0.0	20 23.8
地域周産期母子医療センター	193 100.0	38 19.7	83 43.0	3 1.6	1 0.5	0 0.0	68 35.2
一般病院	330 100.0	44 13.3	154 46.7	3 0.9	0 0.0	0 0.0	129 39.1
無回答	65 100.0	7 10.8	35 53.8	2 3.1	0 0.0	0 0.0	21 32.3

60 歳以上

	合計	0人	1～3人	4～6人	7～10人	11人以上	無回答
全体	672 100.0	201 29.9	98 14.6	1 0.1	0 0.0	0 0.0	372 55.4
総合周産期母子医療センター	84 100.0	36 42.9	13 15.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	35 41.7
地域周産期母子医療センター	193 100.0	56 29.0	30 15.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	107 55.4
一般病院	330 100.0	94 28.5	45 13.6	1 0.3	0 0.0	0 0.0	190 57.6
無回答	65 100.0	15 23.1	10 15.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	40 61.5

(15) 助産師の産科関連病棟におけるオンコール体制等の有無

産科関連病棟のオンコール体制等について、全体では「オンコール体制なし」が 65.1% (445 施設)、「夜間のみ分娩時オンコール体制あり」が 16.2% (111 施設)、「日中・夜間を通して分娩時オンコール体制あり」が 4.7% (32 施設) であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは「オンコール体制なし」が 82.4% (70 施設)、「夜間のみ分娩時オンコール体制あり」が 2.4% (2 施設)、「日中・夜間を通して分娩時オンコール体制あり」が 1.2% (1 施設) であった。

地域周産期母子医療センターでは「オンコール体制なし」が 74.5% (146 施設)、「夜間のみ分娩時オンコール体制あり」が 11.7% (23 施設)、「日中・夜間を通して分娩時オンコール体制あり」が 2.0% (4 施設) であった。

一般病院では「オンコール体制なし」が 56.4% (189 施設)、「夜間のみ分娩時オンコール体制あり」が 21.2% (71 施設)、「日中・夜間を通して分娩時オンコール体制あり」が 7.2% (24 施設) であった。

図表 45 助産師の産科関連病棟におけるオンコール体制等の有無

上段：回答数
下段：割合 (%)

	合計	日中・夜間 を通して分 娩時オン コール体制	夜間のみ分 娩時オン コール体制 あり	オンコール体 制なし	当直制あり	その他	無回答
全体	684 100.0	32 4.7	111 16.2	445 65.1	31 4.5	63 9.2	28 4.1
総合周産期母子医療センター	85 100.0	1 1.2	2 2.4	70 82.4	1 1.2	5 5.9	6 7.1
地域周産期母子医療センター	196 100.0	4 2.0	23 11.7	146 74.5	3 1.5	20 10.2	5 2.6
一般病院	335 100.0	24 7.2	71 21.2	189 56.4	25 7.5	33 9.9	13 3.9
無回答	68 100.0	3 4.4	15 22.1	40 58.8	2 2.9	5 7.4	4 5.9

(16) 施設における産科医、新生児科医数（平成 28 年 8 月 1 日時点）

①常勤の産科医数

常勤の産科医数について、全体では「6人以上」が36.4%（249施設）で最も多く、次いで「4人」13.6%（93施設）、「3人」12.4%（85施設）であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは「6人以上」が92.9%（79施設）で最も多く、次いで「5人」3.5%（3施設）であった。

地域周産期母子医療センターでは「6人以上」が45.4%（89施設）で最も多く、次いで「5人」18.4%（36施設）、「4人」17.9%（35施設）であった。

一般病院では「6人以上」が22.7%（76施設）で最も多く、次いで「2人」18.2%（61施設）、「3人」17.9%（60施設）であった。

図表 46 常勤の産科医数

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
全体	684 100.0	3 0.4	53 7.7	80 11.7	85 12.4	93 13.6	80 11.7	249 36.4	41 6.0
総合周産期母子医療センター	85 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 3.5	79 92.9	3 3.5
地域周産期母子医療センター	196 100.0	0 0.0	6 3.1	4 2.0	16 8.2	35 17.9	36 18.4	89 45.4	10 5.1
一般病院	335 100.0	3 0.9	37 11.0	61 18.2	60 17.9	45 13.4	35 10.4	76 22.7	18 5.4
無回答	68 100.0	0 0.0	10 14.7	15 22.1	9 13.2	13 19.1	6 8.8	5 7.4	10 14.7

②非常勤の産科医数

非常勤の産科医数について、全体では「1人」が15.1%（103施設）で最も多く、次いで「0人」12.7%（87施設）、「2人」11.4%（78施設）であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは「0人」が23.5%（20施設）で最も多く、次いで「1人」と「6人以上」が12.9%（11施設）であった。

地域周産期母子医療センターでは「1人」が17.3%（34施設）で最も多く、次いで「2人」14.8%（29施設）、「0人」9.7%（19施設）であった。

一般病院では「1人」が14.6%（49施設）で最も多く、次いで「0人」13.4%（45施設）、「2人」11.0%（37施設）であった。

図表 47 非常勤の産科医数

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
全体	684 100.0	87 12.7	103 15.1	78 11.4	37 5.4	29 4.2	21 3.1	60 8.8	269 39.3
総合周産期母子医療センター	85 100.0	20 23.5	11 12.9	5 5.9	2 2.4	4 4.7	3 3.5	11 12.9	29 34.1
地域周産期母子医療センター	196 100.0	19 9.7	34 17.3	29 14.8	10 5.1	3 1.5	3 1.5	9 4.6	89 45.4
一般病院	335 100.0	45 13.4	49 14.6	37 11.0	21 6.3	16 4.8	13 3.9	31 9.3	123 36.7
無回答	68 100.0	3 4.4	9 13.2	7 10.3	4 5.9	6 8.8	2 2.9	9 13.2	28 41.2

③常勤の新生児科医数

常勤の新生児科医数について、全体では「6人以上」が20.3%（139施設）で最も多く、次いで「0人」12.1%（83施設）、「1人」10.4%（71施設）であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは「6人以上」が64.7%（55施設）で最も多く、次いで「5人」5.9%（5施設）、「2人」と「3人」がそれぞれ4.7%（4施設）であった。

地域周産期母子医療センターでは「6人以上」が30.6%（60施設）で最も多く、次いで「4人」12.8%（25施設）、「3人」9.7%（19施設）、「5人」9.7%（19施設）であった。

一般病院では「0人」が16.4%（55施設）で最も多く、次いで「1人」14.9%（50施設）、「2人」10.7%（36施設）であった。

図表 48 常勤の新生児科医数

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
全体	684 100.0	83 12.1	71 10.4	65 9.5	62 9.1	56 8.2	42 6.1	139 20.3	166 24.3
総合周産期母子医療センター	85 100.0	0 0.0	1 1.2	4 4.7	4 4.7	3 3.5	5 5.9	55 64.7	13 15.3
地域周産期母子医療センター	196 100.0	14 7.1	13 6.6	14 7.1	19 9.7	25 12.8	19 9.7	60 30.6	32 16.3
一般病院	335 100.0	55 16.4	50 14.9	36 10.7	35 10.4	24 7.2	15 4.5	22 6.6	98 29.3
無回答	68 100.0	14 20.6	7 10.3	11 16.2	4 5.9	4 5.9	3 4.4	2 2.9	23 33.8

④非常勤の新生児科医数

非常勤の新生児科医数について、全体では「0人」が23.8%（163施設）で最も多く、次いで「1人」7.2%（49施設）、「2人」5.0%（34施設）であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは「0人」が27.1%（23施設）で最も多く、次いで「2人」10.6%（9施設）、「1人」「3人」「5人」が4.7%（4施設）であった。

地域周産期母子医療センターでは「0人」が25.0%（49施設）で最も多く、次いで「2人」3.6%（7施設）、「1人」4.1%（8施設）であった。

一般病院では「0人」が22.1%（74施設）で最も多く、次いで「1人」9.6%（32施設）、「3人」4.8%（16施設）であった。

図表 49 非常勤の新生児科医数

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
全体	684 100.0	163 23.8	49 7.2	34 5.0	26 3.8	12 1.8	7 1.0	16 2.3	377 55.1
総合周産期母子医療センター	85 100.0	23 27.1	4 4.7	9 10.6	4 4.7	3 3.5	4 4.7	0 0.0	38 44.7
地域周産期母子医療センター	196 100.0	49 25.0	8 4.1	7 3.6	5 2.6	1 0.5	0 0.0	3 1.5	123 62.8
一般病院	335 100.0	74 22.1	32 9.6	13 3.9	16 4.8	7 2.1	3 0.9	10 3.0	180 53.7
無回答	68 100.0	17 25.0	5 7.4	5 7.4	1 1.5	1 1.5	0 0.0	3 4.4	36 52.9

(17) 分娩時（第1期から4期）に常時1名の助産師を配置できる体制の有無

分娩時に常時1名の助産師を配置できる体制について、全体では「できている」が83.5%（571施設）、「できていない」が12.0%（82施設）であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは「できている」が87.1%（74施設）、「できていない」が10.6%（9施設）であった。

地域周産期母子医療センターでは「できている」が86.7%（170施設）、「できていない」が9.2%（18施設）であった。

一般病院では「できている」が81.2%（272施設）、「できていない」が14.6%（49施設）であった。

図表 50 分娩時に常時1名の助産師を配置できる体制の有無

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	できている	できていない	無回答
全体	684 100.0	571 83.5	82 12.0	31 4.5
総合周産期母子医療センター	85 100.0	74 87.1	9 10.6	2 2.4
地域周産期母子医療センター	196 100.0	170 86.7	18 9.2	8 4.1
一般病院	335 100.0	272 81.2	49 14.6	14 4.2
無回答	68 100.0	55 80.9	6 8.8	7 10.3

(18) 高度生殖医療の実施状況

高度生殖医療の実施状況について、全体では「実施している」が16.5%（113施設）、「実施していない」が82.0%（561施設）であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは「実施している」が43.5%（37施設）、「実施していない」が54.1%（46施設）であった。

地域周産期母子医療センターでは「実施している」が17.9%（35施設）、「実施していない」が80.6%（158施設）であった。

一般病院では「実施している」が9.9%（33施設）、「実施していない」が89.0%（298施設）であった。

図表 51 高度生殖医療の実施状況

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	実施している	実施していない	無回答
全体	684 100.0	113 16.5	561 82.0	10 1.5
総合周産期母子医療センター	85 100.0	37 43.5	46 54.1	2 2.4
地域周産期母子医療センター	196 100.0	35 17.9	158 80.6	3 1.5
一般病院	335 100.0	33 9.9	298 89.0	4 1.2
無回答	68 100.0	8 11.8	59 86.8	1 1.5

(19) 看護職員の資格等の保有状況

看護職員の資格等の保有状況は、「リプロヘルス・サポーター（受胎調節実地指導員）」が42.8%（293 施設）で最も多く、次いで「日本糖尿病療養指導士」35.4%（242 施設）、「ラクテーションコンサルタント」24.1%（165 施設）であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは「リプロヘルス・サポーター（受胎調節実地指導員）」で57.6%（49 施設）が最も多く、次いで「日本糖尿病療養指導士」が45.9%（39 施設）であった。地域周産期母子医療センターでは「リプロヘルス・サポーター（受胎調節実地指導員）」が46.4%（91 施設）で最も多く、次いで「日本糖尿病療養指導士」が38.8%（76 施設）であった。一般病院では「リプロヘルス・サポーター（受胎調節実地指導員）」が37.0%（124 施設）で最も多く、次いで「日本糖尿病療養指導士」が33.1%（111 施設）であった。

図表 52 看護職員の資格等の保有状況（複数回答）

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	母性看護専門看護師	不妊症看護認定看護師	不妊カウンセラー・体外受精コーディネーター	認定遺伝カウンセラー	リプロヘルス・サポーター（受胎調節実地指導員）	ラクテーションコンサルタント	性暴力被害者支援看護職	思春期保健相談士	メノポーズカウンセラー	日本糖尿病療養指導士	地域糖尿病療養指導士	鍼灸マッサージ師	アロマテラピー検定	その他	無回答
全体	684 100.0	38 5.6	54 7.9	79 11.5	15 2.2	293 42.8	165 24.1	27 3.9	129 18.9	4 0.6	242 35.4	107 15.6	18 2.6	164 24.0	61 8.9	112 16.4
総合周産期母子医療センター	85 100.0	15 17.6	21 24.7	12 14.1	5 5.9	49 57.6	37 43.5	4 4.7	20 23.5	0 0.0	39 45.9	15 17.6	3 3.5	19 22.4	10 11.8	6 7.1
地域周産期母子医療センター	196 100.0	11 5.6	19 9.7	32 16.3	5 2.6	91 46.4	54 27.6	6 3.1	31 15.8	2 1.0	76 38.8	32 16.3	4 2.0	49 25.0	18 9.2	31 15.8
一般病院	335 100.0	10 3.0	11 3.3	29 8.7	5 1.5	124 37.0	59 17.6	12 3.6	65 19.4	1 0.3	111 33.1	50 14.9	8 2.4	77 23.0	30 9.0	63 18.8
無回答	68 100.0	2 2.9	3 4.4	6 8.8	0 0.0	29 42.6	15 22.1	5 7.4	13 19.1	1 1.5	16 23.5	10 14.7	3 4.4	19 27.9	3 4.4	12 17.6

(20) 専門的自律能力の育成に関する研修の実施状況

①専門的自律能力の育成に関する研修の実施状況

専門的自律能力の育成に関する研修を実施している施設について、全体では「接遇」に関する研修が 78.1%（534 施設）で最も多く、次いで「コミュニケーション」52.0%（356 施設）、「意思決定支援」22.4%（153 施設）、「企画力」15.1%（103 施設）、「コーディネーション」11.8%（81 施設）であった。

図表 53 専門的自律能力の育成に関する研修の実施状況

上段：回答数
下段：割合（%）

	全体	実施している	実施していない	無回答
①コーディネーション	684 100.0	81 11.8	470 68.7	133 19.4
②意思決定支援	684 100.0	153 22.4	409 59.8	122 17.8
③接遇	684 100.0	534 78.1	107 15.6	43 6.3
④企画力	684 100.0	103 15.1	445 65.1	136 19.9
⑤コミュニケーション	684 100.0	356 52.0	237 34.6	91 13.3

②周産期医療機能別にみた専門的自律能力の育成に関する研修の実施状況

「コーディネーション」の実施状況では、総合周産期母子医療センター22.4%（19 施設）、地域周産期母子医療センター12.2%（24 施設）、一般病院 9.9%（33 施設）であった。

「意思決定支援」の実施状況は、総合周産期母子医療センター38.8%（33 施設）、地域周産期母子医療センター23.5%（46 施設）、一般病院 19.9%（65 施設）であった。

「接遇」の実施状況では、総合周産期母子医療センター83.5%（71 施設）、地域周産期母子医療センター83.7%（164 施設）、一般病院 75.5%（253 施設）であった。

「企画力」の実施状況では、総合周産期母子医療センター21.2%（18 施設）、地域周産期母子医療センター16.8%（33 施設）、一般病院 13.7%（46 施設）であった。

「コミュニケーション」の実施状況では、総合周産期母子医療センター69.4%（59 施設）、地域周産期母子医療センター60.7%（119 施設）、一般病院 47.2%（158 施設）であった。

図表 54 専門的自律能力の育成に関する研修の実施状況

上段：回答数
下段：割合（%）

<コーディネーション>

	合計	実施している	実施していない	無回答
全体	684 100.0	81 11.8	470 68.7	133 19.4
総合周産期母子医療センター	85 100.0	19 22.4	55 64.7	11 12.9
地域周産期母子医療センター	196 100.0	24 12.2	133 67.9	39 19.9
一般病院	335 100.0	33 9.9	236 70.4	66 19.7
無回答	68 100.0	5 7.4	46 67.6	17 25.0

<意思決定支援>

	合計	実施している	実施していない	無回答
全体	684 100.0	153 22.4	409 59.8	122 17.8
総合周産期母子医療センター	85 100.0	33 38.8	41 48.2	11 12.9
地域周産期母子医療センター	196 100.0	46 23.5	115 58.7	35 17.9
一般病院	335 100.0	65 19.4	210 62.7	60 17.9
無回答	68 100.0	9 13.2	43 63.2	16 23.5

<接遇>

	合計	実施している	実施していない	無回答
全体	684 100.0	534 78.1	107 15.6	43 6.3
総合周産期母子医療センター	85 100.0	71 83.5	11 12.9	3 3.5
地域周産期母子医療センター	196 100.0	164 83.7	21 10.7	11 5.6
一般病院	335 100.0	253 75.5	60 17.9	22 6.6
無回答	68 100.0	46 67.6	15 22.1	7 10.3

<企画力>

	合計	実施している	実施していない	無回答
全体	684 100.0	103 15.1	445 65.1	136 19.9
総合周産期母子医療センター	85 100.0	18 21.2	55 64.7	12 14.1
地域周産期母子医療センター	196 100.0	33 16.8	126 64.3	37 18.9
一般病院	335 100.0	46 13.7	220 65.7	69 20.6
無回答	68 100.0	6 8.8	44 64.7	18 26.5

<コミュニケーション>

	合計	実施している	実施していない	無回答
全体	684 100.0	356 52.0	237 34.6	91 13.3
総合周産期母子医療センター	85 100.0	59 69.4	21 24.7	5 5.9
地域周産期母子医療センター	196 100.0	119 60.7	55 28.1	22 11.2
一般病院	335 100.0	158 47.2	127 37.9	50 14.9
無回答	68 100.0	20 29.4	34 50.0	14 20.6

(21) 看護職員を対象としたウィメンズヘルスケアに関する研修の機会の提供状況

①研修の機会の提供状況

看護職員を対象に、WHC に関する研修の機会を提供している施設の割合は、全体では 26.2% (179 施設) であった。

周産期医療機能別にみると、WHC に関する研修の機会を提供している施設の割合は、総合周産期母子医療センターでは 37.6% (32 施設)、地域周産期母子医療センターでは 29.6% (58 施設)、一般病院では 22.1% (74 施設) であった。

図表 55 看護職員を対象とした WHC に関する研修の機会の提供状況

上段：回答数
下段：割合 (%)

	合計	提供している	提供していない	その他	無回答
全体	684 100.0	179 26.2	484 70.8	5 0.7	16 2.3
総合周産期母子医療センター	85 100.0	32 37.6	50 58.8	1 1.2	2 2.4
地域周産期母子医療センター	196 100.0	58 29.6	131 66.8	2 1.0	5 2.6
一般病院	335 100.0	74 22.1	251 74.9	1 0.3	9 2.7
無回答	68 100.0	15 22.1	52 76.5	1 1.5	0 0.0

②研修のテーマ

看護職員を対象に、WHC に関する研修の機会を提供していると回答した施設の研修テーマについて、全体では「子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援」が 62.6% (112 施設) と最も多く、次いで「産前・産後のメンタルヘルスケア」58.1% (104 施設)、「妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援」53.6% (96 施設) であった。

周産期医療機能別によると、総合周産期母子医療センターでは「子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援」が 78.1% (25 施設) と最も多く、次いで「産前・産後のメンタルヘルスケア」62.5% (20 施設)、「妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援」59.4% (19 施設) であった。地域周産期母子医療センターでは「産前・産後のメンタルヘルスケア」62.1% (36 施設) が最も多く、次いで「子育て支援による子どもの虐待予防とその家族」60.3% (35 施設)、「妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援」50.0% (29 施設) であった。一般病院では「子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援」が 59.5% (44 施設) と最も多く、次いで「産前・産後のメンタルヘルスケア」58.1% (43 施設)、「妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援」56.8% (42 施設) であった。また、「女性に対する暴力予防の支援」については、総合周産期母子医療センターのほうが、その他の医療機能の施設に比べて 10 ポイント以上実施している割合が高かった。

図表 56 ウィメンズヘルスケアに関する研修のテーマ（複数回答）

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	家族計画の支援	不妊、不育の悩みを持つ女性の支援	性感染症の支援	月経異常や月経障害等の支援（更年期指導を）	女性に対する暴力予防の支援	予期せぬ妊娠をした女性の支援	多様な性の支援	産前・産後のメンタルヘルスケア	産前・産後以外のメンタルヘルスケア	妊娠から育児において必要とする母親と	子育て支援による子どもの虐待予防とその家族	その他	無回答
全体	179 100.0	33 18.4	47 26.3	37 20.7	25 14.0	47 26.3	33 18.4	20 11.2	104 58.1	38 21.2	96 53.6	112 62.6	13 7.3	4 2.2
総合周産期母子医療センター	32 100.0	5 15.6	10 31.3	6 18.8	3 9.4	11 34.4	7 21.9	2 6.3	20 62.5	6 18.8	19 59.4	25 78.1	2 6.3	0 0.0
地域周産期母子医療センター	58 100.0	10 17.2	19 32.8	10 17.2	8 13.8	12 20.7	7 12.1	5 8.6	36 62.1	15 25.9	29 50.0	35 60.3	5 8.6	1 1.7
一般病院	74 100.0	14 18.9	15 20.3	17 23.0	13 17.6	18 24.3	16 21.6	10 13.5	43 58.1	17 23.0	42 56.8	44 59.5	5 6.8	3 4.1
無回答	15 100.0	4 26.7	3 20.0	4 26.7	1 6.7	6 40.0	3 20.0	3 20.0	5 33.3	0 0.0	6 40.0	8 53.3	1 6.7	0 0.0

（3）研修の企画や講師における助産師の関わり

看護職員を対象に、WHC に関する研修の機会を提供していると回答した施設のうち、研修の企画や講師に助産師が関わっている施設の割合は、全体では 67.0%（120 施設）であった。

周産期医療機能別にみると、研修の企画や講師に助産師が関わっている施設の割合は、総合周産期母子医療センターでは 84.4%（27 施設）、地域周産期母子医療センターでは 63.8%（37 施設）、一般病院では 60.8%（45 施設）であった。

図表 57 研修の企画や講師における助産師の関わり

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	関わっている	関わっていない	無回答
全体	179 100.0	120 67.0	46 25.7	13 7.3
総合周産期母子医療センター	32 100.0	27 84.4	5 15.6	0 0.0
地域周産期母子医療センター	58 100.0	37 63.8	17 29.3	4 6.9
一般病院	74 100.0	45 60.8	22 29.7	7 9.5
無回答	15 100.0	11 73.3	2 13.3	2 13.3

2) 診療所の概要

(1) 分娩の取扱状況（平成 28 年 8 月 1 日時点）

本調査において回答のあった 487 診療所の分娩取扱状況（平成 28 年 8 月 1 日時点）は、「分娩を取り扱っている」が 96.7%（471 施設）と大半を占めており、「分娩は取り扱っていない」は 2.7%（13 施設）であった。

図表 58 分娩の取扱状況

上段：回答数
下段：割合（%）

全体	分娩を取り扱っている	分娩は取り扱っていない	無回答
487	471	13	3
100.0	96.7	2.7	0.6

(2) 単科・複数の診療科別

分娩取扱施設のうち、「単科の診療所」が 81.3%（383 施設）と大半を占めており、「複数の診療科を有する診療所」は 13.6%（64 施設）であった。

図表 59 単科・複数の診療科別

上段：回答数
下段：割合（%）

全体	単科の診療所	複数の診療科を有する診療所	無回答
471	383	64	24
100.0	81.3	13.6	5.1

(3) 施設全体における看護職員の実人数（平成 28 年 8 月 1 日時点）

分娩取扱施設のうち、施設全体における看護職員実人数については、「11～15 人」が 29.3%（138 施設）で最も多く、次いで「16～20 人」27.0%（127 施設）、「6～10 人」と「21～25 人」が 14.0%（66 施設）であった。

図表 60 施設全体における看護職員の実人数

上段：回答数
下段：割合（%）

全体	0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26～30人	31人以上	無回答
471 100.0	0 0.0	4 0.8	66 14.0	138 29.3	127 27.0	66 14.0	31 6.6	30 6.4	9 1.9

施設全体の助産師の実人数について、全体では「7～10 人」が 27.8%（131 施設）で最も多く、次いで「11～15 人」20.6%（97 施設）、「4～6 人」20.4%（96 施設）であった。

図表 61 施設全体の助産師免許保持者の実人数

上段：回答数
下段：割合（%）

全体	0人	1～3人	4～6人	7～10人	11～15人	16～20人	21人以上	無回答
471 100.0	8 1.7	90 19.1	96 20.4	131 27.8	97 20.6	24 5.1	15 3.2	10 2.1

施設全体のアドバンス助産師数について、全体では「0 人」65.4%（308 施設）で最も多く、次いで「1～3 人」15.3%（72 施設）、「4～6 人」3.6%（17 施設）であった。

図表 62 施設全体のアドバンス助産師の実人数

上段：回答数
下段：割合（%）

全体	0人	1～3人	4～6人	7～10人	11～15人	16～20人	21人以上	無回答
471 100.0	308 65.4	72 15.3	17 3.6	10 2.1	3 0.6	1 0.2	0 0.0	60 12.7

分娩取扱施設のうち、施設全体における看護職員の実人数について1施設当たり平均人数をみると、平均18.2人であった。

そのうち、助産師は、1施設当たり平均8.3人、アドバンス助産師は1施設当たり平均0.8人であった。

図表 63 施設全体の看護職員数（平均）

	回答数	施設全体の職員数（人）	1施設当たり平均人数（人）
施設全体の看護職員数	462	8,427	18.2
助産師免許保持者数	461	3,803	8.3
アドバンス助産師数	411	325	0.8

（４）分娩件数の状況

分娩取扱施設のうち、平成27年度の年間分娩件数は「201～300件」が20.8%（98施設）で最も多く、次いで「301～400件」18.5%（87施設）、「101～200件」14.2%（67施設）であった。

図表 64 平成27年度の分娩件数

上段：回答数
下段：割合（%）

全体	0件	1～50件	51～100件	101～200件	201～300件	301～400件	401～500件	501～600件	601～700件	701～800件	80～900件	9001～10000件	1001件以上	無回答
471	2	4	10	67	98	87	63	38	41	23	10	4	10	14
100.0	0.4	0.8	2.1	14.2	20.8	18.5	13.4	8.1	8.7	4.9	2.1	0.8	2.1	3.0

分娩取扱施設のうち、平成27年度の予定帝王切開術件数は「11～20件」が15.7%（74施設）で最も多く、次いで「21～30件」14.6%（69施設）、「31～40件」11.0%（52施設）であった。

図表 65 平成27年度の予定帝王切開術件数

上段：回答数
下段：割合（%）

全体	0件	1～10件	11～20件	21～30件	31～40件	41～50件	51～60件	61～70件	71～80件	81～90件	91～100件	101件以上	無回答
471	26	44	74	69	52	49	38	19	14	14	10	15	47
100.0	5.5	9.3	15.7	14.6	11.0	10.4	8.1	4.0	3.0	3.0	2.1	3.2	10.0

分娩取扱施設のうち、平成27年度の緊急帝王切開術件数は「1～10件」が29.7%（140施設）で最も多く、次いで「11～20件」22.3%（105施設）、「21～30件」12.5%（59施設）であった。

図表 66 平成27年度の緊急帝王切開術件数

上段：回答数
下段：割合（%）

全体	0件	1～10件	11～20件	21～30件	31～40件	41～50件	51～60件	61～70件	71～80件	81～90件	91～100件	101件以上	無回答
471	32	140	105	59	39	26	10	7	6	7	5	11	24
100.0	6.8	29.7	22.3	12.5	8.3	5.5	2.1	1.5	1.3	1.5	1.1	2.3	5.1

分娩取扱施設のうち、平成27年度の未妊健分娩件数は「0件」が90.7%（427施設）で最も多く、次いで「1～10件」3.4%（16施設）、「11件以上」0.2%（1施設）であった。

図表 67 平成27年度の未妊健分娩件数

上段：回答数
下段：割合（%）

全体	0件	1～10件	11件以上	無回答
471	427	16	1	27
100.0	90.7	3.4	0.2	5.7

(5) 過去3年間の分娩件数の状況

分娩取扱施設のうち、最近3年間の分娩件数の状況は「分娩件数に大きな変化はない」が41.8%（197施設）で最も多く、次いで「分娩件数は減少傾向にある」36.7%（173施設）、「分娩件数は増加傾向にある」17.4%（82施設）であった。

図表 68 最近3年間の分娩件数の状況

全体	分娩件数は増加傾向にある	分娩件数に大きな変化はない	分娩件数は減少傾向にある	その他	上段：回答数 下段：割合（%）	
					無回答	
471	82	197	173	3	16	
100.0	17.4	41.8	36.7	0.6	3.4	

「分娩件数は減少傾向にある」と回答した診療所の理由は、「地域の妊産婦の減少」が57.8%（100施設）で最も多く、次いで「他の医療機関の新設・集中」43.4%（75施設）、「分娩件数の受け入れ増加による制限実施」1.7%（3施設）であった。

図表 69 分娩件数が減少傾向にある理由（複数回答）

全体	地域の妊産婦の減少	分娩件数の受け入れ増加による制限実施	他の医療機関の新設・集中	その他	上段：回答数 下段：割合（%）	
					無回答	
173	100	3	75	13	11	
100.0	57.8	1.7	43.4	7.5	6.4	

【その他】の具体的内容：

分娩件数が減少傾向にある理由のうち「その他」の主な内容（n=13）は以下の通りであった。

- ・医師の高齢化、体調不良等（5件）
- ・わからない（3件）
- ・その他（4件）：施設の老朽化、他施設への紹介、無痛分娩希望者の増加等

「分娩件数は増加傾向にある」と回答した診療所の理由は、「他の医療機関の産科廃止」が 57.3% (47 施設) で最も多く、次いで「地域の妊産婦の増加」20.7% (17 施設) であった。

図表 70 分娩件数が増加傾向にある理由（複数回答）

上段：回答数
下段：割合（%）

全体	地域の妊産婦の増加	他の医療機関の産科廃止	その他	無回答
82	17	47	22	4
100.0	20.7	57.3	26.8	4.9

【その他】の具体的内容：

分娩件数が増加傾向にある理由のうち「その他」に記載のあった内容（n=20）は以下の通りであった。

- ・新規に開業（6 件）
- ・施設の改装・新築（5 件）
- ・病床数を増加（2 件）
- ・無痛分娩の再開・増加（2 件）
- ・その他（7 件）：産科医の増員、里帰り分娩の増加、他施設が移転をしたため等

(6) 専門的自律能力の育成に関する研修の実施状況

分娩取扱施設のうち、専門的自律能力の育成に関する研修を実施している診療所は、「接遇」に関する研修が最も多く 42.5% (200 施設)、次いで「コミュニケーション」21.7% (102 施設)、「企画力」7.6% (36 施設)、「意思決定支援」7.0% (33 施設)、「コーディネーション」6.8% (32 施設)であった。

図表 71 専門的自律能力の育成に関する研修の実施状況

上段：回答数
下段：割合 (%)

	全体	実施している	実施していない	無回答
① デイネーション	471 100.0	32 6.8	397 84.3	42 8.9
②	471 100.0	33 7.0	398 84.5	40 8.5
③	471 100.0	200 42.5	245 52.0	26 5.5
④	471 100.0	36 7.6	394 83.7	41 8.7
⑤ ユニケーション	471 100.0	102 21.7	331 70.3	38 8.1

2. ウィメンズヘルスケアの提供状況

1) 総合・地域周産期母子医療センター・一般病院におけるウィメンズヘルスケアの提供状況

(1) ウィメンズヘルスケア能力(案) 11項目の提供状況

本調査において回答のあった 684 病院における WHC 能力(案)の 11 項目(以下、11 項目)における実施状況は、「妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援」が 84.8% (580 施設)で最も多く、次いで「家族計画の支援」79.5% (544 施設)、「産前・産後のメンタルヘルスケア」77.2% (528 施設)であった。

また、11 項目を実施していると回答した施設のうち、相談等を受け付ける窓口・体制が「ある」施設の割合は、「妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援」が 69.7% (404 施設)で最も多く、次いで「産前・産後以外のメンタルヘルスケア」69.3% (169 施設)、「子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援」69.2% (322 施設)であった。

相談等を受け付ける窓口・体制があると回答した病院で、助産師の関わりがある施設は、「妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援」が 97.3% (393 施設)で最も多く、次いで「産前・産後のメンタルヘルスケア」95.9% (329 施設)、「家族計画の支援」95.0% (249 施設)であった。

助産師の関わりがあると回答した病院における助産師の所属について、「月経異常や月経障害等の支援(更年期指導含む)」のみ「婦人科外来」が最も多く 68.7% (68 施設)、その他の 10 項目では、「産科外来」が最も多く 50%以上であった。

また、助産師の関わりがあると回答した病院における助産師の保有資格をみると、11 項目全てにおいて「リプロヘルス・サポーター(受胎調節実地指導員)」の割合が高く、「家族計画の支援」54.6% (136 施設)が特に高かった。

実施している 11 項目の支援対象者は、全ての項目について「本人(女性)」が最も多く 90%を超えており、次いで「夫・パートナー」、「その他家族」が続いた。なお、「夫・パートナー」を支援対象としている施設の割合は「妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援」66.9% (388 施設)で最も多く、次いで「子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援」66.2% (308 施設)、「不妊・不育の悩みを持つ女性の支援」60.8% (177 施設)であった。

実施している 11 項目について、他機関等との連携状況についてみると、「連携のための定期的な会議が設けられている」と回答した施設は「子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援」で 34.8% (162 施設)と最も多く、次いで「妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援」で 25.0% (145 施設)、「産前・産後のメンタルヘルスケア」で 19.1% (101 施設)であった。

「家族計画の支援」「不妊、不育の悩みを持つ女性の支援」「性感染症の支援」「月経異常や月経障害等の支援(更年期指導含む)」「多様な性の支援」については、「特に連携していない」が 40%以上であった。

図表 72 ウィメンズヘルスケア能力（案）11項目の提供状況

		(1) 実施の有無				(2) (1) で実施していると回答した施設のうち、相談等を受け付ける窓口・体制の有無				(3) (2) で窓口・体制があると回答した施設のうち、助産師の関わりの有無				(4) ①(3) で助産師が関わっていると回答した施設のうち、助産師の所属（複数回答）					
		全体	実施している	実施していない	無回答	全体	ある	ない	無回答	全体	関わっている	関わっていない	無回答	全体	婦人科病棟	産科外来	婦人科外来	その他	無回答
①家族計画の支援	n	684	544	96	44	544	262	260	22	262	249	8	5	249	142	164	90	74	2
	%	100.0	79.5	14.0	6.4	100.0	48.2	47.8	4.0	100.0	95.0	3.1	1.9	100.0	57.0	65.9	36.1	29.7	0.8
②不妊、不育の悩みを持つ女性の支援	n	684	291	328	65	291	193	90	8	193	113	80	0	113	44	63	59	28	2
	%	100.0	42.5	48.0	9.5	100.0	66.3	30.9	2.7	100.0	58.5	41.5	0.0	100.0	38.9	55.8	52.2	24.8	1.8
③性感染症の支援	n	684	304	315	65	304	172	123	9	172	114	58	0	114	55	81	67	25	1
	%	100.0	44.4	46.1	9.5	100.0	56.6	40.5	3.0	100.0	66.3	33.7	0.0	100.0	48.2	71.1	58.8	21.9	0.9
④月経異常や月経障害等の支援（更年期指導含む）	n	684	308	311	65	308	187	113	8	187	99	87	1	99	42	57	68	16	2
	%	100.0	45.0	45.5	9.5	100.0	60.7	36.7	2.6	100.0	52.9	46.5	0.5	100.0	42.4	57.6	68.7	16.2	2.0
⑤女性に対する暴力予防の支援	n	684	239	378	67	239	149	80	10	149	117	30	2	117	60	78	64	42	2
	%	100.0	34.9	55.3	9.8	100.0	62.3	33.5	4.2	100.0	78.5	20.1	1.3	100.0	51.3	66.7	54.7	35.9	1.7
⑥予期せぬ妊娠をした女性の支援	n	684	399	224	61	399	230	153	16	230	202	26	2	202	85	148	74	54	6
	%	100.0	58.3	32.7	8.9	100.0	57.6	38.3	4.0	100.0	87.8	11.3	0.9	100.0	42.1	73.3	36.6	26.7	3.0
⑦多様な性の支援	n	684	94	512	78	94	53	37	4	53	41	12	0	41	17	28	22	10	0
	%	100.0	13.7	74.9	11.4	100.0	56.4	39.4	4.3	100.0	77.4	22.6	0.0	100.0	41.5	68.3	53.7	24.4	0.0
⑧産前・産後のメンタルヘルスケア	n	684	528	110	46	528	343	153	32	343	329	13	1	329	161	240	88	116	7
	%	100.0	77.2	16.1	6.7	100.0	65.0	29.0	6.1	100.0	95.9	3.8	0.3	100.0	48.9	72.9	26.7	35.3	2.1
⑨産前・産後以外のメンタルヘルスケア	n	684	244	371	69	244	169	66	9	169	127	41	1	127	70	87	46	39	3
	%	100.0	35.7	54.2	10.1	100.0	69.3	27.0	3.7	100.0	75.1	24.3	0.6	100.0	55.1	68.5	36.2	30.7	2.4
⑩妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援	n	684	580	66	38	580	404	137	39	404	393	8	3	393	191	281	95	135	10
	%	100.0	84.8	9.6	5.6	100.0	69.7	23.6	6.7	100.0	97.3	2.0	0.7	100.0	48.6	71.5	24.2	34.4	2.5
⑪子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援	n	684	465	163	56	465	322	114	29	322	295	24	3	295	135	201	75	129	11
	%	100.0	68.0	23.8	8.2	100.0	69.2	24.5	6.2	100.0	91.6	7.5	0.9	100.0	45.8	68.1	25.4	43.7	3.7

上段：回答数
下段：割合（％）

(4) ② (3) で助産師が関わっていると回答した施設のうち、助産師の保有資格（複数回答）													(5) (1) で実施していると回答した施設のうち、支援の対象者						(6) (1) で実施していると回答した施設のうち、支援での他機関等との連携状況								
全体	母性看護専門看護師	師不妊症看護認定看護師	体外受精コーディネーター	不妊外来カウンセラー	認定遺伝カウンセラー	実地指導員（受胎調節）	ポリプロタルン（ヘルス・サロ）	ラクトン・シオン	性暴力被害者支援看護	思春期保健相談士	ラモノーズカウンセラー	日本糖尿病療養指導士	その他	無回答	全体	本人（女性）	夫・パートナー	その他家族	その他	無回答	全体	連携している会議が設けられた定期的	連携しているに	個別してに	特に連携していない	その他	無回答
249	13	10	14	0	136	22	6	33	1	7	11	74	544	508	265	46	3	28	544	8	167	290	7	84			
100.0	5.2	4.0	5.6	0.0	54.6	8.8	2.4	13.3	0.4	2.8	4.4	29.7	100.0	93.4	48.7	8.5	0.6	5.1	100.0	1.5	30.7	53.3	1.3	15.4			
113	6	31	19	0	33	6	0	10	0	2	7	35	291	275	177	14	1	12	291	8	116	123	4	46			
100.0	5.3	27.4	16.8	0.0	29.2	5.3	0.0	8.8	0.0	1.8	6.2	31.0	100.0	94.5	60.8	4.8	0.3	4.1	100.0	2.7	39.9	42.3	1.4	15.8			
114	6	6	4	0	43	10	1	23	0	2	8	45	304	286	169	12	5	14	304	5	88	166	2	47			
100.0	5.3	5.3	3.5	0.0	37.7	8.8	0.9	20.2	0.0	1.8	7.0	39.5	100.0	94.1	55.6	3.9	1.6	4.6	100.0	1.6	28.9	54.6	0.7	15.5			
99	4	5	3	0	36	8	1	15	1	3	3	49	308	296	30	17	1	11	308	4	79	181	1	46			
100.0	4.0	5.1	3.0	0.0	36.4	8.1	1.0	15.2	1.0	3.0	3.0	49.5	100.0	96.1	9.7	5.5	0.3	3.6	100.0	1.3	25.6	58.8	0.3	14.9			
117	11	4	5	0	30	8	11	13	0	1	11	59	239	221	56	65	4	17	239	45	180	19	4	22			
100.0	9.4	3.4	4.3	0.0	25.6	6.8	9.4	11.1	0.0	0.9	9.4	50.4	100.0	92.5	23.4	27.2	1.7	7.1	100.0	18.8	75.3	7.9	1.7	9.2			
202	9	8	7	0	83	12	5	22	0	5	14	93	399	375	167	161	1	22	399	47	279	63	4	43			
100.0	4.5	4.0	3.5	0.0	41.1	5.9	2.5	10.9	0.0	2.5	6.9	46.0	100.0	94.0	41.9	40.4	0.3	5.5	100.0	11.8	69.9	15.8	1.0	10.8			
41	4	4	2	0	13	3	0	7	0	0	2	17	94	87	24	19	3	4	94	6	42	38	2	10			
100.0	9.8	9.8	4.9	0.0	31.7	7.3	0.0	17.1	0.0	0.0	4.9	41.5	100.0	92.6	25.5	20.2	3.2	4.3	100.0	6.4	44.7	40.4	2.1	10.6			
329	17	5	8	0	103	30	3	32	2	8	29	177	528	486	306	269	8	38	528	101	413	21	14	55			
100.0	5.2	1.5	2.4	0.0	31.3	9.1	0.9	9.7	0.6	2.4	8.8	53.8	100.0	92.0	58.0	50.9	1.5	7.2	100.0	19.1	78.2	4.0	2.7	10.4			
127	9	1	2	0	36	8	1	10	0	2	11	71	244	225	126	102	6	15	244	32	165	33	3	30			
100.0	7.1	0.8	1.6	0.0	28.3	6.3	0.8	7.9	0.0	1.6	8.7	55.9	100.0	92.2	51.6	41.8	2.5	6.1	100.0	13.1	67.6	13.5	1.2	12.3			
393	23	5	12	0	114	43	5	34	1	10	40	212	580	526	388	370	12	46	580	145	450	14	11	62			
100.0	5.9	1.3	3.1	0.0	29.0	10.9	1.3	8.7	0.3	2.5	10.2	53.9	100.0	90.7	66.9	63.8	2.1	7.9	100.0	25.0	77.6	2.4	1.9	10.7			
295	21	5	7	0	86	25	8	25	1	7	30	161	465	427	308	286	16	31	465	162	351	4	10	40			
100.0	7.1	1.7	2.4	0.0	29.2	8.5	2.7	8.5	0.3	2.4	10.2	54.6	100.0	91.8	66.2	61.5	3.4	6.7	100.0	34.8	75.5	0.9	2.2	8.6			

(2) 周産期医療機能別にみたウィメンズヘルスケアの実施状況

① 家族計画の支援

周産期医療機能別みた「家族計画の支援」の実施状況は、総合周産期母子医療センターでは 88.2% (75 施設)、地域周産期母子医療センターでは 82.7% (162 施設)、一般病院では 76.7% (257 施設) であった。

「家族計画の支援」を実施している施設のうち、相談等を受け付ける窓口・体制がある施設は、総合周産期母子医療センターでは 54.7% (41 施設)、地域周産期母子医療センターでは 46.3% (75 施設)、一般病院では 47.5% (122 施設) であった。

また、相談等を受け付ける窓口・体制がある施設のうち、助産師が関わっている施設は総合周産期母子医療センターでは 90.2% (37 施設)、地域周産期母子医療センターでは 97.3% (73 施設)、一般病院では 95.1% (116 施設) であった。

図表 73 周産期医療機能別にみた「家族計画の支援」の実施状況

上段：回答数
下段：割合 (%)

		(1) 実施の有無				(2) (1) で実施していると回答した施設のうち、相談等を受け付ける窓口・体制の有無				(3) (2) で窓口・体制があると回答した施設の助産師の関わりの有無			
		全体	実施している	実施していない	無回答	全体	ある	ない	無回答	全体	関わっている	関わっていない	無回答
総合周産期母子医療センター	n	85	75	8	2	75	41	34	0	41	37	3	1
	%	100.0	88.2	9.4	2.4	100.0	54.7	45.3	0.0	100.0	90.2	7.3	2.4
地域周産期母子医療センター	n	196	162	22	12	162	75	82	5	75	73	2	0
	%	100.0	82.7	11.2	6.1	100.0	46.3	50.6	3.1	100.0	97.3	2.7	0.0
一般病院	n	335	257	54	24	257	122	120	15	122	116	3	3
	%	100.0	76.7	16.1	7.2	100.0	47.5	46.7	5.8	100.0	95.1	2.5	2.5
無回答	n	68	50	12	6	50	24	24	2	24	23	0	1
	%	100.0	73.5	17.6	8.8	100.0	48.0	48.0	4.0	100.0	95.8	0.0	4.2

※「実施の有無」、「相談等を受け付ける窓口・体制の有無」、「助産師の関わりの有無」のそれぞれについて、有効回答のあったものについてトレンド検定を行ったところ、周産期医療機能別に有意な差は見られなかった。

②不妊、不育の悩みを持つ女性の支援

周産期医療機能別にみた「不妊、不育の悩みを持つ女性の支援」の実施状況は、総合周産期母子医療センターでは56.5%（48施設）、地域周産期母子医療センターでは43.9%（86施設）、一般病院では39.1%（131施設）であった。

実施している施設のうち、相談等を受け付ける窓口・体制がある施設は、総合周産期母子医療センターでは77.1%（37施設）、地域周産期母子医療センターでは72.1%（62施設）、一般病院では61.1%（80施設）であった。

また、相談等を受け付ける窓口・体制がある施設のうち、助産師が関わっている施設は、総合周産期母子医療センターでは64.9%（24施設）、地域周産期母子医療センターでは59.7%（37施設）、一般病院では57.5%（46施設）であった。

図表 74 周産期医療機能別にみた「不妊、不育の悩みを持つ女性の支援」の実施状況

		(1) 実施の有無				(2) (1) で実施していると回答した施設のうち、相談等を受け付ける窓口・体制の有無				(3) (2) で窓口・体制があると回答した施設の助産師の関わりの有無			
		全 体	実 施 し て い る	実 施 し て い な い	無 回 答	全 体	あ る	な い	無 回 答	全 体	関 わ っ て い る	関 わ っ て い な い	無 回 答
総合周産期母子医療センター	n %	85 100.0	48 56.5	32 37.6	5 5.9	48 100.0	37 77.1	9 18.8	2 4.2	37 100.0	24 64.9	13 35.1	0 0.0
地域周産期母子医療センター	n %	196 100.0	86 43.9	95 48.5	15 7.7	86 100.0	62 72.1	23 26.7	1 1.2	62 100.0	37 59.7	25 40.3	0 0.0
一般病院	n %	335 100.0	131 39.1	165 49.3	39 11.6	131 100.0	80 61.1	47 35.9	4 3.1	80 100.0	46 57.5	34 42.5	0 0.0
無回答	n %	68 100.0	26 38.2	36 52.9	6 8.8	26 100.0	14 53.8	11 42.3	1 3.8	14 100.0	6 42.9	8 57.1	0 0.0

※「実施の有無」、「相談等を受け付ける窓口・体制の有無」、「助産師の関わりの有無」のそれぞれについて、有効回答のあったものについてトレンド検定を行ったところ、「実施の有無」については周産期医療機能別に有意な差が見られた ($p<0.05$)。

③性感染症の支援

周産期医療機能別にみた「性感染症の支援」の実施状況は、総合周産期母子医療センターでは42.4%（36施設）、地域周産期母子医療センターでは46.4%（91施設）、一般病院では42.7%（143施設）であった。

実施している施設のうち、相談等を受け付ける窓口・体制がある施設は、総合周産期母子医療センターでは66.7%（24施設）、地域周産期母子医療センターでは58.2%（53施設）、一般病院では54.5%（78施設）であった。

また、相談等を受け付ける窓口・体制がある施設のうち、助産師が関わっている施設は、総合周産期母子医療センターでは62.5%（15施設）、地域周産期母子医療センターでは62.3%（33施設）、一般病院では67.9%（53施設）であった。

図表 75 周産期医療機能別にみた「性感染症の支援」の実施状況

上段：回答数
下段：割合（%）

		(1) 実施の有無				(2) (1)で実施していると回答した施設のうち、相談等を受け付ける窓口・体制の有無				(3) (2)で窓口・体制があると回答した施設の助産師の関わりの有無			
		全体	実施している	実施していない	無回答	全体	ある	ない	無回答	全体	関わっている	関わっていない	無回答
総合周産期母子医療センター	n	85	36	45	4	36	24	12	0	24	15	9	0
	%	100.0	42.4	52.9	4.7	100.0	66.7	33.3	0.0	100.0	62.5	37.5	0.0
地域周産期母子医療センター	n	196	91	91	14	91	53	36	2	53	33	20	0
	%	100.0	46.4	46.4	7.1	100.0	58.2	39.6	2.2	100.0	62.3	37.7	0.0
一般病院	n	335	143	154	38	143	78	60	5	78	53	25	0
	%	100.0	42.7	46.0	11.3	100.0	54.5	42.0	3.5	100.0	67.9	32.1	0.0
無回答	n	68	34	25	9	34	17	15	2	17	13	4	0
	%	100.0	50.0	36.8	13.2	100.0	50.0	44.1	5.9	100.0	76.5	23.5	0.0

※「実施の有無」、「相談等を受け付ける窓口・体制の有無」、「助産師の関わりの有無」のそれぞれについて、有効回答のあったものについてトレンド検定を行ったところ、周産期医療機能別に有意な差は見られなかった。

④月経異常や月経障害等の支援（更年期障害等含む）

周産期医療機能別にみた「月経異常や月経障害等の支援（更年期障害等含む）」の実施状況は、総合周産期母子医療センターでは47.1%（40施設）、地域周産期母子医療センターでは46.4%（91施設）、一般病院では43.6%（146施設）であった。

実施している施設のうち、相談等を受け付ける窓口・体制がある施設は、総合周産期母子医療センターでは72.5%（29施設）、地域周産期母子医療センターでは62.6%（57施設）、一般病院では58.9%（86施設）であった。

また、相談等を受け付ける窓口・体制がある施設のうち、助産師が関わっている施設は、総合周産期母子医療センターでは41.4%（12施設）、地域周産期母子医療センターでは45.6%（26施設）、一般病院では60.5%（52施設）であった。

図表 76 周産期医療機能別にみた「月経異常や月経障害等の支援（更年期障害等含む）」の実施状況

上段：回答数
下段：割合（%）

		(1) 実施の有無				(2) (1) で実施していると回答した施設のうち、相談等を受け付ける窓口・体制の有無				(3) (2) で窓口・体制があると回答した施設の助産師の関わりの有無			
		全体	実施している	実施していない	無回答	全体	ある	ない	無回答	全体	関わっている	関わっていない	無回答
総合周産期母子医療センター	n	85	40	40	5	40	29	11	0	29	12	17	0
	%	100.0	47.1	47.1	5.9	100.0	72.5	27.5	0.0	100.0	41.4	58.6	0.0
地域周産期母子医療センター	n	196	91	91	14	91	57	32	2	57	26	31	0
	%	100.0	46.4	46.4	7.1	100.0	62.6	35.2	2.2	100.0	45.6	54.4	0.0
一般病院	n	335	146	150	39	146	86	57	3	86	52	33	1
	%	100.0	43.6	44.8	11.6	100.0	58.9	39.0	2.1	100.0	60.5	38.4	1.2
無回答	n	68	31	30	7	31	15	13	3	15	9	6	0
	%	100.0	45.6	44.1	10.3	100.0	48.4	41.9	9.7	100.0	60.0	40.0	0.0

※「実施の有無」、「相談等を受け付ける窓口・体制の有無」、「助産師の関わりの有無」のそれぞれについて、有効回答のあったものについてトレンド検定を行ったところ、周産期医療機能別に有意な差は見られなかった。

⑤女性に対する暴力予防の支援

周産期医療機能別にみた「女性に対する暴力予防の支援」の実施状況は、総合周産期母子医療センターでは43.5%（37施設）、地域周産期母子医療センターでは39.3%（77施設）、一般病院では31.6%（106施設）であった。

実施している施設のうち、相談等を受け付ける窓口・体制がある施設は、総合周産期母子医療センターでは75.7%（28施設）、地域周産期母子医療センターでは59.7%（46施設）、一般病院では61.3%（65施設）であった。

また、相談等を受け付ける窓口・体制がある施設のうち、助産師が関わっている施設は、総合周産期母子医療センターでは78.6%（22施設）、地域周産期母子医療センターでは80.4%（37施設）、一般病院では73.8%（48施設）であった。

図表 77 周産期医療機能別にみた「女性に対する暴力予防の支援」の実施状況

上段：回答数
下段：割合（%）

		(1) 実施の有無				(2) (1) で実施していると回答した施設のうち、相談等を受け付ける窓口・体制の有無				(3) (2) で窓口・体制があると回答した施設の助産師の関わりの有無			
		全体	実施している	実施していない	無回答	全体	ある	ない	無回答	全体	関わっている	関わっていない	無回答
総合周産期母子医療センター	n	85	37	44	4	37	28	9	0	28	22	6	0
	%	100.0	43.5	51.8	4.7	100.0	75.7	24.3	0.0	100.0	78.6	21.4	0.0
地域周産期母子医療センター	n	196	77	104	15	77	46	27	4	46	37	9	0
	%	100.0	39.3	53.1	7.7	100.0	59.7	35.1	5.2	100.0	80.4	19.6	0.0
一般病院	n	335	106	189	40	106	65	37	4	65	48	15	2
	%	100.0	31.6	56.4	11.9	100.0	61.3	34.9	3.8	100.0	73.8	23.1	3.1
無回答	n	68	19	41	8	19	10	7	2	10	10	0	0
	%	100.0	27.9	60.3	11.8	100.0	52.6	36.8	10.5	100.0	100.0	0.0	0.0

※「実施の有無」、「相談等を受け付ける窓口・体制の有無」、「助産師の関わりの有無」のそれぞれについて、有効回答のあったものについてトレンド検定を行ったところ、周産期医療機能別に有意な差は見られなかった。

⑥ 予期せぬ妊娠をした女性の支援

周産期医療機能別にみた「予期せぬ妊娠をした女性の支援」の実施状況は、総合周産期母子医療センターでは 68.2% (58 施設)、地域周産期母子医療センターでは 63.8% (125 施設)、一般病院では 53.7% (180 施設) であった。

実施している施設のうち、相談等を受け付ける窓口・体制がある施設は、総合周産期母子医療センターでは 63.8% (37 施設)、地域周産期母子医療センターでは 56.8% (71 施設)、一般病院では 56.1% (101 施設) であった。

また、相談等を受け付ける窓口・体制がある施設のうち、助産師が関わっている施設は、総合周産期母子医療センターでは 91.9% (34 施設)、地域周産期母子医療センターでは 85.9% (61 施設)、一般病院では 86.1% (87 施設) であった。

図表 78 周産期医療機能別にみた「予期せぬ妊娠をした女性の支援」の実施状況

上段：回答数
下段：割合 (%)

		(1) 実施の有無				(2) (1) で実施していると回答した施設のうち、相談等を受け付ける窓口・体制の有無				(3) (2) で窓口・体制があると回答した施設の助産師の関わりの有無			
		全体	実施している	実施していない	無回答	全体	ある	ない	無回答	全体	関わっている	関わっていない	無回答
総合周産期母子医療センター	n	85	58	21	6	58	37	20	1	37	34	2	1
	%	100.0	68.2	24.7	7.1	100.0	63.8	34.5	1.7	100.0	91.9	5.4	2.7
地域周産期母子医療センター	n	196	125	57	14	125	71	49	5	71	61	9	1
	%	100.0	63.8	29.1	7.1	100.0	56.8	39.2	4.0	100.0	85.9	12.7	1.4
一般病院	n	335	180	122	33	180	101	72	7	101	87	14	0
	%	100.0	53.7	36.4	9.9	100.0	56.1	40.0	3.9	100.0	86.1	13.9	0.0
無回答	n	68	36	24	8	36	21	12	3	21	20	1	0
	%	100.0	52.9	35.3	11.8	100.0	58.3	33.3	8.3	100.0	95.2	4.8	0.0

※「実施の有無」、「相談等を受け付ける窓口・体制の有無」、「助産師の関わりの有無」のそれぞれについて、有効回答のあったものについてトレンド検定を行ったところ、「実施の有無」については周産期医療機能別に有意な差が見られた ($p<0.05$)。

⑦多様な性の支援

周産期医療機能別にみた「多様な性の支援」の実施状況は、総合周産期母子医療センターでは 17.6%（15 施設）、地域周産期母子医療センターでは 14.3%（28 施設）、一般病院では 12.5%（42 施設）であった。

実施している施設のうち、相談等を受け付ける窓口・体制がある施設は、総合周産期母子医療センターでは 86.7%（13 施設）、地域周産期母子医療センターでは 50.0%（14 施設）、一般病院では 52.4%（22 施設）であった。

また、相談等を受け付ける窓口・体制がある施設のうち、助産師が関わっている施設は、総合周産期母子医療センターでは 61.5%（8 施設）、地域周産期母子医療センターでは 78.6%（11 施設）、一般病院では 86.4%（19 施設）であった。

図表 79 周産期医療機能別にみた「多様な性の支援」の実施状況

上段：回答数
下段：割合（%）

		(1) 実施の有無				(2) (1) で実施していると回答した施設のうち、相談等を受け付ける窓口・体制の有無				(3) (2) で窓口・体制があると回答した施設の助産師の関りの有無			
		全体	実施している	実施していない	無回答	全体	ある	ない	無回答	全体	関わっている	関わっていない	無回答
総合周産期母子医療センター	n	85	15	64	6	15	13	2	0	13	8	5	0
	%	100.0	17.6	75.3	7.1	100.0	86.7	13.3	0.0	100.0	61.5	38.5	0.0
地域周産期母子医療センター	n	196	28	151	17	28	14	12	2	14	11	3	0
	%	100.0	14.3	77.0	8.7	100.0	50.0	42.9	7.1	100.0	78.6	21.4	0.0
一般病院	n	335	42	247	46	42	22	18	2	22	19	3	0
	%	100.0	12.5	73.7	13.7	100.0	52.4	42.9	4.8	100.0	86.4	13.6	0.0
無回答	n	68	9	50	9	9	4	5	0	4	3	1	0
	%	100.0	13.2	73.5	13.2	100.0	44.4	55.6	0.0	100.0	75.0	25.0	0.0

※「実施の有無」、「相談等を受け付ける窓口・体制の有無」、「助産師の関りの有無」のそれぞれについて、有効回答のあったものについてトレンド検定を行ったところ、周産期医療機能別に有意な差は見られなかった。

⑧産前・産後のメンタルヘルスケア

周産期医療機能別にみた「産前・産後のメンタルヘルスケア」の実施状況は、総合周産期母子医療センターでは 85.9% (73 施設)、地域周産期母子医療センターでは 79.1% (155 施設)、一般病院では 74.6% (250 施設) であった。

実施している施設のうち、相談等を受け付ける窓口・体制がある施設は、総合周産期母子医療センターでは 72.6% (53 施設)、地域周産期母子医療センターでは 67.7% (105 施設)、一般病院では 62.0% (155 施設) であった。

また、相談等を受け付ける窓口・体制がある施設のうち、助産師が関わっている施設は、総合周産期母子医療センターでは 90.6% (48 施設)、地域周産期母子医療センターでは 95.2% (100 施設)、一般病院では 98.1% (152 施設) であった。

図表 80 周産期医療機能別にみた「産前・産後のメンタルヘルスケア」の実施状況

上段：回答数
下段：割合 (%)

		(1) 実施の有無				(2) (1) で実施していると回答した施設のうち、相談等を受け付ける窓口・体制の有無				(3) (2) で窓口・体制があると回答した施設の助産師の関わりの有無			
		全体	実施している	実施していない	無回答	全体	ある	ない	無回答	全体	関わっている	関わっていない	無回答
総合周産期母子医療センター	n	85	73	8	4	73	53	17	3	53	48	4	1
	%	100.0	85.9	9.4	4.7	100.0	72.6	23.3	4.1	100.0	90.6	7.5	1.9
地域周産期母子医療センター	n	196	155	31	10	155	105	43	7	105	100	5	0
	%	100.0	79.1	15.8	5.1	100.0	67.7	27.7	4.5	100.0	95.2	4.8	0.0
一般病院	n	335	250	60	25	250	155	75	20	155	152	3	0
	%	100.0	74.6	17.9	7.5	100.0	62.0	30.0	8.0	100.0	98.1	1.9	0.0
無回答	n	68	50	11	7	50	30	18	2	30	29	1	0
	%	100.0	73.5	16.2	10.3	100.0	60.0	36.0	4.0	100.0	96.7	3.3	0.0

※「実施の有無」、「相談等を受け付ける窓口・体制の有無」、「助産師の関わりの有無」のそれぞれについて、有効回答のあったものについてトレンド検定を行ったところ、周産期医療機能別に有意な差は見られなかった。

⑨産前・産後以外のメンタルヘルスケア

周産期医療機能別にみた「産前・産後以外のメンタルヘルスケア」の実施状況は、総合周産期母子医療センターでは48.2%（41施設）、地域周産期母子医療センターでは33.2%（65施設）、一般病院では34.9%（117施設）であった。

実施している施設のうち、相談等を受け付ける窓口・体制がある施設は、総合周産期母子医療センターでは82.9%（34施設）、地域周産期母子医療センターでは70.8%（46施設）、一般病院では63.2%（74施設）であった。

また、相談等を受け付ける窓口・体制がある施設のうち、助産師が関わっている施設は、総合周産期母子医療センターでは61.8%（21施設）、地域周産期母子医療センターでは67.4%（31施設）、一般病院では83.8%（62施設）であった。

図表 81 周産期医療機能別にみた「産前・産後以外のメンタルヘルスケア」の実施状況

上段：回答数
下段：割合（%）

		(1) 実施の有無				(2) (1) で実施していると回答した施設のうち、相談等を受け付ける窓口・体制の有無				(3) (2) で窓口・体制があると回答した施設の助産師の関わりの有無			
		全体	実施している	実施していない	無回答	全体	ある	ない	無回答	全体	関わっている	関わっていない	無回答
総合周産期母子医療センター	n	85	41	39	5	41	34	5	2	34	21	12	1
	%	100.0	48.2	45.9	5.9	100.0	82.9	12.2	4.9	100.0	61.8	35.3	2.9
地域周産期母子医療センター	n	196	65	116	15	65	46	17	2	46	31	15	0
	%	100.0	33.2	59.2	7.7	100.0	70.8	26.2	3.1	100.0	67.4	32.6	0.0
一般病院	n	335	117	178	40	117	74	39	4	74	62	12	0
	%	100.0	34.9	53.1	11.9	100.0	63.2	33.3	3.4	100.0	83.8	16.2	0.0
無回答	n	68	21	38	9	21	15	5	1	15	13	2	0
	%	100.0	30.9	55.9	13.2	100.0	71.4	23.8	4.8	100.0	86.7	13.3	0.0

※「実施の有無」、「相談等を受け付ける窓口・体制の有無」、「助産師の関わりの有無」のそれぞれについて、有効回答のあったものについてトレンド検定を行ったところ、「相談等を受け付ける窓口・体制」「助産師の関わりの有無」については周産期医療機能別に有意な差が見られた（ $p<0.05$ ）。

⑩妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援

周産期医療機能別にみた「妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援」の実施状況は、総合周産期母子医療センターでは92.9%（79施設）、地域周産期母子医療センターでは90.3%（177施設）、一般病院では81.2%（272施設）であった。

実施している施設のうち、相談等を受け付ける窓口・体制がある施設は、総合周産期母子医療センターでは79.7%（63施設）、地域周産期母子医療センターでは74.0%（131施設）、一般病院では64.3%（175施設）であった。

また、相談等を受け付ける窓口・体制がある施設のうち、助産師が関わっている施設は、総合周産期母子医療センターでは93.7%（59施設）、地域周産期母子医療センターでは96.9%（127施設）、一般病院では98.3%（172施設）であった。

図表 82 周産期医療機能別にみた

「妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援」の実施状況

上段：回答数
下段：割合（%）

		(1) 実施の有無				(2) (1) で実施していると回答した施設のうち、相談等を受け付ける窓口・体制の有無				(3) (2) で窓口・体制があると回答した施設の助産師の関わりの有無			
		全体	実施している	実施していない	無回答	全体	ある	ない	無回答	全体	関わっている	関わっていない	無回答
総合周産期母子医療センター	n	85	79	3	3	79	63	11	5	63	59	2	2
	%	100.0	92.9	3.5	3.5	100.0	79.7	13.9	6.3	100.0	93.7	3.2	3.2
地域周産期母子医療センター	n	196	177	11	8	177	131	35	11	131	127	4	0
	%	100.0	90.3	5.6	4.1	100.0	74.0	19.8	6.2	100.0	96.9	3.1	0.0
一般病院	n	335	272	42	21	272	175	78	19	175	172	2	1
	%	100.0	81.2	12.5	6.3	100.0	64.3	28.7	7.0	100.0	98.3	1.1	0.6
無回答	n	68	52	10	6	52	35	13	4	35	35	0	0
	%	100.0	76.5	14.7	8.8	100.0	67.3	25.0	7.7	100.0	100.0	0.0	0.0

※「実施の有無」、「相談等を受け付ける窓口・体制の有無」、「助産師の関わりの有無」のそれぞれについて、有効回答のあったものについてトレンド検定を行ったところ、「実施の有無」「相談等を受け付ける窓口・体制の有無」ともに、周産期医療機能別に有意な差が見られた（ $p<0.05$ ）。

⑪子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援

周産期医療機能別にみた「子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援」の実施状況は、総合周産期母子医療センターでは84.7%（72施設）、地域周産期母子医療センターでは74.5%（146施設）、一般病院では63.6%（213施設）であった。

実施している施設のうち、相談等を受け付ける窓口・体制がある施設は、総合周産期母子医療センターでは79.2%（57施設）、地域周産期母子医療センターでは74.0%（108施設）、一般病院では62.4%（133施設）であった。

また、相談等を受け付ける窓口・体制がある施設のうち、助産師が関わっている施設は、総合周産期母子医療センターでは89.5%（51施設）、地域周産期母子医療センターでは90.7%（98施設）、一般病院では94.0%（125施設）であった。

図表 83 周産期医療機能別にみた
「子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援」の実施状況

上段：回答数
下段：割合（%）

		(1) 実施の有無				(2) (1) で実施していると回答した施設のうち、相談等を受け付ける窓口・体制の有無				(3) (2) で窓口・体制があると回答した施設の助産師の関わりの有無			
		全体	実施している	実施していない	無回答	全体	ある	ない	無回答	全体	関わっている	関わっていない	無回答
総合周産期母子医療センター	n	85	72	10	3	72	57	9	6	57	51	5	1
	%	100.0	84.7	11.8	3.5	100.0	79.2	12.5	8.3	100.0	89.5	8.8	1.8
地域周産期母子医療センター	n	196	146	38	12	146	108	29	9	108	98	10	0
	%	100.0	74.5	19.4	6.1	100.0	74.0	19.9	6.2	100.0	90.7	9.3	0.0
一般病院	n	335	213	89	33	213	133	68	12	133	125	8	0
	%	100.0	63.6	26.6	9.9	100.0	62.4	31.9	5.6	100.0	94.0	6.0	0.0
無回答	n	68	34	26	8	34	24	8	2	24	21	1	2
	%	100.0	50.0	38.2	11.8	100.0	70.6	23.5	5.9	100.0	87.5	4.2	8.3

※「実施の有無」、「相談等を受け付ける窓口・体制の有無」、「助産師の関わりの有無」のそれぞれについて、有効回答のあったものについてトレンド検定を行ったところ、「実施の有無」「相談等を受け付ける窓口・体制の有無」ともに、周産期医療機能別に有意な差が見られた（ $p<0.05$ ）。

(3) 女性に対する支援の内容に関連した普及啓発の実施状況

本調査において回答のあった 684 病院における、女性に対する支援の内容に関連した普及啓発の実施状況は、「妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援」が 41.5% (284 施設) で最も多く、次いで「家族計画の支援」40.1% (274 施設)、「産前・産後のメンタルヘルスケア」38.9% (266 施設) であった。

また、普及啓発を実施している 11 項目について、助産師が関わっていると回答した施設は、「家族計画の支援」が 94.2% (258 施設) で最も多く、次いで「妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援」92.3% (262 施設)、「産前・産後のメンタルヘルスケア」91.4% (243 施設) であった。

普及啓発の方法では、「多様な性の支援」の項目を除く 10 項目で「個人指導」が最も多く 60% を超えていた。また、「集団指導 (院内)」では、「家族計画の支援」が 53.3% (146 施設) で最も多く、次いで、「妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援」が 28.5% (81 施設)、「産前・産後のメンタルヘルス」28.2% (75 施設) であった。

啓発の対象としては、全ての項目において「受診者」が最も多く、「性感染症の支援」「月経異常や月経障害等の支援 (更年期指導含む)」「多様な性の支援」を除く項目で 90% を超えていた。「中学生」や「高校生」の割合が 20% を超えていたのは、「性感染症の支援」「多様な性の支援」であった。

普及啓発の実施主体は、全ての 11 項目において「自施設」が最も多く、「性感染症の支援」「女性に対する暴力予防の支援」「多様な性の支援」を除く 8 項目が 70% を超えていた。実施主体の割合で 20% を超えていたのは、「保健所」の「女性に対する暴力予防の支援」26.6% (45 施設) と、「学校」の「性感染症の支援」26.3% (42 施設)、「多様な性の支援」30.2% (13 施設) であった。その他、「性感染症の支援」では「学校」が 26.3% (42 施設)、「多様な性の支援」では「学校」が 30.2% (13 施設) と、他の支援に比べて高い傾向がみられた。

普及啓発に要する費用は、いずれの 11 項目においても「医療機関の持ち出し」が最も多く、「女性に対する暴力予防の支援」を除く項目で、40% を超えていた。

図表 84 女性に対する支援の内容に関連した普及啓発の実施状況

		(1) 実施の有無				(2) (1) で実施していると回答した施設のうち、助産師の関わりの有無				(3) (1) で実施していると回答した施設のうち、啓発方法 (複数回答)						
		全体	実施している	実施していない	無回答	全体	関わっている	関わっていない	無回答	全体	個人指導	集団指導 (院内)	集団指導 (院外)	知啓発資料の作成・周知	その他	無回答
①家族計画の支援	n	684	274	304	106	274	258	8	8	274	189	146	17	31	3	7
	%	100.0	40.1	44.4	15.5	100.0	94.2	2.9	2.9	100.0	69.0	53.3	6.2	11.3	1.1	2.6
②不妊、不育の悩みを持つ女性の支援	n	684	159	403	122	159	98	54	7	159	110	19	1	27	7	22
	%	100.0	23.2	58.9	17.8	100.0	61.6	34.0	4.4	100.0	69.2	11.9	0.6	17.0	4.4	13.8
③性感染症の支援	n	684	160	392	132	160	121	31	8	160	100	16	37	22	8	16
	%	100.0	23.4	57.3	19.3	100.0	75.6	19.4	5.0	100.0	62.5	10.0	23.1	13.8	5.0	10.0
④月経異常や月経障害等の支援 (更年期指導含む)	n	684	137	413	134	137	85	44	8	137	94	7	16	15	5	20
	%	100.0	20.0	60.4	19.6	100.0	62.0	32.1	5.8	100.0	68.6	5.1	11.7	10.9	3.6	14.6
⑤女性に対する暴力予防の支援	n	684	169	390	125	169	109	53	7	169	102	6	8	50	9	19
	%	100.0	24.7	57.0	18.3	100.0	64.5	31.4	4.1	100.0	60.4	3.6	4.7	29.6	5.3	11.2
⑥予期せぬ妊娠をした女性の支援	n	684	160	404	120	160	126	27	7	160	125	6	10	20	6	12
	%	100.0	23.4	59.1	17.5	100.0	78.8	16.9	4.4	100.0	78.1	3.8	6.3	12.5	3.8	7.5
⑦多様な性の支援	n	684	43	496	145	43	33	5	5	43	25	2	11	5	0	6
	%	100.0	6.3	72.5	21.2	100.0	76.7	11.6	11.6	100.0	58.1	4.7	25.6	11.6	0.0	14.0
⑧産前・産後のメンタルヘルスケア	n	684	266	309	109	266	243	11	12	266	219	75	1	28	4	16
	%	100.0	38.9	45.2	15.9	100.0	91.4	4.1	4.5	100.0	82.3	28.2	0.4	10.5	1.5	6.0
⑨産前・産後以外のメンタルヘルスケア	n	684	120	432	132	120	93	17	10	120	86	17	2	8	1	21
	%	100.0	17.5	63.2	19.3	100.0	77.5	14.2	8.3	100.0	71.7	14.2	1.7	6.7	0.8	17.5
⑩妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援	n	684	284	298	102	284	262	12	10	284	243	81	4	34	5	17
	%	100.0	41.5	43.6	14.9	100.0	92.3	4.2	3.5	100.0	85.6	28.5	1.4	12.0	1.8	6.0
⑪子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援	n	684	234	332	118	234	204	21	9	234	184	33	4	38	8	18
	%	100.0	34.2	48.5	17.3	100.0	87.2	9.0	3.8	100.0	78.6	14.1	1.7	16.2	3.4	7.7

上段：回答数
下段：割合（％）

(4) (1) で実施していると回答した施設のうち、啓発の対象（複数回答）										(5) (1) で実施していると回答した施設のうち、実施主体（複数回答）								(6) (1) で実施していると回答した施設のうち、普及啓発に要する費用（複数回答）					
全体	受診者	地域住民	中学生	高校生	大学生・専門学校等の生徒	社会人・女性（成熟期・更年期）	その他	無回答	全体	自施設	自治体（保健所含む）	学校	地域（町内会、婦人会等）	企業、NPO等	職能団体	その他	無回答	全体	医療機関の持出し	対象者から徴収	委託元から徴収	その他	無回答
259	235	7	27	19	6	5	17	7	274	228	7	17	0	2	2	11	28	274	161	39	12	29	43
100.0	90.7	2.7	10.4	7.3	2.3	1.9	6.6	2.7	100.0	83.2	2.6	6.2	0.0	0.7	0.7	4.0	10.2	100.0	58.8	14.2	4.4	10.6	15.7
115	110	7	1	1	2	2	5	3	159	125	16	2	0	4	3	2	18	159	84	22	10	22	25
100.0	95.7	6.1	0.9	0.9	1.7	1.7	4.3	2.6	100.0	78.6	10.1	1.3	0.0	2.5	1.9	1.3	11.3	100.0	52.8	13.8	6.3	13.8	15.7
128	100	3	49	44	12	4	4	5	160	104	11	42	2	5	6	1	19	160	66	21	31	21	35
100.0	78.1	2.3	38.3	34.4	9.4	3.1	3.1	3.9	100.0	65.0	6.9	26.3	1.3	3.1	3.8	0.6	11.9	100.0	41.3	13.1	19.4	13.1	21.9
105	90	8	18	15	5	9	0	2	137	102	7	13	3	8	1	4	19	137	67	14	17	14	32
100.0	85.7	7.6	17.1	14.3	4.8	8.6	0.0	1.9	100.0	74.5	5.1	9.5	2.2	5.8	0.7	2.9	13.9	100.0	48.9	10.2	12.4	10.2	23.4
107	98	8	9	10	3	2	1	4	169	104	45	8	1	12	5	3	24	169	65	11	23	37	41
100.0	91.6	7.5	8.4	9.3	2.8	1.9	0.9	3.7	100.0	61.5	26.6	4.7	0.6	7.1	3.0	1.8	14.2	100.0	38.5	6.5	13.6	21.9	24.3
132	120	4	12	14	2	3	4	5	160	113	17	12	1	5	1	1	24	160	74	17	11	26	37
100.0	90.9	3.0	9.1	10.6	1.5	2.3	3.0	3.8	100.0	70.6	10.6	7.5	0.6	3.1	0.6	0.6	15.0	100.0	46.3	10.6	6.9	16.3	23.1
35	25	3	9	11	2	0	3	0	43	25	3	13	2	3	1	0	9	43	20	4	6	4	12
100.0	71.4	8.6	25.7	31.4	5.7	0.0	8.6	0.0	100.0	58.1	7.0	30.2	4.7	7.0	2.3	0.0	20.9	100.0	46.5	9.3	14.0	9.3	27.9
240	227	8	1	0	0	1	8	9	266	214	24	3	1	4	4	6	34	266	150	38	9	26	55
100.0	94.6	3.3	0.4	0.0	0.0	0.4	3.3	3.8	100.0	80.5	9.0	1.1	0.4	1.5	1.5	2.3	12.8	100.0	56.4	14.3	3.4	9.8	20.7
96	92	5	3	2	1	2	3	2	120	89	12	3	1	3	4	3	21	120	68	15	3	11	29
100.0	95.8	5.2	3.1	2.1	1.0	2.1	3.1	2.1	100.0	74.2	10.0	2.5	0.8	2.5	3.3	2.5	17.5	100.0	56.7	12.5	2.5	9.2	24.2
258	247	14	0	0	1	1	10	8	284	233	39	1	4	6	2	5	30	284	170	35	9	32	54
100.0	95.7	5.4	0.0	0.0	0.4	0.4	3.9	3.1	100.0	82.0	13.7	0.4	1.4	2.1	0.7	1.8	10.6	100.0	59.9	12.3	3.2	11.3	19.0
193	186	8	2	1	0	1	9	4	234	180	40	1	3	3	2	2	28	234	129	22	16	27	48
100.0	96.4	4.1	1.0	0.5	0.0	0.5	4.7	2.1	100.0	76.9	17.1	0.4	1.3	1.3	0.9	0.9	12.0	100.0	55.1	9.4	6.8	11.5	20.5

(4) 周産期医療機能別にみた女性に対する支援の内容に関連した普及啓発の実施状況

① 家族計画の支援

周産期医療機能別にみた「家族計画の支援」に関連した普及啓発の実施状況は、総合周産期母子医療センターでは37.6%（32施設）、地域周産期母子医療センターでは43.9%（86施設）、一般病院では40.6%（136施設）であった。

実施している施設のうち、助産師が関わっている施設は、総合周産期母子医療センターでは90.6%（29施設）、地域周産期母子医療センターでは96.5%（83施設）、一般病院では92.6%（126施設）であった。

図表 85 周産期医療機能別にみた「家族計画の支援」に関連した普及啓発の実施状況

		(1) 実施の有無				(2) (1) で実施していると回答した施設のうち、助産師の関わりの有無			
		全体	実施している	実施していない	無回答	全体	関わっている	関わっていない	無回答
総合周産期母子医療センター	n	85	32	40	13	32	29	1	2
	%	100.0	37.6	47.1	15.3	100.0	90.6	3.1	6.3
地域周産期母子医療センター	n	196	86	79	31	86	83	1	2
	%	100.0	43.9	40.3	15.8	100.0	96.5	1.2	2.3
一般病院	n	335	136	148	51	136	126	6	4
	%	100.0	40.6	44.2	15.2	100.0	92.6	4.4	2.9
無回答	n	68	20	37	11	20	20	0	0
	%	100.0	29.4	54.4	16.2	100.0	100.0	0.0	0.0

上段：回答数
下段：割合（%）

② 不妊、不育の悩みを持つ女性の支援

周産期医療機能別にみた「不妊、不育の悩みを持つ女性の支援」に関連した普及啓発の実施状況は、総合周産期母子医療センターでは22.4%（19施設）、地域周産期母子医療センターでは24.0%（47施設）、一般病院では23.3%（78施設）であった。

実施している施設のうち、助産師が関わっている施設は、総合周産期母子医療センターでは63.2%（12施設）、地域周産期母子医療センターでは66.0%（31施設）、一般病院では59.0%（46施設）であった。

図表 86 周産期医療機能別にみた「不妊、不育の悩みを持つ女性の支援」に関連した普及啓発の実施状況

		(1) 実施の有無				(2) (1) で実施していると回答した施設のうち、助産師の関わりの有無			
		全体	実施している	実施していない	無回答	全体	関わっている	関わっていない	無回答
総合周産期母子医療センター	n	85	19	52	14	19	12	6	1
	%	100.0	22.4	61.2	16.5	100.0	63.2	31.6	5.3
地域周産期母子医療センター	n	196	47	121	28	47	31	14	2
	%	100.0	24.0	61.7	14.3	100.0	66.0	29.8	4.3
一般病院	n	335	78	189	68	78	46	28	4
	%	100.0	23.3	56.4	20.3	100.0	59.0	35.9	5.1
無回答	n	68	15	41	12	15	9	6	0
	%	100.0	22.1	60.3	17.6	100.0	60.0	40.0	0.0

上段：回答数
下段：割合（%）

③性感染症の支援

周産期医療機能別にみた「性感染症の支援」に関連した普及啓発の実施状況は、総合周産期母子医療センターでは15.3%（13施設）、地域周産期母子医療センターでは27.0%（53施設）、一般病院では24.2%（81施設）であった。

実施している施設のうち、助産師が関わっている施設は、総合周産期母子医療センターでは76.9%（10施設）、地域周産期母子医療センターでは79.2%（42施設）、一般病院では70.4%（57施設）であった。

図表 87 周産期医療機能別にみた「性感染症の支援」に関連した普及啓発の実施状況

上段：回答数
下段：割合（%）

		(1) 実施の有無				(2) (1) で実施していると回答した施設のうち、助産師の関わりの有無			
		全体	実施している	実施していない	無回答	全体	関わっている	関わっていない	無回答
総合周産期母子医療センター	n	85	13	52	20	13	10	2	1
	%	100.0	15.3	61.2	23.5	100.0	76.9	15.4	7.7
地域周産期母子医療センター	n	196	53	114	29	53	42	9	2
	%	100.0	27.0	58.2	14.8	100.0	79.2	17.0	3.8
一般病院	n	335	81	184	70	81	57	19	5
	%	100.0	24.2	54.9	20.9	100.0	70.4	23.5	6.2
無回答	n	68	13	42	13	13	12	1	0
	%	100.0	19.1	61.8	19.1	100.0	92.3	7.7	0.0

④月経異常や月経障害等の支援（更年期障害等含む）

周産期医療機能別の「月経異常や月経障害等の支援（更年期障害等含む）」に関連した普及啓発の実施状況は、総合周産期母子医療センターでは11.8%（10施設）、地域周産期母子医療センターでは19.4%（38施設）、一般病院では23.3%（78施設）であった。

実施している施設のうち、助産師が関わっている施設は、総合周産期母子医療センターでは70.0%（7施設）、地域周産期母子医療センターでは68.4%（26施設）、一般病院では56.4%（44施設）であった。

図表 88 周産期医療機能別にみた「月経異常や月経障害等の支援（更年期障害等含む）」に関連した普及啓発の実施状況

上段：回答数
下段：割合（%）

		(1) 実施の有無				(2) (1) で実施していると回答した施設のうち、助産師の関わりの有無			
		全体	実施している	実施していない	無回答	全体	関わっている	関わっていない	無回答
総合周産期母子医療センター	n	85	10	56	19	10	7	2	1
	%	100.0	11.8	65.9	22.4	100.0	70.0	20.0	10.0
地域周産期母子医療センター	n	196	38	128	30	38	26	10	2
	%	100.0	19.4	65.3	15.3	100.0	68.4	26.3	5.3
一般病院	n	335	78	186	71	78	44	29	5
	%	100.0	23.3	55.5	21.2	100.0	56.4	37.2	6.4
無回答	n	68	11	43	14	11	8	3	0
	%	100.0	16.2	63.2	20.6	100.0	72.7	27.3	0.0

⑤女性に対する暴力予防の支援

周産期医療機能別にみた「女性に対する暴力予防の支援」に関連した普及啓発の実施状況は、総合周産期母子医療センターでは27.1%（23施設）、地域周産期母子医療センターでは23.0%（45施設）、一般病院では26.0%（87施設）であった。

実施している施設のうち、助産師が関わっている施設は、総合周産期母子医療センターでは65.2%（15施設）、地域周産期母子医療センターでは64.4%（29施設）、一般病院では62.1%（54施設）であった。

図表 89 周産期医療機能別の「女性に対する暴力予防の支援」に関連した普及啓発の実施状況

上段：回答数
下段：割合（%）

		(1) 実施の有無				(2) (1) で実施していると回答した施設のうち、助産師の関わりの有無			
		全体	実施している	実施していない	無回答	全体	関わっている	関わっていない	無回答
総合周産期母子医療センター	n	85	23	48	14	23	15	7	1
	%	100.0	27.1	56.5	16.5	100.0	65.2	30.4	4.3
地域周産期母子医療センター	n	196	45	119	32	45	29	14	2
	%	100.0	23.0	60.7	16.3	100.0	64.4	31.1	4.4
一般病院	n	335	87	183	65	87	54	29	4
	%	100.0	26.0	54.6	19.4	100.0	62.1	33.3	4.6
無回答	n	68	14	40	14	14	11	3	0
	%	100.0	20.6	58.8	20.6	100.0	78.6	21.4	0.0

⑥予期せぬ妊娠をした女性の支援

周産期医療機能別の「予期せぬ妊娠をした女性の支援」に関連した普及啓発の実施状況は、総合周産期母子医療センターでは24.7%（21施設）、地域周産期母子医療センターでは21.9%（43施設）、一般病院では24.2%（81施設）であった。

実施している施設のうち、助産師が関わっている施設は、総合周産期母子医療センターでは85.7%（18施設）、地域周産期母子医療センターでは74.4%（32施設）、一般病院では75.3%（61施設）であった。

図表 90 周産期医療機能別の「予期せぬ妊娠をした女性の支援」に関連した普及啓発の実施状況

上段：回答数
下段：割合（%）

		(1) 実施の有無				(2) (1) で実施していると回答した施設のうち、助産師の関わりの有無			
		全体	実施している	実施していない	無回答	全体	関わっている	関わっていない	無回答
総合周産期母子医療センター	n	85	21	52	12	21	18	2	1
	%	100.0	24.7	61.2	14.1	100.0	85.7	9.5	4.8
地域周産期母子医療センター	n	196	43	123	30	43	32	9	2
	%	100.0	21.9	62.8	15.3	100.0	74.4	20.9	4.7
一般病院	n	335	81	187	67	81	61	16	4
	%	100.0	24.2	55.8	20.0	100.0	75.3	19.8	4.9
無回答	n	68	15	42	11	15	15	0	0
	%	100.0	22.1	61.8	16.2	100.0	100.0	0.0	0.0

⑦多様な性の支援

周産期医療機能別にみた「多様な性の支援」に関連した普及啓発の実施状況は、総合周産期母子医療センターでは8.2%（7施設）、地域周産期母子医療センターでは7.1%（14施設）、一般病院では5.4%（18施設）であった。

実施している施設のうち、助産師が関わっている施設は、総合周産期母子医療センターでは71.4%（5施設）、地域周産期母子医療センターでは78.6%（11施設）、一般病院では72.2%（13施設）であった。

図表 91 周産期医療機能別にみた多様な性の支援に関連した普及啓発の実施状況

上段：回答数
下段：割合（%）

		(1) 実施の有無				(2) (1) で実施していると回答した施設のうち、助産師の関わりの有無			
		全体	実施している	実施していない	無回答	全体	関わっている	関わっていない	無回答
総合周産期母子医療センター	n	85	7	60	18	7	5	1	1
	%	100.0	8.2	70.6	21.2	100.0	71.4	14.3	14.3
地域周産期母子医療センター	n	196	14	148	34	14	11	2	1
	%	100.0	7.1	75.5	17.3	100.0	78.6	14.3	7.1
一般病院	n	335	18	240	77	18	13	2	3
	%	100.0	5.4	71.6	23.0	100.0	72.2	11.1	16.7
無回答	n	68	4	48	16	4	4	0	0
	%	100.0	5.9	70.6	23.5	100.0	100.0	0.0	0.0

⑧産前・産後のメンタルヘルスケア

周産期医療機能別にみた「産前・産後のメンタルヘルスケア」に関連した普及啓発の実施状況は、総合周産期母子医療センターでは40.0%（34施設）、地域周産期母子医療センターでは35.7%（70施設）、一般病院では40.9%（137施設）であった。

実施している施設のうち、助産師が関わっている施設は、総合周産期母子医療センターでは88.2%（30施設）、地域周産期母子医療センターでは92.9%（65施設）、一般病院では89.8%（123施設）であった。

図表 92 周産期医療機能別の「産前・産後のメンタルヘルスケア」に関連した普及啓発の実施状況

上段：回答数
下段：割合（%）

		(1) 実施の有無				(2) (1) で実施していると回答した施設のうち、助産師の関わりの有無			
		全体	実施している	実施していない	無回答	全体	関わっている	関わっていない	無回答
総合周産期母子医療センター	n	85	34	39	12	34	30	3	1
	%	100.0	40.0	45.9	14.1	100.0	88.2	8.8	2.9
地域周産期母子医療センター	n	196	70	100	26	70	65	2	3
	%	100.0	35.7	51.0	13.3	100.0	92.9	2.9	4.3
一般病院	n	335	137	139	59	137	123	6	8
	%	100.0	40.9	41.5	17.6	100.0	89.8	4.4	5.8
無回答	n	68	25	31	12	25	25	0	0
	%	100.0	36.8	45.6	17.6	100.0	100.0	0.0	0.0

⑨産前・産後以外のメンタルヘルスケア

周産期医療機能別にみた「産前・産後以外のメンタルヘルスケア」に関連した普及啓発の実施状況は、総合周産期母子医療センターでは16.5%（14施設）、地域周産期母子医療センターでは16.3%（32施設）、一般病院では18.5%（62施設）であった。

実施している施設のうち、助産師が関わっている施設は、総合周産期母子医療センターでは71.4%（10施設）、地域周産期母子医療センターでは68.8%（22施設）、一般病院では80.6%（50施設）であった。

図表 93 周産期医療機能別にみた

「産前・産後以外のメンタルヘルスケア」に関連した普及啓発の実施状況

上段：回答数
下段：割合（%）

		(1) 実施の有無				(2) (1) で実施していると回答した施設のうち、助産師の関わりの有無			
		全体	実施している	実施していない	無回答	全体	関わっている	関わっていない	無回答
総合周産期母子医療センター	n	85	14	54	17	14	10	3	1
	%	100.0	16.5	63.5	20.0	100.0	71.4	21.4	7.1
地域周産期母子医療センター	n	196	32	131	33	32	22	8	2
	%	100.0	16.3	66.8	16.8	100.0	68.8	25.0	6.3
一般病院	n	335	62	204	69	62	50	5	7
	%	100.0	18.5	60.9	20.6	100.0	80.6	8.1	11.3
無回答	n	68	12	43	13	12	11	1	0
	%	100.0	17.6	63.2	19.1	100.0	91.7	8.3	0.0

⑩妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援

周産期医療機能別にみた「妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援」に関連した普及啓発の実施状況は、総合周産期母子医療センターでは 37.6%（32 施設）、地域周産期母子医療センターでは 41.8%（82 施設）、一般病院では 41.8%（140 施設）であった。

実施している施設のうち、助産師が関わっている施設は、総合周産期母子医療センターでは 93.8%（30 施設）、地域周産期母子医療センターでは 92.7%（76 施設）、一般病院では 90.7%（127 施設）であった。

図表 94 周産期医療機能別にみた

「妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援」に関連した普及啓発の実施状況

上段：回答数
下段：割合（%）

		(1) 実施の有無				(2) (1) で実施していると回答した施設のうち、助産師の関わりの有無			
		全体	実施している	実施していない	無回答	全体	関わっている	関わっていない	無回答
総合周産期母子医療センター	n	85	32	43	10	32	30	1	1
	%	100.0	37.6	50.6	11.8	100.0	93.8	3.1	3.1
地域周産期母子医療センター	n	196	82	87	27	82	76	3	3
	%	100.0	41.8	44.4	13.8	100.0	92.7	3.7	3.7
一般病院	n	335	140	140	55	140	127	7	6
	%	100.0	41.8	41.8	16.4	100.0	90.7	5.0	4.3
無回答	n	68	30	28	10	30	29	1	0
	%	100.0	44.1	41.2	14.7	100.0	96.7	3.3	0.0

⑪子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援

周産期医療機能別にみた「子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援」に関連した普及啓発の実施状況は、総合周産期母子医療センターでは 36.5% (31 施設)、地域周産期母子医療センターでは 35.7% (70 施設)、一般病院では 34.9% (117 施設) であった。

実施している施設のうち、助産師が関わっている施設は、総合周産期母子医療センターでは 87.1% (27 施設)、地域周産期母子医療センターでは 88.6% (62 施設)、一般病院では 85.5% (100 施設) であった。

図表 95 周産期医療機能別にみた

子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援に関連した普及啓発の実施状況

上段：回答数
下段：割合 (%)

		(1) 実施の有無				(2) (1) で実施していると回答した施設のうち、助産師の関わりの有無			
		全体	実施している	実施していない	無回答	全体	関わっている	関わっていない	無回答
総合周産期母子医療センター	n	85	31	43	11	31	27	3	1
	%	100.0	36.5	50.6	12.9	100.0	87.1	9.7	3.2
地域周産期母子医療センター	n	196	70	98	28	70	62	6	2
	%	100.0	35.7	50.0	14.3	100.0	88.6	8.6	2.9
一般病院	n	335	117	154	64	117	100	11	6
	%	100.0	34.9	46.0	19.1	100.0	85.5	9.4	5.1
無回答	n	68	16	37	15	16	15	1	0
	%	100.0	23.5	54.4	22.1	100.0	93.8	6.3	0.0

2) 診療所における“助産師が担うウィメンズヘルスケア” 11 項目の提供状況

本調査において回答のあった 471 診療所における“助産師が担う WHC” 11 項目の実施状況は、「産前・産後のメンタルヘルスケア」が 76.4% (360 施設) で最も多く、次いで「家族計画の支援」と「月経異常や月経障害等の支援 (更年期指導を含む)」がそれぞれ 74.5% (351 施設)、「妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援」70.5% (332 施設) であった。

また、11 項目を実施していると回答した診療所において、支援に関わっている職種をみると、助産師が 80%以上関わっていた項目は「家族計画の支援」「産前・産後のメンタルヘルスケア」「妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援」「子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援」であった。一方で、「不妊・不育の悩みを持つ女性への支援」「性感染症の支援」「月経異常や月経障害等の支援 (更年期指導を含む)」では、助産師の関わりが 30%を下回っていた。

医師が 80%以上関わっていた項目は、「家族計画の支援」「産前・産後のメンタルヘルスケア」「妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援」「子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援」を除いた 7 項目であった。

図表 96 診療所におけるウィメンズヘルスケアの提供状況

上段：回答数
下段：割合 (%)

		(1) 実施の有無				(2) (1) で実施していると回答した施設のうち、支援に関わっている職種 (複数回答)						
		全体	実施している	実施していない	無回答	全体	医師	看護師	助産師	准看護師	その他	無回答
① 家族計画の支援	n	471	351	64	56	351	252	170	286	102	1	2
	%	100.0	74.5	13.6	11.9	100.0	71.8	48.4	81.5	29.1	0.3	0.6
② 不妊・不育の悩みを持つ女性の支援	n	471	309	100	62	309	302	85	84	46	14	1
	%	100.0	65.6	21.2	13.2	100.0	97.7	27.5	27.2	14.9	4.5	0.3
③ 性感染症の支援	n	471	323	91	57	323	316	84	88	57	1	1
	%	100.0	68.6	19.3	12.1	100.0	97.8	26.0	27.2	17.6	0.3	0.3
④ 月経異常や月経障害等の支援 (更年期指導含む)	n	471	351	66	54	351	344	83	79	53	4	4
	%	100.0	74.5	14.0	11.5	100.0	98.0	23.6	22.5	15.1	1.1	1.1
⑤ 女性に対する暴力予防の支援	n	471	155	257	59	155	125	64	90	40	2	3
	%	100.0	32.9	54.6	12.5	100.0	80.6	41.3	58.1	25.8	1.3	1.9
⑥ 予期せぬ妊娠をした女性の支援	n	471	291	112	68	291	275	123	175	73	4	2
	%	100.0	61.8	23.8	14.4	100.0	94.5	42.3	60.1	25.1	1.4	0.7
⑦ 多様な性の支援	n	471	114	290	67	114	109	31	37	21	0	1
	%	100.0	24.2	61.6	14.2	100.0	95.6	27.2	32.5	18.4	0.0	0.9
⑧ 産前・産後のメンタルヘルスケア	n	471	360	56	55	360	257	236	327	152	14	6
	%	100.0	76.4	11.9	11.7	100.0	71.4	65.6	90.8	42.2	3.9	1.7
⑨ 産前・産後以外のメンタルヘルスケア	n	471	205	206	60	205	174	86	112	59	8	4
	%	100.0	43.5	43.7	12.7	100.0	84.9	42.0	54.6	28.8	3.9	2.0
⑩ 妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援	n	471	332	83	56	332	183	204	306	128	7	10
	%	100.0	70.5	17.6	11.9	100.0	55.1	61.4	92.2	38.6	2.1	3.0
⑪ 子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援	n	471	239	171	61	239	157	148	218	90	6	3
	%	100.0	50.7	36.3	13.0	100.0	65.7	61.9	91.2	37.7	2.5	1.3

3. 病院・診療所（分娩取扱施設）における助産ケア提供状況等

1) 助産外来の実施状況

(1) 助産外来の実施状況

①病院

助産外来を実施している病院は 57.7%（395 施設）であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは 63.5%（54 施設）、地域周産期母子医療センターでは 64.8%（127 施設）、一般病院では 52.8%（177 施設）であった。

図表 97 病院における助産外来の実施状況

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	実施している	以前実施していたが、現在は実施していない	一度も実施したことがない	無回答
全体	684 100.0	395 57.7	49 7.2	232 33.9	8 1.2
総合周産期母子医療センター	85 100.0	54 63.5	5 5.9	26 30.6	0 0.0
地域周産期母子医療センター	196 100.0	127 64.8	9 4.6	57 29.1	3 1.5
一般病院	335 100.0	177 52.8	31 9.3	122 36.4	5 1.5
無回答	68 100.0	37 54.4	4 5.9	27 39.7	0 0.0

②診療所

助産外来を実施している診療所は 25.5%（120 施設）であった。

図表 98 診療所における助産外来の実施状況

上段：回答数
下段：割合（%）

全体	実施している	以前実施していたが、現在は実施していない	一度も実施したことがない	無回答
471 100.0	120 25.5	18 3.8	326 69.2	7 1.5

(2) 助産外来の対象（利用条件）

①病院

助産外来を実施している病院の助産外来の対象（利用条件）は、「条件に該当する一部の妊産婦に実施」が 68.6%（271 施設）で最も多く、次いで「全員に実施」27.6%（109 施設）であった。

周産期医療機能別にみると、いずれの施設においても「条件に該当する一部の妊産婦に実施」が最も多く、総合周産期母子医療センターでは 77.8%（42 施設）、地域周産期母子医療センターでは 72.4%（92 施設）、一般病院では 63.8%（113 施設）であった。

図表 99 病院における助産外来の対象（利用条件）

	上段：回答数		下段：割合（%）		
	合計	全員に実施	条件に該当する一部の妊産婦に実施	その他	無回答
全体	395 100.0	109 27.6	271 68.6	5 1.3	10 2.5
総合周産期母子医療センター	54 100.0	9 16.7	42 77.8	0 0.0	3 5.6
地域周産期母子医療センター	127 100.0	32 25.2	92 72.4	2 1.6	1 0.8
一般病院	177 100.0	56 31.6	113 63.8	2 1.1	6 3.4
無回答	37 100.0	12 32.4	24 64.9	1 2.7	0 0.0

②診療所

助産外来を実施している病院の助産外来の対象（利用条件）は、「条件に該当する一部の妊産婦に実施」が 31.7%（38 施設）で最も多く、次いで「全員に実施」が 64.2%（77 施設）であった。

図表 100 診療所における助産外来の対象（利用条件）

全体	上段：回答数		下段：割合（%）	
	全員に実施	条件に該当する一部の妊産婦に実施	その他	無回答
120 100.0	77 64.2	38 31.7	5 4.2	0 0.0

(3) 助産外来の対象を「一部の妊産婦に実施する」具体的な条件

①病院

助産外来の対象を「一部の妊産婦に実施する」と回答した病院の具体的な条件については、「ローリスクの妊産婦」が77.1% (209 施設) 最も多く、次いで「助産外来を希望する妊産婦」62.4% (169 施設) であった。

周産期医療機能別にみると、いずれの施設においても「ローリスクの妊産婦」が最も多く、総合周産期母子医療センターでは85.7%(36 施設)、地域周産期母子医療センターでは81.5%(75 施設)、一般病院では69.9% (79 施設) であった。

図表 101 病院における助産外来の対象を「一部の妊産婦に実施する」具体的な条件（複数回答）

	合計	ローリスクの妊産婦	助産外来を希望する妊産婦	その他	無回答
全体	271 100.0	209 77.1	169 62.4	48 17.7	13 4.8
総合周産期母子医療センター	42 100.0	36 85.7	30 71.4	11 26.2	0 0.0
地域周産期母子医療センター	92 100.0	75 81.5	54 58.7	16 17.4	4 4.3
一般病院	113 100.0	79 69.9	71 62.8	18 15.9	8 7.1
無回答	24 100.0	19 79.2	14 58.3	3 12.5	1 4.2

上段：回答数
下段：割合 (%)

②診療所

助産外来の対象を「一部の妊産婦に実施する」と回答した診療所の具体的な条件については、「助産外来を希望する妊産婦」が73.7% (28 施設) 最も多く、次いで「ローリスクの妊産婦」36.8% (14 施設) であった。

図表 102 診療所における助産外来の対象を「一部の妊産婦に実施する」具体的な条件（複数回答）

	ローリスクの妊産婦	助産外来を希望する妊産婦	その他	無回答
全体	14 36.8	28 73.7	9 23.7	0 0.0

上段：回答数
下段：割合 (%)

(4) 助産外来に関わる助産師の人数（実人数）

①病院

助産外来に関わる助産師の実人数は、「6～10人」が最も多く37.0%（146施設）、次いで「11～15人」24.6%（97施設）、「1～5人」18.7%（74施設）であった。

周産期医療機能別にみると、いずれの施設においても「6～10人」が最も多く、総合周産期母子医療センターでは37.0%（20施設）、地域周産期母子医療センターでは30.7%（39施設）、一般病院では39.0%（69施設）であった。

図表 103 病院における助産外来に関わる助産師の実人数

	合計	上段：回答数 下段：割合（%）							
		0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26人以上	無回答
全体	395 100.0	0 0.0	74 18.7	146 37.0	97 24.6	31 7.8	18 4.6	9 2.3	20 5.1
総合周産期母子医療センター	54 100.0	0 0.0	8 14.8	20 37.0	11 20.4	5 9.3	4 7.4	1 1.9	5 9.3
地域周産期母子医療センター	127 100.0	0 0.0	19 15.0	39 30.7	31 24.4	15 11.8	10 7.9	3 2.4	10 7.9
一般病院	177 100.0	0 0.0	38 21.5	69 39.0	49 27.7	11 6.2	3 1.7	4 2.3	3 1.7
無回答	37 100.0	0 0.0	9 24.3	18 48.6	6 16.2	0 0.0	1 2.7	1 2.7	2 5.4

助産外来に関わるアドバンス助産師の実人数は、「1～5人」が41.5%（164施設）で最も多く、次いで「0人」と「6～10人」がそれぞれ22.3%（88施設）であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは「6～10人」が35.2%（19施設）で最も多く、次いで「1～5人」が31.5%（17施設）、「0人」が11.1%（6施設）であった。

地域周産期母子医療センターでは「1～5人」が40.9%（52施設）で最も多く、次いで「6～10人」21.3%（27施設）、「0人」22.8%（29施設）であった。

一般病院では「1～5人」が41.8%（74施設）で最も多く、次いで「0人」26.0%（46施設）、「6～10人」20.3%（36施設）であった。

図表 104 病院における助産外来に関わるアドバンス助産師の実人数

	合計	上段：回答数 下段：割合（%）							
		0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26人以上	無回答
全体	395 100.0	88 22.3	164 41.5	88 22.3	18 4.6	4 1.0	1 0.3	0 0.0	32 8.1
総合周産期母子医療センター	54 100.0	6 11.1	17 31.5	19 35.2	5 9.3	1 1.9	0 0.0	0 0.0	6 11.1
地域周産期母子医療センター	127 100.0	29 22.8	52 40.9	27 21.3	4 3.1	2 1.6	1 0.8	0 0.0	12 9.4
一般病院	177 100.0	46 26.0	74 41.8	36 20.3	8 4.5	1 0.6	0 0.0	0 0.0	12 6.8
無回答	37 100.0	7 18.9	21 56.8	6 16.2	1 2.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 5.4

②診療所

助産外来に関わる助産師の実人数は、「7～10人」が最も多く 37.5% (45 施設)、次いで「4～6人」18.3% (22 施設)、「11人以上」26.7% (32 施設) であった。

図表 105 診療所における助産外来に関わる助産師の実人数

上段：回答数
下段：割合 (%)

全体	1～3人	4～6人	7～10人	11人以上	無回答
120	19	22	45	32	2
100.0	15.8	18.3	37.5	26.7	1.7

助産外来に関わるアドバンス助産師の実人数は、「0人」が 58.3% (70 施設) で最も多く、次いで「1～3人」19.2% (23 施設)、「4～6人」9.2% (11 施設) であった。

図表 106 診療所における助産外来に関わるアドバンス助産師の実人数

上段：回答数
下段：割合 (%)

全体	0人	1～3人	4～6人	7～10人	11人以上	無回答
120	70	23	11	5	3	8
100.0	58.3	19.2	9.2	4.2	2.5	6.7

(5) 助産外来に関わる助産師の所属（病院）

助産外来に関わる助産師の所属は、「産科病棟」が 85.3%（337 施設）で最も多く、次いで「産科外来」35.9%（142 施設）、「婦人科病棟」11.6%（46 施設）であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは、「産科病棟」が 94.4%（51 施設）で最も多く、次いで「産科外来」27.8%（15 施設）、「婦人科病棟」5.6%（3 施設）であった。

地域周産期母子医療センターでは、「産科病棟」が 85.8%（109 施設）で最も多く、次いで「産科外来」41.7%（53 施設）、「婦人科病棟」12.6%（16 施設）であった。

一般病院では、「産科病棟」が 80.8%（143 施設）で最も多く、次いで「産科外来」35.6%（63 施設）、「婦人科病棟」13.0%（23 施設）であった。

図表 107 助産外来に関わる助産師の所属（病院）（複数回答）

	合計	産科病棟	婦人科病棟	産科外来	婦人科外来	小児科	その他	無回答	上段：回答数
									下段：割合（%）
全体	395 100.0	337 85.3	46 11.6	142 35.9	34 8.6	4 1.0	52 13.2	3 0.8	
総合周産期母子医療センター	54 100.0	51 94.4	3 5.6	15 27.8	2 3.7	1 1.9	7 13.0	1 1.9	
地域周産期母子医療センター	127 100.0	109 85.8	16 12.6	53 41.7	10 7.9	0 0.0	15 11.8	2 1.6	
一般病院	177 100.0	143 80.8	23 13.0	63 35.6	18 10.2	3 1.7	28 15.8	0 0.0	
無回答	37 100.0	34 91.9	4 10.8	11 29.7	4 10.8	0 0.0	2 5.4	0 0.0	

(6) 助産外来に関わる助産師の要件（病院）

助産外来に関わる助産師の要件では、「助産師として一定の経験年数を満たしていること」が 94.4%（373 施設）で最も多く、次いで「特定の研修プログラムを修了していること」27.3%（108 施設）であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは、「助産師として一定の経験年数を満たしていること」が 92.6%（50 施設）で最も多く、次いで「特定の研修プログラムを修了していること」31.5%（17 施設）であった。

地域周産期母子医療センターでは、「助産師として一定の経験年数を満たしていること」が 94.5%（120 施設）で最も多く、次いで「特定の研修プログラムを修了していること」33.9%（43 施設）であった。

一般病院では、「助産師として一定の経験年数を満たしていること」が 94.4%（167 施設）で最も多く、次いで「特定の研修プログラムを修了していること」23.2%（41 施設）であった。

図表 108 助産外来に関わる助産師の要件（病院）（複数回答）

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	助産師として一定の経験年数を満たしていること	特定の研修プログラムを修了していること	その他	無回答
全体	395 100.0	373 94.4	108 27.3	20 5.1	4 1.0
総合周産期母子医療センター	54 100.0	50 92.6	17 31.5	6 11.1	1 1.9
地域周産期母子医療センター	127 100.0	120 94.5	43 33.9	5 3.9	2 1.6
一般病院	177 100.0	167 94.4	41 23.2	8 4.5	1 0.6
無回答	37 100.0	36 97.3	7 18.9	1 2.7	0 0.0

(7) 助産外来を実施していない場合の導入・再開の条件

①病院

助産外来を実施していない病院における導入・再開の条件は、「助産師の確保」が最も多く 82.2% (231 施設)、次いで「他職種の理解・協力」58.7% (165 施設)、「導入・再開に当たっての費用補助」37.7% (106 施設)であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは、「助産師の確保」が 77.4% (24 施設)で最も多く、次いで「他職種の理解・協力」61.3% (19 施設)、「導入・再開に当たっての費用補助」29.0% (9 施設)であった。

地域周産期母子医療センターでは、「助産師の確保」が 84.8% (56 施設)で最も多く、次いで「他職種の理解・協力」65.2% (43 施設)、「導入・再開に当たっての費用補助」37.9% (25 施設)であった。

一般病院では「助産師の確保」が 82.4% (126 施設)で最も多く、次いで「他職種の理解・協力」53.6% (82 施設)、「導入・再開に当たっての費用補助」39.2% (60 施設)であった。

図表 109 助産外来を実施していない病院における導入・再開の条件（複数回答）

	合計	助産師の確保	他職種の理解・協力	導入・再開に当たっての費用補助	その他	無回答	上段：回答数
							下段：割合 (%)
全体	281 100.0	231 82.2	165 58.7	106 37.7	76 27.0	14 5.0	
総合周産期母子医療センター	31 100.0	24 77.4	19 61.3	9 29.0	8 25.8	2 6.5	
地域周産期母子医療センター	66 100.0	56 84.8	43 65.2	25 37.9	23 34.8	2 3.0	
一般病院	153 100.0	126 82.4	82 53.6	60 39.2	35 22.9	8 5.2	
無回答	31 100.0	25 80.6	21 67.7	12 38.7	10 32.3	2 6.5	

②診療所

助産外来を実施していない診療所における導入・再開の条件、「助産師の確保」が最も多く 70.3% (242 施設)、次いで「他職種の理解・協力」44.8% (154 施設)、「導入・再開に当たっての費用補助」32.0% (110 施設)であった。

図表 110 助産外来を実施していない診療所の導入・再開における条件（複数回答）

全体	助産師の確保	他職種の理解・協力	導入・再開に当たっての費用補助	その他	無回答	上段：回答数
						下段：割合 (%)
344 100.0	242 70.3	154 44.8	110 32.0	76 22.1	40 11.6	

(8) 助産外来の導入・再開の希望・予定

①病院

助産外来を実施していない病院における導入・再開の希望は、「導入・再開の希望がある」が 63.7% (179 施設)、「導入・再開の希望はない」が 28.8% (81 施設) であった。

周産期医療機能別にみると、「導入・再開の希望がある」施設は、総合周産期母子医療センターでは 67.7% (21 施設)、地域周産期母子医療センターでは 62.1% (41 施設)、一般病院では 64.7% (99 施設) であった。

図表 111 助産外来を実施していない病院における導入・再開の希望

上段：回答数
下段：割合 (%)

	合計	導入・再開 の希望があ る	導入・再開 の希望はな い	無回答
全体	281 100.0	179 63.7	81 28.8	21 7.5
総合周産期母子医療センター	31 100.0	21 67.7	7 22.6	3 9.7
地域周産期母子医療センター	66 100.0	41 62.1	19 28.8	6 9.1
一般病院	153 100.0	99 64.7	45 29.4	9 5.9
無回答	31 100.0	18 58.1	10 32.3	3 9.7

助産外来の導入・再開を希望する病院のうち、実施予定は「実施の予定はないが、導入希望はある」が 68.7% (123 施設) で最も多く、次いで「実施の準備中 (実施は未確定)」23.5% (42 施設)、「実施を予定 (実施が決まっている)」6.7% (12 施設) であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは、「実施の予定はないが、導入希望はある」が 57.1% (12 施設) で最も多く、次いで「実施の準備中 (実施は未確定)」38.1% (8 施設)、「実施を予定 (実施が決まっている)」4.8% (1 施設) であった。

地域周産期母子医療センターでは、「実施の予定はないが、導入希望はある」が 63.4% (26 施設) で最も多く、次いで「実施の準備中 (実施は未確定)」26.8% (11 施設)、「実施を予定 (実施が決まっている)」9.8% (4 施設) であった。

一般病院では、「実施の予定はないが、導入希望はある」が 73.7% (73 施設) で最も多く、次いで「実施の準備中 (実施は未確定)」19.2% (19 施設)、「実施を予定 (実施が決まっている)」7.1% (7 施設) であった。

図表 112 助産外来を実施していない病院の導入・再開の予定

上段：回答数
下段：割合（％）

	合計	実施を予定 （実施が決 まっている）	実施の準備 中（実施は 未確定）	実施の予定 はないが、 導入希望は ある	無回答
全体	179 100.0	12 6.7	42 23.5	123 68.7	2 1.1
総合周産期母子医療センター	21 100.0	1 4.8	8 38.1	12 57.1	0 0.0
地域周産期母子医療センター	41 100.0	4 9.8	11 26.8	26 63.4	0 0.0
一般病院	99 100.0	7 7.1	19 19.2	73 73.7	0 0.0
無回答	18 100.0	0 0.0	4 22.2	12 66.7	2 11.1

②診療所

助産外来を実施していない診療所における導入・再開の希望は、「導入・再開の希望がある」が36.9%（127施設）、「導入・再開の希望はない」が56.4%（194施設）であった。

図表 113 助産外来を実施していない診療所の導入・再開の希望

上段：回答数
下段：割合（％）

全体	導入・再開 の希望があ る	導入・再開 の希望はな い	無回答
344 100.0	127 36.9	194 56.4	23 6.7

助産外来の導入・再開を希望する診療所のうち、実施予定は「実施の予定はないが、導入希望はある」が83.5%（106施設）で最も多く、次いで「実施の準備中（実施は未確定）」11.8%（15施設）、「実施を予定（実施が決まっている）」2.4%（3施設）であった。

図表 114 助産外来を実施していない診療所の導入・再開の予定

上段：回答数
下段：割合（％）

全体	実施を予定 （実施が決 まっている）	実施の準備 中（実施は 未確定）	実施の予定 はないが、 導入希望は ある	無回答
127 100.0	3 2.4	15 11.8	106 83.5	3 2.4

2) 院内助産の実施状況

(1) 院内助産の実施状況

①病院

院内助産を実施している病院は 12.7% (87 施設) であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは 25.9% (22 施設)、地域周産期母子医療センターでは 14.8% (29 施設)、一般病院では 8.1% (27 施設) であった。

図表 115 病院における院内助産の実施状況

上段：回答数
下段：割合 (%)

	合計	実施している	以前実施していたが、現在は実施していない	一度も実施したことがない	無回答
全体	684 100.0	87 12.7	16 2.3	575 84.1	6 0.9
総合周産期母子医療センター	85 100.0	22 25.9	2 2.4	61 71.8	0 0.0
地域周産期母子医療センター	196 100.0	29 14.8	4 2.0	160 81.6	3 1.5
一般病院	335 100.0	27 8.1	10 3.0	295 88.1	3 0.9
無回答	68 100.0	9 13.2	0 0.0	59 86.8	0 0.0

②診療所

院内助産を実施している診療所は 5.3% (25 施設) であった。

図表 116 診療所における院内助産の実施状況

上段：回答数
下段：割合 (%)

全体	実施している	以前実施していたが、現在は実施していない	一度も実施したことがない	無回答
471 100.0	25 5.3	6 1.3	422 89.6	18 3.8

(2) 院内助産の対象（利用条件）

①病院

院内助産を実施している病院のうち、院内助産の対象（利用条件）は「条件に該当する一部の妊産婦に実施」が 88.5%（77 施設）で最も多く、次いで「全員に実施」6.9%（6 施設）であった。

周産期医療機能別にみると、いずれの施設においても「条件に該当する一部の妊産婦に実施」が最も多く、総合周産期母子医療センターでは 95.5%（21 施設）、地域周産期母子医療センターでは 93.1%（27 施設）、一般病院では 77.8%（21 施設）であった。

図表 117 病院における院内助産の対象（利用条件）

	上段：回答数		下段：割合（%）		
	合計	全員に実施	条件に該当する一部の妊産婦に実施	その他	無回答
全体	87	6	77	3	1
	100.0	6.9	88.5	3.4	1.1
総合周産期母子医療センター	22	1	21	0	0
	100.0	4.5	95.5	0.0	0.0
地域周産期母子医療センター	29	0	27	2	0
	100.0	0.0	93.1	6.9	0.0
一般病院	27	4	21	1	1
	100.0	14.8	77.8	3.7	3.7
無回答	9	1	8	0	0
	100.0	11.1	88.9	0.0	0.0

②診療所

院内助産を実施している診療所のうち、院内助産の対象（利用条件）は、「全員に実施」が 60.0%（15 施設）で最も多く、次いで「条件に該当する一部の妊産婦に実施」36.0%（9 施設）であった。

図表 118 診療所における院内助産の対象（利用条件）

全体	上段：回答数		下段：割合（%）	
	全員に実施	条件に該当する一部の妊産婦に実施	その他	無回答
25	15	9	1	0
100.0	60.0	36.0	4.0	0.0

(3) 院内助産の対象を「一部の妊産婦に実施する」具体的な条件

①病院

院内助産の対象を「一部の妊産婦に実施」する病院の具体的な条件についてみると、「ローリスクの妊産婦」が最も多く 90.9% (70 施設)、次いで「院内助産を希望する妊産婦」 37.7% (29 施設) であった。

周産期医療機能別にみると、いずれの施設においても「ローリスクの妊産婦」が最も多く、総合周産期母子医療センターでは 90.5% (19 施設)、地域周産期母子医療センターでは 92.6% (25 施設)、一般病院では 90.5% (19 施設) であった。

図表 119 病院における院内助産の対象を「一部の妊産婦に実施する」具体的な条件（複数回答）

	合計	ローリスクの妊産婦	院内助産を希望する妊産婦	その他	無回答
全体	77 100.0	70 90.9	29 37.7	18 23.4	0 0.0
総合周産期母子医療センター	21 100.0	19 90.5	8 38.1	4 19.0	0 0.0
地域周産期母子医療センター	27 100.0	25 92.6	11 40.7	3 11.1	0 0.0
一般病院	21 100.0	19 90.5	8 38.1	8 38.1	0 0.0
無回答	8 100.0	7 87.5	2 25.0	3 37.5	0 0.0

上段：回答数
下段：割合 (%)

②診療所

院内助産の対象を「一部の妊産婦に実施」する診療所の具体的な条件についてみると、「ローリスクの妊産婦」が最も多く 88.9% (8 施設)、次いで「院内助産を希望する妊産婦」 33.3% (3 施設) であった。

図表 120 診療所における院内助産を一部の妊産婦に実施する際の具体的な条件（複数回答）

全体	ローリスクの妊産婦	院内助産を希望する妊産婦	その他	無回答
9 100.0	8 88.9	3 33.3	2 22.2	0 0.0

上段：回答数
下段：割合 (%)

(4) 院内助産に関わる助産師の実人数

①病院

院内助産に関わる助産師の実人数は、「6～10人」が42.5%（37施設）で最も多く、次いで「11～15人」32.2%（28施設）、「26人以上」8.0%（7施設）であった。

周産期医療機能別にみると、いずれの施設においても「6～10人」が最も多く、総合周産期母子医療センターでは50.0%（11施設）、地域周産期母子医療センターでは37.9%（11施設）、一般病院では44.4%（12施設）であった。

図表 121 病院の院内助産に関わる助産師の実人数

	合計	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26人以上	上段：回答数 下段：割合（%）	
								無回答	
全体	87	3	37	28	5	4	7	3	
	100.0	3.4	42.5	32.2	5.7	4.6	8.0	3.4	
総合周産期母子医療センター	22	0	11	7	1	1	2	0	
	100.0	0.0	50.0	31.8	4.5	4.5	9.1	0.0	
地域周産期母子医療センター	29	1	11	9	1	1	4	2	
	100.0	3.4	37.9	31.0	3.4	3.4	13.8	6.9	
一般病院	27	0	12	9	3	2	0	1	
	100.0	0.0	44.4	33.3	11.1	7.4	0.0	3.7	
無回答	9	2	3	3	0	0	1	0	
	100.0	22.2	33.3	33.3	0.0	0.0	11.1	0.0	

院内助産に関わるアドバンス助産師の実人数は、「1～5人」が46.0%（40施設）で最も多く、次いで「6～10人」35.6%（31施設）、「11～15人」5.7%（5施設）であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは、「1～5人」が45.5%（10施設）で最も多く、次いで「6～10人」40.9%（9施設）、「11～15人」4.5%（1施設）であった。

地域周産期母子医療センターでは、「1～5人」が51.7%（15施設）で最も多く、次いで「6～10人」24.1%（7施設）、「11～15人」6.9%（2施設）であった。

一般病院では、「6～10人」が51.9%（14施設）で最も多く、次いで「1～5人」37.0%（10施設）、「11～15人」3.7%（1施設）であった。

図表 122 病院の院内助産に関わるアドバンス助産師の実人数

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26人以上	無回答
全体	87 100.0	40 46.0	31 35.6	5 5.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	11 12.6
総合周産期母子医療センター	22 100.0	10 45.5	9 40.9	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 9.1
地域周産期母子医療センター	29 100.0	15 51.7	7 24.1	2 6.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 17.2
一般病院	27 100.0	10 37.0	14 51.9	1 3.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 7.4
無回答	9 100.0	5 55.6	1 11.1	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 22.2

②診療所

院内助産に関わる助産師の実人数は、「11人以上」が最も多く 44.0%（11 施設）、次いで「7～10人」32.0%（8 施設）、「1～3人」「4～6人」がそれぞれ 12.0%（3 施設）であった。

図表 123 診療所の院内助産に関わる助産師の実人数

上段：回答数
下段：割合（%）

全体	1～3人	4～6人	7～10人	11人以上	無回答
25 100.0	3 12.0	3 12.0	8 32.0	11 44.0	0 0.0

院内助産に関わるアドバンス助産師の実人数は、「0人」が 44.0%（11 施設）で最も多く、次いで「1～3人」20.0%（5 施設）、「7～10人」12.0%（3 施設）であった。

図表 124 診療所の院内助産に関わるアドバンス助産師の実人数

上段：回答数
下段：割合（%）

全体	0人	1～3人	4～6人	7～10人	11人以上	無回答
25 100.0	11 44.0	5 20.0	2 8.0	3 12.0	2 8.0	2 8.0

(5) 院内助産に関わる助産師の所属（病院）

院内助産に関わる助産師の所属では、「産科病棟」が90.8%（79施設）で最も多く、次いで「産科外来」21.8%（19施設）、「婦人科病棟」14.9%（13施設）であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは、「産科病棟」が95.5%（21施設）で最も多く、次いで「産科外来」18.2%（4施設）、「婦人科病棟」13.6%（3施設）であった。

地域周産期母子医療センターでは、「産科病棟」が96.6%（28施設）で最も多く、次いで「婦人科外来」13.8%（4施設）、「産科外来」10.3%（3施設）であった。

一般病院では、「産科病棟」が77.8%（21施設）で最も多く、次いで「産科外来」33.3%（9施設）、「婦人科病棟」14.8%（4施設）であった。

図表 125 院内助産に関わる助産師の所属（病院）（複数回答）

	合計	産科病棟	婦人科病棟	産科外来	婦人科外来	小児科	その他	無回答	上段：回答数
									下段：割合（%）
全体	87	79	13	19	7	0	10	1	
	100.0	90.8	14.9	21.8	8.0	0.0	11.5	1.1	
総合周産期母子医療センター	22	21	3	4	1	0	3	0	
	100.0	95.5	13.6	18.2	4.5	0.0	13.6	0.0	
地域周産期母子医療センター	29	28	4	3	1	0	0	1	
	100.0	96.6	13.8	10.3	3.4	0.0	0.0	3.4	
一般病院	27	21	4	9	3	0	7	0	
	100.0	77.8	14.8	33.3	11.1	0.0	25.9	0.0	
無回答	9	9	2	3	2	0	0	0	
	100.0	100.0	22.2	33.3	22.2	0.0	0.0	0.0	

(6) 院内助産に関わる助産師の要件（病院）

院内助産に関わる助産師の要件では、「助産師として一定の経験年数を満たしていること」が 86.2%（75 施設）で最も多く、次いで「特定の研修プログラムを修了していること」41.4%（36 施設）、「アドバンス助産師を取得していること」21.8%（19 施設）であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは、「助産師として一定の経験年数を満たしていること」が 90.9%（20 施設）で最も多く、次いで「特定の研修プログラムを修了していること」45.5%（10 施設）、「アドバンス助産師を取得していること」31.8%（7 施設）であった。

地域周産期母子医療センターでは、「助産師として一定の経験年数を満たしていること」が 79.3%（23 施設）で最も多く、次いで「特定の研修プログラムを修了していること」51.7%（15 施設）、「アドバンス助産師を取得していること」20.7%（6 施設）であった。

一般病院では「助産師として一定の経験年数を満たしていること」が 88.9%（24 施設）で最も多く、次いで「特定の研修プログラムを修了していること」25.9%（7 施設）であり、「アドバンス助産師を取得していること」は 22.2%（6 施設）であった。

図表 126 院内助産に関わる助産師の要件（病院）（複数回答）

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	助産師として一定の経験年数を満たしていること	特定の研修プログラムを修了していること	アドバンス助産師を取得していること	その他	無回答
全体	87 100.0	75 86.2	36 41.4	19 21.8	8 9.2	1 1.1
総合周産期母子医療センター	22 100.0	20 90.9	10 45.5	7 31.8	3 13.6	0 0.0
地域周産期母子医療センター	29 100.0	23 79.3	15 51.7	6 20.7	2 6.9	1 3.4
一般病院	27 100.0	24 88.9	7 25.9	6 22.2	2 7.4	0 0.0
無回答	9 100.0	8 88.9	4 44.4	0 0.0	1 11.1	0 0.0

(7) 院内助産を実施していない場合の導入・再開の条件

①病院

院内助産を実施していない病院における院内助産の導入・再開の条件では、「助産師の確保」が最も多く 74.1% (438 施設)、次いで「他職種の理解・協力」70.4% (416 施設)、「導入・再開に当たっての費用補助」45.3% (268 施設) であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは、「助産師の確保」が 68.3% (43 施設) で最も多く、次いで「他職種の理解・協力」66.7% (42 施設)、「導入・再開に当たっての費用補助」30.2% (19 施設) であった。

地域周産期母子医療センターでは「他職種の理解・協力」が 72.0% (118 施設) で最も多く、次いで「助産師の確保」71.3% (117 施設)、「導入・再開に当たっての費用補助」48.2% (79 施設) であった。

一般病院では「助産師の確保」が 76.4% (233 施設) で最も多く、次いで「他職種の理解・協力」70.5% (215 施設)、「導入・再開に当たっての費用補助」47.9% (1146 施設) であった。

図表 127 病院で院内助産を実施していない場合の導入・再開の条件 (病院) (複数回答)

	合計	助産師の確保	他職種の理解・協力	導入・再開に当たっての費用補助	その他	無回答
全体	591 100.0	438 74.1	416 70.4	268 45.3	149 25.2	45 7.6
総合周産期母子医療センター	63 100.0	43 68.3	42 66.7	19 30.2	23 36.5	4 6.3
地域周産期母子医療センター	164 100.0	117 71.3	118 72.0	79 48.2	41 25.0	11 6.7
一般病院	305 100.0	233 76.4	215 70.5	146 47.9	70 23.0	25 8.2
無回答	59 100.0	45 76.3	41 69.5	24 40.7	15 25.4	5 8.5

上段：回答数
下段：割合 (%)

②診療所

院内助産を実施していない診療所における院内助産の導入・再開の条件は、「助産師の確保」が最も多く 56.1% (240 施設)、次いで「他職種の理解・協力」41.6% (178 施設)、「導入・再開に当たっての費用補助」26.6% (114 施設) であった。

図表 128 診療所で院内助産を実施していない場合の導入・再開の条件 (複数回答)

全体	助産師の確保	他職種の理解・協力	導入・再開に当たっての費用補助	その他	無回答
428 100.0	240 56.1	178 41.6	114 26.6	123 28.7	83 19.4

上段：回答数
下段：割合 (%)

(8) 院内助産の導入・再開の希望・予定

①病院

院内助産を実施していない病院における導入・再開の希望は、「導入・再開の希望がある」が41.5% (245施設)、「導入・再開の希望はない」が48.7% (288施設)であった。

周産期医療機能別にみると、「導入・再開の希望がある」施設は、総合周産期母子医療センターでは50.8% (32施設)、地域周産期母子医療センターでは45.7% (75施設)、一般病院では37.4% (114施設)であった。

図表 129 病院で院内助産を実施していない場合の導入・再開の希望

	合計	上段：回答数 下段：割合 (%)		
		導入・再開の希望がある	導入・再開の希望はない	無回答
全体	591 100.0	245 41.5	288 48.7	58 9.8
総合周産期母子医療センター	63 100.0	32 50.8	23 36.5	8 12.7
地域周産期母子医療センター	164 100.0	75 45.7	75 45.7	14 8.5
一般病院	305 100.0	114 37.4	160 52.5	31 10.2
無回答	59 100.0	24 40.7	30 50.8	5 8.5

院内助産の導入・再開を希望する病院のうち、実施予定は「実施の予定はないが、導入希望はある」が82.0% (201施設)で最も多く、次いで「実施の準備中 (実施は未確定)」14.3% (35施設)、「実施を予定 (実施が決まっている)」2.4% (6施設)であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは、「実施の予定はないが、導入希望はある」が78.1% (25施設)で最も多く、次いで「実施の準備中 (実施は未確定)」15.6% (5施設)、「実施を予定 (実施が決まっている)」6.3% (2施設)であった。

地域周産期母子医療センターでは、「実施の予定はないが、導入希望はある」が88.0% (66施設)で最も多く、次いで「実施の準備中 (実施は未確定)」8.0% (6施設)、「実施を予定 (実施が決まっている)」2.7% (2施設)であった。

一般病院では、「実施の予定はないが、導入希望はある」が78.9% (90施設)で最も多く、次いで「実施の準備中 (実施は未確定)」18.4% (21施設)、「実施を予定 (実施が決まっている)」1.8% (2施設)であった。

図表 130 病院で院内助産を実施していない場合の導入・再開の予定

上段：回答数
下段：割合（％）

	合計	実施を予定 （実施が決 まっている）	実施の準備 中（実施は 未確定）	実施の予定 はないが、導 入希望はある	無回答
全体	245 100.0	6 2.4	35 14.3	201 82.0	3 1.2
総合周産期母子医療センター	32 100.0	2 6.3	5 15.6	25 78.1	0 0.0
地域周産期母子医療センター	75 100.0	2 2.7	6 8.0	66 88.0	1 1.3
一般病院	114 100.0	2 1.8	21 18.4	90 78.9	1 0.9
無回答	24 100.0	0 0.0	3 12.5	20 83.3	1 4.2

②診療所

院内助産を実施していない診療所の導入・再開の希望は、「導入・再開の希望がある」が 17.1%（73 施設）、「導入・再開の希望はない」72.9%（312 施設）がであった。

図表 131 診療所で院内助産を実施していない場合の導入・再開の希望

上段：回答数
下段：割合（％）

全体	導入・再開 の希望があ る	導入・再開 の希望はな い	無回答	非該当
428 100.0	73 17.1	312 72.9	43 10.0	59

院内助産の導入・再開を希望する診療所のうち、実施予定は「実施の予定はないが、導入希望はある」が 91.8%（67 施設）で最も多く、次いで「実施の準備中（実施は未確定）」5.5%（4 施設）、「実施を予定（実施が決まっている）」2.7%（2 施設）であった。

図表 132 診療所で院内助産を実施していない場合の導入・再開の予定

上段：回答数
下段：割合（％）

全体	実施を予定 （実施が決 まっている）	実施の準備 中（実施は 未確定）	実施の予定 はないが、 導入希望は ある	無回答	非該当
73 100.0	2 2.7	4 5.5	67 91.8	0 0.0	414

3) 産科混合病棟の状況（病院）

(1) 助産師が受け持つ患者

産科混合病棟をもつ病院のうち、産科混合病棟で助産師が受け持つ患者は、「他科患者と産婦を同時に受け持つ」は 43.7%（230 施設）で最も多く、次いで「分娩介助時のみ他科患者は受け持たない」19.4%（102 施設）、「常に他科患者は受け持たない」16.3%（86 施設）であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは、「他科患者と産婦を同時に受け持つ」が 51.9%（14 施設）で最も多く、次いで「分娩介助時のみ他科患者は受け持たない」22.2%（6 施設）、「分娩第 1 期の産婦が入院した時点で、他科患者は受け持たない」11.1%（3 施設）であった。

地域周産期母子医療センターでは、「他科患者と産婦を同時に受け持つ」が 39.7%（56 施設）で最も多く、次いで「分娩介助時のみ他科患者は受け持たない」25.5%（36 施設）、「常に他科患者は受け持たない」18.4%（26 施設）であった。

一般病院では、「他科患者と産婦を同時に受け持つ」が 44.0%（131 施設）で最も多く、次いで「分娩介助時のみ他科患者は受け持たない」17.4%（52 施設）、「常に他科患者は受け持たない」16.4%（49 施設）であった。

図表 133 助産師が受け持つ患者

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	他科患者と産婦を同時に受け持つ	常に他科患者は受け持たない	分娩介助時のみ他科患者は受け持たない	分娩第 1 期の産婦が入院した時点で、他科患者は受け持たない	無回答
全体	526 100.0	230 43.7	86 16.3	102 19.4	57 10.8	51 9.7
総合周産期母子医療センター	27 100.0	14 51.9	1 3.7	6 22.2	3 11.1	3 11.1
地域周産期母子医療センター	141 100.0	56 39.7	26 18.4	36 25.5	8 5.7	15 10.6
一般病院	298 100.0	131 44.0	49 16.4	52 17.4	41 13.8	25 8.4
無回答	60 100.0	29 48.3	10 16.7	8 13.3	5 8.3	8 13.3

*産科混合病棟と回答した 529 施設のうち、有効回答の 526 施設について、分析する（以下、同じ）

(2) 産科空床時の対応（病院）

産科混合病棟をもつ病院のうち、産科空床時の対応については、「産科患者と他科患者の入院状況によって、他科患者を産科病床に入院させる」が 63.9%（336 施設）で最も多く、次いで「常に空床にしておき、他患者を入院させない」16.5%（87 施設）、「産科病床の空床確保は特に行っていない」12.2%（64 施設）であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは、「産科患者と他科患者の入院状況によって、他科患者を産科病床に入院させる」が 70.4%（19 施設）で最も多く、次いで「産科病床の空床確保は特に行っていない」18.5%（5 施設）、「常に空床にしておき、他患者を入院させない」3.7%（1 施設）であった。

地域周産期母子医療センターでは、「産科患者と他科患者の入院状況によって、他科患者を産科病床に入院させる」が 63.8%（90 施設）で最も多く、次いで「常に空床にしておき、他患者を入院させない」15.6%（22 施設）、「産科病床の空床確保は特に行っていない」11.3%（16 施設）であった。

一般病院では、「産科患者と他科患者の入院状況によって、他科患者を産科病床に入院させる」が 64.1%（191 施設）で最も多く、次いで「常に空床にしておき、他患者を入院させない」18.5%（55 施設）、「産科病床の空床確保は特に行っていない」11.4%（34 施設）であった。

図表 134 産科空床時の対応

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	常に空床にしておき、他患者を入院させない	産科患者と他科患者の入院状況によって、他科患者を産科病床に入院させる	産科病床の空床確保は特に行っていない	無回答
全体	526 100.0	87 16.5	336 63.9	64 12.2	39 7.4
総合周産期母子医療センター	27 100.0	1 3.7	19 70.4	5 18.5	2 7.4
地域周産期母子医療センター	141 100.0	22 15.6	90 63.8	16 11.3	13 9.2
一般病院	298 100.0	55 18.5	191 64.1	34 11.4	18 6.0
無回答	60 100.0	9 15.0	36 60.0	9 15.0	6 10.0

(3) 他科診療科の患者が混合病棟や産科患者入院の病室に入院する際のルールや基準

産科混合病棟をもつ病院のうち、他科診療科の患者が混合病棟や産科患者入院の病室に入院する際のルールや基準がある施設は 82.1% (432 施設) であった。

周産期医療機能別にみると、他科診療科の患者が混合病棟や産科患者入院の病室に入院する際のルールや基準がある施設は、総合周産期母子医療センターでは 77.8% (21 施設)、地域周産期母子医療センターでは 84.4% (119 施設)、一般病院では 82.9% (247 施設) であった。

図表 135 他科診療科の患者が混合病棟や産科患者入院の病室に入院する際のルールや基準の有無

上段：回答数
下段：割合 (%)

	合計	ある	ない	無回答
全体	526 100.0	432 82.1	48 9.1	46 8.7
総合周産期母子医療センター	27 100.0	21 77.8	4 14.8	2 7.4
地域周産期母子医療センター	141 100.0	119 84.4	7 5.0	15 10.6
一般病院	298 100.0	247 82.9	29 9.7	22 7.4
無回答	60 100.0	45 75.0	8 13.3	7 11.7

産科混合病棟をもつ病院のうち、他科診療科の患者が混合病棟や産科患者入院の病室に入院する際のルールや基準の具体的な内容については、「男性は除外」が 84.5% (365 施設) で最も多く、次いで「感染疑い・感染患者は除外」が 81.9% (354 施設)、「就学前の小児は除外」「不穏・認知の症状がある患者は除外」がそれぞれ 47.2% (204 施設) であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは、「男性は除外」が最も多く 81.0% (17 施設)、次いで「感染疑い・感染患者は除外」66.7% (14 施設)、「就学前の小児は除外」「不穏・認知の症状がある患者は除外」がそれぞれ 47.6% (10 施設) であった。

地域周産期母子医療センターでは、「男性は除外」が最も多く 90.8% (108 施設)、次いで「感染疑い・感染患者は除外」81.5% (97 施設)、「就学前の小児は除外」49.6% (59 施設) であった。

一般病院では、「感染疑い・感染患者は除外」が 84.2% (208 施設) で最も多く、次いで「男性は除外」81.4% (201 施設)、「不穏・認知の症状がある患者は除外」50.6% (125 施設) であった。

図表 136 他科診療科の患者が混合病棟や産科患者入院の病室に入院する際のルールや基準の具体的な内容 (複数回答)

上段：回答数
下段：割合 (%)

	合計	感染疑い・ 感染患者は 除外	就学前の小 児は除外	ターミナル期 は除外	男性は除外	不穏・認知 の症状があ る患者は除 外	クリニカルバ ス適応者の み入院可	その他	無回答
全体	432 100.0	354 81.9	204 47.2	169 39.1	365 84.5	204 47.2	12 2.8	55 12.7	7 1.6
総合周産期母子医療センター	21 100.0	14 66.7	10 47.6	8 38.1	17 81.0	10 47.6	0 0.0	4 19.0	1 4.8
地域周産期母子医療センター	119 100.0	97 81.5	59 49.6	47 39.5	108 90.8	51 42.9	2 1.7	17 14.3	3 2.5
一般病院	247 100.0	208 84.2	109 44.1	96 38.9	201 81.4	125 50.6	10 4.0	30 12.1	3 1.2
無回答	45 100.0	35 77.8	26 57.8	18 40.0	39 86.7	18 40.0	0 0.0	4 8.9	0 0.0

(4) 「産科混合病棟ユニットマネジメント導入の手引き」(日本看護協会)の認知度

産科混合病棟をもつ病院のうち、『産科混合病棟ユニットマネジメント導入の手引き』(日本看護協会)(以下、『導入の手引き』)を知っていると回答した施設は70.5%(371施設)であった。

周産期医療機能別にみると、『導入の手引き』を知っていると回答した施設は、総合周産期母子医療センターでは81.5%(22施設)、地域周産期母子医療センターでは72.3%(102施設)、一般病院では69.1%(206施設)であった。

図表 137 「産科混合病棟ユニットマネジメント導入の手引き」(日本看護協会)の認知度

上段：回答数
下段：割合(%)

	合計	知っている	知らない	無回答
全体	526 100.0	371 70.5	108 20.5	47 8.9
総合周産期母子医療センター	27 100.0	22 81.5	3 11.1	2 7.4
地域周産期母子医療センター	141 100.0	102 72.3	25 17.7	14 9.9
一般病院	298 100.0	206 69.1	69 23.2	23 7.7
無回答	60 100.0	41 68.3	11 18.3	8 13.3

(5) ユニットマネジメントの導入

産科混合病棟をもつ病院のうち、ユニットマネジメントを導入している施設は 38.4% (202 施設) であった。

周産期医療機能別にみると、ユニットマネジメントを導入している施設は、総合周産期母子医療センターでは 33.3% (9 施設)、地域周産期母子医療センターでは 44.0% (62 施設)、一般病院では 37.9% (113 施設) であった。

図表 138 ユニットマネジメントの導入状況

上段：回答数
下段：割合 (%)

	合計	導入している	導入していない	無回答
全体	526 100.0	202 38.4	265 50.4	59 11.2
総合周産期母子医療センター	27 100.0	9 33.3	15 55.6	3 11.1
地域周産期母子医療センター	141 100.0	62 44.0	65 46.1	14 9.9
一般病院	298 100.0	113 37.9	154 51.7	31 10.4
無回答	60 100.0	18 30.0	31 51.7	11 18.3

『導入の手引き』の認知度別にみた、ユニットマネジメント導入施設の様子は、『導入の手引き』を「知っている施設」では 48.8% (181 施設)、「知らない施設」では 17.6% (19 施設) であった。

図表 139 「産科混合病棟ユニットマネジメント導入の手引き」(日本看護協会)の認知度別のユニットマネジメントの導入状況

上段：回答数
下段：割合 (%)

	合計	導入している	導入していない	無回答
全体	526 100.0	202 38.4	265 50.4	59 11.2
知っている	371 100.0	181 48.8	180 48.5	10 2.7
知らない	108 100.0	19 17.6	80 74.1	9 8.3
無回答	47 100.0	2 4.3	5 10.6	40 85.1

産科混合病棟を有する病院で、ユニットマネジメントを導入していない施設のうち、導入するために必要な条件についての問いでは、「職員の理解・協力」とする回答が 63.8% (169 施設) と最も多く、次いで「経営者の理解」 62.6% (166 施設)、「経営の安定化」 51.7% (137 施設) であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは「経営者の理解」が 46.7% (7 施設) で最も多く、次いで「職員の理解・協力」 33.3% (5 施設)、「経営の安定化」 26.7% (4 施設) であった。

地域周産期母子医療センターでは「職員の理解・協力」が 64.6% (42 施設) で最も多く、次いで「経営者の理解」 63.1% (41 施設)、「経営の安定化」 56.9% (37 施設) であった。

一般病院では「職員の理解・協力」が 63.6% (98 施設) で最も多く、次いで「経営者の理解」 61.0% (94 施設)、「経営の安定化」 50.0% (77 施設) であった。

図表 140 ユニットマネジメントを導入するために必要な条件（複数回答）

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	経営の安定化	導入のための技術的支援	経営者の理解	職員の理解・協力	導入のために必要な経費等の補助	その他	無回答
全体	265 100.0	137 51.7	75 28.3	166 62.6	169 63.8	96 36.2	35 13.2	27 10.2
総合周産期母子医療センター	15 100.0	4 26.7	1 6.7	7 46.7	5 33.3	1 6.7	5 33.3	2 13.3
地域周産期母子医療センター	65 100.0	37 56.9	18 27.7	41 63.1	42 64.6	24 36.9	10 15.4	4 6.2
一般病院	154 100.0	77 50.0	46 29.9	94 61.0	98 63.6	57 37.0	19 12.3	19 12.3
無回答	31 100.0	19 61.3	10 32.3	24 77.4	24 77.4	14 45.2	1 3.2	2 6.5

4) 助産師の現任教育（病院）

(1) 助産師に特化したクリニカルラダーの有無

本調査において回答のあった病院のうち、助産師に特化したクリニカルラダーが「ある」施設は41.2%（282施設）であり、「ないが、現在作成中」である施設は23.0%（157施設）であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは、助産師に特化したクリニカルラダーが「ある」施設は52.9%（45施設）であり、「ないが、現在作成中」である施設は21.2%（18施設）であった。

地域周産期母子医療センターでは、助産師に特化したクリニカルラダーが「ある」施設は45.9%（90施設）であり、「ないが、現在作成中」である施設は25.5%（50施設）であった。

一般病院では、助産師に特化したクリニカルラダーが「ある」施設は38.8%（130施設）であり、「ないが、現在作成中」である施設は22.1%（74施設）であった。

図表 141 助産師に特化したクリニカルラダーの有無

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	ある	ないが、現在 作成中	ない（作成 予定もない）	無回答
全体	684 100.0	282 41.2	157 23.0	201 29.4	44 6.4
総合周産期母子医療センター	85 100.0	45 52.9	18 21.2	13 15.3	9 10.6
地域周産期母子医療センター	196 100.0	90 45.9	50 25.5	42 21.4	14 7.1
一般病院	335 100.0	130 38.8	74 22.1	115 34.3	16 4.8
無回答	68 100.0	17 25.0	15 22.1	31 45.6	5 7.4

助産師に特化したクリニカルラダーが「ある」または「ないが、現在作成中」である病院のうち、助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）（以下、CLoCMiP®）を「導入している（導入を予定している）」施設は94.1%（413施設）であった。

周産期医療機能別にみると、CLoCMiP®を「導入している（導入を予定している）」施設は、総合周産期母子医療センターでは96.8%（61施設）、地域周産期母子医療センターでは91.4%（128施設）、一般病院では94.6%（193施設）であった。

図表 142 助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）の導入状況

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	導入している （導入を予 定している）	導入してい ない（導入を 予定してい ない）	無回答
全体	439 100.0	413 94.1	15 3.4	11 2.5
総合周産期母子医療センター	63 100.0	61 96.8	0 0.0	2 3.2
地域周産期母子医療センター	140 100.0	128 91.4	10 7.1	2 1.4
一般病院	204 100.0	193 94.6	4 2.0	7 3.4
無回答	32 100.0	31 96.9	1 3.1	0 0.0

(2) 助産師に特化した教育目標の有無

回答のあった病院のうち、助産師に特化した教育目標がある施設は46.8%（320施設）であった。

周産期医療機能別にみると、助産師に特化した教育目標がある施設は、総合周産期母子医療センターでは67.1%（57施設）、地域周産期母子医療センターでは51.5%（101施設）、一般病院では41.8%（140施設）であった。

図表 143 助産師に特化した教育目標の有無

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	ある	ないが、現在 作成中	ない（作成 予定もない）	無回答
全体	684 100.0	320 46.8	145 21.2	162 23.7	57 8.3
総合周産期母子医療センター	85 100.0	57 67.1	15 17.6	8 9.4	5 5.9
地域周産期母子医療センター	196 100.0	101 51.5	39 19.9	41 20.9	15 7.7
一般病院	335 100.0	140 41.8	74 22.1	90 26.9	31 9.3
無回答	68 100.0	22 32.4	17 25.0	23 33.8	6 8.8

(3) 助産師に特化した研修の実施状況

回答のあった病院のうち、助産師に特化した研修の実施状況は「助産師に特化した院外研修への参加を業務として認めている」が 56.7% (388 施設) で最も多く、次いで「助産師に特化した院内研修を実施している」34.8% (238 施設)、「助産師に特化した研修はない・院外研修への参加も認めていない」7.3% (50 施設) であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは、「助産師に特化した院内研修を実施している」が 48.2% (41 施設) で最も多く、次いで「助産師に特化した院外研修への参加を業務として認めている」47.1% (40 施設)、「助産師に特化した研修はない・院外研修への参加も認めていない」5.9% (5 施設) であった。

地域周産期母子医療センターでは、「助産師に特化した院外研修への参加を業務として認めている」が 55.6% (109 施設) で最も多く、次いで「助産師に特化した院内研修を実施している」41.8% (82 施設)、「助産師に特化した研修はない・院外研修への参加も認めていない」5.6% (11 施設) であった。

一般病院では、「助産師に特化した院外研修への参加を業務として認めている」が 59.7% (200 施設) で最も多く、次いで「助産師に特化した院内研修を実施している」27.8% (93 施設)、「助産師に特化した研修はない・院外研修への参加も認めていない」7.5% (25 施設) であった。

図表 144 助産師に特化した研修の実施状況

上段：回答数
下段：割合 (%)

	合計	助産師に特化した院内研修を実施している	助産師に特化した院外研修への参加を業務として認めている	助産師に特化した研修はない・院外研修への参加も認めていない	その他	無回答
全体	684 100.0	238 34.8	388 56.7	50 7.3	88 12.9	48 7.0
総合周産期母子医療センター	85 100.0	41 48.2	40 47.1	5 5.9	14 16.5	2 2.4
地域周産期母子医療センター	196 100.0	82 41.8	109 55.6	11 5.6	26 13.3	12 6.1
一般病院	335 100.0	93 27.8	200 59.7	25 7.5	46 13.7	29 8.7
無回答	68 100.0	22 32.4	39 57.4	9 13.2	2 2.9	5 7.4

(4) 産科関連病棟への教育担当者の配置状況

回答のあった病院のうち、産科関連病棟に教育担当者が配置されている施設は 62.4% (427 施設) であった。

周産期医療機能別にみると、産科関連病棟に教育担当者が配置されている施設は、総合周産期母子医療センターでは 67.1% (57 施設)、地域周産期母子医療センターでは 64.8% (127 施設)、一般病院では 60.6% (203 施設) であった。

図表 145 産科関連病棟への教育担当者の配置状況

上段：回答数
下段：割合 (%)

	合計	産科関連病棟に教育担当者が配置されている	産科関連病棟に教育担当者が配置されていない	無回答
全体	684 100.0	427 62.4	211 30.8	46 6.7
総合周産期母子医療センター	85 100.0	57 67.1	26 30.6	2 2.4
地域周産期母子医療センター	196 100.0	127 64.8	56 28.6	13 6.6
一般病院	335 100.0	203 60.6	106 31.6	26 7.8
無回答	68 100.0	40 58.8	23 33.8	5 7.4

5) 助産師出向システムの状況

(1) 助産師の出向システムの取り組み

①病院

助産師の出向システムに取り組んでいる病院は 15.2% (104 施設) であった。

周産期医療機能別にみると、助産師の出向システムに取り組んでいる施設は、総合周産期母子医療センターでは 29.4% (25 施設)、地域周産期母子医療センターでは 17.3% (34 施設)、一般病院では 10.4% (35 施設) であった。

図表 146 病院における助産師の出向システムの取り組み

	合計		取り組んでいる	以前取り組んでいたが、現在は取り組んでいない	一度も取り組んだことはない	無回答
	上段：回答数	下段：割合 (%)				
全体	684	100.0	104	71	497	12
			15.2	10.4	72.7	1.8
総合周産期母子医療センター	85	100.0	25	9	50	1
			29.4	10.6	58.8	1.2
地域周産期母子医療センター	196	100.0	34	20	137	5
			17.3	10.2	69.9	2.6
一般病院	335	100.0	35	31	265	4
			10.4	9.3	79.1	1.2
無回答	68	100.0	10	11	45	2
			14.7	16.2	66.2	2.9

②診療所

助産師の出向システムに取り組んでいる診療所は 5.1% (24 施設) であった。

図表 147 診療所における助産師の出向システムの取り組み

全体	取り組んでいる		以前取り組んでいたが、現在は取り組んでいない	一度も取り組んだことはない	無回答
	上段：回答数	下段：割合 (%)			
471	24	17	420	10	
100.0	5.1	3.6	89.2	2.1	

(2) 他施設への出向状況

①病院

助産師の出向システムに取り組んでいる病院のうち、他施設への「出向に取り組んでいる」施設は44.2%（46施設）であった。

周産期医療機能別にみると、他施設への「出向に取り組んでいる施設」は、総合周産期母子医療センターでは76.0%（19施設）、地域周産期母子医療センターでは41.2%（14施設）、一般病院では25.7%（9施設）であった。

図表 148 病院における他施設への出向状況

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	取り組んでいる	過去に取り組んだことがある	今後取り組む予定である	取り組んでいない（取り組む予定もない）	無回答
全体	104 100.0	46 44.2	16 15.4	17 16.3	17 16.3	8 7.7
総合周産期母子医療センター	25 100.0	19 76.0	3 12.0	3 12.0	0 0.0	0 0.0
地域周産期母子医療センター	34 100.0	14 41.2	3 8.8	7 20.6	7 20.6	3 8.8
一般病院	35 100.0	9 25.7	10 28.6	6 17.1	5 14.3	5 14.3
無回答	10 100.0	4 40.0	0 0.0	1 10.0	5 50.0	0 0.0

②診療所

助産師の出向システムに取り組んでいる診療所にうち、他施設への「出向に取り組んでいる」診療所は12.5%（3施設）であった。

図表 149 診療所における他施設への出向状況

上段：回答数
下段：割合（%）

全体	取り組んでいる	過去に取り組んだことがある	今後取り組む予定である	取り組んでいない（取り組む予定もない）	無回答
24 100.0	3 12.5	1 4.2	4 16.7	10 41.7	6 25.0

(3) 他施設からの出向の受け入れ状況

①病院

助産師の出向システムに取り組んでいる病院のうち、他施設から「出向の受け入れをしている」施設は34.6%（36施設）であった。

周産期医療機能別にみると、他施設から「出向の受け入れをしている」施設は、総合周産期母子医療センターでは28.0%（7施設）、地域周産期母子医療センターでは41.2%（14施設）、一般病院では28.6%（10施設）であった。

図表 150 病院における他施設からの出向の受け入れ状況

	上段：回答数		下段：割合（%）			
	合計	取り組んでいる	過去に取り組んだことがある	今後取り組む予定である	取り組んでいない（取り組む予定もない）	無回答
全体	104	36	16	22	24	6
	100.0	34.6	15.4	21.2	23.1	5.8
総合周産期母子医療センター	25	7	3	7	6	2
	100.0	28.0	12.0	28.0	24.0	8.0
地域周産期母子医療センター	34	14	4	9	5	2
	100.0	41.2	11.8	26.5	14.7	5.9
一般病院	35	10	9	5	11	0
	100.0	28.6	25.7	14.3	31.4	0.0
無回答	10	5	0	1	2	2
	100.0	50.0	0.0	10.0	20.0	20.0

②診療所

助産師の出向システムに取り組んでいる診療所のうち、他施設から「出向の受け入れをしている」診療所は75.0%（18施設）であった。

図表 151 診療所における他施設からの出向の受け入れ状況

全体	上段：回答数		下段：割合（%）			
	取り組んでいる	過去に取り組んだことがある	今後取り組む予定である	取り組んでいない（取り組む予定もない）	無回答	
24	18	3	1	1	1	
100.0	75.0	12.5	4.2	4.2	4.2	

(4) 助産師の出向システムに取り組む理由

①病院

病院が助産師の出向システムに取り組む理由としては、「自施設の助産師に経験を積ませるため」が68.3% (71 施設) で最も多く、次いで「人事交流のため」45.2% (47 施設)、「他施設の助産師に経験を積ませるため」37.5% (39 施設) であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは、「自施設の助産師に経験を積ませるため」92.0% (23 施設)、「人事交流のため」60.0% (15 施設)、「他施設の助産師が不足しているため」「地域貢献のため」がそれぞれ44.0% (11 施設) であった。

地域周産期母子医療センターでは、「自施設の助産師に経験を積ませるため」が55.9% (19 施設) で最も多く、次いで「他施設の助産師に経験を積ませるため」44.1% (15 施設)、「人事交流のため」41.2% (14 施設) であった。

一般病院では、「自施設の助産師に経験を積ませるため」が68.6% (24 施設) で最も多く、次いで「自施設の助産師が不足しているため」「人事交流のため」がそれぞれ42.9% (15 施設) であった。

図表 152 病院が助産師の出向システムに取り組む理由 (複数回答)

上段：回答数
下段：割合 (%)

	合計	自施設の助産師が不足しているため	他施設の助産師が不足しているため	自施設の助産師に経験を積ませるため	他施設の助産師に経験を積ませるため	人事交流のため	地域貢献のため	助産学生の助産実習受け入れのため	看護学生の母性看護実習受け入れのため	その他	無回答
全体	104 100.0	32 30.8	28 26.9	71 68.3	39 37.5	47 45.2	32 30.8	2 1.9	3 2.9	5 4.8	1 1.0
総合周産期母子医療センター	25 100.0	1 4.0	11 44.0	23 92.0	10 40.0	15 60.0	11 44.0	1 4.0	1 4.0	0 0.0	0 0.0
地域周産期母子医療センター	34 100.0	10 29.4	8 23.5	19 55.9	15 44.1	14 41.2	12 35.3	0 0.0	0 0.0	3 8.8	1 2.9
一般病院	35 100.0	15 42.9	7 20.0	24 68.6	12 34.3	15 42.9	9 25.7	1 2.9	1 2.9	1 2.9	0 0.0
無回答	10 100.0	6 60.0	2 20.0	5 50.0	2 20.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0

②診療所

診療所が助産師の出向システムに取り組む理由としては、「自施設の助産師が不足しているため」が62.5% (15 施設) で最も多く、次いで「他施設の助産師に経験を積ませるため」54.2% (13 施設)、「人事交流のため」50.0% (12 施設) であった。

図表 153 診療所が助産師の出向システムに取り組む理由 (複数回答)

上段：回答数
下段：割合 (%)

全体	自施設の助産師が不足しているため	他施設の助産師が不足しているため	自施設の助産師に経験を積ませるため	他施設の助産師に経験を積ませるため	人事交流のため	地域貢献のため	助産学生の助産実習受け入れのため	看護学生の母性看護実習受け入れのため	その他	無回答
24 100.0	15 62.5	2 8.3	5 20.8	13 54.2	12 50.0	8 33.3	4 16.7	5 20.8	1 4.2	0 0.0

6) 助産実習の受け入れ状況

(1) 助産実習等の受け入れ状況

①病院

助産実習を受け入れている病院は、57.5% (393 施設) であった。

周産期医療機能別にみると、助産実習を受け入れている施設は、総合周産期母子医療センターでは 84.7% (72 施設)、地域周産期母子医療センターでは 63.8% (125 施設)、一般病院では 49.6% (166 施設) であった。

図表 154 病院における助産実習等の受け入れ状況

	合計	受け入れている	以前受け入れていたが、現在は受け入っていない	一度も受け入れたことがない	無回答
全体	684 100.0	393 57.5	105 15.4	177 25.9	9 1.3
総合周産期母子医療センター	85 100.0	72 84.7	7 8.2	6 7.1	0 0.0
地域周産期母子医療センター	196 100.0	125 63.8	32 16.3	36 18.4	3 1.5
一般病院	335 100.0	166 49.6	58 17.3	106 31.6	5 1.5
無回答	68 100.0	30 44.1	8 11.8	29 42.6	1 1.5

上段：回答数
下段：割合 (%)

②診療所

助産実習を受け入れている診療所は、「母性看護実習・助産実習ともに受け入れている」14.0% (66 施設)、「助産実習のみ受け入れている」7.2% (34 施設) をあわせて 21.2% (100 施設) であった。

図表 155 診療所における助産実習等の受け入れ状況

全体	母性看護実習・助産実習ともに受け入れている	助産実習のみ受け入れている	母性看護実習のみ受け入れている	母性看護実習・助産実習ともに受け入っていない	無回答
471 100.0	66 14.0	34 7.2	100 21.2	244 51.8	28 5.9

上段：回答数
下段：割合 (%)

(2) 平成 27 年度の助産実習の受け入れ学校数（病院）

病院における助産実習の受け入れについて、平成 27 年度の受け入れ学校数をみると、「1 校」が 67.9%（267 施設）で最も多く、「2 校」22.9%（90 施設）、「3 校」4.8%（19 施設）であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは、「1 校」が 59.7%（43 施設）で最も多く、次いで「2 校」25.0%（18 施設）、「3 校」11.1%（8 施設）であった。

地域周産期母子医療センターでは、「1 校」が 68.0%（85 施設）で最も多く、次いで「2 校」26.4%（33 施設）、「3 校」3.2%（4 施設）であった。

一般病院では「1 校」が 68.1%（113 施設）で最も多く、次いで「2 校」22.3%（37 施設）、「3 校」3.6%（14 施設）であった。

図表 156 病院における平成 27 年度の助産実習の受け入れ学校数

	合計	0校	1校	2校	3校	4校	5校	6校	7校	8校	無回答	上段：回答数
												下段：割合 (%)
全体	393	2	267	90	19	10	0	0	0	1	4	
	100.0	0.5	67.9	22.9	4.8	2.5	0.0	0.0	0.0	0.3	1.0	
総合周産期母子医療センター	72	0	43	18	8	3	0	0	0	0	0	
	100.0	0.0	59.7	25.0	11.1	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
地域周産期母子医療センター	125	0	85	33	4	2	0	0	0	0	1	
	100.0	0.0	68.0	26.4	3.2	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	
一般病院	166	2	113	37	6	5	0	0	0	0	3	
	100.0	1.2	68.1	22.3	3.6	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	
無回答	30	0	26	2	1	0	0	0	0	1	0	
	100.0	0.0	86.7	6.7	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	

* 「0 校」は、助産実習を「受け入れる」と回答したが、平成 27 年度には受け入れなかった施設

(3) 平成 27 年度の助産実習の 1 校当たりの平均受け入れ助産学生数 (病院)

助産実習を受け入れている病院のうち、平成 27 年度の 1 校当たり受け入れ助産学生数をみると、「1 人以上 5 人未満」が 67.7% (266 施設) で最も多く、次いで「5 人以上 10 人未満」12.5% (49 施設)、「10 人以上 15 人未満」4.3% (17 施設) であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは、「1 人以上 5 人未満」が 54.2% (39 施設) で最も多く、次いで「5 人以上 10 人未満」19.4% (14 施設)、「10 人以上 15 人未満」8.3% (6 施設) であった。

地域周産期母子医療センターでは、「1 人以上 5 人未満」が 72.8% (91 施設) で最も多く、次いで「5 人以上 10 人未満」12.0% (15 施設)、「20 人以上 25 人未満」3.2% (4 施設) であった。

一般病院では「1 人以上 5 人未満」が 70.5% (117 施設) で最も多く、次いで「5 人以上 10 人未満」10.2% (17 施設)、「10 人以上 15 人未満」3.0% (5 施設) であった。

図表 157 病院における平成 27 年度の助産実習の 1 校当たり受け入れ学校数

	合計	上段：回答数								無回答
		下段：割合 (%)								
		1人以上 5人未満	5人以上 10人未満	10人以上15 人未満	15人以上 20人未満	20人以上 25人未満	25人以上 30人未満	30人以上		
全体	393	266	49	17	1	8	3	2	47	
	100.0	67.7	12.5	4.3	0.3	2.0	0.8	0.5	12.0	
総合周産期母子医療センター	72	39	14	6	1	1	0	1	10	
	100.0	54.2	19.4	8.3	1.4	1.4	0.0	1.4	13.9	
地域周産期母子医療センター	125	91	15	3	0	4	1	1	10	
	100.0	72.8	12.0	2.4	0.0	3.2	0.8	0.8	8.0	
一般病院	166	117	17	5	0	3	2	0	22	
	100.0	70.5	10.2	3.0	0.0	1.8	1.2	0.0	13.3	
無回答	30	19	3	3	0	0	0	0	5	
	100.0	63.3	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	

(4) 平成 27 年度の助産実習の 1 回当たりの平均受け入れ助産学生数 (病院)

助産実習を受け入れている病院のうち、平成 27 年度の助産実習 1 回当たり受け入れ助産学生数をみると、「1 人以上 3 人未満」が 55.2% (217 施設) で最も多く、次いで「3 人以上 5 人未満」22.6% (89 施設)、「5 人以上 7 人未満」4.6% (18 施設) であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは、「1 人以上 3 人未満」が 48.6% (35 施設) で最も多く、次いで「3 人以上 5 人未満」26.4% (19 施設)、「5 人以上 7 人未満」6.9% (5 施設) であった。

地域周産期母子医療センターでは、「1 人以上 3 人未満」が 55.2% (69 施設) で最も多く、次いで「3 人以上 5 人未満」24.8% (31 施設)、「9 人以上 11 人未満」3.2% (4 施設) であった。

一般病院では、「1 人以上 3 人未満」が 58.4% (97 施設) で最も多く、次いで「3 人以上 5 人未満」18.7% (31 施設)、「5 人以上 7 人未満」5.4% (9 施設) であった。

図表 158 病院における平成 27 年度の助産実習の 1 回当たり受け入れ助産学生数

	合計	上段：回答数							無回答
		下段：割合 (%)							
		1人以上 3人未満	3人以上 5人未満	5人以上 7人未満	7人以上 9人未満	9人以上 11人未満	11人以上		
全体	393 100.0	217 55.2	89 22.6	18 4.6	5 1.3	5 1.3	5 1.3	54 13.7	
総合周産期母子医療センター	72 100.0	35 48.6	19 26.4	5 6.9	2 2.8	1 1.4	0 0.0	10 13.9	
地域周産期母子医療センター	125 100.0	69 55.2	31 24.8	3 2.4	1 0.8	4 3.2	2 1.6	15 12.0	
一般病院	166 100.0	97 58.4	31 18.7	9 5.4	2 1.2	0 0.0	3 1.8	24 14.5	
無回答	30 100.0	16 53.3	8 26.7	1 3.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 16.7	

(5) 複数の実習受け入れ時期が重なることの有無（病院）

助産実習を受け入れている病院のうち、複数の実習受け入れ時期が重なることがある施設は 30.5%（120 施設）であった。

周産期医療機能別では、複数の実習受け入れ時期が重なることがある施設は、総合周産期母子医療センターでは 25.0%（18 施設）、地域周産期母子医療センターでは 36.8%（46 施設）、一般病院では 30.1%（50 施設）であった。

図表 159 病院における複数の実習受け入れ時期が重なることの有無

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	ある	ない	無回答
全体	393 100.0	120 30.5	261 66.4	12 3.1
総合周産期母子医療センター	72 100.0	18 25.0	52 72.2	2 2.8
地域周産期母子医療センター	125 100.0	46 36.8	76 60.8	3 2.4
一般病院	166 100.0	50 30.1	109 65.7	7 4.2
無回答	30 100.0	6 20.0	24 80.0	0 0.0

(6) 夜間実習の受け入れの有無（病院）

助産実習を受け入れている病院のうち、夜間実習も受け入れている施設は 67.9%（267 施設）であった。

周産期医療機能別では、夜間実習の受け入れがある施設は、総合周産期母子医療センターでは 72.2%（52 施設）、地域周産期母子医療センターでは 68.8%（86 施設）、一般病院では 66.3%（110 施設）であった。

図表 160 病院における夜間実習の受け入れの有無

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	受け入れ有	受け入れ無	無回答
全体	393 100.0	267 67.9	116 29.5	10 2.5
総合周産期母子医療センター	72 100.0	52 72.2	19 26.4	1 1.4
地域周産期母子医療センター	125 100.0	86 68.8	36 28.8	3 2.4
一般病院	166 100.0	110 66.3	51 30.7	5 3.0
無回答	30 100.0	19 63.3	10 33.3	1 3.3

(7) 助産実習専任の実習指導者の配置状況（病院）

助産実習を受け入れている病院のうち、助産実習専任の実習指導者を配置している施設は 61.6% (242 施設) であった。

周産期医療機能別では、助産実習専任の実習指導者を配置している施設は、総合周産期母子医療センターでは 68.1% (49 施設)、地域周産期母子医療センターでは 58.4% (73 施設)、一般病院では 62.0% (103 施設) であった。

図表 161 病院における助産実習専任の実習指導者の配置状況

上段：回答数
下段：割合 (%)

	合計	配置している	配置していない	無回答
全体	393 100.0	242 61.6	145 36.9	6 1.5
総合周産期母子医療センター	72 100.0	49 68.1	22 30.6	1 1.4
地域周産期母子医療センター	125 100.0	73 58.4	50 40.0	2 1.6
一般病院	166 100.0	103 62.0	60 36.1	3 1.8
無回答	30 100.0	17 56.7	13 43.3	0 0.0

助産実習専任の実習指導者を配置している病院のうち、「業務と兼ねて、実習指導を行う」が 74.8% (181 施設)、「業務から独立して実習指導を行う」が 25.2% (61 施設) であった。

周産期医療機能別では、「業務から独立して実習指導を行う」施設は、総合周産期母子医療センターでは 24.5% (12 施設)、地域周産期母子医療センターでは 24.7% (18 施設)、一般病院では 24.3% (25 施設) であった。

図表 162 病院における助産実習専任の実習指導者の指導状況

上段：回答数
下段：割合 (%)

	合計	業務から独立して実習指導を行う	業務と兼ねて、実習指導を行う	無回答
全体	242 100.0	61 25.2	181 74.8	0 0.0
総合周産期母子医療センター	49 100.0	12 24.5	37 75.5	0 0.0
地域周産期母子医療センター	73 100.0	18 24.7	55 75.3	0 0.0
一般病院	103 100.0	25 24.3	78 75.7	0 0.0
無回答	17 100.0	6 35.3	11 64.7	0 0.0

(8) 助産実習専任の実習指導者を配置していない場合の指導状況（病院）

助産実習専任の実習指導者を配置していない病院の指導状況は、「その日の分娩室担当の助産師が実習指導を行う」が 79.3%（115 施設）と最も多く、次いで「妊産婦のその日の受け持ち助産師が実習指導を行う」70.3%（102 施設）、「病棟管理者が実習指導を行う」15.2%（22 施設）であった。

周産期医療機能別にみると、総合周産期母子医療センターでは、「その日の分娩室担当の助産師が実習指導を行う」が 86.4%（19 施設）と最も多く、次いで「妊産婦のその日の受け持ち助産師が実習指導を行う」68.2%（15 施設）、「妊産婦のその日の受け持ち看護師が実習指導を行う」22.7%（5 施設）であった。

地域周産期母子医療センターでは、「その日の分娩室担当の助産師が実習指導を行う」が 88.0%（44 施設）と最も多く、次いで「妊産婦のその日の受け持ち助産師が実習指導を行う」70.0%（35 施設）、「病棟管理者が実習指導を行う」14.0%（7 施設）であった。

一般病院では、「妊産婦のその日の受け持ち助産師が実習指導を行う」が 73.3%（44 施設）と最も多く、次いで「その日の分娩室担当の助産師が実習指導を行う」71.7%（43 施設）、「病棟管理者が実習指導を行う」18.3%（11 施設）であった。

図表 163 病院における助産実習専任の実習指導者を配置していない場合の指導状況

	合計	妊産婦のその日の受け持ち助産師が実習指導を行う	妊産婦のその日の受け持ち看護師が実習指導を行う	その日の分娩室担当の助産師が実習指導を行う	病棟管理者が実習指導を行う	学校の教員が実習指導を行い、職員は関与しない	その他	無回答	
								上段：回答数	下段：割合（%）
全体	145 100.0	102 70.3	18 12.4	115 79.3	22 15.2	3 2.1	15 10.3	3 2.1	0
総合周産期母子医療センター	22 100.0	15 68.2	5 22.7	19 86.4	2 9.1	0 0.0	2 9.1	0 0.0	0
地域周産期母子医療センター	50 100.0	35 70.0	3 6.0	44 88.0	7 14.0	0 0.0	6 12.0	2 4.0	0
一般病院	60 100.0	44 73.3	10 16.7	43 71.7	11 18.3	2 3.3	6 10.0	1 1.7	0
無回答	13 100.0	8 61.5	0 0.0	9 69.2	2 15.4	1 7.7	1 7.7	0 0.0	0

(9) 学校からの助産実習受け入れに関わる費用の受け取り状況（病院）

助産実習を受け入れている病院のうち、学校から実習に関わる費用を受け取っている施設は70.7%（278施設）であった。

周産期医療機能別では、学校から実習に関わる費用を受け取っている施設は、総合周産期母子医療センターでは62.5%（45施設）、地域周産期母子医療センターでは74.4%（93施設）、一般病院では70.5%（117施設）であった。

図表 164 助産実習受け入れにおける学校からの費用の受け取り状況（病院）

上段：回答数
下段：割合（%）

	合計	費用を受け取っている	費用は特に受け取っていない	無回答
全体	393 100.0	278 70.7	73 18.6	42 10.7
総合周産期母子医療センター	72 100.0	45 62.5	17 23.6	10 13.9
地域周産期母子医療センター	125 100.0	93 74.4	26 20.8	6 4.8
一般病院	166 100.0	117 70.5	28 16.9	21 12.7
無回答	30 100.0	23 76.7	2 6.7	5 16.7

(10) 助産学生の実習受け入れが可能になる条件

①病院

助産実習を受け入れていない病院のうち、助産学生の実習受け入れが可能になる条件としては「勤務助産師の数が増えれば、受け入れが可能」が42.2%（119施設）、「正常分娩の件数が増えれば、受け入れが可能」39.0%（110施設）、「専任の実習指導者を配置できれば、受け入れが可能」25.5%（72施設）であった。

周産期医療機能別にみた、総合周産期母子医療センターでは、「正常分娩の件数が増えれば、受け入れが可能」が46.2%（6施設）、「勤務助産師の数が増えれば、受け入れが可能」30.8%（4施設）、「専任の実習指導者を配置できれば、受け入れが可能」23.1%（3施設）であった。

地域周産期母子医療センターでは、「正常分娩の件数が増えれば、受け入れが可能」が44.1%（30施設）、「勤務助産師の数が増えれば、受け入れが可能」42.6%（29施設）、「専任の実習指導者を配置できれば、受け入れが可能」「学校側の指導者が実習にほぼ毎日同行してくれれば、受け入れが可能」がそれぞれ25.0%（17施設）であった。

一般病院では、「勤務助産師の数が増えれば、受け入れが可能」が41.5%（68施設）、「正常分娩の件数が増えれば、受け入れが可能」38.4%（63施設）、「専任の実習指導者を配置できれば、受け入れが可能」24.4%（40施設）であった。

図表 165 病院における助産学生の実習受け入れが可能になる条件

上段：回答数
下段：割合（%）

	全体	総合周産期 母子医療セ ンター	地域周産期 母子医療セ ンター	一般病院	無回答
合計	282 100.0	13 100.0	68 100.0	164 100.0	37 100.0
勤務助産師の数が増えれば、受け入れが可能	119 42.2	4 30.8	29 42.6	68 41.5	18 48.6
専任の実習指導者を配置できれば、受け入れが可能	72 25.5	3 23.1	17 25.0	40 24.4	12 32.4
勤務助産師や看護師の協力体制を整えれば、受け入れが可能	43 15.2	0 0.0	9 13.2	28 17.1	6 16.2
産科医師の協力が得られれば、受け入れが可能	34 12.1	1 7.7	8 11.8	22 13.4	3 8.1
妊産褥婦の理解と協力が得られれば、受け入れが可能	22 7.8	0 0.0	5 7.4	15 9.1	2 5.4
学校側の指導者が実習にほぼ毎日同行してくれれば、受け入れが可能	46 16.3	2 15.4	17 25.0	20 12.2	7 18.9
実習期間中の、施設と学校側との連携や話し合いの機会が増えれば、受け入れが可能	7 2.5	0 0.0	2 2.9	5 3.0	0 0.0
助産学生が、すでに看護師免許を有していれば、受け入れが可能	5 1.8	0 0.0	2 2.9	2 1.2	1 2.7
学生用のロッカールームや寮の整備など、物理的な環境を整えれば、受け入れが可能	12 4.3	0 0.0	1 1.5	9 5.5	2 5.4
将来的に就職に結びつけば、受け入れが可能	21 7.4	1 7.7	4 5.9	14 8.5	2 5.4
正常分娩の件数が増えれば、受け入れが可能	110 39.0	6 46.2	30 44.1	63 38.4	11 29.7
看護手順の整備を整えれば、受け入れが可能	2 0.7	0 0.0	0 0.0	2 1.2	0 0.0
実習費用手当が増額されれば、受け入れが可能	1 0.4	0 0.0	1 1.5	0 0.0	0 0.0
その他	38 13.5	3 23.1	8 11.8	19 11.6	8 21.6
無回答	63 22.3	2 15.4	14 20.6	40 24.4	7 18.9

②診療所

助産実習を受け入れていない診療所のうち、助産学生の実習受け入れが可能になる条件としては「勤務助産師の数が増えれば、受け入れが可能」が41.7%（143施設）で最も多く、次いで「専任の実習指導者を配置できれば、受け入れが可能」29.2%（100施設）、「勤務助産師や看護師の協力体制が整えば、受け入れが可能」23.3%（80施設）であった。

図表 166 診療所における助産学生の実習受け入れが可能になる条件

上段：回答数
下段：割合（%）

全体	343 100.0
勤務助産師の数が増えれば、受け入れが可能	143 41.7
専任の実習指導者を配置できれば、受け入れが可能	100 29.2
勤務助産師や看護師の協力体制が整えば、受け入れが可能	80 23.3
産科医師の協力が得られれば、受け入れが可能	58 16.9
妊産褥婦の理解と協力が得られれば、受け入れが可能	45 13.1
学校側の指導者が実習にほぼ毎日同行してくれれば、受け入れが可能	64 18.7
実習期間中の、施設と学校側との連携や話し合いの機会が増えれば、受け入れが可能	8 2.3
助産学生が、すでに看護師免許を有していれば、受け入れが可能	6 1.7
学生用のロッカールームや寮の整備など、物理的な環境が整えば、受け入れが可能	48 14.0
将来的に就職に結びつけば、受け入れが可能	33 9.6
正常分娩の件数が増えれば、受け入れが可能	27 7.9
看護手順の整備が整えば、受け入れが可能	4 1.2
実習費用手当が増額されれば、受け入れが可能	2 0.6
その他	60 17.5
無回答	62 18.1

第Ⅲ章 考察

1. “助産師が担うウィメンズヘルスケア”の提供状況について

1) 分娩取扱施設におけるウィメンズヘルスケアの実施状況と助産師の関与

本章では、“助産師が担う WHC” 11 項目（以下、11 項目）について、「周産期医療機能別」および「施設全体の助産師数」、「産科単科の有無」の 3 つの側面から考察を行った。

(1) 周産期医療機能別にみた“助産師が担う WHC” 11 項目の実施状況

- 本調査に回答した 684 病院における 11 項目は、いずれの項目も実施されており、本会が提案する“助産師に求められる WHC 能力（案）”は、その実施状況にばらつきがあるものの、実態に即していることが明らかになった。
- 11 項目の実施状況を周産期医療機能別にみると、「不妊、不育の悩みを持つ女性の支援」「予期せぬ妊娠をした女性の支援」「妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族支援」「子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援」の 4 項目で有意差（ $p < 0.05$ ）がみられ、総合周産期母子医療センター、地域周産期母子医療センター、一般病院の順に多い傾向があった。このことから、施設の機能や特徴によって、11 項目の実施状況に差があることが示唆された。
- 周産期医療機能別において、11 項目の実施状況で有意差がみられた「不妊、不育の悩みを持つ女性の支援」では、総合周産期母子医療センターにおける高度生殖医療の実施率 43.5%（37 施設）（図表 52）が最も多いこと等が影響していると考えられた。不妊治療の 1 つである体外受精によって出生した児の割合は、2004 年（平成 16 年）1.64 から 2010 年（平成 22 年）2.70 と、6 年間で約 1.6 倍に増加している⁴⁾。また、国では、不妊に悩む夫婦への特定治療支援事業（2004 年 厚生労働省）を開始し、2013 年の助成における延件数は 148,629 件と、9 年間で約 8 倍に増加している⁵⁾。さらに、不妊症看護認定看護師の資格保有率について、総合周産期母子医療センターでは 24.7%（21 施設）、地域周産期母子医療センターでは 9.7%（19 施設）に留まっており、医療機関における「不妊・不育の悩みを持つ女性の支援」の体制整備は十分とは言えず、助産師も積極的に関与していく必要性が示唆された。
- 周産期医療機能別において、11 項目の実施状況で有意差がみられた「予期せぬ妊娠をした女性の支援」では、思いがけない妊娠や望まない妊娠等で、医療機関に受診しない妊産婦が多く、その背景として、“家族に言えない”や“経済的問題”“知識不足”等が挙げられ、母体合併症のリスクが報告されている⁶⁾。本調査においても、未妊健分娩件数の 73.0%が総合・地域周産期母子医療センターに集中していることから、「予期せぬ妊娠をした女性の支援」の実施状況に影響していると考えられた。さらに、未妊健妊婦は、虐待や経済的問題、シングルマザー等の複合的な社会的リスクとの関連があること等が報告されており⁶⁾、総合・地域周産期母子医療センターで「妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援」「子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援」の実施割合が高かったことが影響しているのではないかと考えられた。

(2) 周産期医療機能別にみた“助産師が担う WHC” 11 項目の相談等の受付窓口体制と助産師の関与

- 施設における 11 項目の実施状況に関わらず、相談等を受け付ける窓口や体制が設けられている施設では、助産師が関わっていることが明らかになった。
- 11 項目を実施している施設のうち、相談等を受け付ける窓口や体制について、「産前・産後のメンタルヘルス」「妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援」「子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援」の 3 項目で有意差 ($p < 0.05$) がみられ、総合周産期母子医療センター、地域周産期母子医療センター、一般病院の順に多い傾向があった。
- 相談窓口等を受け付ける窓口や体制で有意差がみられた、「産前・産後のメンタルヘルス」「妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援」「子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援」では、身体的・社会的な複合的なリスクを有する妊産婦が、総合・地域周産期母子医療センターに集中していると推察された。そのため、総合・地域周産期母子医療センターにおいては、地域連携の体制整備が求められると考える。しかし、「連携のための定期的な会議が設けられている」と回答した施設でも、「産前・産後のメンタルヘルス」19.1% (101 施設)、「妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援」25.0% (145 施設)、「子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援」34.8% (162 施設) に留まっていた。これらの支援では、医療機関と地域との切れ目のない支援と連携が求められることから、連携強化にむけて定期的な会議の設置の必要性が示唆された。
- 特に、「産前・産後のメンタルヘルス」をケアすることについては、妊娠によるホルモンの影響等を受け、マタニティブルーや産後うつ発症率が高くなることを念頭におく必要がある。周産期医療体制におけるありかた検討会（厚生労働省）では、妊産婦死亡率が 10 万人に 2.7 人⁷⁾ に対し、2016 年東京の周産期自殺率は出生 10 万に対し 8.7 人と約 3 倍も高かったことが報告されている⁸⁾。さらに、周産期自殺で精神疾患を締めた割合は、妊娠中のうつ病が約 3 割であり、産後うつ病や統合失調症等を含めると約 40%強にのぼり、これらについては精神科医等の医療体制の強化で防ぎうる群であると報告している⁸⁾。また、周産期のメンタルヘルスケアでは、妊産婦に関わる助産師がスクリーニングを行うことで、支援が必要な対象に必要な支援が適切に提供できることが期待されていることから、妊産婦のメンタルヘルスケアが実践できる助産師の育成や早期発見に寄与するツール（エジンバラ産後うつ質問票、育児支援地チェックリスト、育児支援チェックリスト）の理解や活用が求められる。
- 助産師の関与で有意差の見られた、「産前・産後以外のメンタルヘルス」については、一般病院、地域周産期母子医療センター、総合周産期母子医療センターの順に多い傾向がみられた。これは、周産期医療以外の女性のメンタルヘルスであるため、助産師が関与する機会が少ないことが影響していると考えられた。

図表 167 周産期医療機能別のウィメンズヘルスケア提供における有意差検定の結果

上段：回答数
下段：割合 (%)

			(1) 実施の有無				(2) (1) で実施している回答した施設のうち、相談等を受け付ける窓口・体制の有無				(3) (2) で窓口・体制があると回答した施設の助産師の関わりの有無			
	n	%	実施している	実施していない	実施している	実施していない	有	あ	な	有	関	関	有	関
① 家族計画の支援	総合周産期母子医療センター	83	75	8			41	34		40	37	3		
		100.0	90.4	9.6			54.7	45.3		100.0	92.5	7.5		
	地域周産期母子医療センター	184	162	22			75	82		75	73	2		
		100.0	88.0	12.0			47.8	52.2		100.0	97.3	2.7		
	一般病院	311	257	54			122	120		119	116	3		
	100.0	82.6	17.4			50.4	49.6		100.0	97.5	2.5			
	62	50	12			48	24		23	23	0			
	100.0	80.6	19.4			50.0	50.0		100.0	100.0	0.0			
② 不妊、不育の悩みを持つ女性の支援	総合周産期母子医療センター	80	48	32			37	9		37	24	13		
		100.0	60.0	40.0			80.4	19.6		100.0	64.9	35.1		
	地域周産期母子医療センター	181	86	95			62	23		62	37	25		
		100.0	47.5	52.5	*		72.9	27.1		100.0	59.7	40.3		
	一般病院	296	131	165			80	47		80	46	34		
	100.0	44.3	55.7			63.0	37.0		100.0	57.5	42.5			
	62	26	36			14	11		14	6	8			
	100.0	41.9	58.1			56.0	44.0		100.0	42.9	57.1			
③ 性感帯症の支援	総合周産期母子医療センター	81	36	45			24	12		24	15	9		
		100.0	44.4	55.6			66.7	33.3		100.0	62.5	37.5		
	地域周産期母子医療センター	182	91	91			53	36		53	33	20		
		100.0	50.0	50.0			59.6	40.4		100.0	62.3	37.7		
	一般病院	297	143	154			78	60		78	53	25		
	100.0	48.1	51.9			56.5	43.5		100.0	67.9	32.1			
	59	34	25			17	15		17	13	4			
	100.0	57.6	42.4			53.1	46.9		100.0	76.5	23.5			
④ 月経異常や月経痛、痛みの支援（更年期障害を含む）	総合周産期母子医療センター	80	40	40			29	11		29	12	17		
		100.0	50.0	50.0			72.5	27.5		100.0	41.4	58.6		
	地域周産期母子医療センター	182	91	91			57	32		57	26	31		
		100.0	50.0	50.0			64.0	36.0		100.0	45.6	54.4		
	一般病院	296	146	150			86	57		85	52	33		
	100.0	49.3	50.7			60.1	39.9		100.0	61.2	38.8			
	61	31	30			15	13		15	9	6			
	100.0	50.8	49.2			53.6	46.4		100.0	60.0	40.0			

⑤女性に対する暴力予防の支援	総合周産期母子医療センター	n	81	37	44	37	28	9	28	22	6
	%	100.0	45.7	54.3	100.0	75.7	24.3	24.3	100.0	78.6	21.4
	地域周産期母子医療センター	n	181	77	104	46	27	9	46	37	9
	%	100.0	42.5	57.5	100.0	63.0	37.0	37.0	100.0	80.4	19.6
	一般病院	n	295	106	189	65	37	15	63	48	15
	%	100.0	35.9	64.1	100.0	63.7	36.3	36.3	100.0	76.2	23.8
	無回答	n	60	19	41	17	10	0	30	10	0
	%	100.0	31.7	68.3	100.0	58.8	41.2	41.2	100.0	100.0	0.0
⑥予期せぬ妊娠をした女性の支援	総合周産期母子医療センター	n	79	58	21	37	20	2	36	34	2
	%	100.0	73.4	26.6	100.0	64.9	35.1	35.1	100.0	94.4	5.6
	地域周産期母子医療センター	n	182	125	57	71	49	9	70	61	9
	%	100.0	68.7	31.3	100.0	59.2	40.8	40.8	100.0	87.1	12.9
	一般病院	n	302	180	122	173	72	14	101	87	14
	%	100.0	59.6	40.4	100.0	58.4	41.6	41.6	100.0	86.1	13.9
	無回答	n	60	36	24	33	21	12	21	20	1
	%	100.0	60.0	40.0	100.0	63.6	36.4	36.4	100.0	95.2	4.8
⑦多様な性の支援	総合周産期母子医療センター	n	79	15	64	15	13	2	13	8	5
	%	100.0	19.0	81.0	100.0	86.7	13.3	13.3	100.0	61.5	38.5
	地域周産期母子医療センター	n	179	28	151	26	14	12	14	11	3
	%	100.0	15.6	84.4	100.0	53.8	46.2	46.2	100.0	78.6	21.4
	一般病院	n	289	42	247	40	22	18	22	19	3
	%	100.0	14.5	85.5	100.0	55.0	45.0	45.0	100.0	86.4	13.6
	無回答	n	59	9	50	9	4	5	4	3	1
	%	100.0	15.3	84.7	100.0	44.4	55.6	55.6	100.0	75.0	25.0
⑧産前・産後のメンタルヘルスクア	総合周産期母子医療センター	n	81	73	8	70	53	17	52	48	4
	%	100.0	90.1	9.9	100.0	75.7	24.3	24.3	100.0	92.3	7.7
	地域周産期母子医療センター	n	186	155	31	148	105	43	105	100	5
	%	100.0	83.3	16.7	100.0	70.9	29.1	29.1	100.0	95.2	4.8
	一般病院	n	310	250	60	230	155	75	155	152	3
	%	100.0	80.6	19.4	100.0	67.4	32.6	32.6	100.0	98.1	1.9
	無回答	n	61	50	11	48	30	18	30	29	1
	%	100.0	82.0	18.0	100.0	62.5	37.5	37.5	100.0	96.7	3.3
⑨産前・産後以外のメンタルヘルスクア	総合周産期母子医療センター	n	80	41	39	39	34	5	33	21	12
	%	100.0	51.3	48.8	100.0	87.2	12.8	12.8	100.0	63.6	36.4
	地域周産期母子医療センター	n	181	65	116	63	46	17	46	31	15
	%	100.0	35.9	64.1	100.0	73.0	27.0	27.0	100.0	67.4	32.6
	一般病院	n	295	117	178	113	74	39	74	62	12
	%	100.0	39.7	60.3	100.0	65.5	34.5	34.5	100.0	83.8	16.2
	無回答	n	59	21	38	20	15	5	15	13	2
	%	100.0	35.6	64.4	100.0	75.0	25.0	25.0	100.0	86.7	13.3
⑩妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援	総合周産期母子医療センター	n	82	79	3	74	63	11	61	59	2
	%	100.0	96.3	3.7	100.0	85.1	14.9	14.9	100.0	96.7	3.3
	地域周産期母子医療センター	n	188	177	11	166	131	35	131	127	4
	%	100.0	94.1	5.9	100.0	78.9	21.1	21.1	100.0	96.9	3.1
	一般病院	n	314	272	42	253	175	78	174	172	2
	%	100.0	86.6	13.4	100.0	69.2	30.8	30.8	100.0	98.9	1.1
	無回答	n	62	52	10	48	35	13	35	35	0
	%	100.0	83.9	16.1	100.0	72.9	27.1	27.1	100.0	100.0	0.0
⑪子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援	総合周産期母子医療センター	n	82	72	10	66	57	9	56	51	5
	%	100.0	87.8	12.2	100.0	86.4	13.6	13.6	100.0	91.1	8.9
	地域周産期母子医療センター	n	184	146	38	137	108	29	108	98	10
	%	100.0	79.3	20.7	100.0	78.8	21.2	21.2	100.0	90.7	9.3
	一般病院	n	302	213	89	201	133	68	133	125	8
	%	100.0	70.5	29.5	100.0	66.2	33.8	33.8	100.0	94.0	6.0
	無回答	n	60	34	26	32	24	8	22	21	1
	%	100.0	56.7	43.3	100.0	75.0	25.0	25.0	100.0	95.5	4.5

(3) 助産師数別にみた“助産師が担う WHC” 11 項目の実施状況と助産師の関与

- 助産師数別にみた 11 項目の実施状況については、「多様な性の支援」が最も低く、次いで、「産前・産後以外のメンタルヘルスケア」であった。「多様な性の支援」については、性同一障害や自分の性に違和感をもつ個人が、容易に相談・受診できる医療施設は限られている。今後、「多様な性の支援」に関する体制整備が進んでいくと考えられ、助産師も支援に必要な知識を備えておく必要がある。
- 「不妊・不育の悩みを持つ女性の支援」「予期せぬ妊娠をした女性の支援」「妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援」「子育て支援による子どもの虐待防止とその家族への支援」の 4 項目については、助産師数が多くなるほど実施されている傾向がみられた。
- 相談等を受け付ける窓口や体制がある施設における助産師の関与では、「月経異常や月経障害等の支援（更年期を含む）」が最も少なかった。女性のライフサイクルに関わる助産師には、日頃から、月経異常等の相談を受ける一方で、更年期を含めた支援が求められることから、学習していく必要がある項目と考える。
- 「産前・産後のメンタルヘルスケア」「妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援」「子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援」の 3 項目では、助産師数に関わらず 9 割以上が関与していた。それらについては、地域との連携が必要であることから、関係する機関・職種との連携強化が課題である。

図表 168 助産師数別のウィメンズヘルスケア提供状況

上段：回答数
下段：割合 (%)

	(1) 実態の有無				(2) 相談窓口・支援				(3) 助産師の関与						
	実態の有無 あり なし わからない	割合 %	実態の有無 あり なし わからない	割合 %	相談窓口・支援 あり なし わからない	割合 %	相談窓口・支援 あり なし わからない	割合 %	助産師の関与 関与 関与しない 関与不明	割合 %	助産師の関与 関与 関与しない 関与不明	割合 %	助産師の関与 関与 関与しない 関与不明		
助産師数別の支援	0人	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	1~20人	303	235	48	20	235	107	113	15	107	101	2	107	4	
	21~40人	252	201	77.6	15.8	100.0	45.5	48.1	6.4	94.4	1.9	3.7	94.4	3.7	
	41~60人	83	74	89.2	8.4	100.0	48.3	48.8	3.0	96.9	3.1	0.0	96.9	3.1	
	61~80人	16	12	75.0	18.8	100.0	83.3	16.7	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
	81人以上	10	10	100.0	0.0	100.0	70.0	30.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
	0人	0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	1~20人	303	117	38.6	50.2	117	64	41.0	4.3	100.0	53.1	34	100.0	34	
	21~40人	252	106	42.1	49.2	100.0	71.7	27.4	0.9	100.0	60.5	46	100.0	46	
	41~60人	83	44	53.0	41.0	100.0	75.0	25.0	0.0	100.0	66.7	33	100.0	33	
61~80人	16	8	50.0	43.8	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	87.5	12.5	100.0	12.5		
81人以上	10	7	70.0	30.0	100.0	85.7	14.3	0.0	100.0	33.3	66.7	100.0	66.7		
0人	0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
1~20人	303	131	43.2	45.2	131	70	42.0	5.5	100.0	68.6	48	100.0	48		
21~40人	252	114	45.2	45.2	100.0	57.3	41.0	1.7	100.0	67.2	32.8	100.0	32.8		
41~60人	83	37	44.6	49.4	100.0	51.4	45.9	2.7	100.0	47.4	52.6	100.0	52.6		
61~80人	16	6	37.5	56.3	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	83.3	16.7	100.0	16.7		
81人以上	10	5	50.0	50.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	50.0	50.0	100.0	50.0		
0人	0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
1~20人	303	129	42.6	45.9	129	69	43.4	3.1	100.0	56.5	29	100.0	29		
21~40人	252	114	45.2	45.9	100.0	57.3	41.0	1.7	100.0	67.2	32.8	100.0	32.8		
41~60人	83	45	54.2	56.3	100.0	60.0	40.0	0.0	100.0	40.7	59.3	100.0	59.3		
61~80人	16	6	37.5	56.3	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	66.7	33.3	100.0	33.3		
81人以上	10	6	60.0	40.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	10.7	89.3	100.0	89.3		
0人	0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
1~20人	303	88	29.0	59.7	88	52	35.2	5.7	100.0	78.8	21.2	100.0	21.2		
21~40人	252	100	39.7	50.8	100.0	64.0	33.0	3.0	100.0	75.0	25.0	100.0	25.0		
41~60人	83	32	38.6	46.4	100.0	75.0	25.0	0.0	100.0	81.0	19.0	100.0	19.0		
61~80人	16	8	50.0	43.8	100.0	75.0	25.0	12.5	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0		
81人以上	10	5	50.0	50.0	100.0	60.0	20.0	20.0	100.0	66.7	33.3	100.0	33.3		

(4) 産科関連病棟における病棟編成別に見た“助産師が担う WHC” 11 項目の実施状況と助産師の関与

- 11 項目の実施状況や助産師の関与については、産科単科とそれ以外の病棟編成による違いは見られず、いずれの項目においても実施されていることが明らかになった。
- 11 項目の実施状況について有意差 ($p < 0.05$) がみられたのは、「不妊・不育の悩みをもつ女性の支援」「予期せぬ妊娠をした女性の支援」「妊娠期から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援」「子育て支援による子どもの虐待予防とその家族への支援」の 4 項目であった。この 4 項目については、WHC11 項目を実施していると回答した施設で相談等を受け付ける窓口や体制についても、有意差 ($p < 0.05$) がみられた。
- 今後、産科と婦人科以外の診療科の実施状況や助産師数、分娩件数等と合わせて、詳細に分析する必要がある。

図表 169 産科関連病棟における病棟編成別にみた“助産師が担うWHC”11項目の実施状況と助産師の関与

上段：回答数
下段：割合 (%)

		(1) 実施の有無				(2) 相談受付窓口・支援				(3) 助産師の関わり			
		合計	実施している	実施していない	無回答	合計	ある	ない	無回答	合計	関わっている	関わっていない	無回答
①家族計画の支援	産科単科	157	125	18	14	125	71	51	3	71	68	2	1
		100.0	79.6	11.5	8.9	100.0	56.8	40.8	2.4	100.0	95.8	2.8	1.4
	産科と婦人科の混合病棟	210	163	33	14	163	73	82	8	73	71	1	1
	100.0	77.6	15.7	6.7	100.0	44.8	50.3	4.9	100.0	97.3	1.4	1.4	
	316	255	45	16	255	117	127	11	117	109	5	3	
	100.0	80.7	14.2	5.1	100.0	45.9	49.8	4.3	100.0	93.2	4.3	2.6	
②不妊、不育の悩みを持つ女性の支援	産科単科	157	90	51	16	90	62	26	2	62	38	24	0
		100.0	57.3	32.5	10.2	100.0	68.9	28.9	2.2	100.0	61.3	38.7	0.0
	産科と婦人科の混合病棟	210	73	116	21	73	47	22	4	47	35	12	0
	100.0	34.8	55.2	10.0	100.0	64.4	30.1	5.5	100.0	74.5	25.5	0.0	
	316	127	161	28	127	83	42	2	83	40	43	0	
	100.0	40.2	50.9	8.9	100.0	65.4	33.1	1.6	100.0	48.2	51.8	0.0	
③性感染症の支援	産科単科	157	68	71	18	68	40	27	1	40	25	15	0
		100.0	43.3	45.2	11.5	100.0	58.8	39.7	1.5	100.0	62.5	37.5	0.0
	産科と婦人科の混合病棟	210	88	101	21	88	49	32	7	49	39	10	0
	100.0	41.9	48.1	10.0	100.0	55.7	36.4	8.0	100.0	79.6	20.4	0.0	
	316	147	143	26	147	82	64	1	82	50	32	0	
	100.0	46.5	45.3	8.2	100.0	55.8	43.5	0.7	100.0	61.0	39.0	0.0	
④月経異常や月経障害等の支援（更年期指導含む）	産科単科	157	75	63	19	75	49	26	0	49	25	24	0
		100.0	47.8	40.1	12.1	100.0	65.3	34.7	0.0	100.0	51.0	49.0	0.0
	産科と婦人科の混合病棟	210	93	98	19	93	56	32	5	56	33	23	0
	100.0	44.3	46.7	9.0	100.0	60.2	34.4	5.4	100.0	58.9	41.1	0.0	
	316	139	150	27	139	81	55	3	81	41	39	1	
	100.0	44.0	47.5	8.5	100.0	58.3	39.6	2.2	100.0	50.6	48.1	1.2	
⑤女性に対する暴力予防の支援	産科単科	157	65	74	18	65	40	22	3	40	32	8	0
		100.0	41.4	47.1	11.5	100.0	61.5	33.8	4.6	100.0	80.0	20.0	0.0
	産科と婦人科の混合病棟	210	69	122	19	69	48	18	3	48	42	5	1
	100.0	32.9	58.1	9.0	100.0	69.6	26.1	4.3	100.0	87.5	10.4	2.1	
	316	104	182	30	104	60	40	4	60	43	16	1	
	100.0	32.9	57.6	9.5	100.0	57.7	38.5	3.8	100.0	71.7	26.7	1.7	

	(1) 実施の有無				(2) 相談受付窓口・支援				(3) 助産師の関わり				
	合計	実施している	実施していない	無回答	合計	あ	ない	無回答	合計	関わっている	関わっていない	無回答	
⑥ 予期せぬ妊娠をした女性の支援	n	157	104	35	18	104	61	39	4	61	56	3	2
	%	100.0	66.2	22.3	11.5	100.0	58.7	37.5	3.8	100.0	91.8	4.9	3.3
	n	210	121	71	18	121	69	45	7	69	64	5	0
⑦ 多様な性の支援	%	100.0	57.6	33.8	8.6	100.0	57.0	37.2	5.8	100.0	92.8	7.2	0.0
	n	316	173	118	25	173	99	69	5	99	82	17	0
	%	100.0	54.7	37.3	7.9	100.0	57.2	39.9	2.9	100.0	82.8	17.2	0.0
⑧ 産前・産後のメンタルヘルスケア	n	157	28	109	20	28	17	9	2	17	12	5	0
	%	100.0	17.8	69.4	12.7	100.0	60.7	32.1	7.1	100.0	70.6	29.4	0.0
	n	210	28	157	25	28	16	11	1	16	15	1	0
⑨ 産前・産後以外のメンタルヘルスケア	%	100.0	13.3	74.8	11.9	100.0	57.1	39.3	3.6	100.0	93.8	6.3	0.0
	n	316	37	246	33	37	19	17	1	19	14	5	0
	%	100.0	11.7	77.8	10.4	100.0	51.4	45.9	2.7	100.0	73.7	26.3	0.0
⑩ 妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援	n	157	126	19	12	126	91	30	5	91	86	4	1
	%	100.0	80.3	12.1	7.6	100.0	72.2	23.8	4.0	100.0	94.5	4.4	1.1
	n	210	163	33	14	163	103	47	13	103	98	5	0
⑪ 子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援	%	100.0	77.6	15.7	6.7	100.0	63.2	28.8	8.0	100.0	95.1	4.9	0.0
	n	316	238	58	20	238	148	76	14	148	144	4	0
	%	100.0	75.3	18.4	6.3	100.0	62.2	31.9	5.9	100.0	97.3	2.7	0.0
⑫ 産前・産後以外のメンタルヘルスケア	n	157	66	72	19	66	51	13	2	51	37	13	1
	%	100.0	42.0	45.9	12.1	100.0	77.3	19.7	3.0	100.0	72.5	25.5	2.0
	n	210	73	113	24	73	50	19	4	50	35	15	0
⑬ 妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援	%	100.0	34.8	53.8	11.4	100.0	68.5	26.0	5.5	100.0	70.0	30.0	0.0
	n	316	105	185	26	105	68	34	3	68	55	13	0
	%	100.0	33.2	58.5	8.2	100.0	64.8	32.4	2.9	100.0	80.9	19.1	0.0
⑭ 子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援	n	157	141	6	10	141	110	21	10	110	104	3	3
	%	100.0	89.8	3.8	6.4	100.0	78.0	14.9	7.1	100.0	94.5	2.7	2.7
	n	210	176	21	13	176	122	39	15	122	120	2	0
⑮ 産科単科	%	100.0	83.8	10.0	6.2	100.0	69.3	22.2	8.5	100.0	98.4	1.6	0.0
	n	316	262	39	15	262	171	77	14	171	168	3	0
	%	100.0	82.9	12.3	4.7	100.0	65.3	29.4	5.3	100.0	98.2	1.8	0.0
⑯ 産科単科	n	157	125	20	12	125	100	15	10	100	91	7	2
	%	100.0	79.6	12.7	7.6	100.0	80.0	12.0	8.0	100.0	91.0	7.0	2.0
	n	210	141	52	17	141	94	38	9	94	90	4	0
⑰ 産科単科	%	100.0	67.1	24.8	8.1	100.0	66.7	27.0	6.4	100.0	95.7	4.3	0.0
	n	316	198	91	27	198	127	61	10	127	113	13	1
	%	100.0	62.7	28.8	8.5	100.0	64.1	30.8	5.1	100.0	89.0	10.2	0.8

図表 170 産科関連病棟における病棟編成別にみた“助産師が担う WHC” 11 項目の実施状況と助産師の関与における有意差検定の結果

上段：回答数
下段：割合 (%)

	(1) 実施の有無				(2) 相談受付窓口・支援				(3) 助産師の関わり			
	合計	実施している	実施していない	有意差検定	合計	あ	ない	有意差検定	合計	関わっている	関わっていない	有意差検定
① 家族計画の支援	産科単科	n 143	125 87.4	18 12.6		122	71	51		70	68	2
	産科と婦人科の混合病棟	% 100.0	87.4	12.6		100.0	58.2	41.8		100.0	97.1	2.9
	その他	n 196	163 83.2	33 16.8		155	73	82		72	71	1
② 不妊、不育の悩みを持つ女性の支援	産科単科	n 141	90 63.8	51 36.2	*	88	62	26		62	38	24
	産科と婦人科の混合病棟	% 100.0	63.8	36.2	*	100.0	70.5	29.5	*	100.0	61.3	38.7
	その他	n 189	73 38.6	116 61.4		69	47	22		47	35	12
③ 性感染症の支援	産科単科	n 139	68 48.9	71 51.1		67	40	27		40	25	15
	産科と婦人科の混合病棟	% 100.0	48.9	51.1		100.0	59.7	40.3		100.0	62.5	37.5
	その他	n 189	88 46.6	101 53.4		81	49	32		49	39	10
④ 月経異常や月経障害等の支援（更年期指導含む）	産科単科	n 138	75 54.3	63 45.7		75	49	26		49	25	24
	産科と婦人科の混合病棟	% 100.0	54.3	45.7		100.0	65.3	34.7		100.0	51.0	49.0
	その他	n 290	147 50.7	143 49.3		146	82	64		82	50	32
⑤ 女性に対する暴力予防の支援	産科単科	n 139	65 46.8	74 53.2		62	40	22		40	32	8
	産科と婦人科の混合病棟	% 100.0	46.8	53.2		100.0	64.5	35.5		100.0	80.0	20.0
	その他	n 286	104 36.4	182 63.6		66	48	18		47	42	5
		n 286	104 36.4	182 63.6		100	60	40		59	43	16
		% 100.0	36.4	63.6		100.0	60.0	40.0		100.0	72.9	27.1

	(1) 実施の有無		(2) 相談受付窓口・支援		(3) 助産師の関わり							
	合計	実施している	実施していない	有意差検定	合計	あ	ない	有意差検定	合計	関わっている	関わっていない	有意差検定
⑥ 予期せぬ妊娠した女性の支援	n	139	104	35	100	61	39		59	56	3	
	%	100.0	74.8	25.2	100.0	61.0	39.0	*	100.0	94.9	5.1	
	n	192	121	71	*	114	69	45	69	64	5	
⑦ 多様な性の支援	%	100.0	63.0	37.0	100.0	60.5	39.5		100.0	92.8	7.2	
	n	291	173	118	168	99	69		99	82	17	
	%	100.0	59.5	40.5	100.0	58.9	41.1		100.0	82.8	17.2	
⑧ 産前・産後のメンタルヘルスケア	n	137	28	109	26	17	9		17	12	5	
	%	100.0	20.4	79.6	100.0	65.4	34.6		100.0	70.6	29.4	
	n	185	28	157	27	16	11		16	15	1	
⑨ 産前・産後以外のメンタルヘルスケア	%	100.0	15.1	84.9	100.0	59.3	40.7		100.0	93.8	6.3	
	n	283	37	246	36	19	17		19	14	5	
	%	100.0	13.1	86.9	100.0	52.8	47.2		100.0	73.7	26.3	
⑩ 妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援	n	145	126	19	121	91	30		90	86	4	
	%	100.0	86.9	13.1	100.0	75.2	24.8		100.0	95.6	4.4	
	n	196	163	33	150	103	47		103	98	5	
⑪ 子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援	%	100.0	83.2	16.8	100.0	68.7	31.3		100.0	95.1	4.9	
	n	296	238	58	224	148	76		148	144	4	
	%	100.0	80.4	19.6	100.0	66.1	33.9		100.0	97.3	2.7	
⑫ 産前・産後以外のメンタルヘルスケア	n	138	66	72	64	51	13		50	37	13	
	%	100.0	47.8	52.2	100.0	79.7	20.3		100.0	74.0	26.0	
	n	186	73	113	69	50	19		50	35	15	
⑬ 妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援	%	100.0	39.2	60.8	100.0	72.5	27.5		100.0	70.0	30.0	
	n	290	105	185	102	68	34		68	55	13	
	%	100.0	36.2	63.8	100.0	66.7	33.3		100.0	80.9	19.1	
⑭ 子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援	n	147	141	6	131	110	21		107	104	3	
	%	100.0	95.9	4.1	100.0	84.0	16.0		100.0	97.2	2.8	
	n	197	176	21	161	122	39		122	120	2	
⑮ 子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援	%	100.0	89.3	10.7	100.0	75.8	24.2		100.0	98.4	1.6	
	n	301	262	39	248	171	77		171	168	3	
	%	100.0	87.0	13.0	100.0	69.0	31.0		100.0	98.2	1.8	
⑯ 子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援	n	145	125	20	115	100	15		98	91	7	
	%	100.0	86.2	13.8	100.0	87.0	13.0		100.0	92.9	7.1	
	n	193	141	52	132	94	38		94	90	4	
⑰ 子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援	%	100.0	73.1	26.9	100.0	71.2	28.8		100.0	95.7	4.3	
	n	289	198	91	188	127	61		126	113	13	
	%	100.0	68.5	31.5	100.0	67.6	32.4		100.0	89.7	10.3	

(5) 診療所における WHC11 項目の実施状況と助産師の関与について

- 本調査において回答のあった 471 診療所における 11 項目の実施状況は、いずれの項目においても実施されていることが、初めて明らかになった (図表 96)。
- 11 項目を実施していると回答した診療所において、8 割を超えて助産師が関わっていたのは、「家族計画の支援」「産前・産後のメンタルヘルスケア」「妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援」「子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援」の 4 項目であった。
- 一方で、助産師の関わりが 3 割を下回っていたのは、「不妊・不育の悩みを持つ女性への支援」「性感染症の支援」「月経異常や月経障害等の支援 (更年期指導を含む)」の 3 項目であった。
- 9 割以上の診療所では、「不妊、不育の悩みを持つ女性の支援」「性感染症の支援」「月経異常や月経障害の支援 (更年期指導を含む)」「予期せぬ妊娠をした女性の支援」「多様な性の支援」の 5 項目において医師の関わりが見られた。
- 上記より、診療所においても、助産師は、医師との連携を図りながら、必要な支援を提供できるよう WHC 能力の獲得の必要性が示唆された。

2. 専門的自律能力の育成に関する研修実施について

1) ウィメンズヘルスケアに必要な専門的自律能力の育成に関する研修

- 本会では、“助産師が担う WHC”を支える専門的自律能力として、「コーディネーション」「意思決定支援」「接遇」「企画力」「コミュニケーション」を設けた。
- 専門的自律能力の育成に関する研修を実施している病院は、「接遇」に関する研修が78.1%（534施設）で最も多く、次いで「コミュニケーション」52.0%（356施設）であったが、「企画力」15.1%（103施設）、「意思決定支援」22.4%（153施設）、「コーディネーション」11.8%（81施設）と低かった（図表53）。
- また、周産期医療機能別でも、ほぼ同様の結果であった（図表54）。
- 診療所では、専門的自律能力の育成に関する研修を実施している施設は、「接遇」に関する研修が最も多く42.5%（200施設）、次いで「コミュニケーション」21.7%（102施設）であり、「企画力」「意思決定支援」「コーディネーション」は10%を下回っていた。
- “助産師が担う WHC”については、「女性に対する暴力予防の支援」「予期せぬ妊娠をした女性の支援」「多様な性の支援」等々、多職種・多機関と連携し、協働しながら支援を行うことが求められる。そのため、周産期に関わる知識・技術・態度のみでは、十分とは言えない。特に、様々な課題を抱える対象に「意思決定支援」をし、必要な支援に繋いでいくためには「コーディネーション」や「コミュニケーション」力が求められる。そのためには地域や対象に合わせた「企画力」「接遇」が必要である。
- 上記を踏まえ、本会が提示した WHC 能力を獲得していくためには、院内外における研修体制の強化が課題である。

2) 助産師のキャリアパスとウィメンズヘルスケア能力の習熟過程

○助産師は、就業する施設の機能や特徴によって、WHC能力の獲得に差が生じており、WHC能力の11項目を意図的かつ計画的に獲得していくための習熟過程を示すことが重要であると考えた。

○11項目の習熟過程については、「助産師のキャリアパス」(『CLOCMiP[®]活用ガイド』³⁾、日本看護協会)の経験年数と「キャリアの分岐点」「キャリアカウンセリングの時期」「キャリアの開発の方向付け」等の他に、女性や家族を取り巻く社会状況、看護教育・助産教育等を踏まえた方向性を示し(図表171)、実践力強化を図っていく必要がある。

○今後は、11項目と習熟過程を提示するとともに、助産師個人が、WHC能力を獲得していくことができるように研修等の支援が必要である。

図表 171 助産師のキャリアパスと「ウィメンズヘルスケア能力」の習熟過程(案)

経験年数 年齢	入職～	～3年目	4年目～	6年目～	～	～10年	11年目～	16年目～	25年目～	35年目～		
	23・24歳～	27歳	28・29歳	30歳頃		34歳	35歳	40歳	45歳	50歳	60歳～	
ライフサイクル イベント	助産師資格取得後、就職		～結婚 第1子出産		～第2子出産～		～第3子出産～				定年退職	セカンドキャリア
キャリア分岐点	基本的実践能力獲得期		実践能力獲得期	実践能力強化・拡大と ライフイベントの調和期			役割(視野)拡大期	キャリア充実期		セカンドキャリア準備期 ライフイベント再来		
キャリアカウンセ リングの時期	1回目 目的: 育成計画の共有 (個人目標と組織目標のすり合わせ)			2回目 目的: キャリア継続、役割拡大、 実践能力強化			3回目 目的: キャリアの方向性の確認、 キャリアチェンジの可能性	4回目 目的: 専門分野の強化・展開、 後輩の育成		5回目 目的: セカンドキャリアの支援、 生涯助産師として就業継続する		
CLOCMiPのレベル	ラダー-新人～I		ラダー-II	ラダー-III		ラダー-IV						
<p>4 指導ができる 3 自任して実践できる 2 助言のもと実践できる 1 知識として理解している</p> <p>女性や家族を取り巻く社会状況や助産教育等を踏まえた方向性を示す</p> <p>助産師のキャリアパスと「ウィメンズヘルスケア能力」の習熟過程(案)</p>												
ウィメンズ ヘルスケア 能力	①家族計画の 支援	4	3	2	1							
	②不妊、不育の悩 みを持つ女性の 支援	4	3	2	1							
	③性感障害の 支援	4	3	2	1							
	④月経異常や月経 障害等の支援(更年 期指導含む)	4	3	2	1							
	⑤女性に対する 暴力予防の支援	4	3	2	1							
	⑥予期せぬ妊娠を した女性の支援	4	3	2	1							
	⑦多様な性の 支援	4	3	2	1							
	⑧産前・産後の メンタルヘルス ケア	4	3	2	1							
	⑨産前・産後以外 のメンタルヘル スケア	4	3	2	1							
	⑩妊娠から育児に おいて支援を必要と する母親とその家 族の支援	4	3	2	1							
	⑪子育て支援によ る子どもの虐待 予防とその家 族の支援	4	3	2	1							

引用：平成28年度地域母子保健推進等検討委員会報告書(日本看護協会)

3. 助産ケア提供状況について

1) 助産ケアの提供状況について

(1) 助産外来・院内助産について

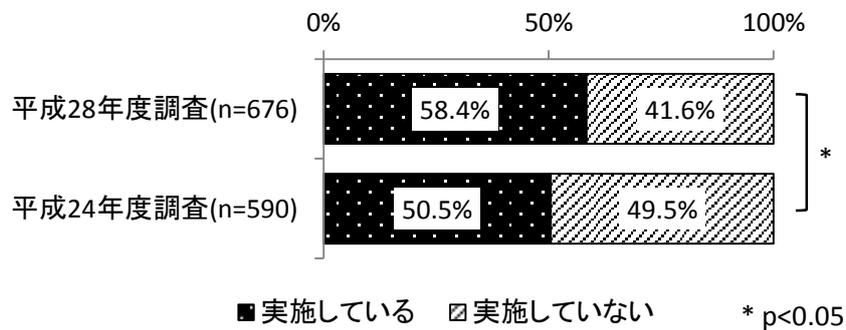
○助産外来・院内助産は、病院・診療所共に、増加（病院 50.5%→58.4%、診療所 23.2%→25.9%）しており、助産師が主体的に妊産褥婦と新生児に関わる体制が整いつつあると考えられたが、引き続き、助産外来・院内助産のさらなる推進が必要と考えた。

図表 172 平成 24 年実態調査：助産外来の実施状況（病院）

	合計	実施している	以前実施していたが、現在は実施していない	一度も実施したことがない	無回答
全体	595 100.0	298 50.1	—	292 49.1	5 0.8

上段：回答数
下段：割合（%）

図表 173 助産外来の実施状況の比較（病院）



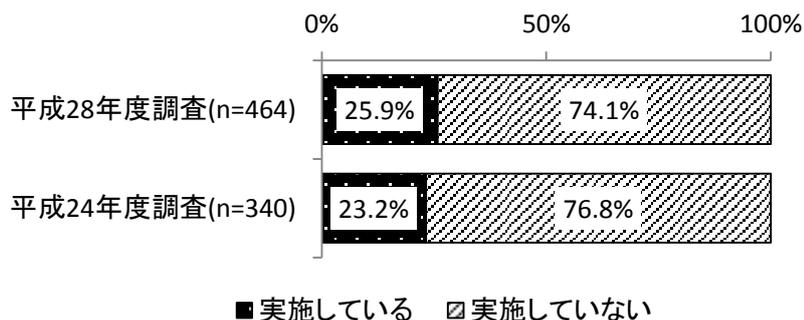
※有効回答においてカイ二乗検定を実施

図表 174 平成 24 年実態調査との比較：助産外来の実施状況（診療所）

	全体	実施している	以前実施していたが、現在は実施していない	一度も実施したことがない	無回答
平成24年	355 100.0	79 22.3	—	261 73.5	15 4.2
平成28年	471 100.0	120 25.5	18 3.8	326 69.2	7 1.5

上段：回答数
下段：割合（%）

図表 175 助産外来の実施に関する比較（診療所）



※有効回答においてカイ二乗検定を実施

図表 176 平成 24 年度調査との比較：院内助産の実施状況（病院）

	全体	実施している	以前実施していたが、現在は実施していない	一度も実施したことがない	無回答
平成24年	595 100.0	60 8.8	— —	531 77.6	4 0.6
平成28年	684 100.0	87 12.7	16 2.3	575 84.1	6 0.9

図表 177 平成 24 年度調査との比較：院内助産の実施状況（診療所）

	全体	実施している	以前実施していたが、現在は実施していない	一度も実施したことがない	無回答
平成24年	355 100.0	20 4.2	— —	303 64.3	32 6.8
平成28年	471 100.0	25 5.3	6 1.3	422 89.6	18 3.8

○助産外来を実施している診療所の 64.2%（77 施設）では、妊産婦全員を助産外来の対象としているが（図表 100）、助産外来を実施している病院のうち妊産婦全員を助産外来の対象としているのは 27.6%（109 施設）に留まっており、68.6%（271 施設）では、「条件に該当する一部の妊産婦」のみを対象としている（図表 99）。

○院内助産の対象についても同様に、院内助産を実施している診療所の 60.0%（15 施設）では、「全員を対象」としているが（図表 118）、院内助産を実施している病院で「全員を対象」としているのは 6.9%（6 施設）であり、88.5%（77 施設）においては「条件に該当する一部の妊産婦」を対象としている（図表 117）。

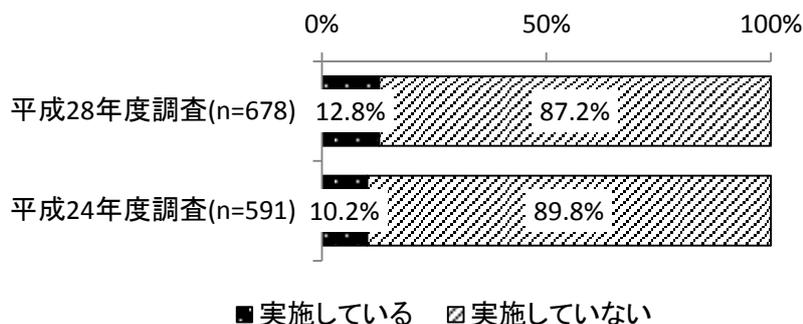
- 助産外来や院内助産において「条件に該当する一部の妊産婦」を対象とする割合は、総合周産期母子医療センター・地域周産期母子医療センター・一般病院の順に高く（図表 117・118）、ローリスク妊産婦を対象とする診療所とは異なり、ハイリスク妊産婦が一定割合を占めているためといえる。
- 助産外来や院内助産に関わる助産師の要件を、「助産師として一定の経験年数を満たしていること」としているのは、助産外来を実施している病院の 94.4%（373 施設）、院内助産を実施している病院の 86.2%（75 施設）であった、また、「特定の研修プログラムを修了していること」を要件としているのは、助産外来を実施している病院の 27.3%（108 施設）、院内助産を実施している病院の 41.4%（36 施設）であった（図表 108・126）。さらに、院内助産を実施する病院のうち、21.8%（19 施設）において「アドバンス助産師として認定されていること」を要件としていた（図表 126）。
- 助産外来では、助産師としての経験年数が要件として重要視されており、院内助産においては、経験年数に加え、必要な知識・技術の習得や第三者機関による助産実践能力の認証等、確実な実践力の保持を要件としているといえる。
- 助産外来や院内助産に関わる助産師について一定の要件を設けていることは、助産師の専門的なケアを提供する体制の整備が進んでいると考えるられ、平成 27 年度から開始となった CLoCMiP[®] レベルⅢ認証制度により「自律して助産ケアを提供できる実践能力」を認証されたアドバンス助産師の増加により、今後はさらに助産外来・院内助産の開設が推進されると考えられる。

図表 178 平成 24 年実態調査：院内助産の実施状況（病院）

上段：回答数
下段：割合（%）

合計	実施している	以前実施していたが、現在は実施していない	一度も実施したことがない	無回答
595	60	—	531	4
100.0	10.1	—	89.2	0.7

図表 179 院内助産の実施状況の比較（病院）



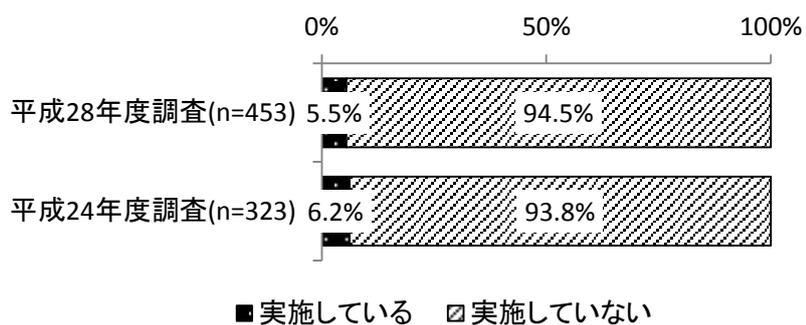
※有効回答においてカイ二乗検定を実施

図表 180 平成 24 年実態調査：院内助産の実施状況（診療所）

上段：回答数
下段：割合（％）

全体	実施している	以前実施していたが、現在は実施していない	一度も実施したことがない	無回答
355 100.0	20 5.6	—	303 85.4	32 9.0

図表 181 院内助産の実施状況の比較（診療所）



※有効回答においてカイ二乗検定を実施

4. 産科病棟の形態とケア提供の現状とマネジメント

1) 産科病棟の混合化

○産科単科の割合と混合病棟の割合は、平成 24 年実態調査と大きな変化はなく、周産期医療機能別の産科単科の割合は、総合周産期母子医療センターでは 68.2% (58 施設)、地域周産期母子医療センターでは 28.1% (55 施設)、一般病院では 10.7% (36 施設)、混合病棟の割合は、一般病院の 88.9% (298 施設)、地域周産期母子医療センターの 71.9% (141 施設)、総合周産期母子医療センターの 31.8% (27 施設) であった。

図表 182 産科単科と混合病棟の割合

	全体	産科単科	産科と婦人科の混合病棟	婦人科以外の診療科との混合	無回答
平成24年	571 100.0	111 19.4	110 19.3	350 61.3	0 0.0
平成28年	684 100.0	154 22.5	190 27.8	339 49.6	1 0.1

上段：回答数
下段：割合 (%)

○過去 3 年間の分娩件数の状況について、「減少傾向にある」と回答した 230 施設のうち (図表 20)、一般病院が 126 施設と半数以上を占めており、混合病棟の割合が総合周産期母子医療センターや地域周産期母子医療センターに比し高くなっているのは、地域の妊産婦の減少や他の医療機関の新設や集中による分娩件数の減少が要因と考えられる。

○混合病棟における診療科の状況についてみると「産科と婦人科の混合病棟」の割合が増加し、「婦人科以外の診療科との混合病棟」の割合が減少していた。「産科と婦人科の混合病棟」の割合の増加は、対象者の療養環境等の側面からみると、婦人科以外の複数診療科の患者が多数入院している状況よりも、安心につながると考える。しかしながら、産褥入院中の母子においては、愛着形成への支援や母乳育児の支援等が最も重要に時期であることから、さらに、母子が安全で安心した環境で療養でき、助産師が必要なケアを提供できるよう、ユニットマネジメント推進の必要性が示唆された。

2) 産科混合病棟における助産師の患者の受け持ち方

○産科混合病棟における助産師の患者の受け持ち方において「常に他科患者は受け持たない」割合は16.3%（86施設）であり、平成24年実態調査結果55.2%（318施設）に比し、減少している。また、「他科患者と産婦を同時に受け持つ」割合は43.7%（230施設）で、平成24年実態調査結果10.4%（60施設）に比して有意に増加していた。

図表 183 平成24年実態調査：助産師が受け持つ患者

	合計	他科患者と産婦を同時に受け持つ	常に他科患者は受け持たない	分娩介助時のみ他科患者は受け持たない	分娩第1期の産婦が入院した時点で、他科患者は受け持たない	無回答	その他	上段：回答数 下段：割合（%）	
								回答数	割合（%）
全体	576	60	318	100	55	26	17	100.0	3.0
		10.4	55.2	17.4	9.5	4.5	3.0		

図表 184 助産師が受け持つ患者の比較

	平成24年度実態調査		平成28年度調査		有意差検定
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	
合計	576	100.0	526	100.0	
他科患者と産婦を同時に受け持つ	60	10.4	230	43.7	*
常に他科患者は受け持たない	318	55.2	86	16.3	*
分娩介助時のみ他科患者は受け持たない	100	17.4	102	19.4	
分娩第1期の産婦が入院した時点で、他科患者は受け持たない	55	9.5	57	10.8	
無回答	26	4.5	51	9.7	
その他	17	3.0	-	-	

*:p<0.05

※有効回答においてカイ二乗検定を実施

○この傾向は、周産期医療機能が異なっても同様であり、「他科患者と産婦を同時に受け持つ」割合は、総合周産期母子医療センターや地域周産期母子医療センターでも、3割を超えており、一般病院では4割を超えている（図表 133）。

○ハイリスク妊産婦の割合が多く、より頻繁な観察や手厚い看護が必要な総合周産期母子医療センターや地域周産期母子医療センターにおいても、一定割合の混合病棟が存在する上、助産師が他科患者と産婦を同時に受け持つ状況であることは、医療安全の観点においても問題であり、妊産婦や他科患者にとっても、安全で安心な環境とはいえない。

3) 産科混合病棟におけるマネジメント

○産科混合病棟において産科空床時の病床について、「常に空床にしておき、他科患者を入院させない」割合は16.5%（87施設）にとどまり、63.9%（336施設）においては「産科患者と他科患者の入院状況によって他科患者を産科病床に入院させ」ていた。「産科病床の空床確保は特に行っていない」施設も12.2%（64施設）あった（図表134）。

○「産科患者と他科患者の入院状況によって、他科患者を産科病床に入院させる」施設の割合は、平成24年実態調査に比べて平成28年実態調査において有意に増加した。また、「産科病床の空床確保は特に行っていない」施設の割合は、平成24年実態調査に比べて平成28年実態調査において有意に減少していた。

図表 185 平成24年実態調査：産科病床に空床がある場合の対応

上段：回答数
下段：割合（%）

合計	常に空床にしておき、他患者を入院させない	産科患者と他科患者の入院状況によって、他科患者を産科病床に入院させる	産科病床の空床確保は特に行っていない	その他	無回答
460 100.0	93 20.2	241 52.4	89 19.3	23 5.0	14 3.0

図表 186 産科病床に空床がある場合の対応の比較

上段：回答数
下段：割合（%）

	平成24年度実態調査		平成28年度調査		有意差検定
	回答数	割合（%）	回答数	割合（%）	
合計	460	100.0	526	100.0	
常に空床にしておき、他患者を入院させない	93	20.2	87	16.5	
産科患者と他科患者の入院状況によって、他科患者を産科病床に入院させる	241	52.4	336	63.9	*
産科病床の空床確保は特に行っていない	89	19.3	64	12.2	*
その他	23	5.0	-	-	
無回答	14	3.0	39	7.4	

*:p<0.05

※有効回答においてカイ二乗検定を実施

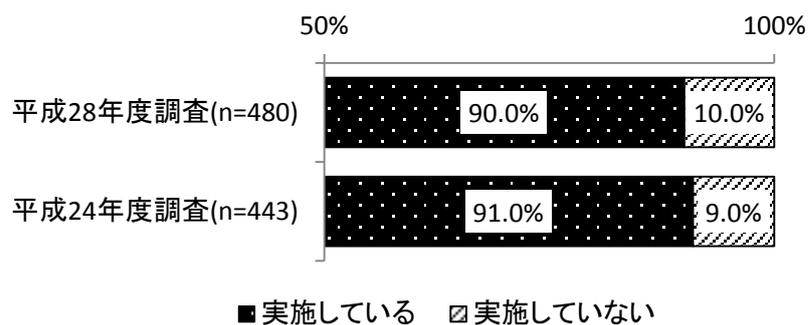
○産科混合病棟において他科患者が入院する際、82.1%（432施設）では、一定のルールや基準を有しており、具体的なルールとして採用されている割合が高い項目は「男性患者の除外」84.5%（365施設）、「感染患者の除外」81.9%（354施設）であった。男性患者や感染患者を除外するルールを持たない施設も一定割合あることが明らかとなった（図表136）。

図表 187 平成 24 年実態調査：他科診療科の患者が混合病棟や産科患者入院の病室に
入院する際のルールや基準の有無

	合計	ある	ない	無回答
全体	460	403	40	17
	100.0	87.6	8.7	3.7

上段：回答数
下段：割合（％）

図表 188 他科診療科の患者が混合病棟や産科患者入院の病室に
入院する際のルールや基準の有無の比較



※有効回答においてカイ二乗検定を実施

- 産科混合病棟における解決方法の 1 つとして、本会が提案してきたユニットマネジメントについて、導入している産科混合病棟は 38.4%（202 施設）に留まり、導入していない割合は 50.4%（265 施設）であった（図表 139）。
- 産科混合病棟においてユニットマネジメントを導入するために必要な条件として 6 割以上の施設において「職員の理解・協力」や「経営者の理解」と回答している（図表 140）ことから、ユニットマネジメントのメリット等について、さらなる周知が必要といえる。

5. 助産実践能力強化の状況について

1) 助産師に特化したクリニカルラダーの有無について

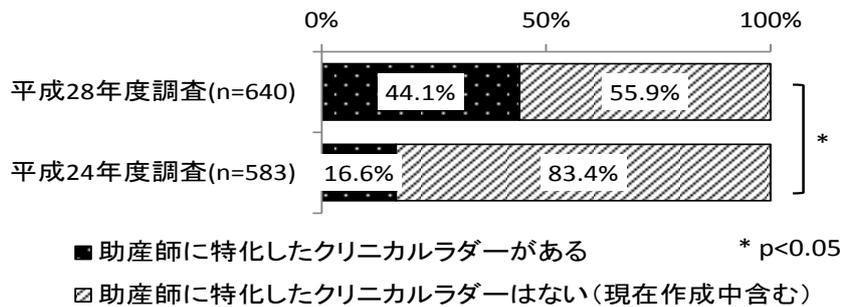
○助産師に特化したクリニカルラダーが「ある」と回答したのは 41.2% (282 施設) であり (図表 142)、平成 24 年実態調査結果 16.3% (97 施設) より増加し、「ない (作成予定なし)」と回答した施設は 61.5% (366 施設) から 29.4% (201 施設) に減少していた。

図表 189 助産師に特化したクリニカルラダーの有無の比較 (病院)

	全体	ある	ないが、 現在作成中	ない	無回答
平成24年	595 100.0	97 16.3	120 20.2	366 61.5	12 2.0
平成28年	684 100.0	282 41.2	157 23.0	201 29.4	44 6.4

上段：回答数
下段：割合 (%)

図表 190 助産師に特化したクリニカルラダーの有無の比較 (病院)



※有効回答においてカイ二乗検定を実施

○助産師に特化したクリニカルラダーが「ある」と回答した施設のうち、94.1% (413 施設) では、CLOCMiP[®]が導入されていた。

表 191 CLoCMiP[®]導入状況 (病院)

全体	導入している (導入を予定している)	導入していない (導入を予定していない)	無回答
439 100.0	413 94.1	15 3.4	11 2.5

上段：回答数
下段：割合 (%)

○このことは、本会が平成 25 年 8 月に『CLOCMiP[®]活用ガイド』を公表したことや CLOCMiP[®] レベルⅢ認証制度の開始等が影響していると考えられる。助産実践能力強化のための教育体制は、整備が図られつつあると推察された。

2) 助産師出向の現状

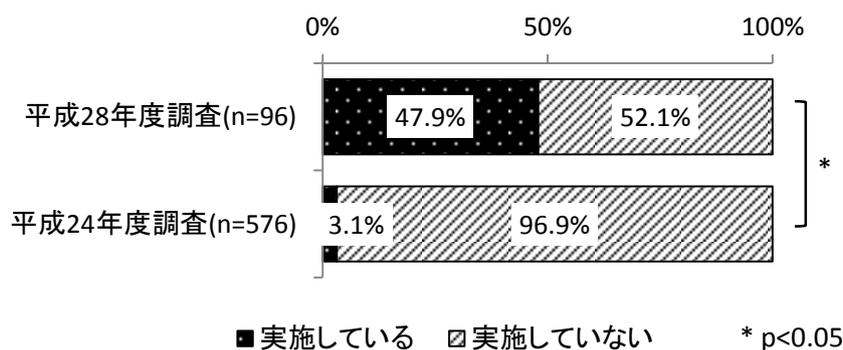
- 病院における助産師出向は、平成 24 年実態調査結果と比べ、増加していることが明らかとなった。
- このことは、平成 25・26 年度に本会で助産師出向支援モデル事業を実施し、平成 27 年度からは看護職員確保対策総合的推進事業としてメニュー化されたことにより後押しとなったと考えられた。
- 助産師出向に取り組む理由について、病院では「自施設の助産師に経験を積ませるため」と回答した割合が 6 割を占めており、診療所では「自施設の助産師が不足しているため」「他施設の助産師に経験を積ませるため」と回答した割合が 5 割を超えていた（図表 152・153）。
- 総合周産期母子医療センターの 92.0%（23 施設）では、「自施設の助産師に経験を積ませるため」と回答しており（図表 152）、ハイリスク妊産婦の割合が多く、ローリスク妊産婦のケア機会が限られていることが要因と考えられた。
- 助産師出向においては、助産学等の実習施設確保等が期待されるが、助産師出向の理由として、実習受入れのためと回答した割合は、病院では 1.9%（2 施設）、診療所では 16.7%（4 施設）であった（図表 152・153）。
- 他施設への出向について（図表 148・149）、「取り組んでいる」「今後取り組む予定である」病院は 59.6%（62 施設）であり、「取り組んでいる」「今後取り組む予定である」診療所は 29.2%（7 施設）であった。病院の中でも総合周産期母子医療センターにおいては、他施設へ出向する割合（今後取り組む予定も含む）が 88.0%（22 施設）と他の病院に比べて高く、総合周産期母子医療センターが出向元となり、所属する助産師が出向している現状が示唆され、総合周産期母子医療センターとしての特徴から、ローリスク妊産婦のケアに関する経験を積ませることを目的として実施されていると考えられた。

図表 192 平成 24 年実態調査：他施設への出向状況（病院）

	合計	取り組んでいる	過去に取り組んだことがある	今後取り組む予定である	取り組んでいない（取り組む予定もない）	助産師の出向経験		無回答
						ないが看護師の出向経験はある	はない	
全体	595	18	71	—	448	39	19	
	100.0	3.0	11.9		75.3	6.6	3.2	

上段：回答数
下段：割合（%）

図表 193 他施設への出向状況の比較（病院）



※有効回答においてカイ二乗検定を実施

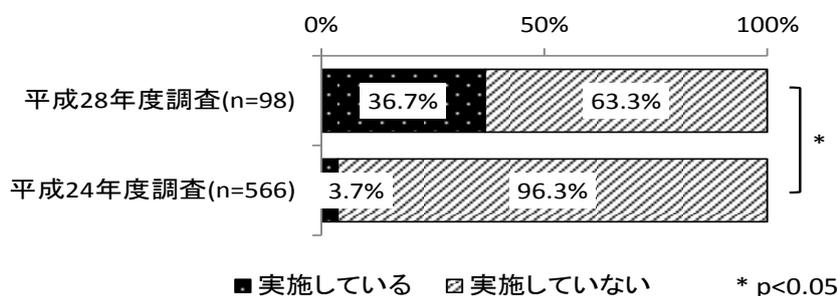
○出向の受け入れについて（図表 150・151）、「取り組んでいる」「今後取り組む予定である」病院は 55.8%（58 施設）、「取り組んでいる」「今後取り組む予定である」診療所は 79.2%（19 誌設）であった。病院の中でも、地域周産期母子医療センターにおいては、出向を受け入れている割合（今後取り組む予定も含む）が 67.7%（23 施設）と他に比べて高く、地域周産期母子医療センターにおいては、出向元にも出向先にもなっていることが示唆された。

図表 194 平成 24 年実態調査：他施設からの出向の受け入れ状況（病院）

上段：回答数
下段：割合 (%)

	合計	取り組んでいる	過去に取り組んだことがある	今後取り組む予定である	取り組んでいない（取り組む予定もない）	助産師の出向経験はないが看護師の出向経験はある	無回答
全体	595	21	55	—	466	24	29
	100.0	3.5	9.2		78.3	4.0	4.9

図表 195 他施設からの出向の受け入れ状況の比較（病院）



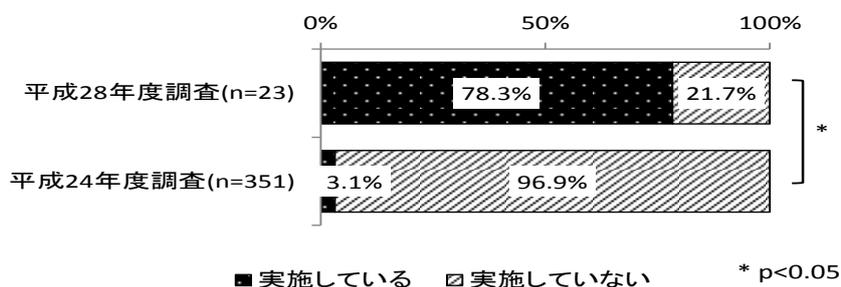
※有効回答においてカイ二乗検定を実施

図表 196 平成 24 年実態調査：他施設からの出向の受け入れ状況（診療所）

上段：回答数
下段：割合（％）

全体	現在受け入 れている	以前受け入 れていた	出向受け入 れの経験は ない	助産師の出 向経験はな いが看護師 の出向経験 はある	無回答
355	11	10	328	2	4
100.0	3.1	2.8	92.4	0.6	1.1

図表 197 他施設への出向の受け入れ状況の比較（診療所）



※有効回答においてカイ二乗検定を実施

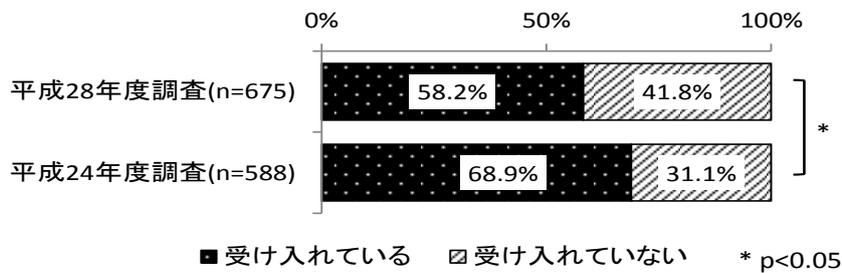
○出向に取り組む理由や出向の状況から、助産実践能力強化を意図した出向が実施されていることが明らかとなった。しかし、助産師の就業先の偏在是正や実習施設の確保等に関する出向の状況については、引き続き現状の把握が必要であり、就業先の偏在是正や実習施設の確保を目的として出向に対する支援が必要である。

6. 実習の受け入れ状況について

1) 助産実習の受け入れについて

○助産実習の受け入れ状況について、「受け入れている」病院の割合は、平成 24 年度調査結果 68.1% (405 施設) より有意に減少し、57.5% (393 施設) であった。

図表 198 助産実習の受け入れ状況の比較 (病院)



※有効回答においてカイ二乗検定を実施

○総合周産期母子医療センターでは、84.7% (72 施設) が助産実習を受け入れており、一般病院では 49.6% (166 施設) と半数に留まっていた (図表 154)。

○診療所においては、「母性看護実習・助産実習共に受け入れている」割合が 14.0% (66 施設)、「助産実習のみ受け入れている」割合は 7.2% (34 施設) であり、助産実習を受け入れている診療所は 21.2% (100 施設) で、平成 24 年実態調査結果 18.6% (66 施設) よりも増加傾向にあった。

○病院においては助産実習の受け入れが減少傾向にあり、診療所においては増加傾向にあることから、ローリスク妊産婦の割合が多い診療所において実習が行われるようになったことが示唆された。

○助産実習を受け入れている施設のうち、「専任の実習指導者を配置している」のは 61.6% (242 施設)、「配置していない」のは 36.9% (145 施設) であった (図表 161)。

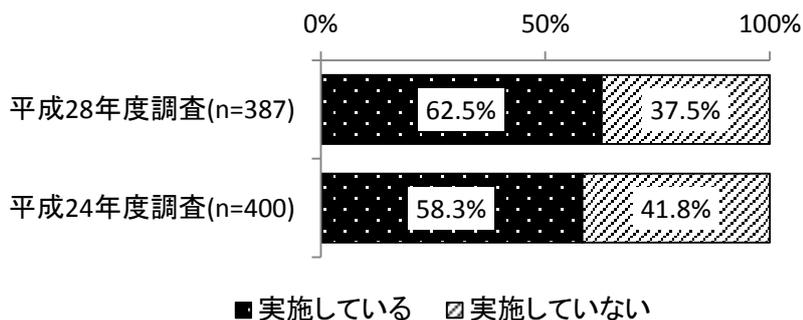
○専任の実習指導者を配置している病院のうち、実習指導者が「業務から独立して実習指導を行う」施設は 25.2% (61 施設) であり、74.8% (181 施設) では、「業務とかねて実習指導を行う」と回答した (図表 162)。

○平成 24 年実態調査結果との有意な差は見られず、助産実習の指導体制の強化が求められる。

図表 199 平成 24 年実態調査：専任実習指導者の配置状況 (病院)

	合計	上段：回答数 下段：割合 (%)		
		配置している	配置していない	無回答
全体	405	233	167	5
	100.0	57.5	41.2	1.2

図表 200 専任実習指導者の配置状況の比較（病院）



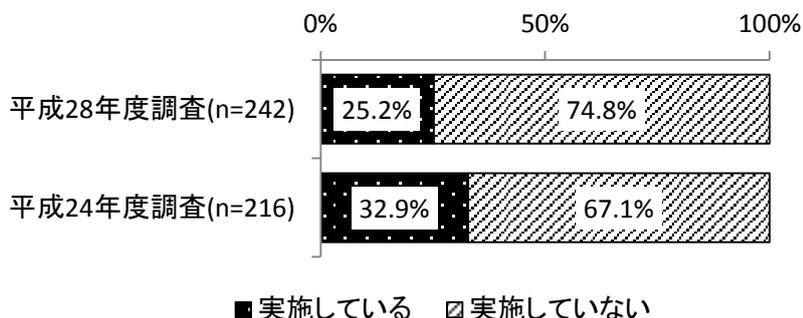
※有効回答においてカイ二乗検定を実施

図表 201 平成 24 年実態調査：専任実習指導者の配置状況（病院）

上段：回答数
下段：割合 (%)

	合計	業務から独立して実習指導を行う	業務と兼ねて、実習指導を行う	無回答
全体	233	71	145	17
	100.0	30.5	62.2	7.3

図表 202 専任実習指導者の配置状況の比較（病院）



※有効回答においてカイ二乗検定を実施

図表 203 平成 24 年実態調査：専任の実習指導者がいない場合の指導（病院）

上段：回答数
下段：割合 (%)

	合計	妊産婦のその日の受け持ち助産師が実習指導を行う	妊産婦のその日の受け持ち看護師が実習指導を行う	その日の分娩室担当の助産師が実習指導を行う	病棟管理者が実習指導を行う	学校の教員が実習指導を行い、職員は関与しない	その他	無回答
全体	167	120	36	117	16	4	9	6
	100.0	71.9	21.6	70.1	9.6	2.4	5.4	3.6

図表 204 専任の実習指導者がいない場合の指導の比較（病院）

	平成24年度実態調査		平成28年度調査		有意差 検定
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	
合計	167	100.0	145	100.0	
妊産婦のその日の受け持ち助産師が実習指導を行う	120	71.9	102	70.3	*
妊産婦のその日の受け持ち看護師が実習指導を行う	36	21.6	18	12.4	
その日の分娩室担当の助産師が実習指導を行う	117	70.1	115	79.3	
病棟管理者が実習指導を行う	16	9.6	22	15.2	
学校の教員が実習指導を行い、職員は関与しない	4	2.4	3	2.1	
その他	9	5.4	15	10.3	
無回答	6	3.6	3	2.1	

*:p<0.05

※有効回においてカイ二乗検定を実施

○助産実習の受け入れが可能になる条件について、病院では、勤務助産師の増加や正常分娩件数の増加等と回答した割合が高く、勤務助産師の増加については一般病院において、正常分娩件数の増加については総合周産期母子医療センターにおいて高かった。また診療所でも勤務助産師の増加を条件とする割合が高かった。

図表 205 病院で助産学生の実習の受け入れが可能になる条件の比較（複数回答）

	平成24年度実態調査		平成28年度調査		有意差 検定
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	
全体	282	100.0	595	100.0	
勤務助産師の数が増えれば、受け入れが可能	119	42.2	431	72.4	*
専任の実習指導者を配置できれば、受け入れが可能	72	25.5	339	57.0	*
勤務助産師や看護師の協力体制が整えば、受け入れが可能	43	15.2	144	24.2	
産科医師の協力が得られれば、受け入れが可能	34	12.1	128	21.5	*
妊産婦の理解と協力が得られれば、受け入れが可能	22	7.8	166	27.9	*
学校側の指導者が実習にほぼ毎日同行してくれれば、受け入れが可能	46	16.3	231	38.8	*
実習期間中の、施設と学校側との連携や話し合いの機会が増えれば、受け入れが可能	7	2.5	64	10.8	*
助産学生が、すでに看護師免許を有していれば、受け入れが可能	5	1.8	62	10.4	*
学生用のロッカールームや寮の整備など、物理的な環境が整えば、受け入れが可能	12	4.3	88	14.8	*
将来的に就職に結びつけば、受け入れが可能	21	7.4	279	46.9	*
正常分娩の件数が増えれば、受け入れが可能	110	39.0	306	51.4	
看護手順の整備が整えば、受け入れが可能	2	0.7	25	4.2	*
実習費用手当が増額されれば、受け入れが可能	1	0.4	38	6.4	*
その他	38	13.5	36	6.1	*
無回答	63	22.3	21	3.5	

*:p<0.05

※有効回答においてカイ二乗検定を実施

図表 206 診療所で助産学生の実習の受け入れが可能になる条件の比較（複数回答）

	平成24年度実態調査		平成28年度調査		有意差 検定
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	
合計	275	100.0	343	100.0	
勤務助産師の数が増えれば、受け入れが可能	141	51.3	143	41.7	
専任の実習指導者を配置できれば、受け入れが可能	123	44.7	100	29.2	*
勤務助産師や看護師の協力体制が整えば、受け入れが可能	136	49.5	80	23.3	*
産科医師の協力が得られれば、受け入れが可能	59	21.5	58	16.9	
妊産褥婦の理解と協力が得られれば、受け入れが可能	91	33.1	45	13.1	*
学校側の指導者が実習にはほぼ毎日同行してくれれば、受け入れが可能	83	30.2	64	18.7	*
実習期間中の、施設と学校側との連携や話し合いの機会が増えれば、受け入れが可能	45	16.4	8	2.3	*
助産学生が、すでに看護師免許を有していれば、受け入れが可能	47	17.1	6	1.7	*
学生用のロッカールームや寮の整備など、物理的な環境が整えば、受け入れが可能	62	22.5	48	14.0	*
将来的に就職に結びつけば、受け入れが可能	87	31.6	33	9.6	*
正常分娩の件数が増えれば、受け入れが可能	48	17.5	27	7.9	*
看護手順の整備が整えば、受け入れが可能	27	9.8	4	1.2	*
実習費用手当が増額されれば、受け入れが可能	9	3.3	2	0.6	*
その他	25	9.1	60	17.5	*
無回答	23	8.4	62	18.1	

*:p<0.05

※有効回答においてカイ二乗検定を実施

- 一般病院や診療所においては、学生が対象とする分娩数は確保できるものの、指導者となる助産師の不足が、実習受け入れにおける課題となっている。
- 総合周産期母子医療センターにおいては、指導できる人員は他の病院に比べて確保が可能であるが、施設の機能や特徴から、学生の受け持ち可能な対象の選定が困難であることが推察された。
- 助産実習については、実習施設確保において分娩数等を考慮する必要があることから、現在、実習を受け入れていない施設での実習を軽々に推奨する事はできないが、今後は、助産師出向の活用等によって診療所や一般病院での実習が可能となるように推進する必要があるといえる。

7. 本調査の限界

今回実施した調査では、本会が提案する“助産師に求められる WHC 能力（案）” 11 項目について、分娩取扱施設における実施状況と助産師の関与を把握する目的で実施し、初めて、その実態が明らかとなった。しかし、関与した助産師の実践能力や具体的な支援の内容及びその程度については明らかにできていない。また、相談等を受け付ける窓口や体制についても、具体的な実施状況については、今後、明らかにしていくことが求められる。

さらに、本調査報告書では、周産期医療機能別や施設全体の助産師数、産科単科の有無別の分析で終わっていることから、今後は、さらなる詳細分析を行い、“助産師が担う WHC 能力” 獲得にむけた課題の抽出を行っていく必要がある。

助産ケア提供状況についても、病床規模別や分娩件数等の変数が影響しているかを分析していくことが課題である。

8. おわりに

本調査結果より、医療機関に勤務する助産師の WHC 実施に関する実態と助産師の関与状況、助産ケア提供状況の動向について把握することができた。

今後、これらの結果を活かすためには、少子超高齢社会を背景に医療提供体制が変化し、周産期医療提供体制にも影響を及ぼしていることを理解した上で、先を見据えた対応が必要である。

本会における助産関連事業においては、これまでの取組みをさらに推進していく事業と、社会の変化や医療提供体制の変化に対応し、新たに提案を行うべき事業があると考えられた。

特に本調査で明らかになった WHC の実態を踏まえ、助産師による WHC の提供を確実なものにすることは重要である。

妊娠期から育児期において切れ目のない支援を提供していくために、本会では、引き続き関係団体と協議しながら産後ケア事業等において、助産師が子育て包括支援センターとの連携を図っていくことができるよう支援する必要があると考えられた。加えて、支援が必要な妊産褥婦のスクリーニングについては、院内助産や助産外来が有用であることから、院内助産・助産外来の開設を推進するとともに、運営については産後ケア事業等と合わせて進めていく必要がある。これらへの対策・支援で重視すべきことは、本会助産関連事業と関連させながら取り組んでいくことである。

今後は、本調査結果を活用し一体的な推進の在り方について、関係者間で議論し、少子化が分娩取扱施設や地域に影響している状況をよりよく改善するための支援を行うことが必要である。

【参考・引用文献】

- 1) 日本助産師会. 助産師の声明／コア・コンピテンシー. 日本助産師会出版, 2010.
- 2) 日本看護協会. 平成 24 年度「助産師の出向システムと助産実習の受入れ可能性等に関する調査」
- 3) 日本看護協会. 助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）活用ガイド. 平成 25 年 8 月 2 日
- 4) 厚生労働省. 第 2 回不妊に悩む方への特定治療支援事業等のあり方に関する検討会. 平成 25 年 5 月 27 日
- 5) 厚生労働省. 不妊に悩む特定治療支援事業

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000047270.html> 2017.2.3 アクセス

- 6) 大阪府産婦人科医会. 未受診や飛び込みによる出産等実態調査報告書 2014 年 3 月
- 7) 厚生労働省. 平成 26 年人口動態統計
- 8) 厚生労働省. 第 6 回周産期医療体制のあり方に関する検討会. 2016 年 8 月 24 日

第IV章 提言

1. “助産師が担うウィメンズヘルスケア”の普及に向けた提言

- 本会が提示する WHC は、全ての分娩取り扱い施設において提供されていることから、助産師は、就業先施設の機能や特徴に関わらず、WHC を提供できるように能力を獲得し習熟していくために自己の能力開発を図る必要がある。
- 本会が提示する「WHC 能力の習熟過程（案）」は、助産師が自己の WHC 能力の習熟を図る際の参考にすることが可能である。
- 助産師のキャリア開発を支援する看護管理者は、助産師のコア・コンピテンシーの 1 つである WHC 能力の獲得・習熟についても考慮し、学習や経験の機会や場を提供する必要がある。
- 本会が提示する WHC の助産師による提供は、組織内の相談窓口の有無が影響していることから、組織においては、WHC 提供のために相談窓口等を設置等、助産師による専門的な WHC 提供が可能となるよう体制整備を図る必要がある。
- WHC は、地域母子保健と密接な関係にあることから、地域の関係機関および関係者と連携する必要がある。

2. 助産ケア提供状況等の推進に向けた提言

- 院内助産・助産外来の開設数は増加傾向にあるが、アドバンス助産師を活用することで、さらなる増加を図る必要がある。
- 産科混合病棟において、一人の助産師が産科患者と他科患者を同時に受け持つケア提供体制であるところが増加していることから、産科混合病棟におけるユニットマネジメントの強化が必要である。
- 助産師出向については、病院・診療所のいずれにおいても増加傾向にあるが、看護学生や助産学生の実習場所確保に至っていないことから、今後は実習場所確保を視野に入れた助産師出向を推進する必要がある。

資料編

病院調査（分娩取扱施設）

病院調査（分娩休止・中止施設）

診療所調査

分娩取扱施設におけるウィメンズヘルスケアと助産ケア提供状況等に関する実態調査

日本看護協会は、全国の分娩取扱施設を対象に本調査を実施いたします。お忙しい中、誠に恐縮ではございますが、分娩取扱施設の現状を明らかにすると共に、今後の助産師の実践能力向上のために大変、重要な調査です。下記をご高覧のうえ、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。回答は、ウィメンズヘルスケアの実施状況と助産ケア提供体制に関する項目に付いて回答が可能な看護管理者（看護部長、産科関連病棟師長、外来師長）等をお願いいたします。

【本調査の構成と目的】

本調査は「Ⅰ 施設概要とウィメンズヘルスケアの提供状況」と「Ⅱ 分娩取扱施設の助産ケア提供状況等に関する動向」の2部構成となっております。

Ⅰ「施設概要とウィメンズヘルスケアの提供状況」について(p.1～13)

分娩取扱施設におけるウィメンズヘルスケアの提供状況や、助産師の関与等についてお尋ねいたします。
調査の結果は、平成 27 年度から、本会が策定中の「助産師が担うウィメンズヘルスケア能力(案)」の検討に活用してまいりますと共に、助産師の実践能力向上に活用いたします。

Ⅱ「分娩取扱施設の助産ケア提供状況等に関する動向」について(p.14～19)

院内助産・助産外来、産科混合病棟におけるユニットマネジメント、助産師出向システム等の実態を明らかにし、分娩取扱施設の助産ケア提供状況等に関する政策提言等に活用いたします。

【ご記入いただく調査票は「ピンク」か「黄色」1種類です】

2種類の調査票を同封しております。貴施設の現状に合わせて、下記の調査票、いずれか1種類にご記入ください。

- ・貴施設が分娩取扱施設の場合＝「ピンク」の調査票
- ・貴施設が分娩取扱休止中・中止の場合＝「黄色」の調査票

ご返送期限：平成 28 年 8 月 31 日(水)

※調査票（ピンク）を同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに投函してください。

～本調査の実施にあたり、以下の点に留意しております～

- ・調査票への回答は、皆様の自由意思に基づきます。調査票のご返送をもって、調査に同意いただいたものとさせていただきます。
- ・ご返送されない場合にも、皆様に不利益が生じることは一切ありません。
- ・ご記入いただいた内容は、全て統計的に処理しますので、貴施設や回答者が特定されることは一切ございません。
- ・集計作業等の外部業者への委託においては、委託先と機密保持契約を結び、本会による適切な監督のもと、個人情報保護法および関連法令を順守して実施いたします。
- ・本調査の結果は、平成 29 年 3 月末には、調査報告書や本会広報媒体（ホームページ等）による公表、関連学会での発表や論文投稿等を通じて、広く社会に還元いたします。調査以外の目的でデータを使用することは一切ございません。
- ・また、いずれの場合においても貴施設や回答者が特定されることは一切ございません。
- ・本調査は、日本看護協会 研究倫理委員会による倫理審査を受け、承認されています。

【お問い合わせ先】 調査委託先：みずほ情報総研株式会社 社会政策コンサルティング部 医療政策チーム
☎：0120-825-571（平日 10～17 時）

～ご多忙の折恐縮ですが、どうぞ宜しくお願い申し上げます～

日本看護協会健康政策部助産師課

【参照】日本看護協会が検討している「助産師が担うウィメンズヘルスケア能力(案)」について

本会では、平成 27 年度「地域母子保健に関するワーキンググループ」において、分娩取扱施設に勤務する助産師を対象にした、「助産師が担うウィメンズヘルスケア能力(案)」について、検討を行い、下記項目に整理しました。

下記に提示しました「助産師が担うウィメンズヘルスケア能力項目(案)」につきましては、まだ検討段階であり、本調査の結果を基に、現場に即した内容に精練していく予定です。

助産師が担うウィメンズヘルスケア能力項目(案)

ウィメンズヘルスケア能力項目(案)	例示
① 家族計画の支援	家族計画の立案と実施に向けた女性とパートナーの身体、精神と社会的状況への支援等
② 不妊、不育の悩みを持つ女性の支援	不妊、不育状況にある女性とパートナーの身体、精神と社会的状況への支援等
③ 性感染症の支援	性感染症に罹患している女性とパートナーの身体、精神と社会的状況への支援等
④ 月経異常や月経障害等の支援(更年期指導含む)	月経異常や月経障害等をもつ女性の身体、精神と社会的状況への支援等
⑤ 女性に対する暴力予防の支援	女性に対する暴力に関する身体、精神と社会的状況への支援等
⑥ 予期せぬ妊娠をした女性の支援	予期せぬ妊娠をした女性の身体、精神と社会的状況への支援等
⑦ 多様な性の支援	多様な性に関する身体、精神、社会的状況への支援等
⑧ 産前・産後のメンタルヘルスケア	妊娠、出産、育児に関連する女性の性周期、身体、精神、社会的状況や役割の変化に伴うメンタルヘルスに関する支援等
⑨ 産前・産後以外のメンタルヘルスケア	女性の性周期や身体、社会的状況や役割の変化に伴うメンタルヘルスに関する支援等
⑩ 妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援	胎児を含む子どもの虐待に関する支援等
⑪ 子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援	出産後の子ども虐待に関する支援等

《 I 施設概要とウィメンズヘルスケアの提供状況》

■貴施設の概要についてお伺いします。

問1 貴施設の設置主体について、該当するものに○をつけてください。

01 厚生労働省（国立ハンセン病療養所）	02 独立行政法人国立病院機構
03 国立大学法人	04 独立行政法人労働者健康福祉機構
05 独立行政法人地域医療機能推進機構	06 その他の国（防衛省、法務省、宮内庁等）
07 都道府県・市町村（一部事務組合を含む）	08 地方独立行政法人（公立大学法人を含む）
09 日本赤十字社	10 済生会
11 厚生農業協同組合連合会	12 北海道社会事業協会
13 社会保険関係団体※1	14 公益社団法人・公益財団法人
15 私立学校法人	16 医療法人（社会医療法人を含む）
17 社会福祉法人	18 医療生協
19 会社	20 14～19以外のその他の法人※
21 個人	
22 その他（ ）	

※1 健康保険組合及びその連合会、共済組合、及びその連合会、国民健康保険組合
 ※2 一般社団法人、一般財団法人、宗教法人等

問2 下記のうち、貴施設に該当するものに○をつけてください。

01 単科の病院 02 複数の診療科を有する病院

問3 貴施設における医療機能として、該当するものに○をつけてください。（○はいくつでも）

01 総合周産期母子医療センター 02 地域周産期母子医療センター
 03 特定機能病院 04 地域医療支援病院
 05 その他（ ）

問4 貴施設において平成28年8月1日現在で届出を行っている一般病棟の入院基本料について該当するものに○をつけてください。

01 7対1 02 10対1 03 13対1 04 15対1
 05 特別入院基本料 06 取っていない

問5 貴施設の平成28年度7月に算定した加算について、該当するものに○をつけてください。（○はいくつでも）

01 ハイリスク妊娠管理加算	02 ハイリスク分娩管理加算
03 妊産婦緊急搬送入院加算	04 ハイリスク妊産婦共同管理料Ⅰ
05 ハイリスク妊産婦共同管理料Ⅱ	06 新生児特定集中治療室退院調整加算
07 総合周産期特定集中治療室管理料	08 新生児治療回復室入院医療管理料

問6 貴施設の平成28年8月1日現在の許可病床数をご記入ください。

全許可病床数 床

問7 貴施設全体の平成28年8月1日現在の看護職員※1の実人数※2をご記入ください。

①貴施設全体の勤務看護職員数	人
②①のうち、助産師免許保持者	人
③①のうち、アドバンス助産師※3	人

※1 看護職員には、助産師・看護師・准看護師のすべてを含む。
 ※2 常勤・非常勤等の雇用形態を問わず全人数。
 ※3 助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）レベルⅢ認証制度において認証された助産師を指す。

■産科関連病棟※の概要についてお伺いします。

※産科関連病棟とは、産科単独病棟、産科と婦人科の混合病棟、産婦人科以外の診療科との混合病棟のすべてを指す。

問8 産科関連病棟における診療科について、該当するものに○をつけてください。

01 産科単科
 02 産科と婦人科の混合病棟
 03 その他
 ⇒01・02以外の診療科（○はいくつでも）：
 11 外科 12 整形外科 13 脳神経外科 14 耳鼻咽喉科
 15 泌尿器科 16 眼科 17 歯科口腔外科 18 皮膚科
 19 その他（ ）

問8-1 病棟病床数についてご記入ください。

①病棟病床数	②①のうち産科病床数	③MFICU	④NICU	⑤GCU
床	床 (産科病床としての定数を定めていない場合は☑⇒:□)	床	床	床

問8-2 産科外来と産科関連病棟の一元管理の実施状況について、該当するものに○をつけてください。

01 産科外来と産科関連病棟の一元管理を行っている
 ⇒兼務している助産師数:()人
 02 産科外来と産科関連病棟の一元管理を行っていない

問9 平成28年8月1日現在の産科関連病棟等における看護職員数(実人数)※1についてご記入ください。

		助産師	看護師	准看護師	看護補助者
①産科関連病棟※2勤務の看護職員	常勤	人	人	人	人
	非常勤	人	人	人	人
②産科外来勤務の看護職員	常勤	人	人	人	人
	非常勤	人	人	人	人
③MFICU勤務の看護職員	常勤	人	人	人	人
	非常勤	人	人	人	人
④NICU勤務の看護職員	常勤	人	人	人	人
	非常勤	人	人	人	人
⑤GCU勤務の看護職員	常勤	人	人	人	人
	非常勤	人	人	人	人

※1 看護職員数には、産休、育休、休職、長期研修中の者も含めてご記入ください。
 ※2 産科外来と一元管理を行っている場合は、兼務している助産師数を病棟側にご記入ください(産科外来には含めない)。

問9-1 上記問9「①産科関連病棟勤務の看護職員」のうち、産休、育休、休職、長期研修中の常勤助産師数をご記入ください。
 ※看護部付けの配置としている場合は0人と記載ください。

人

問9-2 問9「①産科関連病棟勤務の看護職員」のうち、常勤助産師について、年齢階層別の人数(実人数)をご記入ください。

①25歳未満	②25～29歳	③30～34歳	④35～39歳	⑤40～44歳
人	人	人	人	人
⑥45～49歳	⑦50～54歳	⑧55～59歳	⑨60歳以上	
人	人	人	人	

問10 産科関連病棟の主な勤務形態について、該当するものに○をつけてください。

01 3交代制（変則3交代制を含む）
 02 2交代制（変則2交代制を含む）
 03 3交代制と2交代制の併用

問11 助産師の産科関連病棟のオンコール体制等※の有無について、該当するものに○をつけてください。（○はいくつでも）

01 日中・夜間を通して分娩時オンコール体制あり
 02 夜間のみ分娩時オンコール体制あり
 03 オンコール体制なし
 04 当直制あり
 05 その他（ ）

※オンコール体制とは、自宅など緊急時対応可能な範囲に待機し、呼び出しに応じて勤務につくことを指す。

問12 平成28年8月1日現在の産科医、新生児科医の実人数についてご記入ください。

①産科医		合計		
		(うち)男性	(うち)女性	
②新生児科医	常勤	人	人	人
	非常勤	人	人	人
③産科医	常勤	人	人	人
	非常勤	人	人	人

問13 貴施設では、分娩時(第1期から4期)に、常時1名の助産師を配置できる体制が来ていますか。該当するものに○をつけてください。

01 できている 02 できていない

問 25 貴施設における、以下の①～⑪の各支援の内容の実施状況について、それぞれご回答ください。
 ※ (1) で「01 実施している」と回答した支援については、(2) ～ (6) についてもご回答ください。(次頁へ続く)

支援の内容	(1) 実施の有無		(2) 相談等を受け付ける窓口・体制の有無		(3) 助産師の関わり有無		(4) 助産師の所属・保有資格 ※(3)で01を選択した場合にご回答ください。													
	01 実施している ⇒ 以降へ	02 実施していない ⇒ P7 問 26 へ	※(1)で01を選択した場合にご回答ください。		※(2)で01を選択した場合にご回答ください。		①所属 (○はいくつでも)				②保有資格 (○はいくつでも)									
			01 あり ⇒ (3) へ	02 ない ⇒ P6 (5) へ	01 関わっている ⇒ (4) へ	02 関わっていない ⇒ P6 (5) へ	01 婦人科病棟	02 産科外来	03 婦人科外来	04 その他	01 母性看護専門看護師	02 不妊看護認定看護師	03 不妊カウンセラー・体外受精コーディネーター	04 認定遺伝カウンセラー	05 リプロヘルス・サポーター (受胎調節実地指導員)	06 ラクテーションコンサルタント	07 性暴力被害者支援看護師	08 思春期保健相談士	09 メノポーズカウンセラー	10 日本糖尿病療養指導士
① 家族計画の支援	01	02	01	02	01	02	01	02	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	その他()
② 不妊、不育の悩みを持つ女性の支援	01	02	01	02	01	02	01	02	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	その他()
③ 性感染症の支援	01	02	01	02	01	02	01	02	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	その他()
④ 月経異常や月経障害等の支援 (更年期指導含む)	01	02	01	02	01	02	01	02	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	その他()
⑤ 女性に対する暴力予防の支援	01	02	01	02	01	02	01	02	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	その他()
⑥ 予期せぬ妊娠をした女性の支援	01	02	01	02	01	02	01	02	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	その他()
⑦ 多様な性の支援	01	02	01	02	01	02	01	02	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	その他()
⑧ 産前・産後のメンタルヘルスケア	01	02	01	02	01	02	01	02	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	その他()
⑨ 産前・産後以外のメンタルヘルスケア	01	02	01	02	01	02	01	02	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	その他()
⑩ 妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援	01	02	01	02	01	02	01	02	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	その他()
⑪ 子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援	01	02	01	02	01	02	01	02	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	その他()

5

(前頁の続き) 問 25 貴施設における、以下の①～⑪の各支援の内容の実施状況について、それぞれご回答ください。

※P5 (1) で「01 実施している」と回答した支援については、(5) ～ (6) についてもご回答ください。

支援の内容	(5) 支援の対象者 (○はいくつでも)				(6) 支援に当たっての多機関・多職種との連携状況 (○はいくつでも)			
	※P5(1)で01を選択した場合にご回答ください。				※P5(1)で01を選択した場合にご回答ください。			
選択肢	01 本人 (女性)	02 夫・パートナー	03 その他家族	04 その他	01 連携のための定期的な会議が設けられている	02 個別ケースに応じて連携している	03 特に連携していない	04 その他
① 家族計画の支援	01	02	03	04()	01	02	03	04()
② 不妊、不育の悩みを持つ女性の支援	01	02	03	04()	01	02	03	04()
③ 性感染症の支援	01	02	03	04()	01	02	03	04()
④ 月経異常や月経障害等の支援 (更年期指導含む)	01	02	03	04()	01	02	03	04()
⑤ 女性に対する暴力予防の支援	01	02	03	04()	01	02	03	04()
⑥ 予期せぬ妊娠をした女性の支援	01	02	03	04()	01	02	03	04()
⑦ 多様な性の支援	01	02	03	04()	01	02	03	04()
⑧ 産前・産後のメンタルヘルスケア	01	02	03	04()	01	02	03	04()
⑨ 産前・産後以外のメンタルヘルスケア	01	02	03	04()	01	02	03	04()
⑩ 妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援	01	02	03	04()	01	02	03	04()
⑪ 子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援	01	02	03	04()	01	02	03	04()

問 26 貴施設における、女性に対する支援の内容に関連した普及啓発（ポスター、パンフレット含む）の実施状況について、①～⑪のそれぞれについてご回答ください。
※（1）で「01 実施している」と回答した支援については、（2）～（6）についてもご回答ください。（次頁へ続く）

支援の内容	（1）実施の有無		（2）助産師の 関わり*の有無 ※(1)で01を選択した場合 にご回答ください。		（3）啓発方法 ※(1)で01を選択した場合に ご回答ください。				（4）啓発の対象 ※(3)で01～03を選択した場合にご回答ください。								
	01 実施している ⇒(2)以降 降へ	02 実施していない ⇒P9 問 27へ	01 関わっている	02 関わっていない ※啓発事業の企画、指導含む	01 個人指導	02 集団指導（院内）	03 集団指導（院外）	04 啓発資料の作成・周知	05 その他 ⇒P8(5)へ	06 ⇒(4)へ	01 受診者	02 地域住民	03 中学生	04 高校生	05 大学・専門学校等の学生	06 社会人女性（成熟期・更年期）	07 その他
① 家族計画の支援	01	02	01	02	01	02	03	04	05 その他()	06	07 その他()	01	02	03	04	05	06
② 不妊、不育の悩みを持つ 女性の支援	01	02	01	02	01	02	03	04	05 その他()	06	07 その他()	01	02	03	04	05	06
③ 性感染症の支援	01	02	01	02	01	02	03	04	05 その他()	06	07 その他()	01	02	03	04	05	06
④ 月経異常や月経障害等の支援 （更年期指導含む）	01	02	01	02	01	02	03	04	05 その他()	06	07 その他()	01	02	03	04	05	06
⑤ 女性に対する暴力予防の支援	01	02	01	02	01	02	03	04	05 その他()	06	07 その他()	01	02	03	04	05	06
⑥ 予期せぬ妊娠をした女性の支援	01	02	01	02	01	02	03	04	05 その他()	06	07 その他()	01	02	03	04	05	06
⑦ 多様な性の支援	01	02	01	02	01	02	03	04	05 その他()	06	07 その他()	01	02	03	04	05	06
⑧ 産前・産後のメンタルヘルス ケア	01	02	01	02	01	02	03	04	05 その他()	06	07 その他()	01	02	03	04	05	06
⑨ 産前・産後以外のメンタル ヘルスケア	01	02	01	02	01	02	03	04	05 その他()	06	07 その他()	01	02	03	04	05	06
⑩ 妊娠から育児において支援を 必要とする母親とその家族の支援	01	02	01	02	01	02	03	04	05 その他()	06	07 その他()	01	02	03	04	05	06
⑪ 子育て支援による子どもの 虐待予防とその家族の支援	01	02	01	02	01	02	03	04	05 その他()	06	07 その他()	01	02	03	04	05	06

↑ 7 ↑ 01～03の場合 ↑

（前頁の続き）問 26 貴施設における、女性に対する支援の内容に関連した普及啓発（ポスター、パンフレット含む）の実施状況について、①～⑪のそれぞれについてご回答ください。
※P7（1）で「01 実施している」と回答した支援については、（5）～（6）についてもご回答ください。

支援の内容	（5）実施主体 ※P7(1)で01を選択した場合にご回答ください。						（6）普及啓発に要する費用 ※P7(1)で01を選択した場合にご回答ください。				
	01 自施設	02 自治体（保健所含む）	03 学校	04 地域（町内会、婦人会等）	05 企業、NPO等	06 職能団体	07 その他	01 医療機関の持出し	02 対象者から徴収	03 委託元から徴収（委託者）	04 その他
① 家族計画の支援	01	02	03	04	05	06	07 その他()	01	02	03	04 その他()
② 不妊、不育の悩みを持つ 女性の支援	01	02	03	04	05	06	07 その他()	01	02	03	04 その他()
③ 性感染症の支援	01	02	03	04	05	06	07 その他()	01	02	03	04 その他()
④ 月経異常や月経障害等の支援 （更年期指導含む）	01	02	03	04	05	06	07 その他()	01	02	03	04 その他()
⑤ 女性に対する暴力予防の支援	01	02	03	04	05	06	07 その他()	01	02	03	04 その他()
⑥ 予期せぬ妊娠をした女性の支援	01	02	03	04	05	06	07 その他()	01	02	03	04 その他()
⑦ 多様な性の支援	01	02	03	04	05	06	07 その他()	01	02	03	04 その他()
⑧ 産前・産後のメンタルヘルス ケア	01	02	03	04	05	06	07 その他()	01	02	03	04 その他()
⑨ 産前・産後以外のメンタル ヘルスケア	01	02	03	04	05	06	07 その他()	01	02	03	04 その他()
⑩ 妊娠から育児において支援を 必要とする母親とその家族の支援	01	02	03	04	05	06	07 その他()	01	02	03	04 その他()
⑪ 子育て支援による子どもの 虐待予防とその家族の支援	01	02	03	04	05	06	07 その他()	01	02	03	04 その他()

■母児の2週間健診についてお伺いします。

問 27 貴施設における母児の2週間健診の実施状況について、該当するものに○をつけてください。

01 実施している ⇒開始年月:西暦()年()月
 02 以前実施していたが、現在は実施していない 03 一度も実施したことがない

【母児の2週間健診を実施している場合】 →選択肢 02 又は 03 を選択した場合は問 27-9 にお進みください。

問 27-1 母児の2週間健診の対象(利用条件)について、該当するものに○をつけてください。(○はいくつでも)

01 自施設で分娩をした母児 02 自施設で分娩をした母のみ
 03 自施設で出生した児のみ 04 他施設で分娩をした母児
 05 他施設で分娩をした母のみ 06 他施設で出生した児のみ
 07 条件は設けていない 08 その他()

問 27-2 母児の2週間健診の実施にあたり、費用は次のどれに該当しますか。(○はいくつでも)

01 医療機関の持ち出しで実施 02 利用者から自己負担として徴収
 03 市町村からの委託費 04 その他()

問 27-3 母児の2週間健診には、助産師が関わっていますか。

01 関わっている 02 関わっていない⇒問 27-7 へ

問 27-4 母児の2週間健診に関わっている助産師の人数(実人数)をご記入ください。

合計 _____ 人

問 27-5 母児の2週間健診に関わっている助産師の所属について、該当するものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

01 産科病棟 02 婦人科病棟 03 産科外来
 04 婦人科外来 05 小児科 06 その他()

問 27-6 母児の2週間健診に関わる助産師の要件について、該当するものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

01 助産師として一定の経験年数を満たしていること
 02 特定の研修プログラムを修了していること
 03 その他()

問 27-7 母児の2週間健診の運営状況についてご記入ください。

① 1週間あたりの運営日数	_____	日/週間
② 1日の対応可能人数	_____	人/日
③ 1人当たり所要時間(予約枠)	_____	分/人
④ 料金設定(利用1回当たりの料金)	_____	円/回

問 27-8 母児の2週間健診の平成27年度(平成27年4月1日～平成28年3月31日)における対応実績についてご記入ください。

利用者数 _____ 人

【母児の2週間健診を実施していない場合】

問 27-9 どのような条件があれば導入・再開できますか。該当するものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

01 助産師の確保 02 他職種の理解・協力
 03 導入・再開に当たっての費用補助 04 その他()

問 27-10 母児の2週間健診の導入・再開の希望・予定についてご記入ください

01 導入・再開の希望がある
 ⇒実施予定: 11 実施を予定(実施が決まっている)
 12 実施の準備中(実施は未確定)
 13 実施の予定はないが、導入希望はある

02 導入・再開の希望はない
 ⇒(理由: _____)

■分娩後2週間以内の母児の健診についてお伺いします。

問 28 貴施設における、分娩後2週間以内の母児の健診の実施状況について、該当するものに○をつけてください。

01 実施している 02 実施していない⇒問 29 へ

問 28-1 分娩後2週間以内の母児の健診を実施している場合、いつ、どのような方法で実施していますか。

①実施時期
 (例)初産婦は退院後3日目に実施 _____

②方法 _____

■生後1か月健診についてお伺いします。

問 29 貴施設における生後1か月健診の実施状況について、該当するものに○をつけてください。

01 実施している ⇒開始年月:西暦()年()月
 02 以前実施していたが、現在は実施していない 03 一度も実施したことがない

【生後1か月健診を実施している場合】 →選択肢 02 又は 03 を選択した場合は問 29-9 にお進みください。

問 29-1 生後1か月健診の対象(利用条件)について、該当するものに○をつけてください。(○はいくつでも)

01 自施設で出生した児全員
 02 自施設で出生した児のうち一部
 03 他施設で出生した児
 04 特に条件は設けていない
 05 その他()

問 29-2 生後1か月健診の実施にあたり、費用は次のどれに該当しますか。(○はいくつでも)

01 医療機関の持ち出しで実施 02 利用者から自己負担として徴収
 03 市町村からの委託費 04 その他()

問 29-3 生後1か月健診には、助産師が関わっていますか。

01 関わっている 02 関わっていない⇒問 29-7 へ

問 29-4 生後1か月健診に関わっている助産師の人数(実人数)をご記入ください。

合計 _____ 人

問 29-5 生後1か月健診に関わっている助産師の所属について、該当するものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

01 産科病棟 02 婦人科病棟 03 産科外来
 04 婦人科外来 05 小児科 06 その他()

問 29-6 生後1か月健診に関わる助産師の要件について、該当するものに○をつけてください。(○はいくつでも)

01 助産師として一定の経験年数を満たしていること
 02 特定の研修プログラムを修了していること
 03 その他()

問 29-7 生後1か月健診の運営状況についてご記入ください。

① 1週間あたりの運営日数	_____	日/週間
② 1日の対応可能人数	_____	人/日
③ 1人当たり所要時間(予約枠)	_____	分/人
④ 乳児1人当たりの基本料金	_____	円/人

問 29-8 生後1か月健診の平成27年度(平成27年4月1日～平成28年3月31日)における対応実績についてご記入ください。

延べ利用人数 _____ 人

問 29-9 自施設で分娩をした母児について、1か月健診を受診しなかったケースへの対応を行っていますか。該当するものに○をつけてください。

01 対応している 02 特に対応していない

■**新生児訪問についてお伺いします。**（乳児家庭全戸訪問事業（こんには赤ちゃん事業）除く。）

問 30 貴施設における新生児訪問の実施状況について、該当するものに○をつけてください。

01 実施している ⇒開始年月：西暦（ ）年（ ）月
02 以前実施していたが、現在は実施していない 03 一度も実施したことがない

→ 選択肢 02 又は 03 を選択した場合は問 30-10 にお進みください。

【**新生児訪問を実施している場合**】

問 30-1 訪問時期をいつまでにしていますか。該当するものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

01 生後 2 週間程度まで 02 生後 1 か月程度まで 03 生後 2 か月程度まで
04 生後 3 か月程度まで 05 その他（ ）

問 30-2 新生児訪問の対象（利用条件）について、該当するものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

01 自施設で分娩をした母児 02 自施設で分娩をした母のみ
03 自施設で出生した児のみ 04 他施設で分娩をした母児
05 他施設で分娩をした母のみ 06 他施設で出生した児のみ
07 条件は設けていない 08 その他（ ）

問 30-3 新生児訪問の実施にあたり、費用はどのように支弁していますか。（○はいくつでも）

01 医療機関の持ち出しで実施 02 利用者から自己負担として徴収
03 市町村からの委託費 04 その他（ ）

問 30-4 新生児訪問には、助産師が関わっていますか。

01 関わっている 02 関わっていない⇒問 30-8 へ

問 30-5 新生児訪問に関わっている助産師の人数（実人数）をご記入ください。

合計 人

問 30-6 新生児訪問に関わっている助産師の所属について、該当するものに○をつけてください。（○はいくつでも）

01 産科病棟 02 婦人科病棟 03 産科外来
04 婦人科外来 05 小児科 06 その他（ ）

問 30-7 新生児訪問に関わる助産師の要件について、該当するものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

01 助産師として一定の経験年数を満たしていること
02 特定の研修プログラムを修了していること 03 その他（ ）

問 30-8 新生児訪問の対応状況についてご記入ください。

①1週間あたりの対応可能日数	日/週間
②1日の対応可能人数	人/日
③1人当たり所要時間（予約枠）	分/人
④料金設定（訪問1回当たりの料金）	円/回

問 30-9 新生児訪問の平成 27 年度（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）における対応実績についてご記入ください。

延べ訪問者数 人

【**新生児訪問を実施していない場合**】

問 30-10 どのような条件があれば導入・再開ができますか。該当するものに○をつけてください。（○はいくつでも）

01 助産師の確保 02 他職種の理解・協力
03 運営等の費用補助 04 その他（ ）

問 30-11 新生児訪問の導入・再開の希望・予定についてご記入ください。

01 導入・再開の希望がある
⇒ 実施予定：
11 実施を予定（実施が決まっている）
12 実施の準備中（実施は未確定）
13 実施の予定はないが、導入希望はある

02 導入・再開の希望はなし
⇒（理由：）

■**乳児家庭全戸訪問事業（こんには赤ちゃん事業）についてお伺いします。**

問 31 貴施設における乳児家庭全戸訪問事業（こんには赤ちゃん事業）の実施状況について、該当するものに○をつけてください。

01 委託を受けている ⇒開始年月：西暦（ ）年（ ）月
02 委託を受けていない ⇒問 32 へ

問 31-1 乳児家庭全戸訪問事業（こんには赤ちゃん事業）には、助産師が関わっていますか。

01 関わっている 02 関わっていない

■**母乳外来[※]についてお伺いします。**

※乳房マッサージのみならず、母乳育児に関連した相談等を含めて行われる支援をいう。

問 32 貴施設における母乳外来の実施状況について、該当するものに○をつけてください。

01 実施している ⇒開始年月：西暦（ ）年（ ）月
02 以前実施していたが、現在は実施していない 03 一度も実施したことがない

→ 選択肢 02 又は 03 を選択した場合は問 32-8 にお進みください。

【**母乳外来を実施している場合**】

問 32-1 母乳外来の対象（利用条件）について、該当するものに○をつけてください。（○はいくつでも）

01 自施設で分娩した母児 02 他施設で分娩した母児 03 その他（ ）

問 32-2 母乳外来には、助産師が関わっていますか。

01 関わっている 02 関わっていない⇒問 32-6 へ

問 32-3 母乳外来に関わっている助産師の人数（実人数）をご記入ください。

合計 人

問 32-4 母乳外来に関わっている助産師の所属について、該当するものに○をつけてください。

01 産科病棟 02 婦人科病棟 03 産科外来
04 婦人科外来 05 小児科 06 その他（ ）

問 32-5 母乳外来に関わる助産師の要件について、該当するものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

01 助産師として一定の経験年数を満たしていること
02 特定の研修プログラムを修了していること
03 その他（ ）

問 32-6 母乳外来の運営状況についてご記入ください。

①1週間あたりの運営日数	日/週間
②1日の対応可能人数	人/日
③1人当たり所要時間（予約枠）	分/人
④料金設定（利用1回当たりの料金 [※] ）	円/回

※日中に対応する、一般的な料金についてご記入ください。

問 32-7 母乳外来の平成 27 年度（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）における対応実績についてご記入ください。

①延べ利用者数 人
②実利用者数（⇒実利用者数を記入できない場合は、☑を付けてください。：□） 人

【**母乳外来を実施していない場合**】

問 32-8 どのような条件があれば導入・再開ができますか。該当するものに○をつけてください。（○はいくつでも）

01 助産師の確保
02 他職種の理解・協力
03 導入・再開に当たっての費用補助
04 その他（ ）

問 32-9 母乳外来の導入・再開の希望・予定についてご記入ください。

01 導入・再開の希望がある
⇒ 実施予定：
11 実施を予定（実施が決まっている）
12 実施の準備中（実施は未確定）
13 実施の予定はないが、導入希望はある

02 導入・再開の希望はない
⇒（理由：）

■ 育児相談についてお伺いします。

問 33 貴施設における育児相談の実施状況(電話相談は含まない)について、該当するものに○をつけてください。

01 実施している ⇒ 開始年月: 西暦()年()月
 02 以前実施していたが、現在は実施していない 03 一度も実施したことがない

→ 選択肢 02 又は 03 を選択した場合は問 33-7 にお進みください。

【育児相談を実施している場合】

問 33-1 育児相談には、助産師が関わっていますか。

01 関わっている 02 関わっていない ⇒ 問 33-5 へ

問 33-2 育児相談に関わっている助産師の人数(実人数)をご記入ください。

合計 _____ 人

問 33-3 育児相談に関わっている助産師の所属について、該当するものに○をつけてください。(○はいくつでも)

01 産科病棟 02 婦人科病棟 03 産科外来
 04 婦人科外来 05 小児科 06 その他 ()

問 33-4 育児相談に関わる助産師の要件について、該当するものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

01 助産師として一定の経験年数を満たしていること
 02 特定の研修プログラムを修了していること
 03 その他 ()

問 33-5 育児相談の料金設定についてご記入ください。

利用1回当たりの料金* _____ 円/回

*日中に対応する、一般的な料金についてご記入ください。

問 33-6 育児相談の平成 27 年度(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)における対応実績についてご記入ください。

①延べ利用者数 _____ 人
 ②実利用者数(⇒実利用者数を記入できない場合は、☑を付けてください。:□) _____ 人

【育児相談を実施していない場合】

問 33-7 どのような条件があれば導入・再開ができますか。該当するものに○をつけてください。(○はいくつでも)

01 助産師の確保
 02 他職種の理解・協力
 03 導入・再開に当たっての費用補助
 04 その他 ()

問 33-8 育児相談の導入・再開の希望・予定についてご記入ください。

01 導入・再開の希望がある
 ⇒ 実施予定: 11 実施を予定(実施が決まっている)
 12 実施の準備中(実施は未確定)
 13 実施の予定はないが、導入希望はある
 02 導入・再開の希望はない
 ⇒ (理由: _____)

≪ II 分娩取扱施設の助産ケア提供状況等に関する動向 ≫

■ 助産外来*についてお伺いします。

*妊婦・褥婦の健康診査並びに保健指導が助産師により行われる外来をいう。

問 34 貴施設における助産外来の実施状況について、該当するものに○をつけてください。

01 実施している ⇒ 開始年月: 西暦()年()月
 02 以前実施していたが、現在は実施していない 03 一度も実施したことがない

→ 選択肢 02 又は 03 を選択した場合は問 34-7 及び問 34-8 にお進みください。

【助産師外来を実施している場合】

問 34-1 助産外来の対象(利用条件)について、該当するものに○をつけてください。

01 全員に実施
 02 条件に該当する一部の妊産婦に実施
 ⇒ 条件: 11 ローリスクの妊産婦
 12 助産外来を希望する妊産婦
 13 その他 ()
 03 その他 ()

問 34-2 助産外来に関わっている助産師の人数(実人数)をご記入ください。

①合計 _____ 人
 ②(①のうち、)アドバンス助産師* _____ 人

*助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー) レベルⅢ認証制度において認証された助産師を指す。

問 34-3 助産外来に関わっている助産師の所属について、該当するものに○をつけてください。

01 産科病棟 02 婦人科病棟 03 産科外来
 04 婦人科外来 05 小児科 06 その他 ()

問 34-4 助産外来に関わる助産師の要件について、該当するものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

01 助産師として一定の経験年数を満たしていること
 02 特定の研修プログラムを修了していること
 03 その他 ()

問 34-5 助産外来の運営状況についてご記入ください。

①1週間あたりの運営日数 _____ 日/週間
 ②1日の対応可能人数 _____ 人/日
 ③1人当たり所要時間(予約枠) _____ 分/人
 ④料金設定(利用1回当たりの料金*) _____ 円/回

*妊婦健診を受ける際の基本的な料金をご記入ください。

問 34-6 助産外来の平成 27 年度(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)における対応実績についてご記入ください。

①実人数 _____ 人
 ②利用者1人当たり利用回数 _____ 回/人

【助産師外来を実施していない場合】

問 34-7 どのような条件があれば導入・再開ができますか。該当するものに○をつけてください。(○はいくつでも)

01 助産師の確保
 02 他職種の理解・協力
 03 導入・再開に当たっての費用補助
 04 その他 ()

問 34-8 助産外来の導入・再開の希望・予定についてご記入ください。

01 導入・再開の希望がある
 ⇒ 実施予定: 11 実施を予定(実施が決まっている)
 12 実施の準備中(実施は未確定)
 13 実施の予定はないが、導入希望はある
 02 導入・再開の希望はない
 ⇒ (理由: _____)

■院内助産*についてお伺いします。

※分娩を目的に入院する産婦及び産後の母児に対して、助産師が主体的なケア提供を行う方法・体制。殊に、ローリスクの分娩は助産師により行われる。

問 35 貴施設における院内助産の実施状況について、該当するものに○をつけてください。

01 実施している ⇒開始年月:西暦()年()月

02 以前実施していたが、現在は実施していない 03 一度も実施したことがない

【院内助産を実施している場合】

問 35-1 院内助産の対象(利用条件)について、該当するものに○をつけてください。

01 全員に実施

02 条件に該当する一部の妊産婦に実施
⇒条件: 11 ローリスクの妊産婦
12 助産外来を希望する妊産婦
13 その他()

03 その他()

問 35-2 院内助産に関わっている助産師の人数(実人数)をご記入ください。

①合計 人

②(①のうち、)アドバンス助産師* 人

※助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー) レベルⅢ認証制度において認証された助産師を指す。

問 35-3 院内助産に関わっている助産師の所属について、該当するものに○をつけてください。

01 産科病棟 02 婦人科病棟 03 産科外来

04 婦人科外来 05 小児科 06 その他()

問 35-4 院内助産に関わる助産師の要件について、該当するものに○をつけてください(○はいくつでも)。

01 助産師として一定の経験年数を満たしていること

02 特定の研修プログラムを修了していること

03 アドバンス助産師を取得していること

04 その他()

問 35-5 院内助産の平成 27 年度(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)における分娩件数についてご記入ください。

延べ分娩件数 件

【院内助産を実施していない場合】

問 35-6 どのような条件があれば導入・再開ができますか。該当するものに○をつけてください。(○はいくつでも)

01 助産師の確保

02 他職種の理解・協力

03 導入・再開に当たっての費用補助

04 その他()

問 35-7 院内助産の導入・再開の希望・予定についてご記入ください。

01 導入・再開の希望がある
⇒ 実施予定: 11 実施を予定(実施が決まっている)
12 実施の準備中(実施は未確定)
13 実施の予定はないが、導入希望はある

02 導入・再開の希望はない
⇒(理由:)

■産後ケア事業*についてお伺いします。

※産褥期における心身の不調や休養等が必要なものに対して、宿泊型・デイサービス型・アウトリーチ型等を実施し、精神的・身体的サポートおよび育児指導等の支援を行うことをいう。

問 36 貴施設では、産後ケア事業として、母児に対するケアやサービスを提供していますか。該当するものに○をつけてください。

01 産後ケア事業として母児に対するケアやサービスを提供している

02 産後ケア事業としては実施していないが、支援があれば実施したい

03 産後ケア事業としては実施しておらず、今後も実施する予定・希望はない

04 よく分からない

05 その他()

≪ 問 37～41-1 は産科混合病棟を持つ施設のみご回答ください。それ以外の施設は問 42 にお進みください。 ≫

- 問 8 (産科関連病棟における診療科)において、「02 産科と婦人科の混合病棟」又は「03 その他」の選択肢に○をつけた施設のみご回答ください。
- 「01 産科単科」のみを選択した病院は、問 42 以降にご回答ください。

■産科混合病棟についてお伺いします。

問 37 助産師が受け持つ患者について、該当するものに○をつけてください。

01 他科患者と産婦を同時に受け持つ

02 常に他科患者は受け持たない

03 分娩介助時のみ他科患者は受け持たない

04 分娩第1期の産婦が入院した時点で、他科患者は受け持たない

問 38 産科空床時の対応について、該当するものに○をつけてください。

01 常に空床にしておき、他患者を入院させない

02 産科患者と他科患者の入院状況によって、他科患者を産科病床に入院させる

03 産科病床の空床確保は特に行っていない

問 39 他科診療科の患者が混合病棟に入院、もしくは産科患者が入院している病室に入院する際のルールや基準はありますか。
ある場合は、該当するものに○をつけてください。(○はいくつでも)

01 ある 02 ない

⇒具体的なルール・基準:

11 感染疑い・感染患者は除外 12 就学前の小児科は除外

13 ターミナル期は除外 14 男性は除外

15 不穏・認知の症状がある患者は除外 16 クリニカルパス適応者のみ入院可

17 その他()

問 40 「産科混合病棟ユニットマネジメント導入の手引き」(日本看護協会)を知っていますか。

01 知っている 02 知らない

問 41 ユニットマネジメント*を導入していますか。

01 導入している⇒問 41-1へ 02 導入していない

※産科と他科患者が別室となるようにユニット化や区域管理(ゾーニング)を行ったうえで、助産師が助産ケアに集中できるよう、助産師と看護師の業務分担等を行うマネジメント手法。

問 41-1 ユニットマネジメントを導入するために必要な条件について、該当するものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

01 経営の安定化 02 導入のための技術的支援

03 経営者の理解 04 職員の理解・協力

05 導入のために必要な経費等の補助

06 その他()

■助産師の意向システムについてお伺いします。

問 42 平成 28 年 8 月 1 日現在において、助産師の意向システムに取り組んでいますか。

01 取り組んでいる
 02 以前取り組んでいたが、現在は取り組んでいない⇒問 43 へ
 03 一度も取り組んだことはない⇒問 43 へ

【助産師の意向システムに取り組んでいる場合】

問 42-1 貴施設で取り組んでいる助産師の意向システムの具体的な内容について、①、②のそれぞれについて該当するものに○をつけてください。

①他施設への意向	01 取り組んでいる 02 過去に取り組んだことがある 03 今後取り組む予定である 04 取り組んでいない(取り組む予定もない)
②他施設からの意向の受け入れ	01 取り組んでいる 02 過去に取り組んだことがある 03 今後取り組む予定である 04 取り組んでいない(取り組む予定もない)

問 42-2 助産師の意向システムに取り組む理由について、該当するものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

01 自施設の助産師が不足しているため
 02 他施設の助産師が不足しているため
 03 自施設の助産師に経験を積ませるため
 04 他施設の助産師に経験を積ませるため
 05 人事交流のため
 06 地域貢献のため
 07 助産学生の助産実習受け入れのため
 08 看護学生の母性看護実習受け入れのため
 09 その他()

■助産師の現任教育についてお伺いします。

問 43 貴施設では、助産師に特化したクリニカルラダーがありますか。

01 ある 02 ないが、現在作成中 03 ない(作成予定もない)⇒問 44 へ

選択肢 01 又は 02 を選択した場合は問 43-1 にお進みください。

問 43-1 前問で「01 ある」又は「02 ないが、現在作成中」と回答した施設にお伺いします。当該クリニカルラダーとして、助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)(CLoCMIP)を導入(又は導入を予定)していますか。

01 導入している(導入を予定している)
 02 導入していない(導入を予定していない)

問 44 貴施設では、助産師に特化した教育目標がありますか。

01 ある 02 ないが、現在作成中 03 ない(作成予定もない)

問 45 貴施設における助産師に特化した研修について、該当するものに○をつけてください。(○はいくつでも)

01 助産師に特化した院内研修を実施している
 02 助産師に特化した院外研修への参加を業務として認めている
 03 助産師に特化した研修はない・院外研修への参加も認めていない
 04 その他()

問 46 産科関連病棟への教育担当者*の配置状況について、該当するものに○をつけてください。

01 産科関連病棟に教育担当者が配置されている
 02 産科関連病棟に教育担当者が配置されていない

*教育担当者は、看護部門の看護職員の教育方針に基づき、各部署で実施される研修の企画、運営を中心となって行う者であり、実地指導者(プリセプターなど)への助言及び指導、また、新人看護職員への指導、評価を行う者を指す。

■助産実習の受け入れについてお伺いします。

問 47 貴施設での助産実習の受け入れ状況について、該当するものに○をつけてください。

01 受け入れている
 02 以前受け入れていたが、現在は受け入れていない⇒問 47-6 へ
 03 一度も受け入れたことがない⇒問 47-6 へ

【助産実習を受け入れている場合】

問 47-1 平成 27 年度(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)における、助産実習の受け入れ実績について、該当するものに○をつけてください。

①受け入れ学校数	校
②1校当たりの平均受け入れ助産学生数	平均 人
③1回当たりの平均受け入れ助産学生数	平均 人
④複数の実習受け入れ時期が重なることの有無	01 ある 02 ない
⑤夜間実習の受け入れの有無	01 受け入れ有 02 受け入れ無

問 47-2 専任の実習指導者の配置状況について、該当するものに○をつけてください。

01 配置している ⇒人数:()人 ⇒問 47-3 へ
 02 配置していない ⇒問 47-4 へ

問 47-3 専任の実習指導者を配置している場合、該当するものに○をつけてください。

01 業務から独立して実習指導を行う
 02 業務と兼ねて、実習指導を行う

問 47-4 専任の実習指導者を配置していない場合、該当するものに○をつけてください。(○はいくつでも)

01 妊産婦のその日の受け持ち助産師が実習指導を行う
 02 妊産婦のその日の受け持ち看護師が実習指導を行う
 03 その日の分娩室担当の助産師が実習指導を行う
 04 病棟管理者が実習指導を行う
 05 学校の教員が実習指導を行い、職員は関与しない
 06 その他()

問 47-5 実習受け入れにあたり、学校から費用を受け取っていますか。

01 費用を受け取っている
 ⇒金額: 11 学校当たり ()円
 12 学生一人当たり ()円
 13 その他 ()円
 02 費用は特に受け取っていない

【助産実習を受け入れていない場合】

問 47-6 どのような条件が整えば、貴施設で助産学生の实習受け入れが可能になると思いますか。該当するものに○をつけてください。(○は3つまで)

01 勤務助産師の数が増えれば、受け入れが可能
 02 専任の実習指導者を配置できれば、受け入れが可能
 03 勤務助産師や看護師の協力体制が整えば、受け入れが可能
 04 産科医師の協力が得られれば、受け入れが可能
 05 妊産婦の理解と協力が得られれば、受け入れが可能
 06 学校側の指導者が実習にはほぼ毎日同行してくれれば、受け入れが可能
 07 実習期間中の、施設と学校側との連携や話し合いの機会が増えれば、受け入れが可能
 08 助産学生が、すでに看護師免許を有していれば、受け入れが可能
 09 学生用のロッカールームや寮の整備など、物理的な環境が整えば、受け入れが可能
 10 将来的に就職に結びつけば、受け入れが可能
 11 正常分娩の件数が増えれば、受け入れが可能
 12 看護手順の整備が整えば、受け入れが可能
 13 実習費用手当が増額されれば、受け入れが可能
 (希望金額: 円/学生 1 人あたり)(金額を記入)
 14 その他()

■母性看護実習の受け入れについてお伺いします。

問 48 貴施設での母性看護実習の受け入れ状況について、該当するものに○をつけてください。

- 01 受け入れている
- 02 以前受け入れていたが、現在は受け入れていない⇒問 48-6 へ
- 03 一度も受け入れたことがない⇒問 48-6 へ

→【母性看護実習を受け入れている場合】

問 48-1 平成 27 年度(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)における、母性看護実習の受け入れ実績について、該当するものに○をつけてください。

①受け入れ学校数		校
②1校当たりの平均受け入れ看護学生数	平均	人
③1回当たりの平均受け入れ看護学生数	平均	人
④複数の実習受け入れ時期が重なることの有無	01 ある	02 ない

問 48-2 専任の実習指導者の配置状況について、該当するものに○をつけてください。

- 01 配置している ⇒人数：() 人 ⇒問 48-3 へ
- 02 配置していない ⇒問 48-4 へ

問 48-3 専任の実習指導者を配置している場合、該当するものに○をつけてください。

- 01 業務から独立して実習指導を行う
- 02 業務と兼ねて、実習指導を行う

問 48-4 専任の実習指導者を配置していない場合、該当するものに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 01 妊産婦のその日の受け持ち助産師が実習指導を行う
- 02 妊産婦のその日の受け持ち看護師が実習指導を行う
- 03 その日の分娩室担当の助産師が実習指導を行う
- 04 病棟管理者が実習指導を行う
- 05 学校の教員が実習指導を行い、職員は関与しない
- 06 その他()

問 48-5 実習受け入れにあたり、学校から費用を受け取っていますか。

- 01 費用を受け取っている
⇒金額: 11 学校当たり ()円
12 学生一人当たり ()円
13 その他 ()円
- 02 費用は特に受け取っていない

【母性看護実習を受け入っていない場合】

問 48-6 どのような条件が整えば、貴施設で母性看護学生の実習受け入れが可能になるとお考えですか。該当するものに○をつけてください。(○は3つまで)

- 01 勤務助産師の数が増えれば、受け入れが可能
- 02 専任の実習指導者を配置できれば、受け入れが可能
- 03 勤務助産師や看護師の協力体制が整えば、受け入れが可能
- 04 産科医師の協力が得られれば、受け入れが可能
- 05 妊産褥婦の理解と協力が得られれば、受け入れが可能
- 06 学校側の指導者が実習にほぼ毎日同行してくれれば、受け入れが可能
- 07 実習期間中の、施設と学校側との連携や話し合いの機会が増えれば、受け入れが可能
- 08 学生用のロッカールームや寮の整備など、物理的な環境が整えば、受け入れが可能
- 09 将来的に就職に結びつけば、受け入れが可能
- 10 正常分娩の件数が増えれば、受け入れが可能
- 11 看護手順の整備が整えば、受け入れが可能
- 12 実習費用手当が増額されれば、受け入れが可能
(希望金額: 円/学生 1 人あたり) (金額を記入)
- 13 その他()

調査票はこれで終わりです。お忙しい中ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒にて、切手を貼らずに、8月31日(水)までにご返送ください。

ご返送にあたり、貴施設名をご記入いただいた場合には、本調査の結果がまとまり次第、看護管理者様宛にお送りいたします。

調査票ご記入日	平成 28 年 () 月 () 日		
貴施設所在地	() 都・道・府・県		
貴施設名			
ご回答者名	所属・役職		
連絡先電話番号	連絡先 F A X 番号		

総合・地域周産期母子医療センター・病院調査／「分娩取扱を休止・中止された施設」向け

分娩取扱施設におけるウィメンズヘルスケアと助産ケア提供状況等に関する実態調査

日本看護協会は、全国の分娩取扱施設を対象に本調査を実施いたします。お忙しい中、誠に恐縮ではございますが、下記をご高覧のうえ、ご協力くださいますよう、よろしくお願いたします。

本調査へのご回答は、看護管理者（看護部長、産科関連病棟師長、外来師長）等をお願いいたします。

【本調査の目的】

施設概要とウィメンズヘルスケア提供状況等について

分娩取扱を休止・中止している施設のウィメンズヘルスケアの提供状況や、助産師の関与等についてお尋ねいたします。

調査の結果は、平成 27 年度から、本会が策定中の「助産師が担うウィメンズヘルスケア能力（案）」の検討に活用してまいりますと共に、助産師の実践能力向上に活用いたします。

【ご記入いただく調査票は「ピンク」か「黄色」1種類です】

2 種類の調査票を同封しております。貴施設の現状に合わせて、下記の調査票、いずれか 1 種類ご記入ください。

- ・貴施設が分娩取扱施設の場合＝「ピンク」の調査票
- ・貴施設が分娩取扱休止中・中止の場合＝「黄色」の調査票

ご返送期限：平成 28 年 8 月 31 日(水)

※調査票（黄色）を同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに投函してください。

～本調査の実施にあたり、以下の点に留意しております～

- ・調査票へのご回答は、皆様の自由意思に基づきます。調査票のご返送をもって、調査に同意いただいたものとさせていただきます。
- ・ご返送されない場合にも、皆様に不利益が生じることは一切ありません。
- ・ご記入いただいた内容は、全て統計的に処理しますので、貴施設や回答者が特定されることは一切ございません。
- ・集計作業等の外部業者への委託においては、委託先と機密保持契約を結び、本会による適切な監督のもと、個人情報保護法および関連法令を順守して実施いたします。
- ・本調査の結果は、平成 29 年 3 月末には、調査報告書や本会広報媒体（ホームページ等）による公表、関連学会での発表や論文投稿等を通じて、広く社会に還元いたします。調査以外の目的でデータを使用することは一切ございません。
- ・また、いずれの場合においても貴施設や回答者が特定されることは一切ございません。
- ・本調査は、日本看護協会 研究倫理委員会による倫理審査を受け、承認されています。

【お問い合わせ先】 調査委託先：みずほ情報総研株式会社 社会政策コンサルティング部 医療政策チーム

☎0120-825-571(平日 10～17 時)

～ご多忙の折恐縮ですが、どうぞ宜しくお願申し上げます～

日本看護協会健康政策部助産師課

【参照】日本看護協会が検討している「助産師が担うウィメンズヘルスケア能力(案)」について

本会では、平成 27 年度「地域母子保健に関するワーキンググループ」において、分娩取扱施設に勤務する助産師を対象にした、「助産師が担うウィメンズヘルスケア能力（案）」について、検討を行い、下記項目に整理しました。

下記に提示しました「助産師が担うウィメンズヘルスケア能力項目（案）」につきましては、まだ検討段階であり、本調査の結果を基に、現場に即した内容に精練していく予定です。

助産師が担うウィメンズヘルスケア能力項目（案）

ウィメンズヘルスケア能力項目（案）	例 示
① 家族計画の支援	家族計画の立案と実施に向けた女性とパートナーの身体、精神と社会的状況への支援等
② 不妊、不育の悩みを持つ女性の支援	不妊、不育状況にある女性とパートナーの身体、精神と社会的状況への支援等
③ 性感染症の支援	性感染症に罹患している女性とパートナーの身体、精神と社会的状況への支援等
④ 月経異常や月経障害等の支援(更年期指導含む)	月経異常や月経障害等をもつ女性の身体、精神と社会的状況への支援等
⑤ 女性に対する暴力予防の支援	女性に対する暴力に関する身体、精神と社会的状況への支援等
⑥ 予期せぬ妊娠をした女性の支援	予期せぬ妊娠をした女性の身体、精神と社会的状況への支援等
⑦ 多様な性の支援	多様な性に関する身体、精神、社会的状況への支援等
⑧ 産前・産後のメンタルヘルスケア	妊娠、出産、育児に関連する女性の性周期、身体、精神、社会的状況や役割の変化に伴うメンタルヘルスに関する支援等
⑨ 産前・産後以外のメンタルヘルスケア	女性の性周期や身体、社会的状況や役割の変化に伴うメンタルヘルスに関する支援等
⑩ 妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援	胎児を含む子どもの虐待に関する支援等
⑪ 子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援	出産後の子ども虐待に関する支援等

《分娩を休止または中止した施設の方へお伺いします》

《Ⅰ 施設概要とウィメンズヘルスケアの提供状況》

■貴施設の概要についてお伺いします。

問1 貴施設の設置主体について、該当するものに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 01 厚生労働省（国立ハンセン病療養所） | 02 独立行政法人国立病院機構 |
| 03 国立大学法人 | 04 独立行政法人労働者健康福祉機構 |
| 05 独立行政法人地域医療機能推進機構 | 06 その他の国（防衛省、法務省、宮内庁等） |
| 07 都道府県・市町村（一部事務組合を含む） | 08 地方独立行政法人（公立大学法人を含む） |
| 09 日本赤十字社 | 10 済生会 |
| 11 厚生農業協同組合連合会 | 12 北海道社会事業協会 |
| 13 社会保険関係団体※1 | 14 公益社団法人・公益財団法人 |
| 15 私立学校法人 | 16 医療法人（社会医療法人を含む） |
| 17 社会福祉法人 | 18 医療生協 |
| 19 会社 | 20 14～19以外のその他の法人※2 |
| 21 個人 | |
| 22 その他（ ） | |

※1 健康保険組合及びその連合会、共済組合、及びその連合会、国民健康保険組合
 ※2 一般社団法人、一般財団法人、宗教法人等

問2 現在、分娩を取り扱っていない理由について該当するものに○をつけてください。

- | | |
|-------------|-----------------|
| 01 地域の妊婦の減少 | 02 他の医療機関の新設・集中 |
| 03 その他（ ） | |

問3 下記の専門的自律能力の育成に関する研修を実施していますか。①～⑤のそれぞれについて、該当するものに○をつけてください。

①コーディネーション	01 実施している	02 実施していない
②意思決定支援	01 実施している	02 実施していない
③接遇	01 実施している	02 実施していない
④企画力	01 実施している	02 実施していない
⑤コミュニケーション	01 実施している	02 実施していない

問4 貴施設には、下記の資格を持つ看護職員はいますか。資格を持つ看護職員がいる選択肢について、該当するものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 01 母性看護専門看護師 | 02 不妊症看護認定看護師 |
| 03 不妊カウンセラー・体外受精コーディネーター | 04 認定遺伝カウンセラー |
| 05 リプロヘルス・サポーター（受胎調節実地指導員） | 06 ラクテーションコンサルタント |
| 07 性暴力被害者支援看護職 | 08 思春期保健相談士 |
| 09 メノポーズカウンセラー | 10 日本糖尿病療養指導士 |
| 11 地域糖尿病療養指導士 | 12 鍼灸マッサージ師 |
| 13 アロマセラピー検定（ ）級 | |
| 14 その他（ ） | |

問5 院内・院外において看護職員を対象としたウィメンズヘルスケアに関する研修の機会を提供していますか。該当するものに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|----------------|
| 01 提供している⇒問5-1、5-2へ | 02 提供していない⇒問6へ |
| 03 その他（ ） | |

問5-1 研修テーマについて、該当するものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- | | |
|---------------------------------|----------------------------|
| 01 家族計画の支援 | 02 不妊、不育の悩みを持つ女性の支援 |
| 03 性感染症の支援 | 04 月経異常や月経障害等の支援（更年期指導を含む） |
| 05 女性に対する暴力予防の支援 | 06 予期せぬ妊娠をした女性の支援 |
| 07 多様な性の支援 | 08 産前・産後のメンタルヘルスケア |
| 09 産前・産後以外のメンタルヘルスケア | |
| 10 妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援 | |
| 11 子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援 | |
| 12 その他（ ） | |

問5-2 ウィメンズヘルスケアに関する研修の企画や講師には、助産師が関わっていますか。

- | | |
|-----------|------------|
| 01 関わっている | 02 関わっていない |
|-----------|------------|

※研修の企画や指導、講師等、研修の一部に関わっていれば「01 関わっている」を選択してください。

1

■女性のライフサイクルを通じた支援についてお伺いします。

問6 妊娠中・産後（育児期間中）における禁煙や禁酒に関する指導の実施状況についてお伺いします。①・②のそれぞれについて、該当するものに○をつけてください。

	(1) 指導の実施状況	(2) 助産師の関与の有無
①禁煙	01 妊娠中のみ指導している 02 産後（育児期間中）のみ指導している 03 妊娠中・産後（育児期間中）とも指導している 04 指導していない	⇒ 01 関わっている 02 関わっていない
②禁酒	01 妊娠中のみ指導している 02 産後（育児期間中）のみ指導している 03 妊娠中・産後（育児期間中）とも指導している 04 指導していない	⇒ 01 関わっている 02 関わっていない

問7 周産期以外の女性に対する支援に、助産師は関わっていますか。

- | | |
|-----------|------------|
| 01 関わっている | 02 関わっていない |
|-----------|------------|

問8 以下の疾患等を抱える女性からの相談への対応状況についてお伺いします。①・②のそれぞれについて、該当するものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

①妊娠糖尿病	01 助産師が相談を受けている 02 助産師以外の職員が相談を受けている 03 特に相談は受け付けていない 04 その他（ ）
②HTLV-1	01 助産師が相談を受けている 02 助産師以外の職員が相談を受けている 03 特に相談は受け付けていない 04 その他（ ）

2

問9 貴施設における、以下の①～⑪の各支援の内容の実施状況について、それぞれご回答ください。

※(1)で「01実施している」と回答した支援については、(2)～(6)についてもご回答ください。(次頁へ続く)

支援の内容	(1) 実施の有無		(2) 相談等を受け付ける窓口・体制の有無		(3) 助産師の関わり有無		(4) 助産師の所属・保有資格 ※(3)で01を選択した場合にご回答ください。													
	01 実施している ⇒(2)以降へ	02 実施していない ⇒P5問10へ	※(1)で01を選択した場合にご回答ください。		※(2)で01を選択した場合にご回答ください。		①所属 (○はいくつでも)				②保有資格 (○はいくつでも)									
			01 ある ⇒(3)へ	02 ない ⇒P4(5)へ	01 関わっている ⇒(4)へ	02 関わっていない ⇒P4(5)へ	01 婦人科病棟	02 産科外来	03 婦人科外来	04 その他	01 母性看護専門看護師	02 不妊看護認定看護師	03 不妊カウンセラー	04 認定遺伝カウンセラー	05 リプロヘルス・サポーター (受胎調節実地指導員)	06 ラクテーションコンサルタント	07 性暴力被害者支援看護職	08 思春期保健相談士	09 メノポーズカウンセラー	10 日本糖尿病療養指導士
① 家族計画の支援	01	02	01	02	01	02	01	02	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	その他()
② 不妊、不育の悩みを持つ女性の支援	01	02	01	02	01	02	01	02	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	その他()
③ 性感染症の支援	01	02	01	02	01	02	01	02	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	その他()
④ 月経異常や月経障害等の支援 (更年期指導含む)	01	02	01	02	01	02	01	02	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	その他()
⑤ 女性に対する暴力予防の支援	01	02	01	02	01	02	01	02	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	その他()
⑥ 予期せぬ妊娠をした女性の支援	01	02	01	02	01	02	01	02	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	その他()
⑦ 多様な性の支援	01	02	01	02	01	02	01	02	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	その他()
⑧ 産前・産後のメンタルヘルスケア	01	02	01	02	01	02	01	02	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	その他()
⑨ 産前・産後以外のメンタルヘルスケア	01	02	01	02	01	02	01	02	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	その他()
⑩ 妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援	01	02	01	02	01	02	01	02	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	その他()
⑪ 子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援	01	02	01	02	01	02	01	02	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	その他()

3

(前頁の続き) 問9 貴施設における、以下の①～⑪の各支援の内容の実施状況について、それぞれご回答ください。

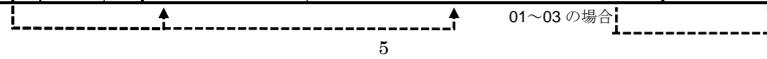
※P3(1)で「01実施している」と回答した支援については、(5)～(6)についてもご回答ください。

支援の内容	(5) 支援の対象者 (○はいくつでも)				(6) 支援に当たっての多機関・多職種との連携状況 (○はいくつでも)			
	※P3(1)で01を選択した場合にご回答ください。				※P3(1)で01を選択した場合にご回答ください。			
	01 本人(女性)	02 夫・パートナー	03 その他家族	04 その他	01 連携のための定期的な会議が設けられている	02 個別ケースに応じて連携している	03 特に連携していない	04 その他
① 家族計画の支援	01	02	03	04()	01	02	03	04()
② 不妊、不育の悩みを持つ女性の支援	01	02	03	04()	01	02	03	04()
③ 性感染症の支援	01	02	03	04()	01	02	03	04()
④ 月経異常や月経障害等の支援 (更年期指導含む)	01	02	03	04()	01	02	03	04()
⑤ 女性に対する暴力予防の支援	01	02	03	04()	01	02	03	04()
⑥ 予期せぬ妊娠をした女性の支援	01	02	03	04()	01	02	03	04()
⑦ 多様な性の支援	01	02	03	04()	01	02	03	04()
⑧ 産前・産後のメンタルヘルスケア	01	02	03	04()	01	02	03	04()
⑨ 産前・産後以外のメンタルヘルスケア	01	02	03	04()	01	02	03	04()
⑩ 妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援	01	02	03	04()	01	02	03	04()
⑪ 子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援	01	02	03	04()	01	02	03	04()

4

問10 貴施設における、女性に対する支援の内容に関連した普及啓発の実施状況について、①～⑪のそれぞれについてご回答ください。
※(1)で「01実施している」と回答した支援については、(2)～(6)についてもご回答ください。(次頁へ続く)

支援の内容	(1) 実施の有無		(2) 助産師の 関わり*の有無 ※(1)で01を選択した場合 にご回答ください。		(3) 啓発方法 ※(1)で01を選択した場合に ご回答ください。				(4) 啓発の対象 ※(3)で01～03を選択した場合に ご回答ください。								
	01 実施している ⇒(2)以降へ 降へ	02 実施していない ⇒P7 問 11へ	01 関わっている	02 関わっていない ※啓発事業の企画、指導含む	01 個人指導	02 集団指導(院内)	03 集団指導(院外)	04 啓発資料の作成・周知	05 その他	⇒(4)へ	01 受診者	02 地域住民	03 中学生	04 高校生	05 大学・専門学校等の学生	06 社会人女性(成熟期・更年期)	07 その他
① 家族計画の支援	01	02	01	02	01	02	03	04	05 その他()		01	02	03	04	05	06	07 その他()
② 不妊、不育の悩みを持つ 女性の支援	01	02	01	02	01	02	03	04	05 その他()		01	02	03	04	05	06	07 その他()
③ 性感染症の支援	01	02	01	02	01	02	03	04	05 その他()		01	02	03	04	05	06	07 その他()
④ 月経異常や月経障害等の支援 (更年期指導含む)	01	02	01	02	01	02	03	04	05 その他()		01	02	03	04	05	06	07 その他()
⑤ 女性に対する暴力予防の支援	01	02	01	02	01	02	03	04	05 その他()		01	02	03	04	05	06	07 その他()
⑥ 予期せぬ妊娠をした女性の支援	01	02	01	02	01	02	03	04	05 その他()		01	02	03	04	05	06	07 その他()
⑦ 多様な性の支援	01	02	01	02	01	02	03	04	05 その他()		01	02	03	04	05	06	07 その他()
⑧ 産前・産後のメンタルヘルス ケア	01	02	01	02	01	02	03	04	05 その他()		01	02	03	04	05	06	07 その他()
⑨ 産前・産後以外のメンタル ヘルスケア	01	02	01	02	01	02	03	04	05 その他()		01	02	03	04	05	06	07 その他()
⑩ 妊娠から育児において支援を 必要とする母親とその家族の支援	01	02	01	02	01	02	03	04	05 その他()		01	02	03	04	05	06	07 その他()
⑪ 子育て支援による子どもの 虐待予防とその家族の支援	01	02	01	02	01	02	03	04	05 その他()		01	02	03	04	05	06	07 その他()



(前頁の続き) 問10 貴施設における、女性に対する支援の内容に関連した普及啓発の実施状況について、①～⑪のそれぞれについてご回答ください。
※(1)で「01実施している」と回答した支援については、(5)～(6)についてもご回答ください。

支援の内容	(5) 実施主体 ※P5(1)で01を選択した場合にご回答ください。						(6) 普及啓発に要する費用 ※P5(1)で01を選択した場合にご回答ください。				
	01 自施設	02 自治体(保健所含む)	03 学校	04 地域(町内会、婦人会等)	05 企業、NPO等	06 職能団体	07 その他	01 医療機関の持出し	02 対象者から徴収	03 委託元から徴収(委託者)	04 その他
① 家族計画の支援	01	02	03	04	05	06	07 その他()	01	02	03	04 その他()
② 不妊、不育の悩みを持つ 女性の支援	01	02	03	04	05	06	07 その他()	01	02	03	04 その他()
③ 性感染症の支援	01	02	03	04	05	06	07 その他()	01	02	03	04 その他()
④ 月経異常や月経障害等の支援 (更年期指導含む)	01	02	03	04	05	06	07 その他()	01	02	03	04 その他()
⑤ 女性に対する暴力予防の支援	01	02	03	04	05	06	07 その他()	01	02	03	04 その他()
⑥ 予期せぬ妊娠をした女性の支援	01	02	03	04	05	06	07 その他()	01	02	03	04 その他()
⑦ 多様な性の支援	01	02	03	04	05	06	07 その他()	01	02	03	04 その他()
⑧ 産前・産後のメンタルヘルス ケア	01	02	03	04	05	06	07 その他()	01	02	03	04 その他()
⑨ 産前・産後以外のメンタル ヘルスケア	01	02	03	04	05	06	07 その他()	01	02	03	04 その他()
⑩ 妊娠から育児において支援を 必要とする母親とその家族の支援	01	02	03	04	05	06	07 その他()	01	02	03	04 その他()
⑪ 子育て支援による子どもの 虐待予防とその家族の支援	01	02	03	04	05	06	07 その他()	01	02	03	04 その他()

■ 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）についてお伺いします。

問 11 貴施設における乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）の実施状況について、該当するものに○をつけてください。

- 01 委託を受けている ⇒開始年月：西暦()年()月
02 委託を受けていない

問 11-1 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）には、助産師が関わっていますか。

- 01 関わっている 02 関わっていない

■ 産後ケア事業※についてお伺いします。

※産褥期における心身の不調や休養等が必要なものに対して、宿泊型・デイサービス型・アウトリーチ型等を実施し、精神的・身体的サポートおよび育児指導等の支援を行うこと。

問 12 貴施設では、産後ケア事業を実施していますか。

- 01 実施している 02 実施していない 03 条件が整えば実施する

■ 母乳外来※についてお伺いします。

※乳房マッサージのみならず、母乳育児に関連した相談等を含めて行われる支援をいう。

問 13 貴施設における母乳外来の実施状況について、該当するものに○をつけてください。

- 01 実施している ⇒開始年月：西暦()年()月
02 以前実施していたが、現在は実施していない 03 一度も実施したことがない

→ 選択肢 02 又は 03 を選択した場合は問 13-8 にお進みください。

【母乳外来を実施している場合】

問 13-1 母乳外来の対象（利用条件）について、該当するものに○をつけてください。（○はいくつでも）

- 01 自施設で分娩した母親 02 他施設で分娩した母親 03 その他()

問 13-2 母乳外来には、助産師が関わっていますか。

- 01 関わっている⇒問 13-3 へ 02 関わっていない⇒問 13-6 へ

問 13-3 母乳外来に関わっている助産師の人数（実人数）をご記入ください。

合計 人

問 13-4 母乳外来に関わっている助産師の所属について、該当するものに○をつけてください。（○はいくつでも）

- 01 産科病棟 02 婦人科病棟 03 産科外来
04 婦人科外来 05 その他()

問 13-5 母乳外来に関わる助産師の要件について、該当するものに○をつけてください。（○はいくつでも）

- 01 助産師として一定の経験年数を満たしていること
02 特定の研修プログラムを修了していること
03 その他()

問 13-6 母乳外来の運営状況についてご記入ください。

① 1週間あたりの運営日数	日/週間
② 1日の対応可能人数	人/日
③ 1人当たり所要時間（予約枠）	分/人
④ 料金設定（利用1回当たりの料金※）	円/回

※ 日中に対応する、一般的な料金についてご記入ください。

問 13-7 母乳外来の平成27年度（平成27年4月1日～平成28年3月31日）における対応実績についてご記入ください。

① 延べ利用者数	人
② 実利用者数（⇒実利用者数を記入できない場合は、☑を付けてください。：□）	人

【母乳外来を実施していない場合】

問 13-8 どのような条件があれば導入・再開できますか。該当するものすべてに○をつけてください。

- 01 助産師の確保 02 他職種の理解・協力
03 導入・再開に当たっての費用補助 04 その他()

問 13-9 母乳外来の導入・再開の希望・予定についてご記入ください。

- 01 導入・再開の希望がある
⇒実施予定： 11 実施を予定（実施が決まっている）
12 実施の準備中（実施は未確定）
13 実施の予定はないが、導入希望はある
- 02 導入・再開の希望はない
⇒(理由：)

■ 育児相談についてお伺いします。

問 14 貴施設における育児相談の実施状況（電話相談は含まない）について、該当するものに○をつけてください。

- 01 実施している ⇒開始年月：西暦()年()月
02 以前実施していたが、現在は実施していない 03 一度も実施したことがない

→ 選択肢 02 又は 03 を選択した場合は問 14-7 にお進みください。

【育児相談を実施している場合】

問 14-1 育児相談には、助産師が関わっていますか。

- 01 関わっている 02 関わっていない⇒問 14-5 へ

問 14-2 育児相談に関わっている助産師の人数（実人数）をご記入ください。

合計 人

問 14-3 育児相談に関わっている助産師の所属について、該当するものに○をつけてください。（○はいくつでも）

- 01 産科病棟 02 婦人科病棟 03 産科外来
04 婦人科外来 05 小児科 06 その他()

問 14-4 育児相談に関わる助産師の要件について、該当するものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- 01 助産師として一定の経験年数を満たしていること
02 特定の研修プログラムを修了していること
03 その他()

問 14-5 育児相談の料金設定についてご記入ください。

利用1回当たりの料金※ 円/回

※ 日中に対応する、一般的な料金についてご記入ください。

問 14-6 育児相談の平成27年度（平成27年4月1日～平成28年3月31日）における対応実績についてご記入ください。

① 延べ利用者数	人
② 実利用者数（⇒実利用者数を記入できない場合は、☑を付けてください。：□）	人

【育児相談を実施していない場合】

問 14-7 どのような条件があれば導入・再開ができますか。該当するものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- 01 助産師の確保
02 他職種の理解・協力
03 導入・再開に当たっての費用補助
04 その他()

問 14-8 育児相談の導入・再開の希望・予定についてご記入ください。

- 01 導入・再開の希望がある
⇒実施予定： 11 実施を予定（実施が決まっている）
12 実施の準備中（実施は未確定）
13 実施の予定はないが、導入希望はある
- 02 導入・再開の希望はない
⇒(理由：)

■母性看護実習の受け入れについてお伺いします。

問 15 貴施設での母性看護実習の受け入れ状況について、該当するものに○をつけてください。

- 01 受け入れている
- 02 以前受け入れていたが、現在は受け入れていない⇒問 15-6 へ
- 03 一度も受け入れたことがない⇒問 15-6 へ

→【母性看護実習を実施している場合】

問 15-1 平成 27 年度（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）における、母性看護実習の受け入れ実績について、ご記入ください。

①受け入れ学校数		校
②1校当たりの平均受け入れ看護学生数	平均	人
③1回当たりの平均受け入れ看護学生数	平均	人
④複数の実習受け入れが重なることの有無	01 ある 02 ない	

問 15-2 専任の実習指導者の配置状況について、該当するものに○をつけてください。

- 01 配置している ⇒人数：() 人 ⇒問 15-3 へ
- 02 配置していない ⇒問 15-4 へ

問 15-3 専任の実習指導者を配置している場合、該当するものに○をつけてください。

- 01 業務から独立して実習指導を行う
- 02 業務と兼ねて、実習指導を行う

問 15-4 専任の実習指導者を配置していない場合、該当するものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 01 妊産婦のその日の受け持ち助産師が実習指導を行う
- 02 妊産婦のその日の受け持ち看護師が実習指導を行う
- 03 病棟管理者が実習指導を行う
- 04 学校の教員が実習指導を行い、職員は関与しない
- 05 その他 ()

問 15-5 実習受け入れにあたり、学校から費用を受け取っていますか。

- 01 費用を受け取っている
 - ⇒金額：11 学校当たり ()円
 - 12 学生一人当たり ()円
 - 13 その他 ()円
- 02 費用は特に受け取っていない

→【母性看護実習を実施していない場合】

問 15-6 どのような条件が整えば、貴施設で母性看護学生の実習受け入れが可能になると思いますか。該当するものすべてに○をつけてください。(○は3つまで)

- 01 勤務助産師の数が増えれば、受け入れが可能
- 02 専任の実習指導者を配置できれば、受け入れが可能
- 03 勤務助産師や看護師の協力体制が整えば、受け入れが可能
- 04 産科医師の協力が得られれば、受け入れが可能
- 05 妊産婦の理解と協力が得られれば、受け入れが可能
- 06 学校側の指導者が実習にほぼ毎日同行してくれれば、受け入れが可能
- 07 実習期間中の、施設と学校側との連携や話し合いの機会が増えれば、受け入れが可能
- 08 学生用のロッカールームや寮の整備など、物理的な環境が整えば、受け入れが可能
- 09 将来的に就職に結びつければ、受け入れが可能
- 10 看護手順の整備が整えば、受け入れが可能
- 11 実習費用手当が増額されれば、受け入れが可能
(希望額： 円/学生1人あたり) (金額を記入)
- 12 その他 ()

調査票はこれで終わりです。お忙しい中ご協力をいただき、誠にありがとうございました。
同封の返信用封筒にて、切手を貼らずに、8月31日(水)までにご返送ください。

ご返送にあたり、貴施設名をご記入いただいた場合には、本調査の結果がまとまり次第、看護管理者様宛にお送りいたします。

調査票ご記入日	平成 28 年 () 月 () 日		
貴施設所在地	() 都・道・府・県		
貴施設名			
ご回答者名		所属・役職	
連絡先電話番号		連絡先 F A X 番号	

分娩取扱施設におけるウィメンズヘルスケアと助産ケア提供状況等に関する実態調査

日本看護協会は、全国の分娩取扱施設を対象に本調査を実施いたします。お忙しい中、誠に恐縮ではございますが、分娩取扱施設の現状を明らかにすると共に、今後の助産師の実践力向上のために大変、重要な調査です。下記をご高覧のうえ、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、現在、分娩を休止または中止している施設におかれましては、p.1 問1のご記入後、p.10 以降のご回答をお願いいたします。

本調査へのご回答は、看護師長又は同等のお立場の方にご記入をお願いいたします。

【本調査の構成と目的】

本調査は「Ⅰ 施設概要とウィメンズヘルスケアの提供状況」と「Ⅱ 分娩取扱施設の助産ケア提供状況等に関する動向」の 2 部構成となっております。

Ⅰ 「施設概要とウィメンズヘルスケアの提供状況」について (p.1~6)

分娩取扱施設におけるウィメンズヘルスケアの現状や、助産師の関与についてお尋ねいたします。

調査の結果は、平成 27 年度から、本会が策定中の「助産師が担うウィメンズヘルスケア能力(案)」の検討に活用してまいりますと共に、助産師の実践能力向上に活用いたします。

Ⅱ 「分娩取扱施設の助産ケア提供状況等に関する動向」について (p.7~9)

院内助産・助産外来、産科混合病棟におけるユニットマネジメント、助産師出向システム等の実態を明らかにし、分娩取扱施設の助産ケア提供状況等に関する政策提言に活用いたします。

～本調査の実施にあたり、以下の点に留意しております～

- ・調査票へのご回答は、皆様の自由意思に基づきます。調査票のご返送をもって、調査に同意いただいたものとさせていただきます。
- ・ご返送されない場合にも、皆様に不利益が生じることはありません。
- ・ご記入いただいた内容は、全て統計的に処理しますので、貴施設や回答者が特定されることは一切ございません。
- ・集計作業等の外部業者への委託においては、委託先と機密保持契約を結び、本会による適切な監督のもと、個人情報保護法および関連法令を順守して実施いたします。
- ・本調査の結果は、平成 29 年 3 月末には、調査報告書や本会広報媒体(ホームページ等)による公表、関連学会での発表や論文投稿等を通じて、広く社会に還元いたします。調査以外の目的でデータを使用することは一切ございません。
- ・また、いずれの場合においても貴施設や回答者が特定されることは一切ございません。
- ・本調査は、日本看護協会 研究倫理委員会による倫理審査を受け、承認されています。

ご返送期限:平成 28 年 8 月 31 日(水)

※調査票を同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに投函してください。

【お問い合わせ先】 調査委託先:みずほ情報総研株式会社 社会政策コンサルティング部 医療政策チーム ☎:0120-825-571(平日 10~17 時)

～ご多忙の折恐縮ですが、どうぞ宜しくお願い申し上げます～

日本看護協会健康政策部助産師課

【参照】 日本看護協会が検討している「助産師が担うウィメンズヘルスケア能力(案)」について

本会では、平成 27 年度「地域母子保健に関するワーキンググループ」において、分娩取扱施設に勤務する助産師を対象にした、「助産師が担うウィメンズヘルスケア能力(案)」について、検討を行い、下記項目に整理しました。

下記に提示しました「助産師が担うウィメンズヘルスケア能力項目(案)」につきましては、まだ検討段階であり、本調査の結果を基に、現場に即した内容に精練していく予定です。

助産師が担うウィメンズヘルスケア能力項目(案)

ウィメンズヘルスケア能力項目(案)	例示
① 家族計画の支援	家族計画の立案と実施に向けた女性とパートナーの身体、精神と社会的状況への支援等
② 不妊、不育の悩みを持つ女性の支援	不妊、不育状況にある女性とパートナーの身体、精神と社会的状況への支援等
③ 性感染症の支援	性感染症に罹患している女性とパートナーの身体、精神と社会的状況への支援等
④ 月経異常や月経障害等の支援(更年期指導含む)	月経異常や月経障害等をもつ女性の身体、精神と社会的状況への支援等
⑤ 女性に対する暴力予防の支援	女性に対する暴力に関する身体、精神と社会的状況への支援等
⑥ 予期せぬ妊娠をした女性の支援	予期せぬ妊娠をした女性の身体、精神と社会的状況への支援等
⑦ 多様な性の支援	多様な性に関する身体、精神、社会的状況への支援等
⑧ 産前・産後のメンタルヘルスケア	妊娠、出産、育児に関連する女性の性周期、身体、精神、社会的状況や役割の変化に伴うメンタルヘルスに関する支援等
⑨ 産前・産後以外のメンタルヘルスケア	女性の性周期や身体、社会的状況や役割の変化に伴うメンタルヘルスに関する支援等
⑩ 妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援	胎児を含む子どもの虐待に関する支援等
⑪ 子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援	出産後の子ども虐待に関する支援等

≪ I 施設概要とウィメンズヘルスケアの提供状況 ≫

■貴施設の概要についてお伺いします。

問1 平成28年8月1日時点における分娩の取扱状況について、該当するものに○をつけてください。

01 分娩を取り扱っている (理由:)
 02 分娩は取り扱っていない ⇒ 問21へ

≪分娩を休止または中止した施設≫
 ⇒問21 (p.10) 以降について、ご回答ください。

問2 下記のうち、貴施設に該当するものに○をつけてください。

01 単科の診療所 02 複数の診療科を有する診療所

問3 貴施設の平成28年8月1日時点の看護職員^{※1}の実人数^{※2}をご記入ください。

① 貴施設全体の勤務看護職員数	人
② (①のうち、) 助産師免許保持者	人
③ (①のうち、) アドバンス助産師 ^{※3}	人

※1 看護職員には、助産師・看護師・准看護師のすべてを含む。
 ※2 常勤・非常勤を問わない。
 ※3 助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー) レベルⅢ認証制度において認証された助産師を指す。

問4 貴施設では、高度生殖医療を実施していますか。該当するものに○をつけてください。

01 実施している 02 実施していない

問5 貴施設の平成27年度(平成27年4月1日～平成28年3月31日)の分娩件数についてご記入ください。

① 年間分娩件数	人
② (①のうち、) 予定帝王切開術件数	人
③ (①のうち、) 緊急帝王切開術件数 ^{※1}	人
④ (①のうち、) 未妊健 ^{※2} 分娩件数	人

※1 緊急帝王切開術とは、予定をしていなかった帝王切開術をいう。予定と緊急帝王切開術を分けていない場合は、全帝王切開術件数を記載してください。
 ※2 母子健康手帳を持たず、医療施設を問わず妊婦健康診査を一度も受診したことがない妊婦。

問5-1 貴施設の産後における通常の入院日数[※]をご記入ください。

	初産婦		経産婦	
① 経膈分娩	通常	日	通常	日
② 帝王切開術	通常	日	通常	日

※ 分娩当日を0日とし、整数でご記入ください。

■貴施設の分娩件数についてお伺いします。

問6 貴施設の最近3年間の分娩件数の状況について、該当するものに○をつけてください。

01 分娩件数は増加傾向にある
 ⇒ 理由: 11 地域の妊産婦の増加 12 他の医療機関の産科廃止
 13 その他()

02 分娩件数に大きな変化はない

03 分娩件数は減少傾向にある
 ⇒ 理由: 11 地域の妊産婦の減少
 12 分娩件数の受け入れ増加による制限実施
 13 他の医療機関の新設・集中
 14 その他()

04 その他()

■貴施設の研修についてお伺いします。

問7 下記の専門的自律能力の育成に関する研修を実施していますか。①～⑤のそれぞれについて、該当するものに○をつけてください。

① コーディネーション	01 実施している	02 実施していない
② 意思決定支援	01 実施している	02 実施していない
③ 接遇	01 実施している	02 実施していない
④ 企画力	01 実施している	02 実施していない
⑤ コミュニケーション	01 実施している	02 実施していない

■貴施設における支援の実施状況についてお伺いします。

問8 貴施設における、以下の①～⑪の各支援の内容の実施状況について、それぞれご回答ください。

支援の内容	選択肢	(1) 実施の有無		(2) 実施している場合、支援に関わっている職種(それぞれ○はいくつでも) ※(1)で「01 実施している」を選択した場合のみ、ご回答ください。				
		01 実施している	02 実施していない	01 医師	02 看護師	03 助産師	04 准看護師	05 その他
① 家族計画の支援		01	02	01	02	03	04	05(具体的内容:)
② 不妊、不育の悩みを持つ女性の支援		01	02	01	02	03	04	05(具体的内容:)
③ 性感染症の支援		01	02	01	02	03	04	05(具体的内容:)
④ 月経異常や月経障害等の支援(更年期指導含む)		01	02	01	02	03	04	05(具体的内容:)
⑤ 女性に対する暴力予防の支援		01	02	01	02	03	04	05(具体的内容:)
⑥ 予期せぬ妊娠をした女性の支援		01	02	01	02	03	04	05(具体的内容:)
⑦ 多様な性の支援		01	02	01	02	03	04	05(具体的内容:)
⑧ 産前・産後のメンタルヘルスケア		01	02	01	02	03	04	05(具体的内容:)
⑨ 産前・産後以外のメンタルヘルスケア		01	02	01	02	03	04	05(具体的内容:)
⑩ 妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援		01	02	01	02	03	04	05(具体的内容:)
⑪ 子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援		01	02	01	02	03	04	05(具体的内容:)

問9へ

※(1)で「01 実施している」を選択した場合のみ、(2)についてもご回答ください。

■母児の2週間健診についてお伺いします。

問9 貴施設における母児の2週間健診の実施状況について、該当するものに○をつけてください。

- 01 実施している ⇒開始年月:西暦()年()月
 02 以前実施していたが、現在は実施していない 03 一度も実施したことがない
 ↳ 選択肢 02 又は 03 を選択した場合は問9-7にお進みください。

【母児の2週間健診を実施している場合】

問9-1 母児の2週間健診の対象(利用条件)について、該当するものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 01 自施設で分娩をした母児 02 自施設で分娩をした母のみ
 03 自施設で出生した児のみ 04 他施設で分娩をした母児
 05 他施設で分娩をした母のみ 06 他施設で出生した児のみ
 07 条件は設けていない
 08 その他()

問9-2 母児の2週間健診の実施にあたり、費用は次のどれに該当しますか。(○はいくつでも)

- 01 医療機関の持ち出しで実施
 02 利用者から自己負担として徴収
 03 市町村からの委託費
 04 その他()

問9-3 母児の2週間健診には、助産師が関わっていますか。

- 01 関わっている 02 関わっていない⇒問9-5へ

問9-4 母児の2週間健診に関わっている助産師の人数(実人数)をご記入ください。

合計 _____ 人

問9-5 母児の2週間健診の運営状況についてご記入ください。

①1週間あたりの運営日数	_____	日/週間
②1日の対応可能人数	_____	人/日
③1人当たり所要時間(予約枠)	_____	分/人
④料金設定(健診1回当たりの料金)	_____	円/回

問9-6 母児の2週間健診の平成27年度(平成27年4月1日~平成28年3月31日)における対応実績についてご記入ください。

利用者数 _____ 人

【母児の2週間健診を実施していない場合】

問9-7 どのような条件があれば導入・再開ができますか。該当するものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 01 助産師の確保
 02 他職種の理解・協力
 03 導入・再開に当たっての費用補助
 04 その他()

問9-8 母児の2週間健診の導入・再開の希望・予定についてご記入ください。

- 01 導入・再開の希望がある
 ⇒実施予定: 11 実施を予定(実施が決まっている)
 12 実施の準備中(実施は未確定)
 13 実施の予定はないが、導入希望はある
 02 導入・再開の希望はない
 ⇒(理由:)

■分娩2週間以内の母児の健診についてお伺いします。

問10 貴施設における、分娩2週間以内の母児の健診の実施状況について、該当するものに○をつけてください。

- 01 実施している 02 実施していない⇒問11へ

問10-1 分娩後2週間以内の母児の健診を実施している場合、いつ、どのような方法で実施していますか。

①実施時期 例)初産婦は退院後3日目に実施	_____
②方法	_____

3

■生後1か月健診についてお伺いします。

問11 貴施設における生後1か月健診の実施状況について、該当するものに○をつけてください。

- 01 実施している ⇒開始年月:西暦()年()月
 02 以前実施していたが、現在は実施していない 03 一度も実施したことがない
 ↳ 選択肢 02 または 03 を選択した方は問12へ

【生後1か月健診を実施している場合】

問11-1 生後1か月健診の対象(利用条件)について、該当するものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 01 自施設で出生した児全員
 02 自施設で出生した児のうち一部
 03 他施設で出生した児
 04 特に条件は設けていない
 05 その他()

問11-2 生後1か月健診の実施にあたり、費用は次のどれに該当しますか。(○はいくつでも)

- 01 医療機関の持ち出しで実施
 02 利用者から自己負担として徴収
 03 市町村からの委託費
 04 その他()

問11-3 生後1か月健診には、助産師が関わっていますか。

- 01 関わっている 02 関わっていない⇒問11-5へ

問11-4 生後1か月健診に関わっている助産師の人数(実人数)をご記入ください。

合計 _____ 人

問11-5 生後1か月健診の運営状況についてご記入ください。

①1週間あたりの運営日数	_____	日/週間
②1日の対応可能人数	_____	人/日
③1人当たり所要時間(予約枠)	_____	分/人
④乳児1人当たりの基本料金	_____	円/人

問11-6 生後1か月健診の平成27年度(平成27年4月1日~平成28年3月31日)における対応実績についてご記入ください。

延べ利用人数 _____ 人

問11-7 自施設で分娩をした母児について、1か月健診を受診しなかったケースへの対応を行っていますか。該当するものに○をつけてください。

- 01 対応している 02 特に対応していない

■新生児訪問についてお伺いします。

(乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)除く。)

問12 貴施設における新生児訪問の実施状況について、該当するものに○をつけてください。

- 01 実施している ⇒開始年月:西暦()年()月
 02 以前実施していたが、現在は実施していない 03 一度も実施したことがない
 ↳ 選択肢 02 又は 03 を選択した場合は問12-8にお進みください。

【新生児訪問を実施している場合】

問12-1 訪問時期をいつまでに行っていますか。該当するものに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 01 生後2週間程度まで 02 生後1か月程度まで
 03 生後2か月程度まで 04 生後3か月程度まで
 05 その他()

問12-2 新生児訪問の対象(利用条件)について、該当するものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 01 自施設で分娩をした母児 02 自施設で分娩をした母のみ
 03 自施設で出生した児のみ 04 他施設で分娩をした母児
 05 他施設で分娩をした母のみ 06 他施設で出生した児のみ
 07 条件は設けていない 08 その他()

問12-3 新生児訪問の実施にあたり、費用はどのように支弁していますか。(○はいくつでも)

- 01 医療機関の持ち出しで実施している 02 利用者から自己負担として徴収している
 03 市町村から委託費をもらっている 04 その他()

4

問 12-4 新生児訪問には、助産師が関わっていますか。

01 関わっている 02 関わっていない⇒問 12-6 へ

問 12-5 新生児訪問に関わっている助産師の人数（実人数）をご記入ください。

合計	人
----	---

問 12-6 新生児訪問の対応状況についてご記入ください。

①1 週間あたりの対応可能日数	日/週間
②1 日の対応可能人数	人/日
③1 人当たり所要時間(予約枠)	分/人
④料金設定(訪問1回当たりの料金)	円/回

問 12-7 新生児訪問の平成 27 年度（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）における対応実績についてご記入ください。

延べ訪問者数	人
--------	---

【新生児訪問を実施していない場合】

問 12-8 どのような条件があれば導入・再開ができますか。該当するものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

01 助産師の確保
02 他職種の理解・協力
03 導入・再開に当たった費用補助
04 その他()

問 12-9 新生児訪問の導入・再開の希望・予定についてご記入ください。

01 導入・再開の希望がある
⇒ 実施予定: 11 実施を予定(実施が決まっている)
12 実施の準備中(実施は未確定)
13 実施の予定はないが、導入希望はある

02 導入・再開の希望はない
⇒(理由:)

■乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）についてお伺いします。

問 13 貴施設における乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）の実施状況について、該当するものに○をつけてください。

01 委託を受けている ⇒開始年月: 西暦()年()月
02 委託を受けていない⇒問 14 へ

問 13-1 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）には、助産師が関わっていますか。

01 関わっている 02 関わっていない

■産後ケア事業*についてお伺いします。

※産褥期における心身の不調や休養等が必要なものに対して、宿泊型・デイサービス型・アウトリーチ型等を実施し、精神的・身体的サポートおよび育児指導等の支援を行うことをいう。

問 14 貴施設では、産後ケア事業として、母児に対するケアやサービスを提供していますか。該当するものに○をつけてください。

01 産後ケア事業として母児に対するケアやサービスを提供している
02 産後ケア事業としては実施していないが、支援があれば実施したい
03 産後ケア事業としては実施しておらず、今後も実施する予定・希望はない
04 よく分からない 05 その他()

■母乳外来*についてお伺いします。

※乳房マッサージのみならず、母乳育児に関連した相談等を含めて行われる支援をいう。

問 15 貴施設における母乳外来の実施状況について、該当するものに○をつけてください。

01 実施している
02 以前実施していたが、現在は実施していない 03 一度も実施したことがない
--> 選択肢 02 又は 03 を選択した場合は問 15-6 にお進みください。

【母乳外来を実施している場合】

問 15-1 母乳外来の対象（利用条件）について、該当するものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

01 自施設で分娩した母児 02 他施設で分娩した母児
03 その他()

5

問 15-2 母乳外来には、助産師が関わっていますか。

01 関わっている 02 関わっていない⇒問 15-4 へ

問 15-3 母乳外来に関わっている助産師の人数（実人数）をご記入ください。

合計	人
----	---

問 15-4 母乳外来の運営状況についてご記入ください。

①1 週間あたりの運営日数	日/週間
②1 日の対応可能人数	人/日
③1 人当たり所要時間(予約枠)	分/人
④料金設定(利用1回当たりの料金*)	円/回

※ 日中に対応する、一般的な料金についてご記入ください。

問 15-5 母乳外来の平成 27 年度（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）における対応実績についてご記入ください。

①延べ利用者数	人
②実利用者数	人

(⇒実利用者数を記入できない場合は☑を付けてください。:□)

【母乳外来を実施していない場合】

問 15-6 どのような条件があれば導入・再開ができますか。該当するものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

01 助産師の確保
02 他職種の理解・協力
03 導入・再開に当たった費用補助
04 その他()

問 15-7 母乳外来の導入・再開の希望・予定についてご記入ください。

01 導入・再開の希望がある
⇒ 実施予定: 11 実施を予定(実施が決まっている)
12 実施の準備中(実施は未確定)
13 実施の予定はないが、導入希望はある

02 導入・再開の希望はない
⇒(理由:)

■育児相談についてお伺いします。

問 16 貴施設における育児相談の実施状況（電話相談は含まない）について、該当するものに○をつけてください。

01 実施している ⇒開始年月: 西暦()年()月
02 以前実施していたが、現在は実施していない 03 一度も実施したことがない
--> 選択肢 02 又は 03 を選択した場合は問 16-5 にお進みください。

【育児相談を実施している場合】

問 16-1 育児相談には、助産師が関わっていますか。

01 関わっている 02 関わっていない⇒問 16-3 へ

問 16-2 育児相談に関わっている助産師の人数（実人数）をご記入ください。

合計	人
----	---

問 16-3 育児相談の料金設定についてご記入ください。

利用1回当たりの料金*	円/回
-------------	-----

※ 日中に対応する、一般的な料金についてご記入ください。

問 16-4 育児相談の平成 27 年度（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）における対応実績についてご記入ください。

①延べ利用者数	人
②実利用者数	人

(⇒記入不可能な場合、☑を付けてください。:□)

【育児相談を実施していない場合】

問 16-5 どのような条件があれば導入・再開ができますか。該当するものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

01 助産師の確保 02 他職種の理解・協力 03 導入・再開に当たった費用補助
04 その他()

問 16-6 育児相談の導入・再開の希望・予定についてご記入ください。

01 導入・再開の希望がある
⇒ 実施予定: 11 実施を予定(実施が決まっている)
12 実施の準備中(実施は未確定)
13 実施の予定はないが、導入希望はある

02 導入・再開の希望はない
⇒(理由:)

6

≪ II 分娩取扱施設の助産ケア提供状況等に関する動向 ≫

■助産外来※についてお伺いします。

※妊婦・褥婦の健康診査並びに保健指導が助産師により行われる外来をいう。

問 17 貴施設における助産外来の実施状況について、該当するものに○をつけてください。

- 01 実施している ⇒ 開始年月：西暦()年()月
 02 以前実施していたが、現在は実施していない 03 一度も実施したことがない

→ 選択肢 02 又は 03 を選択した場合は問 17-5 にお進みください。

【助産外来を実施している場合】

問 17-1 助産外来の対象（利用条件）について、該当するものに○をつけてください。

- 01 全員に実施
 02 条件に該当する一部の妊産婦に実施
 ⇒ 条件： 11 ローリスクの妊産婦
 12 助産外来を希望する妊産婦
 13 その他()
 03 その他()

問 17-2 助産外来に関わっている助産師の人数（実人数）をご記入ください。

①合計	人
②(①のうち、)アドバンス助産師*	人

※ 助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）レベルⅢ認証制度において認証された助産師を指す。

問 17-3 助産外来の運営状況についてご記入ください。

①1 週間あたりの運営日数	日/週間
②1 日の対応可能人数	人/日
③1 人当たり所要時間(予約枠)	分/人
④料金設定(利用 1 回当たりの料金*)	円/回

※ 妊婦健康診査を受ける際の基本的な料金をご記入ください。

問 17-4 助産外来の平成 27 年度（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）における対応実績についてご記入ください。

①利用者数(実人数)	人
②利用者 1 人当たり利用回数	回/人

【助産外来を実施していない場合】

問 17-5 どのような条件があれば導入・再開ができますか。該当するものに○をつけてください。（○はいくつでも）

- 01 助産師の確保
 02 他職種の理解・協力
 03 導入・再開に当たっての費用補助
 04 その他()

問 17-6 助産外来の導入・再開の希望・予定についてご記入ください。

- 01 導入・再開の希望がある
 ⇒ 実施予定： 11 実施を予定(実施が決まっている)
 12 実施の準備中(実施は未確定)
 13 実施の予定はないが、導入希望はある
 02 導入・再開の希望はない
 ⇒(理由：)

■院内助産※についてお伺いします。

※分娩を目的に入院する産婦及び産後の母児に対して、助産師が主体的なケア提供を行う方法・体制。殊に、ローリスクの分娩は助産師により行われる。

問 18 貴施設における院内助産の実施状況について、該当するものに○をつけてください。

- 01 実施している ⇒ 開始年月：西暦()年()月
 02 以前実施していたが、現在は実施していない 03 一度も実施したことがない

→ 選択肢 02 又は 03 を選択した場合は問 18-4 にお進みください。

【院内助産を実施している場合】

問 18-1 院内助産の対象（利用条件）について、該当するものに○をつけてください。

- 01 全員に実施
 02 条件に該当する一部の妊産婦に実施
 ⇒ 条件： 11 ローリスクの妊産婦
 12 助産外来を希望する妊産婦
 13 その他()
 03 その他()

問 18-2 院内助産に関わっている助産師の人数（実人数）をご記入ください。

①合計	人
②(①のうち、)アドバンス助産師*	人

※ 助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）レベルⅢ認証制度において認証された助産師を指す。

問 18-3 院内助産の平成 27 年度（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）における分娩件数についてご記入ください。

延べ分娩件数	件
--------	---

【院内助産を実施していない場合】

問 18-4 どのような条件があれば導入・再開ができますか。該当するものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- 01 助産師の確保
 02 他職種の理解・協力
 03 導入・再開に当たっての費用補助
 04 その他()

問 18-5 院内助産の導入・再開の希望・予定についてご記入ください。

- 01 導入・再開の希望がある
 ⇒ 実施予定： 11 実施を予定(実施が決まっている)
 12 実施の準備中(実施は未確定)
 13 実施の予定はないが、導入希望はある
 02 導入・再開の希望はない
 ⇒(理由：)

■助産師の出向システムについてお伺いします。

問 19 平成 28 年 8 月 1 日時点において、助産師の出向システムに取り組んでいますか。

- 01 取り組んでいる
- 02 以前取り組んでいたが、現在は取り組んでいない ⇒問 20 へ
- 03 一度も取り組んだことはない ⇒問 20 へ

【助産師の出向システムに取り組んでいる場合】

問 19-1 貴施設で取り組んでいる助産師の出向システムの具体的内容について、①、②のそれぞれについて該当するものに○をつけてください。

①他施設への出向	01 取り組んでいる 02 過去に取り組んだことがある 03 今後取り組む予定である 04 取り組んでいない(取り組む予定もない)
②他施設からの出向の受け入れ	01 取り組んでいる 02 過去に取り組んだことがある 03 今後取り組む予定である 04 取り組んでいない(取り組む予定もない)

問 19-2 助産師の出向システムに取り組む理由について、該当するものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 01 自施設の助産師が不足しているため
- 02 他施設の助産師が不足しているため
- 03 自施設の助産師に経験を積ませるため
- 04 他施設の助産師に経験を積ませるため
- 05 人事交流のため
- 06 地域貢献のため
- 07 助産学生の助産実習受け入れのため
- 08 看護学生の母性看護実習受け入れのため
- 09 その他()

■助産実習の受け入れの可能性についてお伺いします。

問 20 助産実習等の受け入れ状況について、該当するものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 01 母性看護実習・助産実習ともに受け入れている ⇒問 20-2 へ
- 02 助産実習のみ受け入れている ⇒問 20-2 へ
- 03 母性看護実習のみ受け入れている ⇒問 20-1 へ
- 04 母性看護実習・助産実習ともに受け入れていない ⇒問 20-1 へ

問 20-1 助産実習を受け入れていない場合、どのような条件が整えば、貴施設で助産学生の実習受け入れが可能になると思いますか。該当するものに○をつけてください。(○は3つまで)

- 01 勤務助産師の数が増えれば、受け入れが可能
- 02 専任の実習指導者を配置できれば、受け入れが可能
- 03 勤務助産師や看護師の協力体制が整えば、受け入れが可能
- 04 産科医師の協力が得られれば、受け入れが可能
- 05 妊産褥婦の理解と協力が得られれば、受け入れが可能
- 06 学校側の指導者が実習にほぼ毎日同行してくれれば、受け入れが可能
- 07 実習期間中の、診療所と学校側との連携や話し合いの機会が増えれば、受け入れが可能
- 08 助産学生が、すでに看護師免許を有していれば、受け入れが可能
- 09 学生用のロッカールームや寮の整備など、物理的な環境が整えば、受け入れが可能
- 10 将来的に就職に結びつけば、受け入れが可能
- 11 正常分娩の件数が増えれば、受け入れが可能
- 12 看護手順の整備が整えば、受け入れが可能
- 13 実習費用が増額されれば、受け入れが可能
(希望額: 円/学生 1 人あたり(金額を記入))
- 14 その他()

問 20-2 助産実習を受け入れている場合、助産実習の受け入れ学生数(年間あたり)について、ご記入ください。

受け入れ助産学生数	年間	人
-----------	----	---

分娩取扱施設の方への質問は、以上です。
ご協力をいただき、誠にありがとうございました。
最後に p. 13 をご確認の上、8 月 31 日(水)までにご返送下さい。

《分娩を休止または中止した施設にお伺いします》

問 21~問 25-3 にお答えください。

問 21 貴施設における、以下の①~⑪の各支援の内容の実施状況について、それぞれご回答ください。

支援の内容	選択肢	(1)実施の有無		(2)実施している場合、支援に関わっている職種(それぞれ○はいくつでも) ※(1)で「01 実施している」を選択した場合のみ、ご回答ください。				
		01 実施している	02 実施していない	01 医師	02 看護師	03 助産師	04 准看護師	05 その他
① 家族計画の支援		01	02	01	02	03	04	05(具体的内容:)
② 不妊、不育の悩みを持つ女性の支援		01	02	01	02	03	04	05(具体的内容:)
③ 性感染症の支援		01	02	01	02	03	04	05(具体的内容:)
④ 月経異常や月経障害等の支援(更年期指導含む)		01	02	01	02	03	04	05(具体的内容:)
⑤ 女性に対する暴力予防の支援		01	02	01	02	03	04	05(具体的内容:)
⑥ 予期せぬ妊娠をした女性の支援		01	02	01	02	03	04	05(具体的内容:)
⑦ 多様な性の支援		01	02	01	02	03	04	05(具体的内容:)
⑧ 産前・産後のメンタルヘルスケア		01	02	01	02	03	04	05(具体的内容:)
⑨ 産前・産後以外のメンタルヘルスケア		01	02	01	02	03	04	05(具体的内容:)
⑩ 妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援		01	02	01	02	03	04	05(具体的内容:)
⑪ 子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援		01	02	01	02	03	04	05(具体的内容:)

問 22 へ

※(1)で「01 実施している」を選択した場合のみ、(2)についてもご回答ください。

**■乳児家庭全戸訪問事業（こんには赤ちゃん事業）
についてお伺いします。**

問 22 貴施設における乳児家庭全戸訪問事業（こんには赤ちゃん事業）の実施状況について、該当するものに○をつけてください。

- 01 委託を受けている ⇒開始年月:西暦()年()月
02 委託を受けていない⇒問 23 へ

問 22-1 乳児家庭全戸訪問事業（こんには赤ちゃん事業）には、助産師が関わっていますか。

- 01 関わっている 02 関わっていない

■産後ケア事業*についてお伺いします。

*産褥期における心身の不調や休養等が必要なものに対して、宿泊型・デイサービス型・アウトリーチ型等を実施し、精神的・身体的サポートおよび育児指導等の支援を行うことをいう。

問 23 貴施設では、産後ケア事業として、母児に対するケアやサービスを提供していますか。該当するものに○をつけてください。

- 01 産後ケア事業として母児に対するケアやサービスを提供している
02 産後ケア事業としては実施していないが、支援があれば実施したい
03 産後ケア事業としては実施しておらず、今後も実施する予定・希望はない
04 よく分からない

■助産師の出向システムについてお伺いします。

問 24 平成 28 年 8 月 1 日時点において、助産師の出向システムに取り組んでいますか。

- 01 取り組んでいる
02 以前取り組んでいたが、現在は取り組んでいない⇒問 25 へ
03 一度も取り組んだことはない⇒問 25 へ

【助産師の出向システムに取り組んでいる場合】

問 24-1 貴施設で取り組んでいる助産師の出向システムの具体的内容について、①、②のそれぞれについて、該当するものに○をつけてください。

- | | |
|----------------|--|
| ①他施設への出向 | 01 取り組んでいる
02 過去に取り組んだことがある
03 今後取り組む予定である
04 取り組んでいない(取り組む予定もない) |
| ②他施設からの出向の受け入れ | 01 取り組んでいる
02 過去に取り組んだことがある
03 今後取り組む予定である
04 取り組んでいない(取り組む予定もない) |

問 24-2 助産師の出向システムに取り組む理由について、該当するものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 01 自施設の助産師が不足しているため
02 他施設の助産師が不足しているため
03 自施設の助産師に経験を積ませるため
04 他施設の助産師に経験を積ませるため
05 人事交流のため
06 地域貢献のため
07 看護学生の母性看護実習受け入れのため
08 その他()

■母性看護実習の受け入れについてお伺いします。

問 25 貴施設での母性看護実習の受け入れ状況について、該当するものに○をつけてください。

- 01 受け入れている
02 以前受け入れていたが、現在は受け入れていない⇒問 25-3 へ
03 一度も受け入れたことがない⇒問 25-3 へ

【母性看護実習を受け入れている場合】

問 25-1 平成 27 年度（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）における、母性看護実習の受け入れ実績についてご記入ください。

①受け入れ学校数		校
②1校当たりの平均受け入れ看護学生数	平均	人
③1回当たりの平均受け入れ看護学生数	平均	人
④複数の実習受け入れが重なることの有無	01 ある 02 ない	

問 25-2 実習受け入れにあたり、学校から費用を受け取っていますか。

- 01 実習受け入れ費を受け取っている ⇒費用:()円
02 費用は特に受け取っていない

【母性看護実習を受け入れていない場合】

問 25-3 どのような条件が整えば、貴施設で母性看護学生の实習受け入れが可能になるとお考えですか。該当するものに○をつけてください。(○は3つまで)

- 01 勤務助産師の数が増えれば、受け入れが可能
02 専任の実習指導者を配置できれば、受け入れが可能
03 勤務助産師や看護師の協力体制が整えば、受け入れが可能
04 産科医師の協力が得られれば、受け入れが可能
05 妊産婦の理解と協力が得られれば、受け入れが可能
06 学校側の指導者が実習にほぼ毎日同行してくれれば、受け入れが可能
07 実習期間中の、診療所と学校側との連携や話し合いの機会が増えれば、受け入れが可能
08 学生用のロッカールームや寮の整備など、物理的な環境が整えば、受け入れが可能
09 将来的に就職に結びつけば、受け入れが可能
10 正常分娩の件数が増えれば、受け入れが可能
11 看護手順の整備が整えば、受け入れが可能
12 実習費用が増額されれば、受け入れが可能
(希望金額: 円/学生1人あたり)(金額を記入)
13 その他()

調査票はこれで終わりです。お忙しい中ご協力をいただき、誠にありがとうございました。
同封の返信用封筒にて、切手を貼らずに、8月31日(水)までにご返送ください。

ご返送にあたり、貴施設名をご記入いただいた場合には、本調査の結果がまとまり次第、看護師長様宛にお送りいたします。

調査票ご記入日	平成28年()月()日		
貴施設所在地	()都・道・府・県		
貴施設名			
ご回答者名		所属・役職	
連絡先電話番号		連絡先FAX番号	

病院調査（分娩取扱施設）

		(1) 問1 設置主体													
	全体	厚生労働省（国立ハ ンセン治療 養所）	独立行政 法人国立 病院機構	国立大学 法人	独立行政 法人労働 者健康福 祉機構	独立行政 法人地域 医療機能 推進機構	その他の国 （防衛省、 法務省、宮 内庁等）	都道府県・ 市町村 （一部事 務組合を含 む）	地方独立 行政法人 （公立大 学法人を含 む）	日本赤十 字社	済生会	厚生農業 協同組合 連合会	北海道社 会事業協 会	社会保険 関係団体 ※1	公益社団 体人・公益 財団法人
n	684	1	28	36	9	13	2	190	36	53	18	39	2	8	18
%	100.0	0.1	4.1	5.3	1.3	1.9	0.3	27.8	5.3	7.7	2.6	5.7	0.3	1.2	2.6

		(1) 問1 設置主体									
	全体	私立学校 法人	医療法人 （社会医 療法人を含 む）	社会福祉 法人	医療生協	会社	14～19以 外の他の 法人※2	個人	その他	無回答	
n	684	45	122	21	7	7	16	4	7	2	
%	100.0	6.6	17.8	3.1	1.0	1.0	2.3	0.6	1.0	0.3	

		(2) 問2 施設の状況			
	全体	単科の病院	複数の診療 科を有する 病院	無回答	
n	684	42	640	2	
%	100.0	6.1	93.6	0.3	

		(3) 問3 施設の医療機能							
	全体	総合周産 期母子医 療センター	地域周産 期母子医 療センター	特定機能 病院	地域医療 支援病院	その他	無回答	累計	
n	684	85	196	59	241	132	68	781	
%	100.0	12.4	28.7	8.6	35.2	19.3	9.9	114.2	

		(4) 問4 一般病棟の入院基本料							
	全体	7対1	10対1	13対1	15対1	特別入院 基本料	取っていな い	無回答	
n	684	543	128	4	3	5	0	1	
%	100.0	79.4	18.7	0.6	0.4	0.7	0.0	0.1	

		(5) 問5 平成28年7月に算定した加算									
	全体	ハイリスク妊 娠管理加 算	ハイリスク分 娩管理加 算	妊産婦緊 急搬送入 院加算	ハイリスク妊 産婦共同 管理料Ⅰ	ハイリスク妊 産婦共同 管理料Ⅱ	新生児特 定集中治 療室退院 調整加算	総合周産 期特定集 中治療室 管理料	新生児治 療回復室 入院医療 管理料	無回答	累計
n	684	494	406	319	58	21	94	83	118	169	1762
%	100.0	72.2	59.4	46.6	8.5	3.1	13.7	12.1	17.3	24.7	257.6

		(10) 問8 産科関連病棟における診療科				
	全体	産科単科	産科と婦人 科の混合病 棟	その他	無回答	
n	684	154	190	339	1	
%	100.0	22.7	27.8	49.4	0.1	

		(11) 問8 産科関連病棟でのその他の診療科												
	全体	外科	整形外科	脳神経外 科	耳鼻咽喉 科	泌尿器科	眼科	歯科口腔 外科	皮膚科	その他	無回答	非該当	累計	
n	339	127	130	46	69	57	98	41	40	283	0	345	891	
%	100.0	37.5	38.3	13.6	20.4	16.8	28.9	12.1	11.8	83.5	0.0			

		(14) 問8-1 ②産科病棟としての定数を定めていない		
	全体	定めてい ないにチエ ックあり	無回答	
n	684	269	415	
%	100.0	39.3	60.7	

(18) 問8-2 産科外来と産科関連病棟の一元管理の実施状況				
	全体	産科外来と産科関連病棟の一元管理を行っている	産科外来と産科関連病棟の一元管理を行っていない	無回答
n	684	342	319	23
%	100.0	50.0	46.6	3.4

(70) 問10 産科関連病棟の主な勤務形態					
	全体	3交代制(変則3交代制を含む)	2交代制(変則2交代制を含む)	3交代制と2交代制の併用	無回答
n	684	234	334	109	7
%	100.0	34.2	48.8	15.9	1.0

(71) 問11 助産師の産科関連病棟のオンコール体制等の有無									
	全体	日中・夜間を通して分娩時オンコール体制あり	夜間のみ分娩時オンコール体制あり	オンコール体制なし	当直制あり	その他	無回答	累計	
n	684	32	111	445	31	63	28	710	
%	100.0	4.7	16.2	65.1	4.5	9.2	4.1	103.8	

(84) 問13 分娩時(第1期から4期)の常時1名の助産師を配置できる体制				
	全体	できている	できていない	無回答
n	684	571	82	31
%	100.0	83.5	12.0	4.5

(85) 問14 BFH (Baby Friendly Hospital) の認定				
	全体	認定を受けている	認定を受けていない	無回答
n	684	43	634	7
%	100.0	6.3	92.7	1.0

(86) 問15 高度生殖医療の実施				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	684	113	561	10
%	100.0	16.5	82.0	1.5

(87) 問16 看護職員の持っている資格															
	全体	母性看護専門看護師	不妊症看護認定看護師	不妊カウンセラー・体外受精コーディネーター	認定遺伝カウンセラー	リプロヘルス・サポーター(受胎調節実地)	ラクテーションコンサルタント	性暴力被害者支援看護職	思春期保健相談士	メノポーズカウンセラー	日本糖尿病療養指導士	地域糖尿病療養指導士	鍼灸マッサージ師	アロマテラピー検定	その他
n	684	38	54	79	15	293	165	27	129	4	242	107	18	164	61
%	100.0	5.6	7.9	11.5	2.2	42.8	24.1	3.9	18.9	0.6	35.4	15.6	2.6	24.0	8.9

(87) 問16 看護職員の持っている資格			
	全体	無回答	累計
n	684	112	1508
%	100.0	16.4	220.5

(89) 問17 専門的自律能力の育成に関する研修の実施 ①コーディネーション				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	684	81	470	133
%	100.0	11.8	68.7	19.4

(90) 問17 専門的自律能力の育成に関する研修の実施 ②意思決定支援				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	684	153	409	122
%	100.0	22.4	59.8	17.8

(91) 問17 専門的自律能力の育成に関する研修の実施 ③接遇				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	684	534	107	43
%	100.0	78.1	15.6	6.3

(92) 問17 専門的自律能力の育成に関する研修の実施 ④企画力				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	684	103	445	136
%	100.0	15.1	65.1	19.9

(93) 問17 専門的自律能力の育成に関する研修の実施 ⑤コミュニケーション				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	684	356	237	91
%	100.0	52.0	34.6	13.3

(102) 問19 最近3年間の分娩件数の状況						
	全体	分娩件数は増加傾向にある	分娩件数に大きな変化はない	分娩件数は減少傾向にある	その他	無回答
n	684	177	266	230	7	4
%	100.0	25.9	38.9	33.6	1.0	0.6

(103) 問19 「01 分娩件数は増加傾向にある」場合の理由							
	全体	地域の妊産婦の増加	他の医療機関の産科廃止	その他	無回答	非該当	累計
n	177	27	107	69	6	507	209
%	100.0	15.3	60.5	39.0	3.4		118.1

(104) 問19 「03 分娩件数は減少傾向にある」場合の理由								
	全体	地域の妊産婦の減少	分娩件数の受け入れ増加による制限実施	他の医療機関の新設・集中	その他	無回答	非該当	累計
n	230	106	10	104	55	4	454	279
%	100.0	46.1	4.3	45.2	23.9	1.7		121.3

(105) 問20 今後の分娩取扱の方向性						
	全体	分娩取扱件数を制限する予定である	分娩の廃止を検討（または予定）している	分娩取扱件数を増やす予定である	特に変更の予定なし	無回答
n	684	52	14	206	406	6
%	100.0	7.6	2.0	30.1	59.4	0.9

(106) 問20 制限する分娩							
	全体	ハイリスク分娩を制限	ローリスク分娩を制限	リスクを問わず制限	無回答	非該当	累計
n	52	22	20	11	1	632	54
%	100.0	42.3	38.5	21.2	1.9		103.8

(107) 問21 看護職員対象のウイメンズヘルスケアに関する研修の機会の提供					
	全体	提供している	提供していない	その他	無回答
n	684	179	484	5	16
%	100.0	26.2	70.8	0.7	2.3

(108) 問21-1 研修のテーマ															
	全体	家族計画の支援	不妊、不育の悩みを持つ女性の支援	性感染症の支援	月経異常や月経障害等の支援（更年期指導を含む）	女性に対する暴力予防の支援	予期せぬ妊娠をした女性の支援	多様な性の支援	産前・産後のメンタルヘルスケア	産前・産後以外のメンタルヘルスケア	妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援	子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援	その他	無回答	非該当
n	179	33	47	37	25	47	33	20	104	38	96	112	13	4	505
%	100.0	18.4	26.3	20.7	14.0	26.3	18.4	11.2	58.1	21.2	53.6	62.6	7.3	2.2	

(108) 問21-1 研修のテーマ		
	全体	累計
n	179	609
%	100.0	340.2

(109) 問21-2 ウイメンズヘルスケアに関する研修の企画や講師への助産師の関わり					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	179	120	46	13	505
%	100.0	67.0	25.7	7.3	

(110) 問22 妊娠中・産後の指導 (1) 指導の実施状況 ①禁煙						
	全体	妊娠中のみ指導している	産後（育児期間中）のみ指導している	妊娠中・産後（育児期間中）とも指導している	指導していない	無回答
n	684	89	5	529	24	37
%	100.0	13.0	0.7	77.3	3.5	5.4

(111) 問22 妊娠中・産後の指導 (1) 指導の実施状況 ②禁酒						
	全体	妊娠中のみ指導している	産後（育児期間中）のみ指導している	妊娠中・産後（育児期間中）とも指導している	指導していない	無回答
n	684	108	9	493	32	42
%	100.0	15.8	1.3	72.1	4.7	6.1

(112) 問22 妊娠中・産後の指導 (2) 助産師の関与の有無 ①禁煙				
	全体	関わっている	関わっていない	無回答
n	684	611	32	41
%	100.0	89.3	4.7	6.0

(113) 問22 妊娠中・産後の指導 (2) 助産師の関与の有無 ②禁酒				
	全体	関わっている	関わっていない	無回答
n	684	597	41	46
%	100.0	87.3	6.0	6.7

(114) 問23 周産期以外の女性に対する支援の助産師の関わり				
	全体	関わっている	関わっていない	無回答
n	684	358	285	41
%	100.0	52.3	41.7	6.0

(115) 問24 相談への対応状況 ①妊娠糖尿病							
	全体	助産師が相談を受けている	助産師以外の職員が相談を受けている	特に相談は受け付けていない	その他	無回答	累計
n	684	467	387	82	13	15	964
%	100.0	68.3	56.6	12.0	1.9	2.2	140.9

(116) 問24 相談への対応状況 ②HTLV-1							
	全体	助産師が相談を受けている	助産師以外の職員が相談を受けている	特に相談は受け付けていない	その他	無回答	累計
n	684	422	279	146	13	22	882
%	100.0	61.7	40.8	21.3	1.9	3.2	128.9

(117) 問25 支援について (1) 実施の有無 ①家族計画の支援				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	684	544	96	44
%	100.0	79.5	14.0	6.4

(118) 問25 支援について (1) 実施の有無 ②不妊、不育の悩みを持つ女性の支援				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	684	291	328	65
%	100.0	42.5	48.0	9.5

(119) 問25 支援について (1) 実施の有無 ③性感染症の支援				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	684	304	315	65
%	100.0	44.4	46.1	9.5

(120) 問25 支援について (1) 実施の有無 ④月経異常や月経障害等の支援 (更年期指導)				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	684	308	311	65
%	100.0	45.0	45.5	9.5

(121) 問25 支援について (1) 実施の有無 ⑤女性に対する暴力予防の支援				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	684	239	378	67
%	100.0	34.9	55.3	9.8

(122) 問25 支援について (1) 実施の有無 ⑥予期せぬ妊娠をした女性の支援				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	684	399	224	61
%	100.0	58.3	32.7	8.9

(123) 問25 支援について (1) 実施の有無 ⑦多様な性の支援				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	684	94	512	78
%	100.0	13.7	74.9	11.4

(124) 問25 支援について (1) 実施の有無 ⑧産前・産後のメンタルヘルスケア				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	684	528	110	46
%	100.0	77.2	16.1	6.7

(125) 問25 支援について (1) 実施の有無 ⑨産前・産後以外のメンタルヘルスケア				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	684	244	371	69
%	100.0	35.7	54.2	10.1

(126) 問25 支援について (1) 実施の有無 ⑩妊娠から育児において支援を必要とする母親とそ				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	684	580	66	38
%	100.0	84.8	9.6	5.6

(127) 問25 支援について (1) 実施の有無 ⑪子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	684	465	163	56
%	100.0	68.0	23.8	8.2

(128) 問25 支援について (2) 相談受付窓口・支援 ① 家族計画の支援					
	全体	ある	ない	無回答	非該当
n	544	262	260	22	140
%	100.0	48.2	47.8	4.0	

(129) 問25 支援について (2) 相談受付窓口・支援 ② 不妊、不育の悩みを持つ女性の支援					
	全体	ある	ない	無回答	非該当
n	291	193	90	8	393
%	100.0	66.3	30.9	2.7	

(130) 問25 支援について (2) 相談受付窓口・支援 ③ 性感染症の支援					
	全体	ある	ない	無回答	非該当
n	304	172	123	9	380
%	100.0	56.6	40.5	3.0	

(131) 問25 支援について (2) 相談受付窓口・支援 ④ 月経異常や月経障害等の支援 (更年期指導含む)					
	全体	ある	ない	無回答	非該当
n	308	187	113	8	376
%	100.0	60.7	36.7	2.6	

(132) 問25 支援について (2) 相談受付窓口・支援 ⑤ 女性に対する暴力予防の支援					
	全体	ある	ない	無回答	非該当
n	239	149	80	10	445
%	100.0	62.3	33.5	4.2	

(133) 問25 支援について (2) 相談受付窓口・支援 ⑥ 予期せぬ妊娠をした女性の支援					
	全体	ある	ない	無回答	非該当
n	399	230	153	16	285
%	100.0	57.6	38.3	4.0	

(134) 問25 支援について (2) 相談受付窓口・支援 ⑦ 多様な性の支援					
	全体	ある	ない	無回答	非該当
n	94	53	37	4	590
%	100.0	56.4	39.4	4.3	

(135) 問25 支援について (2) 相談受付窓口・支援 ⑧ 産前・産後のメンタルヘルスケア					
	全体	ある	ない	無回答	非該当
n	528	343	153	32	156
%	100.0	65.0	29.0	6.1	

(136) 問25 支援について (2) 相談受付窓口・支援 ⑨ 産前・産後以外のメンタルヘルスケア					
	全体	ある	ない	無回答	非該当
n	244	169	66	9	440
%	100.0	69.3	27.0	3.7	

(137) 問25 支援について (2) 相談受付窓口・支援 ⑩ 妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援					
	全体	ある	ない	無回答	非該当
n	580	404	137	39	104
%	100.0	69.7	23.6	6.7	

(138) 問25 支援について (2) 相談受付窓口・支援 ⑪ 子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援					
	全体	ある	ない	無回答	非該当
n	465	322	114	29	219
%	100.0	69.2	24.5	6.2	

(139) 問25 支援について (3) 助産師の関わり ①家族 計画の支援					
	全体	関わっている	関わって いない	無回答	非該当
n	262	249	8	5	422
%	100.0	95.0	3.1	1.9	

(140) 問25 支援について (3) 助産師の関わり ②不妊、 不育の悩みを持つ女性の支援					
	全体	関わっている	関わって いない	無回答	非該当
n	193	113	80	0	491
%	100.0	58.5	41.5	0.0	

(141) 問25 支援について (3) 助産師の関わり ③性感染症の支援					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	172	114	58	0	512
%	100.0	66.3	33.7	0.0	

(142) 問25 支援について (3) 助産師の関わり ④月経異常や月経障害等の支援 (更年期指導含む)					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	187	99	87	1	497
%	100.0	52.9	46.5	0.5	

(143) 問25 支援について (3) 助産師の関わり ⑤女性に対する暴力予防の支援					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	149	117	30	2	535
%	100.0	78.5	20.1	1.3	

(144) 問25 支援について (3) 助産師の関わり ⑥予期せぬ妊娠をした女性の支援					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	230	202	26	2	454
%	100.0	87.8	11.3	0.9	

(145) 問25 支援について (3) 助産師の関わり ⑦多様な性の支援					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	53	41	12	0	631
%	100.0	77.4	22.6	0.0	

(146) 問25 支援について (3) 助産師の関わり ⑧産前・産後のメンタルヘルスケア					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	343	329	13	1	341
%	100.0	95.9	3.8	0.3	

(147) 問25 支援について (3) 助産師の関わり ⑨産前・産後以外のメンタルヘルスケア					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	169	127	41	1	515
%	100.0	75.1	24.3	0.6	

(148) 問25 支援について (3) 助産師の関わり ⑩妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	404	393	8	3	280
%	100.0	97.3	2.0	0.7	

(149) 問25 支援について (3) 助産師の関わり ⑪子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	322	295	24	3	362
%	100.0	91.6	7.5	0.9	

(150) 問25 支援について (4) ①助産師の所属 ①家族計画の支援								
	全体	婦人科病棟	産科外来	婦人科外来	その他	無回答	非該当	累計
n	249	142	164	90	74	2	435	472
%	100.0	57.0	65.9	36.1	29.7	0.8		189.6

(151) 問25 支援について (4) ①助産師の所属 ②不妊、不育の悩みを持つ女性の支援								
	全体	婦人科病棟	産科外来	婦人科外来	その他	無回答	非該当	累計
n	113	44	63	59	28	2	571	196
%	100.0	38.9	55.8	52.2	24.8	1.8		173.5

(152) 問25 支援について (4) ①助産師の所属 ③性感染症の支援								
	全体	婦人科病棟	産科外来	婦人科外来	その他	無回答	非該当	累計
n	114	55	81	67	25	1	570	229
%	100.0	48.2	71.1	58.8	21.9	0.9		200.9

(153) 問25 支援について (4) ①助産師の所属 ④月経異常や月経障害等の支援 (更年期指遵守含む)								
	全体	婦人科病棟	産科外来	婦人科外来	その他	無回答	非該当	累計
n	99	42	57	68	16	2	585	185
%	100.0	42.4	57.6	68.7	16.2	2.0		186.9

(154) 問25 支援について (4) ①助産師の所属 ⑤女性に対する暴力予防の支援								
	全体	婦人科病棟	産科外来	婦人科外来	その他	無回答	非該当	累計
n	117	60	78	64	42	2	567	246
%	100.0	51.3	66.7	54.7	35.9	1.7		210.3

(155) 問25 支援について (4) ①助産師の所属 ⑥予期せぬ妊娠をした女性の支援								
	全体	婦人科病棟	産科外来	婦人科外来	その他	無回答	非該当	累計
n	202	85	148	74	54	6	482	367
%	100.0	42.1	73.3	36.6	26.7	3.0		181.7

(156) 問25 支援について (4) ①助産師の所属 ⑦多様な性の支援								
	全体	婦人科病棟	産科外来	婦人科外来	その他	無回答	非該当	累計
n	41	17	28	22	10	0	643	77
%	100.0	41.5	68.3	53.7	24.4	0.0		187.8

(157) 問25 支援について (4) ①助産師の所属 ⑧産前・産後のメンタルヘルスケア								
	全体	婦人科病棟	産科外来	婦人科外来	その他	無回答	非該当	累計
n	329	161	240	88	116	7	355	612
%	100.0	48.9	72.9	26.7	35.3	2.1		186.0

(158) 問25 支援について (4) ①助産師の所属 ⑨産前・産後以外のメンタルヘルスケア								
	全体	婦人科病棟	産科外来	婦人科外来	その他	無回答	非該当	累計
n	127	70	87	46	39	3	557	245
%	100.0	55.1	68.5	36.2	30.7	2.4		192.9

(159) 問25 支援について (4) ①助産師の所属 @妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援								
	全体	婦人科病棟	産科外来	婦人科外来	その他	無回答	非該当	累計
n	393	191	281	95	135	10	291	712
%	100.0	48.6	71.5	24.2	34.4	2.5		181.2

(160) 問25 支援について (4) ①助産師の所属 @子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援								
	全体	婦人科病棟	産科外来	婦人科外来	その他	無回答	非該当	累計
n	295	135	201	75	129	11	389	551
%	100.0	45.8	68.1	25.4	43.7	3.7		186.8

(161) 問25 支援について (4) ②助産師の保有資格 ①家族計画の支援															
	全体	母性看護専門看護師	不妊症看護認定看護師	不妊カウンセラー・体外受精コーディネーター	認定遺伝カウンセラー	リプロヘルス・サポーター（受胎調節実地指導員）	ラクテーションコンサルタント	性暴力被害者支援看護職	思春期保健相談士	メノポーズカウンセラー	日本糖尿病療養指導士	その他	無回答	非該当	累計
n	249	13	10	14	0	136	22	6	33	1	7	11	74	435	327
%	100.0	5.2	4.0	5.6	0.0	54.6	8.8	2.4	13.3	0.4	2.8	4.4	29.7		131.3

(162) 問25 支援について (4) ②助産師の保有資格 ②不妊、不育の悩みを持つ女性の支援															
	全体	母性看護専門看護師	不妊症看護認定看護師	不妊カウンセラー・体外受精コーディネーター	認定遺伝カウンセラー	リプロヘルス・サポーター（受胎調節実地指導員）	ラクテーションコンサルタント	性暴力被害者支援看護職	思春期保健相談士	メノポーズカウンセラー	日本糖尿病療養指導士	その他	無回答	非該当	累計
n	113	6	31	19	0	33	6	0	10	0	2	7	35	571	149
%	100.0	5.3	27.4	16.8	0.0	29.2	5.3	0.0	8.8	0.0	1.8	6.2	31.0		131.9

(163) 問25 支援について (4) ②助産師の保有資格 ③性感染症の支援															
	全体	母性看護専門看護師	不妊症看護認定看護師	不妊カウンセラー・体外受精コーディネーター	認定遺伝カウンセラー	リプロヘルス・サポーター（受胎調節実地指導員）	ラクテーションコンサルタント	性暴力被害者支援看護職	思春期保健相談士	メノポーズカウンセラー	日本糖尿病療養指導士	その他	無回答	非該当	累計
n	114	6	6	4	0	43	10	1	23	0	2	8	45	570	148
%	100.0	5.3	5.3	3.5	0.0	37.7	8.8	0.9	20.2	0.0	1.8	7.0	39.5		129.8

(164) 問25 支援について (4) ②助産師の保有資格 ④月経異常や月経障害等の支援（更年期指導含む）															
	全体	母性看護専門看護師	不妊症看護認定看護師	不妊カウンセラー・体外受精コーディネーター	認定遺伝カウンセラー	リプロヘルス・サポーター（受胎調節実地指導員）	ラクテーションコンサルタント	性暴力被害者支援看護職	思春期保健相談士	メノポーズカウンセラー	日本糖尿病療養指導士	その他	無回答	非該当	累計
n	99	4	5	3	0	36	8	1	15	1	3	3	49	585	128
%	100.0	4.0	5.1	3.0	0.0	36.4	8.1	1.0	15.2	1.0	3.0	3.0	49.5		129.3

(165) 問25 支援について (4) ②助産師の保有資格 ⑤女性に対する暴力予防の支援															
	全体	母性看護専門看護師	不妊症看護認定看護師	不妊カウンセラー・体外受精コーディネーター	認定遺伝カウンセラー	リプロヘルス・サポーター（受胎調節実地指導員）	ラクテーションコンサルタント	性暴力被害者支援看護職	思春期保健相談士	メノポーズカウンセラー	日本糖尿病療養指導士	その他	無回答	非該当	累計
n	117	11	4	5	0	30	8	11	13	0	1	11	59	567	153
%	100.0	9.4	3.4	4.3	0.0	25.6	6.8	9.4	11.1	0.0	0.9	9.4	50.4		130.8

(166) 問25 支援について (4) ②助産師の保有資格 ⑥予期せぬ妊娠をした女性の支援															
	全体	母性看護専門看護師	不妊症看護認定看護師	不妊カウンセラー・体外受精コーディネーター	認定遺伝カウンセラー	リプロヘルス・サポーター（受胎調節実地指導員）	ラクテーションコンサルタント	性暴力被害者支援看護職	思春期保健相談士	メノポーズカウンセラー	日本糖尿病療養指導士	その他	無回答	非該当	累計
n	202	9	8	7	0	83	12	5	22	0	5	14	93	482	258
%	100.0	4.5	4.0	3.5	0.0	41.1	5.9	2.5	10.9	0.0	2.5	6.9	46.0		127.7

(167) 問25 支援について (4) ②助産師の保有資格 ⑦多様な性の支援															
全体	母性看護 専門看護師	不妊症看 護認定看 護師	不妊カウン セラー・体外 受精コーディネーター	認定遺伝カ ウンセラ	リプロヘル ス・サポー ター（受胎 調節実地 指導員）	ラクテーショ ンコンサル タント	性暴力被 害者支援 看護職	思春期保 健相談士	メノポーズカ ウンセラ	日本糖尿 病療養指 導士	その他	無回答	非該当	累計	
n	41	4	4	2	0	13	3	0	7	0	0	2	17	643	52
%	100.0	9.8	9.8	4.9	0.0	31.7	7.3	0.0	17.1	0.0	0.0	4.9	41.5	126.8	

(168) 問25 支援について (4) ②助産師の保有資格 ⑧産前・産後のメンタルヘルスケア															
全体	母性看護 専門看護師	不妊症看 護認定看 護師	不妊カウン セラー・体外 受精コーディネーター	認定遺伝カ ウンセラ	リプロヘル ス・サポー ター（受胎 調節実地 指導員）	ラクテーショ ンコンサル タント	性暴力被 害者支援 看護職	思春期保 健相談士	メノポーズカ ウンセラ	日本糖尿 病療養指 導士	その他	無回答	非該当	累計	
n	329	17	5	8	0	103	30	3	32	2	8	29	177	355	414
%	100.0	5.2	1.5	2.4	0.0	31.3	9.1	0.9	9.7	0.6	2.4	8.8	53.8	125.8	

(169) 問25 支援について (4) ②助産師の保有資格 ⑨産前・産後以外のメンタルヘルスケア															
全体	母性看護 専門看護師	不妊症看 護認定看 護師	不妊カウン セラー・体外 受精コーディネーター	認定遺伝カ ウンセラ	リプロヘル ス・サポー ター（受胎 調節実地 指導員）	ラクテーショ ンコンサル タント	性暴力被 害者支援 看護職	思春期保 健相談士	メノポーズカ ウンセラ	日本糖尿 病療養指 導士	その他	無回答	非該当	累計	
n	127	9	1	2	0	36	8	1	10	0	2	11	71	557	151
%	100.0	7.1	0.8	1.6	0.0	28.3	6.3	0.8	7.9	0.0	1.6	8.7	55.9	118.9	

(170) 問25 支援について (4) ②助産師の保有資格 ⑩妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援															
全体	母性看護 専門看護師	不妊症看 護認定看 護師	不妊カウン セラー・体外 受精コーディネーター	認定遺伝カ ウンセラ	リプロヘル ス・サポー ター（受胎 調節実地 指導員）	ラクテーショ ンコンサル タント	性暴力被 害者支援 看護職	思春期保 健相談士	メノポーズカ ウンセラ	日本糖尿 病療養指 導士	その他	無回答	非該当	累計	
n	393	23	5	12	0	114	43	5	34	1	10	40	212	291	499
%	100.0	5.9	1.3	3.1	0.0	29.0	10.9	1.3	8.7	0.3	2.5	10.2	53.9	127.0	

(171) 問25 支援について (4) ②助産師の保有資格 ⑪子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援															
全体	母性看護 専門看護師	不妊症看 護認定看 護師	不妊カウン セラー・体外 受精コーディネーター	認定遺伝カ ウンセラ	リプロヘル ス・サポー ター（受胎 調節実地 指導員）	ラクテーショ ンコンサル タント	性暴力被 害者支援 看護職	思春期保 健相談士	メノポーズカ ウンセラ	日本糖尿 病療養指 導士	その他	無回答	非該当	累計	
n	295	21	5	7	0	86	25	8	25	1	7	30	161	389	376
%	100.0	7.1	1.7	2.4	0.0	29.2	8.5	2.7	8.5	0.3	2.4	10.2	54.6	127.5	

(172) 問25 支援について (5) 支援の対象者 ①家族計画の支援								
全体	本人（女 性）	夫・パート ナー	その他家族	その他	無回答	非該当	累計	
n	544	508	265	46	3	28	140	850
%	100.0	93.4	48.7	8.5	0.6	5.1	156.3	

(173) 問25 支援について (5) 支援の対象者 ②不妊、不育の悩みを持つ女性の支援								
全体	本人（女 性）	夫・パート ナー	その他家族	その他	無回答	非該当	累計	
n	291	275	177	14	1	12	393	479
%	100.0	94.5	60.8	4.8	0.3	4.1	164.6	

(174) 問25 支援について (5) 支援の対象者 ③性感染症の支援								
全体	本人（女 性）	夫・パート ナー	その他家族	その他	無回答	非該当	累計	
n	304	286	169	12	5	14	380	486
%	100.0	94.1	55.6	3.9	1.6	4.6	159.9	

(175) 問25 支援について (5) 支援の対象者 ④月経異常や月経障害等の支援 (更年期指導含む)								
	全体	本人 (女性)	夫・パートナー	その他家族	その他	無回答	非該当	累計
n	308	296	30	17	1	11	376	355
%	100.0	96.1	9.7	5.5	0.3	3.6		115.3

(176) 問25 支援について (5) 支援の対象者 ⑤女性に対する暴力予防の支援								
	全体	本人 (女性)	夫・パートナー	その他家族	その他	無回答	非該当	累計
n	239	221	56	65	4	17	445	363
%	100.0	92.5	23.4	27.2	1.7	7.1		151.9

(177) 問25 支援について (5) 支援の対象者 ⑥予期せぬ妊娠をした女性の支援								
	全体	本人 (女性)	夫・パートナー	その他家族	その他	無回答	非該当	累計
n	399	375	167	161	1	22	285	726
%	100.0	94.0	41.9	40.4	0.3	5.5		182.0

(178) 問25 支援について (5) 支援の対象者 ⑦多様な性の支援								
	全体	本人 (女性)	夫・パートナー	その他家族	その他	無回答	非該当	累計
n	94	87	24	19	3	4	590	137
%	100.0	92.6	25.5	20.2	3.2	4.3		145.7

(179) 問25 支援について (5) 支援の対象者 ⑧産前・産後のメンタルヘルスカ								
	全体	本人 (女性)	夫・パートナー	その他家族	その他	無回答	非該当	累計
n	528	486	306	269	8	38	156	1107
%	100.0	92.0	58.0	50.9	1.5	7.2		209.7

(180) 問25 支援について (5) 支援の対象者 ⑨産前・産後以外のメンタルヘルスカ								
	全体	本人 (女性)	夫・パートナー	その他家族	その他	無回答	非該当	累計
n	244	225	126	102	6	15	440	474
%	100.0	92.2	51.6	41.8	2.5	6.1		194.3

(181) 問25 支援について (5) 支援の対象者 ⑩妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援								
	全体	本人 (女性)	夫・パートナー	その他家族	その他	無回答	非該当	累計
n	580	526	388	370	12	46	104	1342
%	100.0	90.7	66.9	63.8	2.1	7.9		231.4

(182) 問25 支援について (5) 支援の対象者 ⑪子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援								
	全体	本人 (女性)	夫・パートナー	その他家族	その他	無回答	非該当	累計
n	465	427	308	286	16	31	219	1068
%	100.0	91.8	66.2	61.5	3.4	6.7		229.7

(183) 問25 支援について (6) 支援での他機関等との連携状況 ①家族計画の支援								
	全体	連携のための定期的な会議が設けられている	個別ケースに応じて連携している	特に連携していない	その他	無回答	非該当	累計
n	544	8	167	290	7	84	140	556
%	100.0	1.5	30.7	53.3	1.3	15.4		102.2

(184) 問25 支援について (6) 支援での他機関等との連携状況 ②不妊、不育の悩みを持つ女性の支援								
	全体	連携のための定期的な会議が設けられている	個別ケースに応じて連携している	特に連携していない	その他	無回答	非該当	累計
n	291	8	116	123	4	46	393	297
%	100.0	2.7	39.9	42.3	1.4	15.8		102.1

(185) 問25 支援について (6) 支援での他機関等との連携状況 ③性感染症の支援								
	全体	連携のための定期的な会議が設けられている	個別ケースに応じて連携している	特に連携していない	その他	無回答	非該当	累計
n	304	5	88	166	2	47	380	308
%	100.0	1.6	28.9	54.6	0.7	15.5		101.3

(186) 問25 支援について (6) 支援での他機関等との連携状況 ④月経異常や月経障害等の支援(更年期指導含む)								
	全体	連携のための定期的な会議が設けられている	個別ケースに応じて連携している	特に連携していない	その他	無回答	非該当	累計
n	308	4	79	181	1	46	376	311
%	100.0	1.3	25.6	58.8	0.3	14.9		101.0

(187) 問25 支援について (6) 支援での他機関等との連携状況 ⑤女性に対する暴力予防の支援								
	全体	連携のための定期的な会議が設けられている	個別ケースに応じて連携している	特に連携していない	その他	無回答	非該当	累計
n	239	45	180	19	4	22	445	270
%	100.0	18.8	75.3	7.9	1.7	9.2		113.0

(188) 問25 支援について (6) 支援での他機関等との連携状況 ⑥予期せぬ妊娠をした女性の支援								
	全体	連携のための定期的な会議が設けられている	個別ケースに応じて連携している	特に連携していない	その他	無回答	非該当	累計
n	399	47	279	63	4	43	285	436
%	100.0	11.8	69.9	15.8	1.0	10.8		109.3

(189) 問25 支援について (6) 支援での他機関等との連携状況 ⑦多様な性の支援								
	全体	連携のための定期的な会議が設けられている	個別ケースに応じて連携している	特に連携していない	その他	無回答	非該当	累計
n	94	6	42	38	2	10	590	98
%	100.0	6.4	44.7	40.4	2.1	10.6		104.3

(190) 問25 支援について (6) 支援での他機関等との連携状況 ⑧産前・産後のメンタルヘルスケア								
	全体	連携のための定期的な会議が設けられている	個別ケースに応じて連携している	特に連携していない	その他	無回答	非該当	累計
n	528	101	413	21	14	55	156	604
%	100.0	19.1	78.2	4.0	2.7	10.4		114.4

(191) 問25 支援について (6) 支援での他機関等との連携状況 ⑨産前・産後以外のメンタルヘルスケア								
	全体	連携のための定期的な会議が設けられている	個別ケースに応じて連携している	特に連携していない	その他	無回答	非該当	累計
n	244	32	165	33	3	30	440	263
%	100.0	13.1	67.6	13.5	1.2	12.3		107.8

(192) 問25 支援について (6) 支援での他機関等との連携状況 ⑩妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援								
	全体	連携のための定期的な会議が設けられている	個別ケースに応じて連携している	特に連携していない	その他	無回答	非該当	累計
n	580	145	450	14	11	62	104	682
%	100.0	25.0	77.6	2.4	1.9	10.7		117.6

(193) 問25 支援について (6) 支援での他機関等との連携状況 ㉑子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援								
	全体	連携のため の定期的な 会議が設け られている	個別ケース に応じて連 携している	特に連携し ていない	その他	無回答	非該当	累計
n	465	162	351	4	10	40	219	567
%	100.0	34.8	75.5	0.9	2.2	8.6		121.9

(194) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (1) 実施の有無 ㉒家族計画の支援				
	全体	実施してい る	実施してい ない	無回答
n	684	274	304	106
%	100.0	40.1	44.4	15.5

(195) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (1) 実施の有無 ㉓不妊、不育の悩みを持つ女				
	全体	実施してい る	実施してい ない	無回答
n	684	159	403	122
%	100.0	23.2	58.9	17.8

(196) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (1) 実施の有無 ㉔性感染症の支援				
	全体	実施してい る	実施してい ない	無回答
n	684	160	392	132
%	100.0	23.4	57.3	19.3

(197) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (1) 実施の有無 ㉕月経異常や月経障害等の				
	全体	実施してい る	実施してい ない	無回答
n	684	137	413	134
%	100.0	20.0	60.4	19.6

(198) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (1) 実施の有無 ㉖女性に対する暴力予防の				
	全体	実施してい る	実施してい ない	無回答
n	684	169	390	125
%	100.0	24.7	57.0	18.3

(199) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (1) 実施の有無 ㉗予期せぬ妊娠をした女性の				
	全体	実施してい る	実施してい ない	無回答
n	684	160	404	120
%	100.0	23.4	59.1	17.5

(200) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (1) 実施の有無 ㉘多様な性の支援				
	全体	実施してい る	実施してい ない	無回答
n	684	43	496	145
%	100.0	6.3	72.5	21.2

(201) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (1) 実施の有無 ㉙産前・産後のメンタルヘルス				
	全体	実施してい る	実施してい ない	無回答
n	684	266	309	109
%	100.0	38.9	45.2	15.9

(202) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (1) 実施の有無 ⑨産前・産後以外のメンタルへ				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	684	120	432	132
%	100.0	17.5	63.2	19.3

(203) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (1) 実施の有無 ⑩妊娠から育児において支援				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	684	284	298	102
%	100.0	41.5	43.6	14.9

(204) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (1) 実施の有無 ⑪子育て支援による子どもの				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	684	234	332	118
%	100.0	34.2	48.5	17.3

(205) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (2) 助産師の関わり ①家族計画の支援					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	274	258	8	8	410
%	100.0	94.2	2.9	2.9	

(206) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (2) 助産師の関わり ②不妊、不育の悩みを持つ女性の支援					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	159	98	54	7	525
%	100.0	61.6	34.0	4.4	

(207) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (2) 助産師の関わり ③性感染症の支援					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	160	121	31	8	524
%	100.0	75.6	19.4	5.0	

(208) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (2) 助産師の関わり ④月経異常や月経障害等の支援(更年期指導含)					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	137	85	44	8	547
%	100.0	62.0	32.1	5.8	

(209) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (2) 助産師の関わり ⑤女性に対する暴力予防の支援					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	169	109	53	7	515
%	100.0	64.5	31.4	4.1	

(210) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (2) 助産師の関わり ⑥予期せぬ妊娠をした女性の支援					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	160	126	27	7	524
%	100.0	78.8	16.9	4.4	

(211) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (2) 助産師の関わり ⑦多様な性の支援					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	43	33	5	5	641
%	100.0	76.7	11.6	11.6	

(212) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (2) 助産師の関わり ⑧産前・産後のメンタルヘルスケア					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	266	243	11	12	418
%	100.0	91.4	4.1	4.5	

(213) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (2) 助産師の関わり ⑨産前・産後以外のメンタルヘルスケア					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	120	93	17	10	564
%	100.0	77.5	14.2	8.3	

(214) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (2) 助産師の関わり ⑩妊娠から育児において支援を必要とする母親とその					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	284	262	12	10	400
%	100.0	92.3	4.2	3.5	

(215) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (2) 助産師の関わり ⑪子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	234	204	21	9	450
%	100.0	87.2	9.0	3.8	

(216) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (3) 啓発方法 ①家族計画の支援									
	全体	個人指導	集団指導 (院内)	集団指導 (院外)	啓発資料の 作成・周知	その他	無回答	非該当	累計
n	274	189	146	17	31	3	7	410	393
%	100.0	69.0	53.3	6.2	11.3	1.1	2.6		143.4

(217) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (3) 啓発方法 ②不妊、不育の悩みを持つ女性の支援									
	全体	個人指導	集団指導 (院内)	集団指導 (院外)	啓発資料の 作成・周知	その他	無回答	非該当	累計
n	159	110	19	1	27	7	22	525	186
%	100.0	69.2	11.9	0.6	17.0	4.4	13.8		117.0

(218) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (3) 啓発方法 ③性感染症の支援									
	全体	個人指導	集団指導 (院内)	集団指導 (院外)	啓発資料の 作成・周知	その他	無回答	非該当	累計
n	160	100	16	37	22	8	16	524	199
%	100.0	62.5	10.0	23.1	13.8	5.0	10.0		124.4

(219) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (3) 啓発方法 ④月経異常や月経障害等の支援 (更年期指導含む)									
	全体	個人指導	集団指導 (院内)	集団指導 (院外)	啓発資料の 作成・周知	その他	無回答	非該当	累計
n	137	94	7	16	15	5	20	547	157
%	100.0	68.6	5.1	11.7	10.9	3.6	14.6		114.6

(220) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (3) 啓発方法 ⑤女性に対する暴力予防の支援									
	全体	個人指導	集団指導 (院内)	集団指導 (院外)	啓発資料の 作成・周知	その他	無回答	非該当	累計
n	169	102	6	8	50	9	19	515	194
%	100.0	60.4	3.6	4.7	29.6	5.3	11.2		114.8

(221) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (3) 啓発方法 ⑥予期せぬ妊娠をした女性の支援									
	全体	個人指導	集団指導 (院内)	集団指導 (院外)	啓発資料の 作成・周知	その他	無回答	非該当	累計
n	160	125	6	10	20	6	12	524	179
%	100.0	78.1	3.8	6.3	12.5	3.8	7.5		111.9

(222) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (3) 啓発方法 ⑦多様な性の支援									
	全体	個人指導	集団指導 (院内)	集団指導 (院外)	啓発資料の 作成・周知	その他	無回答	非該当	累計
n	43	25	2	11	5	0	6	641	49
%	100.0	58.1	4.7	25.6	11.6	0.0	14.0		114.0

(223) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (3) 啓発方法 ⑧産前・産後のメンタルヘルスケア									
	全体	個人指導	集団指導 (院内)	集団指導 (院外)	啓発資料の 作成・周知	その他	無回答	非該当	累計
n	266	219	75	1	28	4	16	418	343
%	100.0	82.3	28.2	0.4	10.5	1.5	6.0		128.9

(224) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (3) 啓発方法 ⑨産前・産後以外のメンタルヘルスケア									
	全体	個人指導	集団指導 (院内)	集団指導 (院外)	啓発資料の 作成・周知	その他	無回答	非該当	累計
n	120	86	17	2	8	1	21	564	135
%	100.0	71.7	14.2	1.7	6.7	0.8	17.5		112.5

(225) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (3) 啓発方法 ⑩妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援									
	全体	個人指導	集団指導 (院内)	集団指導 (院外)	啓発資料の 作成・周知	その他	無回答	非該当	累計
n	284	243	81	4	34	5	17	400	384
%	100.0	85.6	28.5	1.4	12.0	1.8	6.0		135.2

(226) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (3) 啓発方法 ⑪子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援									
	全体	個人指導	集団指導 (院内)	集団指導 (院外)	啓発資料の 作成・周知	その他	無回答	非該当	累計
n	234	184	33	4	38	8	18	450	285
%	100.0	78.6	14.1	1.7	16.2	3.4	7.7		121.8

(227) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (4) 啓発の対象 ①家族計画の支援											
	全体	受診者	地域住民	中学生	高校生	大学・専門 学校等の生 徒	社会人女 性(成熟 期・更年 期)	その他	無回答	非該当	累計
n	259	235	7	27	19	6	5	17	7	425	323
%	100.0	90.7	2.7	10.4	7.3	2.3	1.9	6.6	2.7		124.7

(228) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (4) 啓発の対象 ②不妊、不育の悩みを持つ女性の支援											
	全体	受診者	地域住民	中学生	高校生	大学・専門 学校等の生 徒	社会人女 性(成熟 期・更年 期)	その他	無回答	非該当	累計
n	115	110	7	1	1	2	2	5	3	569	131
%	100.0	95.7	6.1	0.9	0.9	1.7	1.7	4.3	2.6		113.9

(229) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (4) 啓発の対象 ③性感染症の支援											
	全体	受診者	地域住民	中学生	高校生	大学・専門学校等の生徒	社会人女性(成熟期・更年期)	その他	無回答	非該当	累計
n	128	100	3	49	44	12	4	4	5	556	221
%	100.0	78.1	2.3	38.3	34.4	9.4	3.1	3.1	3.9		172.7

(230) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (4) 啓発の対象 ④月経異常や月経障害等の支援(更年期指導含む)											
	全体	受診者	地域住民	中学生	高校生	大学・専門学校等の生徒	社会人女性(成熟期・更年期)	その他	無回答	非該当	累計
n	105	90	8	18	15	5	9	0	2	579	147
%	100.0	85.7	7.6	17.1	14.3	4.8	8.6	0.0	1.9		140.0

(231) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (4) 啓発の対象 ⑤女性に対する暴力予防の支援											
	全体	受診者	地域住民	中学生	高校生	大学・専門学校等の生徒	社会人女性(成熟期・更年期)	その他	無回答	非該当	累計
n	107	98	8	9	10	3	2	1	4	577	135
%	100.0	91.6	7.5	8.4	9.3	2.8	1.9	0.9	3.7		126.2

(232) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (4) 啓発の対象 ⑥予期せぬ妊娠をした女性の支援											
	全体	受診者	地域住民	中学生	高校生	大学・専門学校等の生徒	社会人女性(成熟期・更年期)	その他	無回答	非該当	累計
n	132	120	4	12	14	2	3	4	5	552	164
%	100.0	90.9	3.0	9.1	10.6	1.5	2.3	3.0	3.8		124.2

(233) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (4) 啓発の対象 ⑦多様な性の支援											
	全体	受診者	地域住民	中学生	高校生	大学・専門学校等の生徒	社会人女性(成熟期・更年期)	その他	無回答	非該当	累計
n	35	25	3	9	11	2	0	3	0	649	53
%	100.0	71.4	8.6	25.7	31.4	5.7	0.0	8.6	0.0		151.4

(234) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (4) 啓発の対象 ⑧産前・産後のメンタルヘルスクア											
	全体	受診者	地域住民	中学生	高校生	大学・専門学校等の生徒	社会人女性(成熟期・更年期)	その他	無回答	非該当	累計
n	240	227	8	1	0	0	1	8	9	444	254
%	100.0	94.6	3.3	0.4	0.0	0.0	0.4	3.3	3.8		105.8

(235) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (4) 啓発の対象 ⑨産前・産後以外のメンタルヘルスクア											
	全体	受診者	地域住民	中学生	高校生	大学・専門学校等の生徒	社会人女性(成熟期・更年期)	その他	無回答	非該当	累計
n	96	92	5	3	2	1	2	3	2	588	110
%	100.0	95.8	5.2	3.1	2.1	1.0	2.1	3.1	2.1		114.6

(236) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (4) 啓発の対象 ⑩妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援											
	全体	受診者	地域住民	中学生	高校生	大学・専門学校等の生徒	社会人女性(成熟期・更年期)	その他	無回答	非該当	累計
n	258	247	14	0	0	1	1	10	8	426	281
%	100.0	95.7	5.4	0.0	0.0	0.4	0.4	3.9	3.1		108.9

(237) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (4) 啓発の対象 ⑪子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援											
	全体	受診者	地域住民	中学生	高校生	大学・専門学校等の生徒	社会人女性(成熟期・更年期)	その他	無回答	非該当	累計
n	193	186	8	2	1	0	1	9	4	491	211
%	100.0	96.4	4.1	1.0	0.5	0.0	0.5	4.7	2.1		109.3

(238) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (5) 実施主体 ①家族計画の支援											
	全体	自施設	自治体 (保健所 含む)	学校	地域(町 内会、婦人 会等)	企業、NPO 等	職能団体	その他	無回答	非該当	累計
n	274	228	7	17	0	2	2	11	28	410	295
%	100.0	83.2	2.6	6.2	0.0	0.7	0.7	4.0	10.2		107.7

(239) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (5) 実施主体 ②不妊、不育の悩みを持つ女性の支援											
	全体	自施設	自治体 (保健所 含む)	学校	地域(町 内会、婦人 会等)	企業、NPO 等	職能団体	その他	無回答	非該当	累計
n	159	125	16	2	0	4	3	2	18	525	170
%	100.0	78.6	10.1	1.3	0.0	2.5	1.9	1.3	11.3		106.9

(240) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (5) 実施主体 ③性感染症の支援											
	全体	自施設	自治体 (保健所 含む)	学校	地域(町 内会、婦人 会等)	企業、NPO 等	職能団体	その他	無回答	非該当	累計
n	160	104	11	42	2	5	6	1	19	524	190
%	100.0	65.0	6.9	26.3	1.3	3.1	3.8	0.6	11.9		118.8

(241) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (5) 実施主体 ④月経異常や月経障害等の支援(更年期指導含む)											
	全体	自施設	自治体 (保健所 含む)	学校	地域(町 内会、婦人 会等)	企業、NPO 等	職能団体	その他	無回答	非該当	累計
n	137	102	7	13	3	8	1	4	19	547	157
%	100.0	74.5	5.1	9.5	2.2	5.8	0.7	2.9	13.9		114.6

(242) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (5) 実施主体 ⑤女性に対する暴力予防の支援											
	全体	自施設	自治体 (保健所 含む)	学校	地域(町 内会、婦人 会等)	企業、NPO 等	職能団体	その他	無回答	非該当	累計
n	169	104	45	8	1	12	5	3	24	515	202
%	100.0	61.5	26.6	4.7	0.6	7.1	3.0	1.8	14.2		119.5

(243) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (5) 実施主体 ⑥予期せぬ妊娠をした女性の支援											
	全体	自施設	自治体 (保健所 含む)	学校	地域(町 内会、婦人 会等)	企業、NPO 等	職能団体	その他	無回答	非該当	累計
n	160	113	17	12	1	5	1	1	24	524	174
%	100.0	70.6	10.6	7.5	0.6	3.1	0.6	0.6	15.0		108.8

(244) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (5) 実施主体 ⑦多様な性の支援											
	全体	自施設	自治体 (保健所 含む)	学校	地域(町 内会、婦人 会等)	企業、NPO 等	職能団体	その他	無回答	非該当	累計
n	43	25	3	13	2	3	1	0	9	641	56
%	100.0	58.1	7.0	30.2	4.7	7.0	2.3	0.0	20.9		130.2

(245) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (5) 実施主体 ⑧産前・産後のメンタルヘルスクア											
	全体	自施設	自治体 (保健所 含む)	学校	地域(町 内会、婦人 会等)	企業、NPO 等	職能団体	その他	無回答	非該当	累計
n	266	214	24	3	1	4	4	6	34	418	290
%	100.0	80.5	9.0	1.1	0.4	1.5	1.5	2.3	12.8		109.0

(246) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (5) 実施主体 ⑨産前・産後以外のメンタルヘルスクア											
	全体	自施設	自治体 (保健所 含む)	学校	地域(町 内会、婦人 会等)	企業、NPO 等	職能団体	その他	無回答	非該当	累計
n	120	89	12	3	1	3	4	3	21	564	136
%	100.0	74.2	10.0	2.5	0.8	2.5	3.3	2.5	17.5		113.3

(247) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (5) 実施主体 ⑩妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援											
	全体	自施設	自治体 (保健所 含む)	学校	地域(町 内会、婦人 会等)	企業、NPO 等	職能団体	その他	無回答	非該当	累計
n	284	233	39	1	4	6	2	5	30	400	320
%	100.0	82.0	13.7	0.4	1.4	2.1	0.7	1.8	10.6		112.7

(248) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (5) 実施主体 ⑪子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援											
	全体	自施設	自治体 (保健所 含む)	学校	地域(町 内会、婦人 会等)	企業、NPO 等	職能団体	その他	無回答	非該当	累計
n	234	180	40	1	3	3	2	2	28	450	259
%	100.0	76.9	17.1	0.4	1.3	1.3	0.9	0.9	12.0		110.7

(249) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (6) 普及啓発に要する費用 ①家族計画の支援								
	全体	医療機関の 持出し	対象者から 徴収	委託元から 徴収	その他	無回答	非該当	累計
n	274	161	39	12	29	43	410	284
%	100.0	58.8	14.2	4.4	10.6	15.7		103.6

(250) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (6) 普及啓発に要する費用 ②不妊、不育の悩みを持つ女性の支援								
	全体	医療機関の 持出し	対象者から 徴収	委託元から 徴収	その他	無回答	非該当	累計
n	159	84	22	10	22	25	525	163
%	100.0	52.8	13.8	6.3	13.8	15.7		102.5

(251) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (6) 普及啓発に要する費用 ③性感染症の支援								
	全体	医療機関の 持出し	対象者から 徴収	委託元から 徴収	その他	無回答	非該当	累計
n	160	66	21	31	21	35	524	174
%	100.0	41.3	13.1	19.4	13.1	21.9		108.8

(252) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (6) 普及啓発に要する費用 ④月経異常や月経障害等の支援(更年期指導含む)								
	全体	医療機関の 持出し	対象者から 徴収	委託元から 徴収	その他	無回答	非該当	累計
n	137	67	14	17	14	32	547	144
%	100.0	48.9	10.2	12.4	10.2	23.4		105.1

(253) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (6) 普及啓発に要する費用 ⑤女性に対する暴力予防の支援								
	全体	医療機関の 持出し	対象者から 徴収	委託元から 徴収	その他	無回答	非該当	累計
n	169	65	11	23	37	41	515	177
%	100.0	38.5	6.5	13.6	21.9	24.3		104.7

(254) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (6) 普及啓発に要する費用 ⑥予期せぬ妊娠をした女性の支援								
	全体	医療機関の 持出し	対象者から 徴収	委託元から 徴収	その他	無回答	非該当	累計
n	160	74	17	11	26	37	524	165
%	100.0	46.3	10.6	6.9	16.3	23.1		103.1

(255) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (6) 普及啓発に要する費用 ⑦多様な性の支援								
	全体	医療機関の 持出し	対象者から 徴収	委託元から 徴収	その他	無回答	非該当	累計
n	43	20	4	6	4	12	641	46
%	100.0	46.5	9.3	14.0	9.3	27.9		107.0

(256) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (6) 普及啓発に要する費用 ⑧産前・産後のメンタルヘルスケア								
	全体	医療機関の 持出し	対象者から 徴収	委託元から 徴収	その他	無回答	非該当	累計
n	266	150	38	9	26	55	418	278
%	100.0	56.4	14.3	3.4	9.8	20.7		104.5

(257) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (6) 普及啓発に要する費用 ⑨産前・産後以外のメンタルヘルスケア								
	全体	医療機関の 持出し	対象者から 徴収	委託元から 徴収	その他	無回答	非該当	累計
n	120	68	15	3	11	29	564	126
%	100.0	56.7	12.5	2.5	9.2	24.2		105.0

(258) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (6) 普及啓発に要する費用 ⑩妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援 医療機関の持出し								
	全体	医療機関の 持出し	対象者から 徴収	委託元から 徴収	その他	無回答	非該当	累計
n	284	170	35	9	32	54	400	300
%	100.0	59.9	12.3	3.2	11.3	19.0		105.6

(259) 問26 支援内容に関連した普及啓発 (6) 普及啓発に要する費用 ⑪子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援 医療機関の持出し								
	全体	医療機関の 持出し	対象者から 徴収	委託元から 徴収	その他	無回答	非該当	累計
n	234	129	22	16	27	48	450	242
%	100.0	55.1	9.4	6.8	11.5	20.5		103.4

(260) 問27 母児の2週間健診の実施状況					
	全体	実施している	以前実施していたが、現在は実施していない	一度も実施したことがない	無回答
n	684	263	15	397	9
%	100.0	38.5	2.2	58.0	1.3

(263) 問27-1 母児の2週間健診の対象												
	全体	自施設で分娩をした母児	自施設で分娩をした母児のみ	自施設で出生した児のみ	他施設で分娩をした母児	他施設で分娩をした母児のみ	他施設で出生した児のみ	条件は設けていない	その他	無回答	非該当	累計
n	263	235	7	18	19	0	0	6	23	0	421	308
%	100.0	89.4	2.7	6.8	7.2	0.0	0.0	2.3	8.7	0.0		117.1

(264) 問27-2 母児の2週間健診の費用								
	全体	医療機関の 持ち出しで 実施	利用者から 自己負担として 徴収	市町村からの 委託費	その他	無回答	非該当	累計
n	263	53	179	11	26	2	421	271
%	100.0	20.2	68.1	4.2	9.9	0.8		103.0

(265) 問27-3 母児の2週間健診への助産師の関わり					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	263	251	9	3	421
%	100.0	95.4	3.4	1.1	

(267) 問27-5 母児の2週間健診に関わる助産師の所属										
	全体	産科病棟	婦人科病棟	産科外来	婦人科外来	小児科	その他	無回答	非該当	累計
n	251	204	31	88	23	7	32	1	433	386
%	100.0	81.3	12.4	35.1	9.2	2.8	12.7	0.4		153.8

(268) 問27-6 母児の2週間健診に関わる助産師の要件								
	全体	助産師として一定の経験年数を満たしていること	特定の研修プログラムを修了していること	その他	無回答	非該当	累計	
n	251	219	33	26	5	433	283	
%	100.0	87.3	13.1	10.4	2.0		112.7	

(274) 問27-9 母児の2週間健診の導入・再開の条件								
	全体	助産師の確保	他職種の理解・協力	導入・再開に当たった費用補助	その他	無回答	非該当	累計
n	412	278	216	147	66	49	272	756
%	100.0	67.5	52.4	35.7	16.0	11.9		183.5

(275) 問27-10 母児の2週間健診の導入・再開の希望・予定					
	全体	導入・再開の希望がある	導入・再開の希望はない	無回答	非該当
n	412	172	155	85	272
%	100.0	41.7	37.6	20.6	

(276) 問27-10 母児の2週間健診の導入・再開の実施予定						
	全体	実施を予定(実施が決まっている)	実施の準備中(実施は未確定)	実施の予定はないが、導入希望はある	無回答	非該当
n	412	4	27	139	242	272
%	100.0	1.0	6.6	33.7	58.7	

(277) 問28 分娩後2週間以内の母児の健診の実施状況				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	684	195	435	54
%	100.0	28.5	63.6	7.9

(278) 問29 生後1か月健診の実施状況					
	全体	実施している	以前実施していたが、現在は実施していない	一度も実施したことがない	無回答
n	684	671	5	7	1
%	100.0	98.1	0.7	1.0	0.1

(281) 問29-1 生後1か月健診の対象									
	全体	自施設で出生した児全員	自施設で出生した児のうち一部	他施設で出生した児	特に条件は設けていない	その他	無回答	非該当	累計
n	671	597	34	153	68	35	4	13	891
%	100.0	89.0	5.1	22.8	10.1	5.2	0.6		132.8

(282) 問29-2 生後1か月健診の費用								
	全体	医療機関の持ち出しで実施	利用者から自己負担として徴収	市町村からの委託費	その他	無回答	非該当	累計
n	671	19	447	225	26	47	13	764
%	100.0	2.8	66.6	33.5	3.9	7.0		113.9

(283) 問29-3 生後1か月健診への助産師の関わり					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	671	379	279	13	13
%	100.0	56.5	41.6	1.9	

(285) 問29-5 生後1か月健診に関わる助産師の所属										
	全体	産科病棟	婦人科病棟	産科外来	婦人科外来	小児科	その他	無回答	非該当	累計
n	379	254	42	181	48	43	40	1	305	609
%	100.0	67.0	11.1	47.8	12.7	11.3	10.6	0.3		160.7

(286) 問29-6 生後1か月健診に関わる助産師の要件							
	全体	助産師として一定の経験年数を満たしていること	特定の研修プログラムを修了していること	その他	無回答	非該当	累計
n	379	301	32	66	12	305	411
%	100.0	79.4	8.4	17.4	3.2		108.4

(292) 問29-9 自施設で分娩した母児で1か月健診を受診しなかった場合の対応					
	全体	対応している	特に対応していない	無回答	非該当
n	684	349	134	201	0
%	100.0	51.0	19.6	29.4	

(293) 問30 新生児訪問の実施状況					
	全体	実施している	以前実施していたが現在は実施していない	一度も実施したことがない	無回答
n	684	40	58	583	3
%	100.0	5.8	8.5	85.2	0.4

(296) 問30-1 新生児訪問の訪問時期									
	全体	生後2週間程度まで	生後1か月程度まで	生後2か月程度まで	生後3か月程度まで	その他	無回答	非該当	累計
n	40	9	20	0	2	7	2	644	40
%	100.0	22.5	50.0	0.0	5.0	17.5	5.0		100.0

(297) 問30-2 新生児訪問の対象													
	全体	自施設で分娩した母児のみ	自施設で分娩した母児のみ	自施設で分娩した母児のみ	他施設で分娩した母児のみ	他施設で分娩した母児のみ	他施設で分娩した母児のみ	条件は設けていない	その他	無回答	非該当	累計	
n	40	30	0	1	2	1	0	2	8	2	644	46	
%	100.0	75.0	0.0	2.5	5.0	2.5	0.0	5.0	20.0	5.0		115.0	

(298) 問30-3 新生児訪問の費用								
	全体	医療機関の持ち出しで実施	利用者から自己負担として徴収	市町村からの委託費	その他	無回答	非該当	累計
n	40	12	13	9	5	1	644	40
%	100.0	30.0	32.5	22.5	12.5	2.5		100.0

(299) 問30-4 新生児訪問への助産師の関わり					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	40	35	4	1	644
%	100.0	87.5	10.0	2.5	

(301) 問30-6 新生児訪問に関わる助産師の所属										
	全体	産科病棟	婦人科病棟	産科外来	婦人科外来	小児科	その他	無回答	非該当	累計
n	35	27	1	6	1	1	8	1	649	45
%	100.0	77.1	2.9	17.1	2.9	2.9	22.9	2.9		128.6

(302) 問30-7 新生児訪問に関わる助産師の要件							
	全体	助産師として一定の経験年数を満たしていること	特定の研修プログラムを修了していること	その他	無回答	非該当	累計
n	35	28	2	8	1	649	39
%	100.0	80.0	5.7	22.9	2.9		111.4

(308) 問30-10 新生児訪問の導入・再開の条件								
	全体	助産師の確保	他職種の理解・協力	運営等の費用補助	その他	無回答	非該当	累計
n	641	519	344	427	90	52	43	1432
%	100.0	81.0	53.7	66.6	14.0	8.1		223.4

(309) 問30-11 新生児訪問の導入・再開の希望・予定					
	全体	導入・再開の希望がある	導入・再開の希望はなし	無回答	非該当
n	641	165	385	91	43
%	100.0	25.7	60.1	14.2	

(310) 問30-11 新生児訪問の導入・再開の実施予定						
	全体	実施を予定（実施が決まっている）	実施の準備中（実施は未確定）	実施の予定はないが、導入希望はある	無回答	非該当
n	165	2	4	158	1	519
%	100.0	1.2	2.4	95.8	0.6	

(311) 問31 乳児家庭全戸訪問事業の実施状況				
	全体	委託を受けている	委託を受けていない	無回答
n	684	13	635	36
%	100.0	1.9	92.8	5.3

(314) 問31 乳児家庭全戸訪問事業への助産師の関わり					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	13	11	2	0	671
%	100.0	84.6	15.4	0.0	

(315) 問32 母乳外来の実施状況					
	全体	実施している	以前実施していたが、現在は実施していない	一度も実施したことがない	無回答
n	684	564	29	80	11
%	100.0	82.5	4.2	11.7	1.6

(318) 問32-1 母乳外来の対象							
	全体	自施設で分娩した母児	他施設で分娩した母児	その他	無回答	非該当	累計
n	564	533	374	40	5	120	952
%	100.0	94.5	66.3	7.1	0.9		168.8

(319) 問32-2 母乳外来への助産師の関わり					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	564	561	1	2	120
%	100.0	99.5	0.2	0.4	

(321) 問32-4 母乳外来に関わる助産師の所属										
	全体	産科病棟	婦人科病棟	産科外来	婦人科外来	小児科	その他	無回答	非該当	累計
n	561	472	68	238	61	2	60	0	123	901
%	100.0	84.1	12.1	42.4	10.9	0.4	10.7	0.0		160.6

(322) 問32-5 母乳外来に関わる助産師の要件							
	全体	助産師として一定の経験年数を満たしていること	特定の研修プログラムを修了していること	その他	無回答	非該当	累計
n	561	509	71	50	5	123	635
%	100.0	90.7	12.7	8.9	0.9		113.2

(328) 問32-7 ②平成27年度の母乳外来の実利用者数の記入はできない					
	全体	on	off	無回答	非該当
n	564	345	0	219	120
%	100.0	61.2	0.0	38.8	

(330) 問32-8 母乳外来の導入・再開の条件								
	全体	助産師の確保	他職種の理解・協力	導入・再開に当たった費用補助	その他	無回答	非該当	累計
n	109	95	41	40	20	7	575	203
%	100.0	87.2	37.6	36.7	18.3	6.4		186.2

(331) 問32-9 母乳外来の導入・再開の希望・予定					
	全体	導入・再開の希望がある	導入・再開の希望はない	無回答	非該当
n	109	76	22	11	575
%	100.0	69.7	20.2	10.1	

(332) 問32-9 母乳外来の導入・再開の実施予定						
	全体	実施を予定(実施が決まっている)	実施の準備中(実施は未確定)	実施の予定はないが、導入希望はある	無回答	非該当
n	76	3	10	63	0	608
%	100.0	3.9	13.2	82.9	0.0	

(333) 問33 育児相談の実施状況					
	全体	実施している	以前実施していたが、現在は実施していない	一度も実施したことがない	無回答
n	684	323	32	320	9
%	100.0	47.2	4.7	46.8	1.3

(336) 問33-1 育児相談への助産師の関わり					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	323	307	14	2	361
%	100.0	95.0	4.3	0.6	

(338) 問33-3 育児相談に関わる助産師の所属										
	全体	産科病棟	婦人科病棟	産科外来	婦人科外来	小児科	その他	無回答	非該当	累計
n	307	254	44	129	33	17	39	3	377	519
%	100.0	82.7	14.3	42.0	10.7	5.5	12.7	1.0		169.1

(339) 問33-4 育児相談に関わる助産師の要件							
	全体	助産師として一定の経験年数を満たしていること	特定の研修プログラムを修了していること	その他	無回答	非該当	累計
n	307	269	29	26	8	377	332
%	100.0	87.6	9.4	8.5	2.6		108.1

(342) 問33-6 ②平成27年度の育児相談の実利用者数の記入はできない					
	全体	on	off	無回答	非該当
n	323	196	0	127	361
%	100.0	60.7	0.0	39.3	

(344) 問33-7 育児相談の導入・再開の条件								
	全体	助産師の確保	他職種の理解・協力	導入・再開に当たった費用補助	その他	無回答	非該当	累計
n	352	271	179	139	60	31	332	680
%	100.0	77.0	50.9	39.5	17.0	8.8		193.2

(345) 問33-8 育児相談の導入・再開の希望・予定					
	全体	導入・再開の希望がある	導入・再開の希望はない	無回答	非該当
n	352	110	193	49	332
%	100.0	31.3	54.8	13.9	

(346) 問33-8 育児相談の導入・再開の実施予定						
	全体	実施を予定(実施が決まっている)	実施の準備中(実施は未確定)	実施の予定はないが、導入希望はある	無回答	非該当
n	110	1	5	104	0	574
%	100.0	0.9	4.5	94.5	0.0	

(347) 問34 助産外来の実施状況					
	全体	実施している	以前実施していたが、現在は実施していない	一度も実施したことがない	無回答
n	684	395	49	232	8
%	100.0	57.7	7.2	33.9	1.2

(350) 問34-1 助産外来の対象						
	全体	全員に実施	条件に該当する一部の妊産婦に実施	その他	無回答	非該当
n	395	109	271	5	10	289
%	100.0	27.6	68.6	1.3	2.5	

(351) 問34-1 助産外来の条件							
	全体	ローリスクの妊産婦	助産外来を希望する妊産婦	その他	無回答	非該当	累計
n	271	209	169	48	13	413	439
%	100.0	77.1	62.4	17.7	4.8		162.0

(354) 問34-3 助産外来に関わる助産師の所属										
	全体	産科病棟	婦人科病棟	産科外来	婦人科外来	小児科	その他	無回答	非該当	累計
n	395	337	46	142	34	4	52	3	289	618
%	100.0	85.3	11.6	35.9	8.6	1.0	13.2	0.8		156.5

(355) 問34-4 助産外来に関わる助産師の要件							
	全体	助産師として一定の経験年数を満たしていること	特定の研修プログラムを修了していること	その他	無回答	非該当	累計
n	395	373	108	20	4	289	505
%	100.0	94.4	27.3	5.1	1.0	73.2	127.8

(362) 問34-7 助産外来の導入・再開の条件								
	全体	助産師の確保	他職種の理解・協力	導入・再開に当たった費用補助	その他	無回答	非該当	累計
n	281	231	165	106	76	14	403	592
%	100.0	82.2	58.7	37.7	27.0	5.0	143.3	210.7

(363) 問34-8 助産外来の導入・再開の希望・予定					
	全体	導入・再開の希望がある	導入・再開の希望はない	無回答	非該当
n	281	179	81	21	403
%	100.0	63.7	28.8	7.5	143.7

(364) 問34-8 助産外来の導入・再開の実施予定						
	全体	実施を予定(実施が決まっている)	実施の準備中(実施は未確定)	実施の予定はないが、導入希望はある	無回答	非該当
n	179	12	42	123	2	505
%	100.0	6.7	23.5	68.7	1.1	143.7

(365) 問35 院内助産の実施状況					
	全体	実施している	以前実施していたが、現在は実施していない	一度も実施したことがない	無回答
n	684	87	16	575	6
%	100.0	12.7	2.3	84.1	0.9

(368) 問35-1 院内助産の対象						
	全体	全員に実施	条件に該当する一部の妊産婦に実施	その他	無回答	非該当
n	87	6	77	3	1	597
%	100.0	6.9	88.5	3.4	1.1	143.7

(369) 問35-1 院内助産の条件							
	全体	ローリスクの妊産婦	院内助産を希望する妊産婦	その他	無回答	非該当	累計
n	77	70	29	18	0	607	117
%	100.0	90.9	37.7	23.4	0.0	143.7	151.9

(372) 問35-3 院内助産に関わる助産師の所属										
	全体	産科棟	婦人科棟	産科外来	婦人科外来	小児科	その他	無回答	非該当	累計
n	87	79	13	19	7	0	10	1	597	129
%	100.0	90.8	14.9	21.8	8.0	0.0	11.5	1.1	143.7	148.3

(373) 問35-4 院内助産に関わる助産師の要件								
	全体	助産師として一定の経験年数を満たしていること	特定の研修プログラムを修了していること	アドバンス助産師を取得していること	その他	無回答	非該当	累計
n	87	75	36	19	8	1	597	139
%	100.0	86.2	41.4	21.8	9.2	1.1	143.7	159.8

(375) 問35-6 院内助産の導入・再開の条件								
	全体	助産師の確保	他職種の理解・協力	導入・再開に当たった費用補助	その他	無回答	非該当	累計
n	591	438	416	268	149	45	93	1316
%	100.0	74.1	70.4	45.3	25.2	7.6		222.7

(376) 問35-7 院内助産の導入・再開の希望・予定					
	全体	導入・再開の希望がある	導入・再開の希望はない	無回答	非該当
n	591	245	288	58	93
%	100.0	41.5	48.7	9.8	

(377) 問35-7 院内助産の導入・再開の実施予定						
	全体	実施を予定(実施が決まっている)	実施の準備中(実施は未確定)	実施の予定はないが、導入希望はある	無回答	非該当
n	245	6	35	201	3	439
%	100.0	2.4	14.3	82.0	1.2	

(378) 問36 産後ケア事業としての母児に対するケアやサービス							
	全体	産後ケア事業として母児に対するケアやサービスを提供している	産後ケア事業として実施していないが、支援があれば実施したい	産後ケア事業として実施しておらず、今後実施する予定・希望はない	よく分からない	その他	無回答
n	684	104	267	204	34	41	34
%	100.0	15.2	39.0	29.8	5.0	6.0	5.0

(379) 問37 助産師が受け持つ患者							
	全体	他科患者と産婦を同時に受け持つ	常に他科患者は受け持たない	分娩介助時のみ他科患者は受け持たない	分娩第1期の産婦が入院した時点で、他科患者は受け持たない	無回答	非該当
n	526	230	86	102	57	51	158
%	100.0	43.7	16.3	19.4	10.8	9.7	

(380) 問38 産科空床時の対応						
	全体	常に空床としておき、他科患者を入院させない	産科患者と他科患者の入院状況によって、他科患者を産科病棟に入院させる	産科病棟の空床確保は特に行っていない	無回答	非該当
n	526	87	336	64	39	158
%	100.0	16.5	63.9	12.2	7.4	

(381) 問39 他科診療科の患者が混合病棟や産科患者入院の病室に入院する際のルールや基準					
	全体	ある	ない	無回答	非該当
n	526	432	48	46	158
%	100.0	82.1	9.1	8.7	

(382) 問39 具体的なルール・基準											
	全体	感染疑い・感染患者は除外	就学前の小児は除外	ターミナル期は除外	男性は除外	不穏・認知の症状がある患者は除外	クリニカルパス適応者のみ入院可	その他	無回答	非該当	累計
n	432	354	204	169	365	204	12	55	7	252	1370
%	100.0	81.9	47.2	39.1	84.5	47.2	2.8	12.7	1.6		317.1

(383) 問40 「産科混合病棟ユニットマネジメント導入の手引き」(日本看護協会)について					
	全体	知っている	知らない	無回答	非該当
n	526	371	108	47	158
%	100.0	70.5	20.5	8.9	

(384) 問41 ユニットマネジメントの導入					
	全体	導入している	導入していない	無回答	非該当
n	526	202	265	59	158
%	100.0	38.4	50.4	11.2	

(385) 問41-1 ユニットマネジメントを導入するために必要な条件										
	全体	経営の安定化	導入のための技術的支援	経営者の理解	職員の理解・協力	導入のために必要な経費等の補助	その他	無回答	非該当	累計
n	265	137	75	166	169	96	35	27	419	705
%	100.0	51.7	28.3	62.6	63.8	36.2	13.2	10.2		266.0

(386) 問42 助産師の outgoing システムの取り組み						
	全体	取り組んでいる	以前取り組んでいたが、現在は取り組んでいない	一度も取り組んだことはない	無回答	非該当
n	684	104	71	497	12	0
%	100.0	15.2	10.4	72.7	1.8	

(387) 問42-1 助産師の outgoing システム ① 他施設への outgoing							
	全体	取り組んでいる	過去に取り組んだことがある	今後取り組む予定である	取り組んでいない (取り組む予定もない)	無回答	非該当
n	104	46	16	17	17	8	580
%	100.0	44.2	15.4	16.3	16.3	7.7	

(388) 問42-1 助産師の outgoing システム ② 他施設からの outgoing の受け入れ							
	全体	取り組んでいる	過去に取り組んだことがある	今後取り組む予定である	取り組んでいない (取り組む予定もない)	無回答	非該当
n	104	36	16	22	24	6	580
%	100.0	34.6	15.4	21.2	23.1	5.8	

(389) 問42-2 助産師の outgoing システムに組み込む理由													
	全体	自施設の助産師が不足しているため	他施設の助産師が不足しているため	自施設の助産師に経験が積まれないため	他施設の助産師に経験が積まれないため	人事交流のため	地域貢献のため	助産学生の助産実習受け入れのため	看護学生の母性看護実習受け入れのため	その他	無回答	非該当	累計
n	104	32	28	71	39	47	32	2	3	5	1	580	260
%	100.0	30.8	26.9	68.3	37.5	45.2	30.8	1.9	2.9	4.8	1.0		250.0

(390) 問43 助産師に特化したクリニカルラダー						
	全体	ある	ないが、現在作成中	ない (作成予定もない)	無回答	非該当
n	684	282	157	201	44	0
%	100.0	41.2	23.0	29.4	6.4	

(391) 問43-1 助産実践能力習熟段階 (CLoCMiP) の導入 (又は導入の予定)					
	全体	導入している (導入を予定している)	導入していない (導入を予定していない)	無回答	非該当
n	439	413	15	11	245
%	100.0	94.1	3.4	2.5	

(392) 問44 助産師に特化した教育目標						
	全体	ある	ないが、現在作成中	ない(作成予定もない)	無回答	非該当
n	684	320	145	162	57	0
%	100.0	46.8	21.2	23.7	8.3	

(393) 問45 助産師に特化した研修について							
	全体	助産師に特化した院内研修を実施している	助産師に特化した院外研修への参加を業務として認めている	助産師に特化した研修はない・院外研修への参加も認めていない	その他	無回答	累計
n	684	238	388	50	88	48	812
%	100.0	34.8	56.7	7.3	12.9	7.0	118.7

(394) 問46 産科関連病棟への教育担当者の配置状況				
	全体	産科関連病棟に教育担当者が配置されている	産科関連病棟に教育担当者が配置されていない	無回答
n	684	427	211	46
%	100.0	62.4	30.8	6.7

(395) 問47 助産実習の受け入れ状況					
	全体	受け入れている	以前受け入れていたが、現在は受け入れていない	一度も受け入れたことがない	無回答
n	684	393	105	177	9
%	100.0	57.5	15.4	25.9	1.3

(399) 問47-1 平成27年度の助産実習の受け入れ実績 ④ 複数の実習受け入れ時期が重なることの有無					
	全体	ある	ない	無回答	非該当
n	393	120	261	12	291
%	100.0	30.5	66.4	3.1	

(400) 問47-1 平成27年度の助産実習の受け入れ実績 ⑤ 夜間実習の受け入れの有無					
	全体	受け入れ有	受け入れ無	無回答	非該当
n	393	267	116	10	291
%	100.0	67.9	29.5	2.5	

(401) 問47-2 助産実習専任の実習指導者の配置状況					
	全体	配置している	配置していない	無回答	非該当
n	393	242	145	6	291
%	100.0	61.6	36.9	1.5	

(403) 問47-3 助産実習専任の実習指導者の状況					
	全体	業務から独立して実習指導を行う	業務と兼ねて、実習指導を行う	無回答	非該当
n	242	61	181	0	442
%	100.0	25.2	74.8	0.0	

(404) 問47-4 助産実習専任の実習指導者を配置していない場合の状況										
	全体	妊産婦のその日の受け持ち助産師が実習指導を行う	妊産婦のその日の受け持ち看護師が実習指導を行う	その日の分娩室担当助産師が実習指導を行う	病棟管理者が実習指導を行う	学校の教員が実習指導を行い、職員は関与しない	その他	無回答	非該当	累計
n	145	102	18	115	22	3	15	3	539	278
%	100.0	70.3	12.4	79.3	15.2	2.1	10.3	2.1		191.7

(405) 問47-5 助産実習受け入れにあたっての学校からの費用の受け取り					
	全体	費用を受け取っている	費用は特に受け取っていない	無回答	非該当
n	393	278	73	42	291
%	100.0	70.7	18.6	10.7	

(406) 問47-5 助産実習で受け取っている費用の種類							
	全体	学校当たり	学生一人当たり	その他	無回答	非該当	累計
n	278	33	213	24	28	406	298
%	100.0	11.9	76.6	8.6	10.1		107.2

(410) 問47-6 助産学生の実習受け入れが可能になる条件															
	全体	勤務助産師の数が増えれば、受け入れが可能	専任の実習指導者を配置できれば、受け入れが可能	勤務助産師や看護師の協力があれば、受け入れが可能	産科医師の協力が得られれば、受け入れが可能	妊産婦の理解と協力が得られれば、受け入れが可能	学校側の指導者が実習にはほぼ毎日同行してくれば、受け入れが可能	実習期間中の、施設と学校側の連携や話し合いの機会が増えれば、受け入れが可能	助産学生が、すでに看護師免許を有していれば、受け入れが可能	学生用のロッカールームや寮の整備など、物理的な環境が整えば、受け入れが可能	将来的に就職に結びつけば、受け入れが可能	正常分娩の件数が増えれば、受け入れが可能	看護手順の整備が整えば、受け入れが可能	実習費用の手当が増額されれば、受け入れが可能	その他
n	282	119	72	43	34	22	46	7	5	12	21	110	2	1	38
%	100.0	42.2	25.5	15.2	12.1	7.8	16.3	2.5	1.8	4.3	7.4	39.0	0.7	0.4	13.5

(410) 問47-6 助産学生の実習受け入れが可能になる条件				
	全体	無回答	非該当	累計
n	282	63	402	595
%	100.0	22.3		211.0

(412) 問48 母性看護実習の受け入れ状況						
	全体	受け入れている	以前受け入れていたが、現在は受け入れていない	一度も受け入れたことがない	無回答	非該当
n	684	610	21	36	17	0
%	100.0	89.2	3.1	5.3	2.5	

(416) 問48-1 平成27年度の母性看護実習の受け入れ実績 ④複数の実習受け入れ時期が重なることの有無					
	全体	ある	ない	無回答	非該当
n	610	285	273	52	74
%	100.0	46.7	44.8	8.5	

(417) 問48-2 母性看護実習専任の実習指導者の配置状況					
	全体	配置している	配置していない	無回答	非該当
n	610	405	199	6	74
%	100.0	66.4	32.6	1.0	

(419) 問48-3 母性看護実習専任の実習指導者の状況					
	全体	業務から独立して実習指導を行う	業務と兼ねて、実習指導を行う	無回答	非該当
n	405	138	263	4	279
%	100.0	34.1	64.9	1.0	

(420) 問48-4 母性看護実習専任の実習指導者を配置していない場合の状況										
	全体	妊産婦のその日の受け持ち助産師が実習指導	妊産婦のその日の受け持ち看護師が実習指導	その日の分娩室担当助産師が実習指導	病棟管理者が実習指導	学校の教員が実習指導を行い、職員は関与し	その他	無回答	非該当	累計
n	199	184	91	107	34	5	19	6	485	446
%	100.0	92.5	45.7	53.8	17.1	2.5	9.5	3.0		224.1

(421) 問48-5 母性看護実習受け入れにあたっての学校からの費用の受け取り					
	全体	費用を受け取っている	費用は特に受け取っていない	無回答	非該当
n	610	423	104	83	74
%	100.0	69.3	17.0	13.6	

(422) 問48-5 母性看護実習で受け取っている費用の種類							
	全体	学校当たり	学生一人当たり	その他	無回答	非該当	累計
n	423	34	330	33	43	261	440
%	100.0	8.0	78.0	7.8	10.2		104.0

(426) 問48-6 母性看護学生の実習受け入れが可能になる条件															
	全体	勤務助産師の数が増えれば、受け入れが可能	専任の実習指導者を配置できれば、受け入れが可能	勤務助産師や看護師の協力体制が整えば、受け入れが可能	産科医師の協力が得られれば、受け入れが可能	妊産婦の理解と協力が得られれば、受け入れが可能	学校側の指導者が実習にはほぼ毎日同行してくれば、受け入れが可能	実習期間中の、施設と学校側との連携や話し合いの機会が増えれば、受け入れが可能	学生用のロッカールームや寮の整備など、物理的な環境が整えば、受け入れが可能	将来的に就職に結びつけば、受け入れが可能	正常分娩の件数が増えれば、受け入れが可能	看護手順の整備が整えば、受け入れが可能	実習費用手当が増額されれば、受け入れが可能	その他	無回答
n	57	21	14	13	6	7	9	3	4	1	16	3	0	14	11
%	100.0	36.8	24.6	22.8	10.5	12.3	15.8	5.3	7.0	1.8	28.1	5.3	0.0	24.6	19.3

(426) 問48-6 母性看護学生の実習受け入れが可能になる条件			
	全体	非該当	累計
n	57	627	122
%	100.0		214.0

(430) 施設所在地															
	全体	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
n	684	32	8	8	7	9	9	10	11	9	9	18	21	55	27
%	100.0	4.7	1.2	1.2	1.0	1.3	1.3	1.5	1.6	1.3	1.3	2.6	3.1	8.0	3.9

(430) 施設所在地															
	全体	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県
n	684	14	11	11	6	4	16	10	15	35	7	8	11	47	21
%	100.0	2.0	1.6	1.6	0.9	0.6	2.3	1.5	2.2	5.1	1.0	1.2	1.6	6.9	3.1

(430) 施設所在地															
	全体	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県
n	684	5	5	4	6	10	12	15	6	6	5	2	13	4	8
%	100.0	0.7	0.7	0.6	0.9	1.5	1.8	2.2	0.9	0.9	0.7	0.3	1.9	0.6	1.2

(430) 施設所在地							
	全体	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	無回答
n	684	11	3	5	9	13	93
%	100.0	1.6	0.4	0.7	1.3	1.9	13.6

(432) 問3 施設の医療機能（統合）						
	全体	総合周産 期母子医 療センター	地域周産 期母子医 療センター	一般病院	無回答	無回答
n	684	85	196	335	68	0
%	100.0	12.4	28.7	49.0	9.9	0.0

<数量データカテゴリ化>

(433) 問6 許可病床数															
	全体	20～99床	100～199 床	200～299 床	300～399 床	400～499 床	500～599 床	600～699 床	700～799 床	800～899 床	900～999 床	1000床以 上	無回答	平均	標準偏差
n	684	67	63	78	115	121	90	62	29	14	12	22	11	420.81	248.584
%	100.0	9.8	9.2	11.4	16.8	17.7	13.2	9.1	4.2	2.0	1.8	3.2	1.6		

(434) 問7 ①施設全体の勤務看護職員数															
	全体	1～10人	11～50人	51～100 人	101～150 人	151～200 人	201～250 人	251～300 人	301～350 人	351～400 人	401～450 人	451～500 人	501～550 人	551～600 人	601～650 人
n	684	0	47	30	25	43	40	50	42	52	31	34	43	38	24
%	100.0	0.0	6.9	4.4	3.7	6.3	5.8	7.3	6.1	7.6	4.5	5.0	6.3	5.6	3.5

(434) 問7 ①施設全体の勤務看護職員数										
	全体	651～700 人	701～750 人	751～800 人	801～900 人	901～ 1000人	1000人以 上	無回答	平均	標準偏差
n	684	29	24	18	19	13	24	58	425.54	276.600
%	100.0	4.2	3.5	2.6	2.8	1.9	3.5	8.5		

(435) 問7 ② (①のうち。) 助産師免許保持者															
	全体	0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26～30人	31～35人	36～40人	41～45人	46～50人	51～55人	56～60人	61～70人
n	684	0	17	76	112	98	108	59	42	43	30	20	21	12	7
%	100.0	0.0	2.5	11.1	16.4	14.3	15.8	8.6	6.1	6.3	4.4	2.9	3.1	1.8	1.0

(435) 問7 ② (①のうち。) 助産師免許保持者						
	全体	71～80人	81人以上	無回答	平均	標準偏差
n	684	9	10	20	26.30	19.708
%	100.0	1.3	1.5	2.9		

(436) 問7 ③ (①のうち、) アドバンス助産師												
	全体	0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26人~30人	31人以上	無回答	平均	標準偏差
n	684	185	243	155	49	14	4	4	3	27	4.70	5.570
%	100.0	27.0	35.5	22.7	7.2	2.0	0.6	0.6	0.4	3.9		

(437) 問9 ①産科関連病棟勤務の看護職員 助産師 常勤												
	全体	0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26人~30人	31人以上	無回答	平均	標準偏差
n	684	0	36	133	148	123	106	56	70	12	18.28	11.583
%	100.0	0.0	5.3	19.4	21.6	18.0	15.5	8.2	10.2	1.8		

(438) 問9 ①産科関連病棟勤務の看護職員 看護師 常勤												
	全体	0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26人~30人	31人以上	無回答	平均	標準偏差
n	684	27	151	131	135	57	29	8	9	137	10.10	7.769
%	100.0	3.9	22.1	19.2	19.7	8.3	4.2	1.2	1.3	20.0		

(439) 問9 ①産科関連病棟勤務の看護職員 准看護師 常勤												
	全体	0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26人~30人	31人以上	無回答	平均	標準偏差
n	684	212	129	5	1	0	1	0	0	336	0.91	2.052
%	100.0	31.0	18.9	0.7	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	49.1		

(440) 問9 ①産科関連病棟勤務の看護職員 看護補助者 常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	91	77	85	80	34	13	23	281	2.20	2.168	
%	100.0	13.3	11.3	12.4	11.7	5.0	1.9	3.4	41.1			

(441) 問9 ①産科関連病棟勤務の看護職員 助産師 非常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	89	138	86	46	29	10	30	256	1.95	1.986	
%	100.0	13.0	20.2	12.6	6.7	4.2	1.5	4.4	37.4			

(442) 問9 ①産科関連病棟勤務の看護職員 看護師 非常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	131	90	32	21	11	4	6	389	1.15	1.851	
%	100.0	19.2	13.2	4.7	3.1	1.6	0.6	0.9	56.9			

(443) 問9 ①産科関連病棟勤務の看護職員 准看護師 非常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	170	29	9	1	1	1	1	472	0.31	0.825	
%	100.0	24.9	4.2	1.3	0.1	0.1	0.1	0.1	69.0			

(444) 問9 ①産科関連病棟勤務の看護職員 看護補助者 非常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	77	64	67	54	21	17	7	377	1.93	1.892	
%	100.0	11.3	9.4	9.8	7.9	3.1	2.5	1.0	55.1			

(445) 問9 ②産科外来勤務の看護職員 助産師 常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	98	109	55	18	14	5	14	371	1.59	2.444	
%	100.0	14.3	15.9	8.0	2.6	2.0	0.7	2.0	54.2			

(446) 問9 ②産科外来勤務の看護職員 看護師 常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	82	79	46	15	12	8	15	427	1.72	2.416	
%	100.0	12.0	11.5	6.7	2.2	1.8	1.2	2.2	62.4			

(447) 問9 ②産科外来勤務の看護職員 准看護師 常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	128	24	7	5	3	0	2	515	0.54	1.799	
%	100.0	18.7	3.5	1.0	0.7	0.4	0.0	0.3	75.3			

(448) 問9 ②産科外来勤務の看護職員 看護補助者 常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	125	30	3	3	2	1	1	519	0.41	1.099	
%	100.0	18.3	4.4	0.4	0.4	0.3	0.1	0.1	75.9			

(449) 問9 ②産科外来勤務の看護職員 助産師 非常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	79	117	51	30	13	6	5	383	1.43	1.456	
%	100.0	11.5	17.1	7.5	4.4	1.9	0.9	0.7	56.0			

(450) 問9 ②産科外来勤務の看護職員 看護師 非常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	73	73	45	16	11	3	3	460	1.31	1.430	
%	100.0	10.7	10.7	6.6	2.3	1.6	0.4	0.4	67.3			

(451) 問9 ②産科外来勤務の看護職員 准看護師 非常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	115	25	9	2	2	0	2	529	0.49	1.286	
%	100.0	16.8	3.7	1.3	0.3	0.3	0.0	0.3	77.3			

(452) 問9 ②産科外来勤務の看護職員 看護補助者 非常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	107	35	11	3	2	1	0	525	0.50	0.885	
%	100.0	15.6	5.1	1.6	0.4	0.3	0.1	0.0	76.8			

(453) 問9 ③MFICU勤務の看護職員 助産師 常勤												
	全体	0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26人~30人	31人以上	無回答	平均	標準偏差
n	684	70	6	15	32	19	6	3	2	531	7.92	8.813
%	100.0	10.2	0.9	2.2	4.7	2.8	0.9	0.4	0.3	77.6		

(454) 問9 ③MFICU勤務の看護職員 看護師 常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	71	10	7	5	2	7	8	574	1.65	4.103	
%	100.0	10.4	1.5	1.0	0.7	0.3	1.0	1.2	83.9			

(455) 問9 ③MFICU勤務の看護職員 准看護師 常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	89	0	0	0	0	0	0	595	0.00	0.000	
%	100.0	13.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	87.0			

(456) 問9 ③MFICU勤務の看護職員 看護補助者 常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	82	3	1	1	0	0	0	597	0.09	0.421	
%	100.0	12.0	0.4	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	87.3			

(457) 問9 ③MFICU勤務の看護職員 助産師 非常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	93	5	6	1	0	0	1	578	0.25	0.803	
%	100.0	13.6	0.7	0.9	0.1	0.0	0.0	0.1	84.5			

(458) 問9 ③MFICU勤務の看護職員 看護師 非常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	81	3	0	0	0	0	0	600	0.04	0.187	
%	100.0	11.8	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	87.7			

(459) 問9 ③MFICU勤務の看護職員 准看護師 非常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	78	0	0	0	0	0	0	606	0.00	0.000	
%	100.0	11.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	88.6			

(460) 問9 ③MFICU勤務の看護職員 看護補助者 非常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	71	5	0	0	0	0	0	608	0.07	0.250	
%	100.0	10.4	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	88.9			

(461) 問9 ④NICU勤務の看護職員 助産師 常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6~10人	11人以上	無回答	平均	標準偏差
n	684	82	46	28	21	8	10	15	17	457	3.53	8.269
%	100.0	12.0	6.7	4.1	3.1	1.2	1.5	2.2	2.5	66.8		

(462) 問9 ④NICU勤務の看護職員 看護師 常勤												
	全体	0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26人~30人	31人以上	無回答	平均	標準偏差
n	684	32	6	26	39	31	40	15	23	472	16.77	12.808
%	100.0	4.7	0.9	3.8	5.7	4.5	5.8	2.2	3.4	69.0		

(463) 問9 ④NICU勤務の看護職員 准看護師 常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	100	2	1	0	0	0	0	581	0.04	0.239	
%	100.0	14.6	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	84.9			

(464) 問9 ④NICU勤務の看護職員 看護補助者 常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	83	31	3	0	1	0	1	565	0.43	1.078	
%	100.0	12.1	4.5	0.4	0.0	0.1	0.0	0.1	82.6			

(465) 問9 ④NICU勤務の看護職員 助産師 非常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	113	9	0	0	0	0	0	562	0.07	0.262	
%	100.0	16.5	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	82.2			

(466) 問9 ④NICU勤務の看護職員 看護師 非常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	89	15	4	2	2	2	1	569	0.46	1.118	
%	100.0	13.0	2.2	0.6	0.3	0.3	0.3	0.1	83.2			

(467) 問9 ④NICU勤務の看護職員 准看護師 非常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	87	2	0	0	0	0	0	595	0.02	0.149	
%	100.0	12.7	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	87.0			

(468) 問9 ④NICU勤務の看護職員 看護補助者 非常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	70	17	10	7	0	0	1	579	0.64	1.234	
%	100.0	10.2	2.5	1.5	1.0	0.0	0.0	0.1	84.6			

(469) 問9 ⑤GCU勤務の看護職員 助産師 常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6~10人	11人以上	無回答	平均	標準偏差
n	684	88	28	22	8	6	6	16	14	496	3.14	7.099
%	100.0	12.9	4.1	3.2	1.2	0.9	0.9	2.3	2.0	72.5		

(470) 問9 ⑤GCU勤務の看護職員 看護師 常勤												
	全体	0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26人~30人	31人以上	無回答	平均	標準偏差
n	684	38	15	27	30	34	21	3	7	509	11.77	9.329
%	100.0	5.6	2.2	3.9	4.4	5.0	3.1	0.4	1.0	74.4		

(471) 問9 ⑤GCU勤務の看護職員 准看護師 常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	93	3	0	0	0	0	0	588	0.03	0.175	
%	100.0	13.6	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	86.0			

(472) 問9 ⑤GCU勤務の看護職員 看護補助者 常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	75	21	3	3	0	1	0	581	0.40	0.821	
%	100.0	11.0	3.1	0.4	0.4	0.0	0.1	0.0	84.9			

(473) 問9 ⑤GCU勤務の看護職員 助産師 非常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	111	4	1	1	0	0	0	567	0.08	0.375	
%	100.0	16.2	0.6	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	82.9			

(474) 問9 ⑤GCU勤務の看護職員 看護師 非常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	83	20	7	3	1	0	1	569	0.46	0.949	
%	100.0	12.1	2.9	1.0	0.4	0.1	0.0	0.1	83.2			

(475) 問9 ⑤GCU勤務の看護職員 准看護師 非常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	86	1	0	0	0	0	0	597	0.01	0.107	
%	100.0	12.6	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	87.3			

(476) 問9 ⑤GCU勤務の看護職員 看護補助者 非常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	77	11	6	4	0	0	1	585	0.41	0.958	
%	100.0	11.3	1.6	0.9	0.6	0.0	0.0	0.1	85.5			

(477) 問9-1 産科関連病棟勤務の看護職員のうち産休、育休、求職、長期研修中の常勤助産師数												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	672	380	125	62	35	12	6	16	36	0.95	2.285	
%	100.0	56.5	18.6	9.2	5.2	1.8	0.9	2.4	5.4			

(478) 問9-2 問9「①産科関連病棟勤務の看護職員」のうち常勤助産師 ①25歳未満										
	全体	0人	1~3人	4~6人	7~10人	11人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	672	74	254	95	48	29	172	3.50	4.044	
%	100.0	11.0	37.8	14.1	7.1	4.3	25.6			

(479) 問9-2 問9「①産科関連病棟勤務の看護職員」のうち常勤助産師 ②25~29歳										
	全体	0人	1~3人	4~6人	7~10人	11人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	672	29	235	150	97	64	97	5.23	5.411	
%	100.0	4.3	35.0	22.3	14.4	9.5	14.4			

(480) 問9-2 問9「①産科関連病棟勤務の看護職員」のうち常勤助産師 ③30~34歳										
	全体	0人	1~3人	4~6人	7~10人	11人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	672	31	289	163	58	17	114	3.70	3.548	
%	100.0	4.6	43.0	24.3	8.6	2.5	17.0			

(481) 問9-2 問9「①産科関連病棟勤務の看護職員」のうち常勤助産師 ④35～39歳										
	全体	0人	1～3人	4～6人	7～10人	11人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	672	39	359	142	31	6	95	2.92	2.494	
%	100.0	5.8	53.4	21.1	4.6	0.9	14.1			

(482) 問9-2 問9「①産科関連病棟勤務の看護職員」のうち常勤助産師 ⑤40～44歳										
	全体	0人	1～3人	4～6人	7～10人	11人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	672	37	389	121	20	3	102	2.59	1.824	
%	100.0	5.5	57.9	18.0	3.0	0.4	15.2			

(483) 問9-2 問9「①産科関連病棟勤務の看護職員」のうち常勤助産師 ⑥45～49歳										
	全体	0人	1～3人	4～6人	7～10人	11人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	672	51	393	93	11	2	122	2.24	1.785	
%	100.0	7.6	58.5	13.8	1.6	0.3	18.2			

(484) 問9-2 問9「①産科関連病棟勤務の看護職員」のうち常勤助産師 ⑦50～54歳										
	全体	0人	1～3人	4～6人	7～10人	11人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	672	91	383	43	4	1	150	1.65	1.442	
%	100.0	13.5	57.0	6.4	0.6	0.1	22.3			

(485) 問9-2 問9「①産科関連病棟勤務の看護職員」のうち常勤助産師 ⑧55～59歳										
	全体	0人	1～3人	4～6人	7～10人	11人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	672	112	309	11	2	0	238	1.18	1.091	
%	100.0	16.7	46.0	1.6	0.3	0.0	35.4			

(486) 問9-2 問9「①産科関連病棟勤務の看護職員」のうち常勤助産師 ⑨60歳以上										
	全体	0人	1～3人	4～6人	7～10人	11人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	672	201	98	1	0	0	372	0.42	0.697	
%	100.0	29.9	14.6	0.1	0.0	0.0	55.4			

(487) 問12 ①産科医 常勤											
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差
n	684	3	53	80	85	93	80	249	41	5.71	4.490
%	100.0	0.4	7.7	11.7	12.4	13.6	11.7	36.4	6.0		

(488) 問12 ①産科医 常勤 (うち) 男性											
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差
n	684	8	117	157	122	91	61	85	43	3.40	2.522
%	100.0	1.2	17.1	23.0	17.8	13.3	8.9	12.4	6.3		

(489) 問12 ①産科医 常勤 (うち) 女性											
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差
n	684	66	154	117	83	42	37	61	124	2.65	2.500
%	100.0	9.6	22.5	17.1	12.1	6.1	5.4	8.9	18.1		

(490) 問12 ①産科医 非常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	87	103	78	37	29	21	60	269	2.79	3.425	
%	100.0	12.7	15.1	11.4	5.4	4.2	3.1	8.8	39.3			

(491) 問12 ①産科医 非常勤 (うち) 男性												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	105	107	52	34	21	11	27	327	1.90	2.421	
%	100.0	15.4	15.6	7.6	5.0	3.1	1.6	3.9	47.8			

(492) 問12 ①産科医 非常勤 (うち) 女性												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	108	111	53	24	19	2	14	353	1.46	1.826	
%	100.0	15.8	16.2	7.7	3.5	2.8	0.3	2.0	51.6			

(493) 問12 ②新生児科医 常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	83	71	65	62	56	42	139	166	3.90	3.478	
%	100.0	12.1	10.4	9.5	9.1	8.2	6.1	20.3	24.3			

(494) 問12 ②新生児科医 常勤 (うち) 男性												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	52	92	97	64	54	31	67	227	2.95	2.417	
%	100.0	7.6	13.5	14.2	9.4	7.9	4.5	9.8	33.2			

(495) 問12 ②新生児科医 常勤 (うち) 女性												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	98	118	77	46	29	10	12	294	1.68	1.582	
%	100.0	14.3	17.3	11.3	6.7	4.2	1.5	1.8	43.0			

(496) 問12 ②新生児科医 非常勤												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	163	49	34	26	12	7	16	377	1.43	2.705	
%	100.0	23.8	7.2	5.0	3.8	1.8	1.0	2.3	55.1			

(497) 問12 ②新生児科医 非常勤 (うち) 男性												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	141	51	20	13	5	5	11	438	1.08	2.040	
%	100.0	20.6	7.5	2.9	1.9	0.7	0.7	1.6	64.0			

(498) 問12 ②新生児科医 非常勤 (うち) 女性												
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均	標準偏差	
n	684	131	62	22	9	3	0	2	455	0.71	1.172	
%	100.0	19.2	9.1	3.2	1.3	0.4	0.0	0.3	66.5			

(499) 問18 分娩件数 ①年間分娩件数															
	全体	0件	1~50件	51~100件	101~200件	201~300件	301~400件	401~500件	501~600件	601~700件	701~800件	801~900件	901~1000件	1001件以上	無回答
n	684	3	17	31	78	93	71	97	61	57	37	22	27	65	25
%	100.0	0.4	2.5	4.5	11.4	13.6	10.4	14.2	8.9	8.3	5.4	3.2	3.9	9.5	3.7

(499) 問18 分娩件数 ①年間分娩件数			
	全体	平均	標準偏差
n	684	521.29	414.596
%	100.0		

(500) 問18 分娩件数 ② (①のうち、) 予定帝王切開術件数															
	全体	0件	1~10件	11~20件	21~30件	31~40件	41~50件	51~60件	61~70件	71~80件	81~90件	91~100件	101件以上	無回答	平均
n	684	4	33	43	48	40	44	47	30	25	28	26	193	123	90.86
%	100.0	0.6	4.8	6.3	7.0	5.8	6.4	6.9	4.4	3.7	4.1	3.8	28.2	18.0	

(500) 問18 分娩件数 ② (①のうち、) 予定帝王切開術件数		
	全体	標準偏差
n	684	82.413
%	100.0	

(501) 問18 分娩件数 ③ (①のうち、) 緊急帝王切開術件数															
	全体	0件	1~10件	11~20件	21~30件	31~40件	41~50件	51~60件	61~70件	71~80件	81~90件	91~100件	101件以上	無回答	平均
n	684	13	84	67	48	46	54	40	29	34	19	27	160	63	74.65
%	100.0	1.9	12.3	9.8	7.0	6.7	7.9	5.8	4.2	5.0	2.8	3.9	23.4	9.2	

(501) 問18 分娩件数 ③ (①のうち、) 緊急帝王切開術件数		
	全体	標準偏差
n	684	80.156
%	100.0	

(502) 問18 分娩件数 ④ (①のうち、) 未妊健分娩件数									
	全体	0件	1~5件	6~10件	11~20件	21件以上	無回答	平均	標準偏差
n	684	358	207	18	6	5	90	1.44	4.405
%	100.0	52.3	30.3	2.6	0.9	0.7	13.2		

(503) 問18-1 入院日数 ①経膈分娩 初産婦												
	全体	2日未満	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	無回答	平均	標準偏差
n	684	0	1	1	31	290	278	62	5	16	5.57	0.772
%	100.0	0.0	0.1	0.1	4.5	42.4	40.6	9.1	0.7	2.3		

(504) 問18-1 入院日数 ①経膈分娩 経産婦												
	全体	2日未満	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	無回答	平均	標準偏差
n	684	1	1	1	77	364	162	25	2	51	5.21	0.763
%	100.0	0.1	0.1	0.1	11.3	53.2	23.7	3.7	0.3	7.5		

(505) 問18-1 入院日数 ②帝王切開術 初産婦																
	全体	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	無回答	平均	標準偏差	
n	684	1	9	82	201	182	64	78	11	6	1	9	40	7.91	1.548	
%	100.0	0.1	1.3	12.0	29.4	26.6	9.4	11.4	1.6	0.9	0.1	1.3	5.8			

(506) 問18-1 入院日数 ②帝王切開術 経産婦																
	全体	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	無回答	平均	標準偏差	
n	684	1	10	88	201	168	61	72	10	5	0	8	60	7.83	1.524	
%	100.0	0.1	1.5	12.9	29.4	24.6	8.9	10.5	1.5	0.7	0.0	1.2	8.8			

(507) 問27-4 母児の2週間健診に関わる助産師の人数 (実人数)											
	全体	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	251	63	60	44	19	17	14	34	433	11.18	8.902
%	100.0	25.1	23.9	17.5	7.6	6.8	5.6	13.5			

(508) 問27-7 母児の2週間健診の運営状況 ①1週間あたりの運営日数 (日/週間)												
	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	263	49	41	26	16	66	15	3	47	421	3.48	2.771
%	100.0	18.6	15.6	9.9	6.1	25.1	5.7	1.1	17.9			

(509) 問27-7 母児の2週間健診の運営状況 ②1日の対応可能人数 (人/日)										
	全体	0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	263	1	55	49	52	17	89	421	6.10	4.737
%	100.0	0.4	20.9	18.6	19.8	6.5	33.8			

(510) 問27-7 母児の2週間健診の運営状況 ③1人当たり所要時間 (予約枠) (分/人)											
	全体	1~15分	16~30分	31~45分	46~60分	61~90分	91分以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	263	24	121	8	48	2	2	58	421	36.58	18.106
%	100.0	9.1	46.0	3.0	18.3	0.8	0.8	22.1			

(511) 問27-7 母児の2週間健診の運営状況 ④料金設定 (利用1回当たりの料金) (円/回)													
	全体	0円	500円未満	500円以上1000円未満	1000円以上1500円未満	1500円以上2000円未満	2000円以上2500円未満	2500円以上3000円未満	3000円以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	263	57	1	20	32	19	38	10	32	54	421	1427.06	1377.005
%	100.0	21.7	0.4	7.6	12.2	7.2	14.4	3.8	12.2	20.5			

(512) 問27-8 平成27年度の母児の2週間健診の対応実績 (人)															
	全体	0人	1人以上50人未満	50人以上100人未満	100人以上200人未満	200人以上300人未満	300人以上400人未満	400人以上500人未満	500人以上600人未満	600人以上700人未満	700人以上800人未満	800人以上900人未満	900人以上1000人未満	1000人以上	無回答
n	263	5	16	18	39	29	27	18	9	8	5	9	3	8	69
%	100.0	1.9	6.1	6.8	14.8	11.0	10.3	6.8	3.4	3.0	1.9	3.4	1.1	3.0	26.2

(512) 問27-8 平成27年度の母児の2週間健診の対応実績 (人)				
	全体	非該当	平均	標準偏差
n	263	421	350.45	366.682
%	100.0			

(513) 問29-4 生後1か月健診に関わる助産師の人数(実人数)													
	全体	0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差	
n	379	3	173	61	36	24	21	11	50	305	8.06	8.664	
%	100.0	0.8	45.6	16.1	9.5	6.3	5.5	2.9	13.2				

(514) 問29-7 生後1か月健診の運営状況 ①1週間あたりの運営日数(日/週間)													
	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	非該当	平均	標準偏差	
n	671	356	97	22	8	49	17	1	121	13	1.90	1.854	
%	100.0	53.1	14.5	3.3	1.2	7.3	2.5	0.1	18.0				

(515) 問29-7 生後1か月健診の運営状況 ②1日の対応可能人数(人/日)									
	全体	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	671	34	56	167	184	230	13	12.43	10.410
%	100.0	5.1	8.3	24.9	27.4	34.3			

(516) 問29-7 生後1か月健診の運営状況 ③1人当たり所要時間(予約枠)(分/人)											
	全体	1~15分	16~30分	31~45分	46~60分	61~90分	91分以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	671	219	212	6	28	2	5	199	13	23.39	16.768
%	100.0	32.6	31.6	0.9	4.2	0.3	0.7	29.7			

(517) 問29-7 生後1か月健診の運営状況 ④乳児1人当たりの基本料金(円/人)													
	全体	0円	500円未満	500円以上1000円未満	1000円以上1500円未満	1500円以上2000円未満	2000円以上2500円未満	2500円以上3000円未満	3000円以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	671	43	2	9	15	10	28	24	303	237	13	3676.18	2074.924
%	100.0	6.4	0.3	1.3	2.2	1.5	4.2	3.6	45.2	35.3			

(518) 問29-8 平成27年度の生後1か月健診の対応実績(人)															
	全体	0人	1人以上50人未満	50人以上100人未満	100人以上200人未満	200人以上300人未満	300人以上400人未満	400人以上500人未満	500人以上600人未満	600人以上700人未満	700人以上800人未満	800人以上900人未満	900人以上1000人未満	1000人以上	無回答
n	671	1	12	17	62	67	51	65	60	27	31	17	16	39	206
%	100.0	0.1	1.8	2.5	9.2	10.0	7.6	9.7	8.9	4.0	4.6	2.5	2.4	5.8	30.7

(518) 問29-8 平成27年度の生後1か月健診の対応実績(人)				
	全体	非該当	平均	標準偏差
n	671	13	497.99	388.249
%	100.0			

(519) 問30-5 新生児訪問に関わる助産師の人数(実人数)													
	全体	0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差	
n	35	0	15	10	6	0	1	0	3	649	7.19	4.915	
%	100.0	0.0	42.9	28.6	17.1	0.0	2.9	0.0	8.6				

(520) 問30-8 新生児訪問の対応状況 ①1週間あたりの対応可能日数(日/週間)												
	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	無回答	非該当	平均	標準偏差	
n	40	7	4	1	3	3	1	21	644	2.68	1.734	
%	100.0	17.5	10.0	2.5	7.5	7.5	2.5	52.5				

(521) 問30-8 新生児訪問の対応状況 ②1日の対応可能人数 (人/日)										
	全体	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差	
n	40	15	4	0	0	21	644	2.11	1.329	
%	100.0	37.5	10.0	0.0	0.0	52.5				

(522) 問30-8 新生児訪問の対応状況 ③1人当たり所要時間 (予約枠) (分/人)											
	全体	1~15分	16~30分	31~45分	46~60分	61~90分	91分以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	40	1	5	0	15	1	2	16	644	57.71	25.707
%	100.0	2.5	12.5	0.0	37.5	2.5	5.0	40.0			

(523) 問30-8 新生児訪問の対応状況 ④料金設定 (訪問1回当たりの料金) (円/回)													
	全体	0円	500円未満	500円以上1000円未満	1000円以上1500円未満	1500円以上2000円未満	2000円以上2500円未満	2500円以上3000円未満	3000円以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	40	11	0	0	1	0	1	1	10	16	644	2265.42	2560.352
%	100.0	27.5	0.0	0.0	2.5	0.0	2.5	2.5	25.0	40.0			

(524) 問30-9 平成27年度の新生児訪問の対応実績 (人)																
	全体	0人	1人以上50人未満	50人以上100人未満	100人以上200人未満	200人以上300人未満	300人以上400人未満	400人以上500人未満	500人以上600人未満	600人以上700人未満	700人以上800人未満	800人以上900人未満	900人以上1000人未満	1000人以上	無回答	
n	40	5	17	4	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	8	
%	100.0	12.5	42.5	10.0	5.0	5.0	2.5	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	

(524) 問30-9 平成27年度の新生児訪問の対応実績 (人)				
	全体	非該当	平均	標準偏差
n	40	644	63.50	106.517
%	100.0			

(525) 問32-3 母乳外来に関わる助産師の人数 (実人数)											
	全体	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	561	139	151	106	68	27	27	43	123	11.05	8.026
%	100.0	24.8	26.9	18.9	12.1	4.8	4.8	7.7			

(526) 問32-6 母乳外来の運営状況 ①1週間あたりの運営日数 (日/週間)												
	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	564	48	74	62	40	149	31	24	136	120	3.97	2.755
%	100.0	8.5	13.1	11.0	7.1	26.4	5.5	4.3	24.1			

(527) 問32-6 母乳外来の運営状況 ②1日の対応可能人数 (人/日)									
	全体	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	564	176	90	73	13	212	120	4.30	2.854
%	100.0	31.2	16.0	12.9	2.3	37.6			

(528) 問32-6 母乳外来の運営状況 ③1人当たり所要時間 (予約枠) (分/人)										
	全体	1~15分	16~30分	31~45分	46~60分	61分以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	564	2	156	38	210	1	157	120	46.63	14.933
%	100.0	0.4	27.7	6.7	37.2	0.2	27.8			

(529) 問32-6 母乳外来の運営状況 ④料金設定 (利用1回当たりの料金) (円/回)													
	全体	0円	500円未満	500円以上1000円未満	1000円以上1500円未満	1500円以上2000円未満	2000円以上2500円未満	2500円以上3000円未満	3000円以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	564	19	4	14	35	27	118	23	160	164	120	2336.67	1130.617
%	100.0	3.4	0.7	2.5	6.2	4.8	20.9	4.1	28.4	29.1			

(530) 問32-7 ①平成27年度の母乳外来の延べ利用者数 (人)															
	全体	0人	1人以上50人未満	50人以上100人未満	100人以上200人未満	200人以上300人未満	300人以上400人未満	400人以上500人未満	500人以上600人未満	600人以上700人未満	700人以上800人未満	800人以上900人未満	900人以上1000人未満	1000人以上	無回答
n	564	2	62	55	69	48	31	23	18	13	8	7	8	31	189
%	100.0	0.4	11.0	9.8	12.2	8.5	5.5	4.1	3.2	2.3	1.4	1.2	1.4	5.5	33.5

(530) 問32-7 ①平成27年度の母乳外来の延べ利用者数 (人)				
	全体	非該当	平均	標準偏差
n	564	120	377.34	537.040
%	100.0			

(531) 問32-7 ②平成27年度の母乳外来の実利用者数 (人)															
	全体	0人	1人以上50人未満	50人以上100人未満	100人以上200人未満	200人以上300人未満	300人以上400人未満	400人以上500人未満	500人以上600人未満	600人以上700人未満	700人以上800人未満	800人以上900人未満	900人以上1000人未満	1000人以上	無回答
n	564	1	20	21	7	14	1	2	2	3	0	0	2	3	488
%	100.0	0.2	3.5	3.7	1.2	2.5	0.2	0.4	0.4	0.5	0.0	0.0	0.4	0.5	86.5

(531) 問32-7 ②平成27年度の母乳外来の実利用者数 (人)				
	全体	非該当	平均	標準偏差
n	564	120	216.45	287.997
%	100.0			

(532) 問33-2 育児相談に関わる助産師の人数 (実人数)											
	全体	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	307	75	86	53	36	13	16	28	377	11.19	8.700
%	100.0	24.4	28.0	17.3	11.7	4.2	5.2	9.1			

(533) 問33-5 育児相談の利用1回当たりの料金設定 (円/回)													
	全体	0円	500円未満	500円以上1000円未満	1000円以上1500円未満	1500円以上2000円未満	2000円以上2500円未満	2500円以上3000円未満	3000円以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	323	88	2	18	37	16	50	8	35	69	361	1328.24	1704.810
%	100.0	27.2	0.6	5.6	11.5	5.0	15.5	2.5	10.8	21.4			

(534) 問33-6 ①平成27年度の育児相談の延べ利用者数 (人)															
	全体	0人	1人以上50人未満	50人以上100人未満	100人以上200人未満	200人以上300人未満	300人以上400人未満	400人以上500人未満	500人以上600人未満	600人以上700人未満	700人以上800人未満	800人以上900人未満	900人以上1000人未満	1000人以上	無回答
n	323	7	34	19	30	19	8	8	9	7	4	4	4	12	158
%	100.0	2.2	10.5	5.9	9.3	5.9	2.5	2.5	2.8	2.2	1.2	1.2	1.2	3.7	48.9

(534) 問33-6 ①平成27年度の育児相談の延べ利用者数 (人)				
	全体	非該当	平均	標準偏差
n	323	361	458.61	1064.938
%	100.0			

(535) 問33-6 ②平成27年度の育児相談の実利用者数（人）															
	全体	0人	1人以上 50人未満	50人以上 100人未 満	100人以上 200人未 満	200人以上 300人未 満	300人以上 400人未 満	400人以上 500人未 満	500人以上 600人未 満	600人以上 1000人未 満	1000人以 上	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	323	4	10	5	8	1	2	1	2	1	0	289	361	156.00	217.216
%	100.0	1.2	3.1	1.5	2.5	0.3	0.6	0.3	0.6	0.3	0.0	89.5			

(536) 問34-2 ①助産外来に関わる助産師の人数（実人数）												
	全体	0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	395	0	74	146	97	31	18	9	20	289	10.55	6.009
%	100.0	0.0	18.7	37.0	24.6	7.8	4.6	2.3	5.1			

(537) 問34-2 ②（①のうち、）アドバンス助産師（実人数）												
	全体	0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	395	88	164	88	18	4	1	0	32	289	4.01	3.965
%	100.0	22.3	41.5	22.3	4.6	1.0	0.3	0.0	8.1			

(538) 問34-5 助産外来の運営状況 ①1週間あたりの運営日数（日/週間）												
	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	395	51	62	53	29	128	28	4	40	289	3.61	1.681
%	100.0	12.9	15.7	13.4	7.3	32.4	7.1	1.0	10.1			

(539) 問34-5 助産外来の運営状況 ②1日の対応可能人数（人/日）									
	全体	1～3人	4～5人	6～10人	11人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	395	63	72	129	45	86	289	7.42	6.630
%	100.0	15.9	18.2	32.7	11.4	21.8			

(540) 問34-5 助産外来の運営状況 ③1人当たり所要時間（予約枠）（分/人）										
	全体	1～15分	16～30分	31～45分	46～60分	61分以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	395	16	192	53	72	1	61	289	37.61	14.170
%	100.0	4.1	48.6	13.4	18.2	0.3	15.4			

(541) 問34-5 母乳外来の運営状況 ④料金設定（利用1回当たりの料金）（円/回）													
	全体	0円	500円未 満	500円以 上1000円 未満	1000円以 上1500円 未満	1500円以 上2000円 未満	2000円以 上2500円 未満	2500円以 上3000円 未満	3000円以 上	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	395	38	0	1	21	3	16	2	221	93	289	3689.98	2020.758
%	100.0	9.6	0.0	0.3	5.3	0.8	4.1	0.5	55.9	23.5			

(542) 問34-6 ①平成27年度の助産外来の利用人数（人）															
	全体	0人	1人以上 50人未満	50人以上 100人未 満	100人以上 200人未 満	200人以上 300人未 満	300人以上 400人未 満	400人以上 500人未 満	500人以上 600人未 満	600人以上 700人未 満	700人以上 800人未 満	800人以上 900人未 満	900人以上 1000人未 満	1000人以 上	無回答
n	395	4	48	28	35	34	26	22	11	12	12	11	6	52	94
%	100.0	1.0	12.2	7.1	8.9	8.6	6.6	5.6	2.8	3.0	3.0	2.8	1.5	13.2	23.8

(542) 問34-6 ①平成27年度の助産外来の利用人数（人）				
	全体	非該当	平均	標準偏差
n	395	289	607.54	895.996
%	100.0			

(543) 問34-6 ②平成27年度の助産外来の利用者1人当たり利用回数(回/人)										
	全体	1回以上2回未満	2回以上4回未満	4回以上6回未満	6回以上9回未満	9回以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	395	64	63	28	25	13	202	289	3.48	3.357
%	100.0	16.2	15.9	7.1	6.3	3.3	51.1			

(544) 問35-2 ①院内助産に関わる助産師の人数(実人数)											
	全体	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	87	3	37	28	5	4	7	3	597	13.24	9.220
%	100.0	3.4	42.5	32.2	5.7	4.6	8.0	3.4			

(545) 問35-2 ②(①のうち、)アドバンス助産師(実人数)											
	全体	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	87	40	31	5	0	0	0	11	597	5.13	3.207
%	100.0	46.0	35.6	5.7	0.0	0.0	0.0	12.6			

(546) 問35-5 平成27年度の院内助産の分娩件数(件)															
	全体	0件	1~10件	11~20件	21~30件	31~40件	41~50件	51~60件	61~70件	71~80件	81~90件	91~100件	101件以上	無回答	非該当
n	87	4	22	13	7	5	4	2	2	1	1	1	17	8	597
%	100.0	4.6	25.3	14.9	8.0	5.7	4.6	2.3	2.3	1.1	1.1	1.1	19.5	9.2	

(546) 問35-5 平成27年度の院内助産の分娩件数(件)			
	全体	平均	標準偏差
n	87	53.48	68.159
%	100.0		

(547) 問47-1 平成27年度の助産実習の受け入れ実績 ①受け入れ学校数														
	全体	0校	1校	2校	3校	4校	5校	6校	7校	8校	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	393	2	267	90	19	10	0	0	0	1	4	291	1.42	0.784
%	100.0	0.5	67.9	22.9	4.8	2.5	0.0	0.0	0.0	0.3	1.0			

(548) 問47-1 平成27年度の助産実習の受け入れ実績 ②1校当たりの平均受け入れ助産学生数												
	全体	1人以上5人未満	5人以上10人未満	10人以上15人未満	15人以上20人未満	20人以上25人未満	25人以上30人未満	30人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	393	266	49	17	1	8	3	2	47	291	4.20	5.249
%	100.0	67.7	12.5	4.3	0.3	2.0	0.8	0.5	12.0			

(549) 問47-1 平成27年度の助産実習の受け入れ実績 ③1回当たりの平均受け入れ助産学生数											
	全体	1人以上3人未満	3人以上5人未満	5人以上7人未満	7人以上9人未満	9人以上11人未満	11人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	393	217	89	18	5	5	5	54	291	2.81	2.283
%	100.0	55.2	22.6	4.6	1.3	1.3	1.3	13.7			

(550) 問48-1 平成27年度の母性看護実習の受け入れ実績 ①受け入れ学校数												
	全体	0校	1校	2校	3校	4校	5校	6校以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	610	1	106	169	134	79	66	46	9	74	3.03	1.760
%	100.0	0.2	17.4	27.7	22.0	13.0	10.8	7.5	1.5			

(551) 問48-1 平成27年度の母性看護実習の受け入れ実績 ② 1校当たりの平均受け入れ看護学生数												
	全体	1人以上5人未満	5人以上10人未満	10人以上15人未満	15人以上20人未満	20人以上25人未満	25人以上30人未満	30人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	610	38	130	39	38	58	22	154	131	74	23.25	22.476
%	100.0	6.2	21.3	6.4	6.2	9.5	3.6	25.2	21.5			

(552) 問48-1 平成27年度の母性看護実習の受け入れ実績 ③ 1回当たりの平均受け入れ看護学生数											
	全体	1人以上3人未満	3人以上5人未満	5人以上7人未満	7人以上9人未満	9人以上11人未満	11人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	610	13	90	254	50	37	11	155	74	5.85	2.229
%	100.0	2.1	14.8	41.6	8.2	6.1	1.8	25.4			

病院調査（分娩施設・中止施設）

		(1) 問1 設置主体													
全体		厚生労働省（国立ハ ンセン治療 養所）	独立行政 法人国立 病院機構	国立大学 法人	独立行政 法人労働 者健康福 祉機構	独立行政 法人地域 医療機能 推進機構	その他の国 （防衛省、 法務省、宮 内庁等）	都道府県・ 市町村 （一部事 務組合を含 む）	地方独立 行政法人 （公立大 学法人を含 む）	日本赤十 字社	済生会	厚生農業 協同組合 連合会	北海道社 会事業協 会	社会保険 関係団体	公益社団 体法人・公益 財団法人
n	9	0	1	0	0	0	0	4	0	1	0	1	0	0	0
%	100.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	44.4	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0

		(1) 問1 設置主体									
全体		私立学校 法人	医療法人 （社会医 療法人を含 む）	社会福祉 法人	医療生協	会社	その他の法 人	個人	その他	無回答	
n	9	0	1	0	1	0	0	0	0	0	
%	100.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

		(2) 問2 分娩を取り扱っていない理由					
全体		地域の妊婦 の減少	他の医療機 関の新設・ 集中	その他	無回答	累計	
n	9	0	1	9	0	10	
%	100.0	0.0	11.1	100.0	0.0	111.1	

		(3) 問3 専門的自律能力の育成に関する研修の 実施 ①コーディネーション			
全体		実施してい る	実施してい ない	無回答	
n	9	0	9	0	
%	100.0	0.0	100.0	0.0	

		(4) 問3 専門的自律能力の育成に関する研修の 実施 ②意思決定支援			
全体		実施してい る	実施してい ない	無回答	
n	9	1	8	0	
%	100.0	11.1	88.9	0.0	

		(5) 問3 専門的自律能力の育成に関する研修の 実施 ③接遇			
全体		実施してい る	実施してい ない	無回答	
n	9	9	0	0	
%	100.0	100.0	0.0	0.0	

		(6) 問3 専門的自律能力の育成に関する研修の 実施 ④企画力			
全体		実施してい る	実施してい ない	無回答	
n	9	0	9	0	
%	100.0	0.0	100.0	0.0	

		(7) 問3 専門的自律能力の育成に関する研修の 実施 ⑤コミュニケーション			
全体		実施してい る	実施してい ない	無回答	
n	9	2	7	0	
%	100.0	22.2	77.8	0.0	

		(8) 問4 看護職員の持っている資格													
全体		母性看護 専門看護 師	不妊症看 護認定看 護師	不妊カウ ンセラー・体外 受精コーデ ィネーター	認定遺伝カ ウンセラー	リプロヘル ス・サポー ター（受胎 調節実地 指導員）	ラクテーシ ョンコンサル タント	性暴力被 害者支援 看護職	思春期保 健相談士	メノポーズカ ウンセラー	日本糖尿 病療養指 導士	地域糖尿 病療養指 導士	鍼灸マッ サージ師	アロマテラ ピー検定	その他
n	9	0	0	0	0	3	2	0	3	0	2	2	0	1	2
%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	22.2	0.0	33.3	0.0	22.2	22.2	0.0	11.1	22.2

(8) 問4 看護職員の持っている資格			
	全体	無回答	累計
n	9	2	17
%	100.0	22.2	188.9

(10) 問5 看護職員対象のウィメンズヘルスケアに関する研修の機会の提供					
	全体	提供している	提供していない	その他	無回答
n	9	2	7	0	0
%	100.0	22.2	77.8	0.0	0.0

(11) 問5-1 研修テーマ															
	全体	家族計画の支援	不妊、不育の悩みを持つ女性の支援	性感染症の支援	月経異常や月経障害等の支援（更年期指導を含む）	女性に対する暴力予防の支援	予期せぬ妊娠をした女性の支援	多様な性の支援	産前・産後のメンタルヘルスケア	産前・産後以外のメンタルヘルスケア	妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援	子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援	その他	無回答	非該当
n	2	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1	1	0	0	7
%	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	77.8

(11) 問5-1 研修テーマ		
	全体	累計
n	2	5
%	100.0	250.0

(12) 問5-2 ウィメンズヘルスケアに関する研修の企画や講師への助産師の関わり					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	2	2	0	0	7
%	100.0	100.0	0.0	0.0	77.8

(13) 問6 妊娠中・産後の指導 (1) 指導の実施状況 ①禁煙						
	全体	妊娠中のみ指導している	産後（育児期間中）のみ指導している	妊娠中・産後（育児期間中）とも指導している	指導していない	無回答
n	9	2	0	5	1	1
%	100.0	22.2	0.0	55.6	11.1	11.1

(14) 問6 妊娠中・産後の指導 (1) 指導の実施状況 ②禁酒						
	全体	妊娠中のみ指導している	産後（育児期間中）のみ指導している	妊娠中・産後（育児期間中）とも指導している	指導していない	無回答
n	9	3	0	4	1	1
%	100.0	33.3	0.0	44.4	11.1	11.1

(15) 問6 妊娠中・産後の指導 (2) 助産師の関与の有無 ①禁煙					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	7	6	1	0	2
%	100.0	85.7	14.3	0.0	28.6

(16) 問6 妊娠中・産後の指導 (2) 助産師の関与の有無 ②禁酒					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	7	6	1	0	2
%	100.0	85.7	14.3	0.0	0.0

(17) 問7 周産期以外の女性に対する支援への助産師の関わり				
	全体	関わっている	関わっていない	無回答
n	9	5	4	0
%	100.0	55.6	44.4	0.0

(18) 問8 相談への対応状況 ①妊娠糖尿病							
	全体	助産師が相談を受けている	助産師以外の職員が相談を受けている	特に相談は受け付けていない	その他	無回答	累計
n	9	3	3	5	0	1	12
%	100.0	33.3	33.3	55.6	0.0	11.1	133.3

(19) 問8 相談への対応状況 ②HTLV-1							
	全体	助産師が相談を受けている	助産師以外の職員が相談を受けている	特に相談は受け付けていない	その他	無回答	累計
n	9	2	1	5	0	2	10
%	100.0	22.2	11.1	55.6	0.0	22.2	111.1

(20) 問9 支援の内容 (1) 実施の有無 ① 家族計画の支援				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	9	6	3	0
%	100.0	66.7	33.3	0.0

(21) 問9 支援の内容 (1) 実施の有無 ② 不妊、不育の悩みを持つ女性の支援				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	9	5	4	0
%	100.0	55.6	44.4	0.0

(22) 問9 支援の内容 (1) 実施の有無 ③ 性感染症の支援				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	9	5	4	0
%	100.0	55.6	44.4	0.0

(23) 問9 支援の内容 (1) 実施の有無 ④ 月経異常や月経障害等の支援 (更年期指導含)				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	9	4	5	0
%	100.0	44.4	55.6	0.0

(24) 問9 支援の内容 (1) 実施の有無 ⑤ 女性に対する暴力予防の支援				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	9	1	8	0
%	100.0	11.1	88.9	0.0

(25) 問9 支援の内容 (1) 実施の有無 ⑥ 予期せぬ妊娠をした女性の支援				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	9	3	6	0
%	100.0	33.3	66.7	0.0

(26) 問9 支援の内容 (1) 実施の有無 ⑦ 多様な性の支援				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	9	4	5	0
%	100.0	44.4	55.6	0.0

(27) 問9 支援の内容 (1) 実施の有無 ⑧ 産前・産後のメンタルヘルスケア				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	9	6	3	0
%	100.0	66.7	33.3	0.0

(28) 問9 支援の内容 (1) 実施の有無 ⑨ 産前・産後以外のメンタルヘルスケア				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	9	4	5	0
%	100.0	44.4	55.6	0.0

(29) 問9 支援の内容 (1) 実施の有無 ⑩ 妊娠から育児において支援を必要とする母親とその				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	9	4	5	0
%	100.0	44.4	55.6	0.0

(30) 問9 支援の内容 (1) 実施の有無 ⑪ 子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	9	4	5	0
%	100.0	44.4	55.6	0.0

(31) 問9 支援の内容 (2) 相談受付窓口・支援 ① 家 族計画の支援					
	全体	ある	ない	無回答	非該当
n	6	3	3	0	3
%	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0

(32) 問9 支援の内容 (2) 相談受付窓口・支援 ② 不 妊、不育の悩みを持つ女性の支援					
	全体	ある	ない	無回答	非該当
n	5	2	3	0	4
%	100.0	40.0	60.0	0.0	0.0

(33) 問9 支援の内容 (2) 相談受付窓口・支援 ③ 性 感染症の支援					
	全体	ある	ない	無回答	非該当
n	5	1	4	0	4
%	100.0	20.0	80.0	0.0	0.0

(34) 問9 支援の内容 (2) 相談受付窓口・支援 ④ 月経異常や月経障害等の支援 (更年期指導含む)					
	全体	ある	ない	無回答	非該当
n	4	1	3	0	5
%	100.0	25.0	75.0	0.0	

(35) 問9 支援の内容 (2) 相談受付窓口・支援 ⑤ 女性に対する暴力予防の支援					
	全体	ある	ない	無回答	非該当
n	1	1	0	0	8
%	100.0	100.0	0.0	0.0	

(36) 問9 支援の内容 (2) 相談受付窓口・支援 ⑥ 予期せぬ妊娠をした女性の支援					
	全体	ある	ない	無回答	非該当
n	3	1	2	0	6
%	100.0	33.3	66.7	0.0	

(37) 問9 支援の内容 (2) 相談受付窓口・支援 ⑦ 多様な性の支援					
	全体	ある	ない	無回答	非該当
n	4	1	2	1	5
%	100.0	25.0	50.0	25.0	

(38) 問9 支援の内容 (2) 相談受付窓口・支援 ⑧ 産前・産後のメンタルヘルスケア					
	全体	ある	ない	無回答	非該当
n	6	4	1	1	3
%	100.0	66.7	16.7	16.7	

(39) 問9 支援の内容 (2) 相談受付窓口・支援 ⑨ 産前・産後以外のメンタルヘルスケア					
	全体	ある	ない	無回答	非該当
n	4	2	1	1	5
%	100.0	50.0	25.0	25.0	

(40) 問9 支援の内容 (2) 相談受付窓口・支援 ⑩ 妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援					
	全体	ある	ない	無回答	非該当
n	4	4	0	0	5
%	100.0	100.0	0.0	0.0	

(41) 問9 支援の内容 (2) 相談受付窓口・支援 ⑪ 子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援					
	全体	ある	ない	無回答	非該当
n	4	3	0	1	5
%	100.0	75.0	0.0	25.0	

(42) 問9 支援の内容 (3) 助産師の関わり ① 家族計画の支援					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	3	3	0	0	6
%	100.0	100.0	0.0	0.0	

(43) 問9 支援の内容 (3) 助産師の関わり ② 不妊、不 育の悩みを持つ女性の支援					
	全体	関わっている	関わって いない	無回答	非該当
n	2	2	0	0	7
%	100.0	100.0	0.0	0.0	

(44) 問9 支援の内容 (3) 助産師の関わり ③ 性感 染症の支援					
	全体	関わっている	関わって いない	無回答	非該当
n	1	1	0	0	8
%	100.0	100.0	0.0	0.0	

(45) 問9 支援の内容 (3) 助産師の関わり ④ 月経異 常や月経障害等の支援 (更年期指導含む)					
	全体	関わっている	関わって いない	無回答	非該当
n	1	1	0	0	8
%	100.0	100.0	0.0	0.0	

(46) 問9 支援の内容 (3) 助産師の関わり ⑤ 女性に 対する暴力予防の支援					
	全体	関わっている	関わって いない	無回答	非該当
n	1	1	0	0	8
%	100.0	100.0	0.0	0.0	

(47) 問9 支援の内容 (3) 助産師の関わり ⑥ 予期せぬ 妊娠をした女性の支援					
	全体	関わっている	関わって いない	無回答	非該当
n	1	1	0	0	8
%	100.0	100.0	0.0	0.0	

(48) 問9 支援の内容 (3) 助産師の関わり ⑦ 多様な性 の支援					
	全体	関わっている	関わって いない	無回答	非該当
n	1	1	0	0	8
%	100.0	100.0	0.0	0.0	

(49) 問9 支援の内容 (3) 助産師の関わり ⑧ 産前・産 後のメンタルヘルスケア					
	全体	関わっている	関わって いない	無回答	非該当
n	4	4	0	0	5
%	100.0	100.0	0.0	0.0	

(50) 問9 支援の内容 (3) 助産師の関わり ⑨ 産前・産 後以外のメンタルヘルスケア					
	全体	関わっている	関わって いない	無回答	非該当
n	2	1	1	0	7
%	100.0	50.0	50.0	0.0	

(51) 問9 支援の内容 (3) 助産師の関わり ⑩ 妊娠から 育児において支援を必要とする母親とその家族の支援					
	全体	関わっている	関わって いない	無回答	非該当
n	4	4	0	0	5
%	100.0	100.0	0.0	0.0	

(52) 問9 支援の内容 (3) 助産師の関わり ⑩ 子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	3	3	0	0	6
%	100.0	100.0	0.0	0.0	

(53) 問9 支援の内容 (4) ①助産師の所属 ① 家族計画の支援								
	全体	婦人科病棟	産科外来	婦人科外来	その他	無回答	非該当	累計
n	3	1	2	2	0	0	6	5
%	100.0	33.3	66.7	66.7	0.0	0.0	166.7	

(54) 問9 支援の内容 (4) ①助産師の所属 ② 不妊、不育の悩みを持つ女性の支援								
	全体	婦人科病棟	産科外来	婦人科外来	その他	無回答	非該当	累計
n	2	1	1	2	0	0	7	4
%	100.0	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	200.0	

(55) 問9 支援の内容 (4) ①助産師の所属 ③ 性感染症の支援								
	全体	婦人科病棟	産科外来	婦人科外来	その他	無回答	非該当	累計
n	1	0	0	1	0	0	8	1
%	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	

(56) 問9 支援の内容 (4) ①助産師の所属 ④ 月経異常や月経障害等の支援（更年期指導含む）								
	全体	婦人科病棟	産科外来	婦人科外来	その他	無回答	非該当	累計
n	1	0	0	1	0	0	8	1
%	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	

(57) 問9 支援の内容 (4) ①助産師の所属 ⑤ 女性に対する暴力予防の支援								
	全体	婦人科病棟	産科外来	婦人科外来	その他	無回答	非該当	累計
n	1	0	0	1	0	0	8	1
%	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	

(58) 問9 支援の内容 (4) ①助産師の所属 ⑥ 予定せぬ妊娠をした女性の支援								
	全体	婦人科病棟	産科外来	婦人科外来	その他	無回答	非該当	累計
n	1	0	0	1	0	0	8	1
%	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	

(59) 問9 支援の内容 (4) ①助産師の所属 ⑦ 多様な性の支援								
	全体	婦人科病棟	産科外来	婦人科外来	その他	無回答	非該当	累計
n	1	0	0	1	0	0	8	1
%	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	

(60) 問9 支援の内容 (4) ①助産師の所属 ⑧ 産前・産後のメンタルヘルスクア								
	全体	婦人科病棟	産科外来	婦人科外来	その他	無回答	非該当	累計
n	4	1	2	3	0	0	5	6
%	100.0	25.0	50.0	75.0	0.0	0.0	150.0	

(61) 問9 支援の内容 (4) ①助産師の所属 ⑨ 産前・産後以外のメンタルヘルスケア								
	全体	婦人科病棟	産科外来	婦人科外来	その他	無回答	非該当	累計
n	1	0	0	1	0	0	8	1
%	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	800.0	100.0

(62) 問9 支援の内容 (4) ①助産師の所属 ⑩ 妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援								
	全体	婦人科病棟	産科外来	婦人科外来	その他	無回答	非該当	累計
n	4	1	3	3	0	0	5	7
%	100.0	25.0	75.0	75.0	0.0	0.0	125.0	175.0

(63) 問9 支援の内容 (4) ①助産師の所属 ⑪ 子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援								
	全体	婦人科病棟	産科外来	婦人科外来	その他	無回答	非該当	累計
n	3	0	2	2	0	0	6	4
%	100.0	0.0	66.7	66.7	0.0	0.0	133.3	133.3

(64) 問9 支援の内容 (4) ②助産師の保有資格 ① 家族計画の支援															
	全体	母性看護専門看護師	不妊症看護認定看護師	不妊カウンセラー・体外受精コーディネーター	認定遺伝カウンセラー	リプロヘルス・サポーター (受胎調節実地指導員)	ラクテーションコンサルタント	性暴力被害者支援看護職	思春期保健相談士	メノポーズカウンセラー	日本糖尿病療養指導士	その他	無回答	非該当	累計
n	3	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	6	4
%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	66.7	133.3

(65) 問9 支援の内容 (4) ②助産師の保有資格 ② 不妊、不育の悩みを持つ女性の支援															
	全体	母性看護専門看護師	不妊症看護認定看護師	不妊カウンセラー・体外受精コーディネーター	認定遺伝カウンセラー	リプロヘルス・サポーター (受胎調節実地指導員)	ラクテーションコンサルタント	性暴力被害者支援看護職	思春期保健相談士	メノポーズカウンセラー	日本糖尿病療養指導士	その他	無回答	非該当	累計
n	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	7	3
%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	140.0	150.0

(66) 問9 支援の内容 (4) ②助産師の保有資格 ③ 性感染症の支援															
	全体	母性看護専門看護師	不妊症看護認定看護師	不妊カウンセラー・体外受精コーディネーター	認定遺伝カウンセラー	リプロヘルス・サポーター (受胎調節実地指導員)	ラクテーションコンサルタント	性暴力被害者支援看護職	思春期保健相談士	メノポーズカウンセラー	日本糖尿病療養指導士	その他	無回答	非該当	累計
n	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	8	2
%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	80.0	200.0

(67) 問9 支援の内容 (4) ②助産師の保有資格 ④ 月経異常や月経障害等の支援 (更年期指導含む)															
	全体	母性看護専門看護師	不妊症看護認定看護師	不妊カウンセラー・体外受精コーディネーター	認定遺伝カウンセラー	リプロヘルス・サポーター (受胎調節実地指導員)	ラクテーションコンサルタント	性暴力被害者支援看護職	思春期保健相談士	メノポーズカウンセラー	日本糖尿病療養指導士	その他	無回答	非該当	累計
n	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	8	2
%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	80.0	200.0

(68) 問9 支援の内容 (4) ②助産師の保有資格 ⑤ 女性に対する暴力予防の支援															
	全体	母性看護専門看護師	不妊症看護認定看護師	不妊カウンセラー・体外受精コーディネーター	認定遺伝カウンセラー	リプロヘルス・サポーター (受胎調節実地指導員)	ラクテーションコンサルタント	性暴力被害者支援看護職	思春期保健相談士	メノポーズカウンセラー	日本糖尿病療養指導士	その他	無回答	非該当	累計
n	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	8	2
%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	80.0	200.0

(69) 問9 支援の内容 (4) ②助産師の保有資格 ⑥ 予期せぬ妊娠をした女性の支援															
全体	母性看護 専門看護師	不妊症看 護認定看 護師	不妊カウ ンセラー・体外 受精コーディネーター	認定遺伝カ ウンセラー	リプロヘル ス・サポー ター（受胎 調節実地 指導員）	ラクテーシ ョンコンサル タント	性暴力被 害者支援 看護職	思春期保 健相談士	メノポーズカ ウンセラー	日本糖尿 病療養指 導士	その他	無回答	非該当	累計	
n	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	8	2
%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	8	200.0

(70) 問9 支援の内容 (4) ②助産師の保有資格 ⑦ 多様な性の支援															
全体	母性看護 専門看護師	不妊症看 護認定看 護師	不妊カウ ンセラー・体外 受精コーディネーター	認定遺伝カ ウンセラー	リプロヘル ス・サポー ター（受胎 調節実地 指導員）	ラクテーシ ョンコンサル タント	性暴力被 害者支援 看護職	思春期保 健相談士	メノポーズカ ウンセラー	日本糖尿 病療養指 導士	その他	無回答	非該当	累計	
n	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	8	2
%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	8	200.0

(71) 問9 支援の内容 (4) ②助産師の保有資格 ⑧ 産前・産後のメンタルヘルスケア															
全体	母性看護 専門看護師	不妊症看 護認定看 護師	不妊カウ ンセラー・体外 受精コーディネーター	認定遺伝カ ウンセラー	リプロヘル ス・サポー ター（受胎 調節実地 指導員）	ラクテーシ ョンコンサル タント	性暴力被 害者支援 看護職	思春期保 健相談士	メノポーズカ ウンセラー	日本糖尿 病療養指 導士	その他	無回答	非該当	累計	
n	4	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	2	5	5
%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0	5	125.0

(72) 問9 支援の内容 (4) ②助産師の保有資格 ⑨ 産前・産後以外のメンタルヘルスケア															
全体	母性看護 専門看護師	不妊症看 護認定看 護師	不妊カウ ンセラー・体外 受精コーディネーター	認定遺伝カ ウンセラー	リプロヘル ス・サポー ター（受胎 調節実地 指導員）	ラクテーシ ョンコンサル タント	性暴力被 害者支援 看護職	思春期保 健相談士	メノポーズカ ウンセラー	日本糖尿 病療養指 導士	その他	無回答	非該当	累計	
n	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	8	2
%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	8	200.0

(73) 問9 支援の内容 (4) ②助産師の保有資格 ⑩ 妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援															
全体	母性看護 専門看護師	不妊症看 護認定看 護師	不妊カウ ンセラー・体外 受精コーディネーター	認定遺伝カ ウンセラー	リプロヘル ス・サポー ター（受胎 調節実地 指導員）	ラクテーシ ョンコンサル タント	性暴力被 害者支援 看護職	思春期保 健相談士	メノポーズカ ウンセラー	日本糖尿 病療養指 導士	その他	無回答	非該当	累計	
n	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3	5	5
%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	75.0	5	125.0

(74) 問9 支援の内容 (4) ②助産師の保有資格 ⑪ 子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援															
全体	母性看護 専門看護師	不妊症看 護認定看 護師	不妊カウ ンセラー・体外 受精コーディネーター	認定遺伝カ ウンセラー	リプロヘル ス・サポー ター（受胎 調節実地 指導員）	ラクテーシ ョンコンサル タント	性暴力被 害者支援 看護職	思春期保 健相談士	メノポーズカ ウンセラー	日本糖尿 病療養指 導士	その他	無回答	非該当	累計	
n	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	6	4
%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	66.7	6	133.3

(75) 問9 支援の内容 (5) 支援の対象者 ① 家族計画の支援							
全体	本人（女 性）	夫・パート ナー	その他家族	その他	無回答	非該当	累計
n	6	6	2	1	0	0	9
%	100.0	100.0	33.3	16.7	0.0	0.0	150.0

(76) 問9 支援の内容 (5) 支援の対象者 ② 不妊、不育の悩みを持つ女性の支援								
	全体	本人(女性)	夫・パートナー	その他家族	その他	無回答	非該当	累計
n	5	5	5	1	0	0	4	11
%	100.0	100.0	100.0	20.0	0.0	0.0		220.0

(77) 問9 支援の内容 (5) 支援の対象者 ③ 性感染症の支援								
	全体	本人(女性)	夫・パートナー	その他家族	その他	無回答	非該当	累計
n	5	4	4	1	1	0	4	10
%	100.0	80.0	80.0	20.0	20.0	0.0		200.0

(78) 問9 支援の内容 (5) 支援の対象者 ④ 月経異常や月経障害等の支援(更年期指導含む)								
	全体	本人(女性)	夫・パートナー	その他家族	その他	無回答	非該当	累計
n	4	4	1	2	0	0	5	7
%	100.0	100.0	25.0	50.0	0.0	0.0		175.0

(79) 問9 支援の内容 (5) 支援の対象者 ⑤ 女性に対する暴力予防の支援								
	全体	本人(女性)	夫・パートナー	その他家族	その他	無回答	非該当	累計
n	1	1	1	1	0	0	8	3
%	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0		300.0

(80) 問9 支援の内容 (5) 支援の対象者 ⑥ 予期せぬ妊娠をした女性の支援								
	全体	本人(女性)	夫・パートナー	その他家族	その他	無回答	非該当	累計
n	3	3	1	1	0	0	6	5
%	100.0	100.0	33.3	33.3	0.0	0.0		166.7

(81) 問9 支援の内容 (5) 支援の対象者 ⑦ 多様な性の支援								
	全体	本人(女性)	夫・パートナー	その他家族	その他	無回答	非該当	累計
n	4	4	1	1	0	0	5	6
%	100.0	100.0	25.0	25.0	0.0	0.0		150.0

(82) 問9 支援の内容 (5) 支援の対象者 ⑧ 産前・産後のメンタルヘルスケア								
	全体	本人(女性)	夫・パートナー	その他家族	その他	無回答	非該当	累計
n	6	6	2	1	0	0	3	9
%	100.0	100.0	33.3	16.7	0.0	0.0		150.0

(83) 問9 支援の内容 (5) 支援の対象者 ⑨ 産前・産後以外のメンタルヘルスケア								
	全体	本人(女性)	夫・パートナー	その他家族	その他	無回答	非該当	累計
n	4	4	2	2	0	0	5	8
%	100.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0		200.0

(84) 問9 支援の内容 (5) 支援の対象者 ⑩ 妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援								
	全体	本人(女性)	夫・パートナー	その他家族	その他	無回答	非該当	累計
n	4	4	3	3	0	0	5	10
%	100.0	100.0	75.0	75.0	0.0	0.0		250.0

(85) 問9 支援の内容 (5) 支援の対象者 ① 子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援								
	全体	本人(女性)	夫・パートナー	その他家族	その他	無回答	非該当	累計
n	4	3	2	4	0	0	5	9
%	100.0	75.0	50.0	100.0	0.0	0.0	225.0	

(86) 問9 支援の内容 (6) 支援での他機関等との連携状況 ① 家族計画の支援								
	全体	連携のための定期的な会議が設けられている	個別ケースに応じて連携している	特に連携していない	その他	無回答	非該当	累計
n	6	0	3	1	0	2	3	6
%	100.0	0.0	50.0	16.7	0.0	33.3	100.0	

(87) 問9 支援の内容 (6) 支援での他機関等との連携状況 ② 不妊、不育の悩みを持つ女性の支援								
	全体	連携のための定期的な会議が設けられている	個別ケースに応じて連携している	特に連携していない	その他	無回答	非該当	累計
n	5	0	3	1	0	1	4	5
%	100.0	0.0	60.0	20.0	0.0	20.0	100.0	

(88) 問9 支援の内容 (6) 支援での他機関等との連携状況 ③ 性感染症の支援								
	全体	連携のための定期的な会議が設けられている	個別ケースに応じて連携している	特に連携していない	その他	無回答	非該当	累計
n	5	0	1	2	0	2	4	5
%	100.0	0.0	20.0	40.0	0.0	40.0	100.0	

(89) 問9 支援の内容 (6) 支援での他機関等との連携状況 ④ 月経異常や月経障害等の支援(更年期指導含む)								
	全体	連携のための定期的な会議が設けられている	個別ケースに応じて連携している	特に連携していない	その他	無回答	非該当	累計
n	4	0	1	2	0	1	5	4
%	100.0	0.0	25.0	50.0	0.0	25.0	100.0	

(90) 問9 支援の内容 (6) 支援での他機関等との連携状況 ⑤ 女性に対する暴力予防の支援								
	全体	連携のための定期的な会議が設けられている	個別ケースに応じて連携している	特に連携していない	その他	無回答	非該当	累計
n	1	0	1	0	0	0	8	1
%	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

(91) 問9 支援の内容 (6) 支援での他機関等との連携状況 ⑥ 予期せぬ妊娠をした女性の支援								
	全体	連携のための定期的な会議が設けられている	個別ケースに応じて連携している	特に連携していない	その他	無回答	非該当	累計
n	3	0	1	1	0	1	6	3
%	100.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	100.0	

(92) 問9 支援の内容 (6) 支援での他機関等との連携状況 ⑦ 多様な性の支援								
	全体	連携のための定期的な会議が設けられている	個別ケースに応じて連携している	特に連携していない	その他	無回答	非該当	累計
n	4	0	1	2	0	1	5	4
%	100.0	0.0	25.0	50.0	0.0	25.0	100.0	

(93) 問9 支援の内容 (6) 支援での他機関等との連携状況 ⑧ 産前・産後のメンタルヘルスケア								
	全体	連携のための定期的な会議が設けられている	個別ケースに応じて連携している	特に連携していない	その他	無回答	非該当	累計
n	6	1	3	1	0	1	3	6
%	100.0	16.7	50.0	16.7	0.0	16.7		100.0

(94) 問9 支援の内容 (6) 支援での他機関等との連携状況 ⑨ 産前・産後以外のメンタルヘルスケア								
	全体	連携のための定期的な会議が設けられている	個別ケースに応じて連携している	特に連携していない	その他	無回答	非該当	累計
n	4	1	1	1	0	1	5	4
%	100.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0		100.0

(95) 問9 支援の内容 (6) 支援での他機関等との連携状況 ⑩ 妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援								
	全体	連携のための定期的な会議が設けられている	個別ケースに応じて連携している	特に連携していない	その他	無回答	非該当	累計
n	4	2	2	0	0	0	5	4
%	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0		100.0

(96) 問9 支援の内容 (6) 支援での他機関等との連携状況 ⑪ 子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援								
	全体	連携のための定期的な会議が設けられている	個別ケースに応じて連携している	特に連携していない	その他	無回答	非該当	累計
n	4	2	2	0	0	0	5	4
%	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0		100.0

(97) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (1) 実施の有無 ① 家族計画の支援				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	9	0	5	4
%	100.0	0.0	55.6	44.4

(98) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (1) 実施の有無 ② 不妊、不育の悩みを持つ				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	9	0	5	4
%	100.0	0.0	55.6	44.4

(99) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (1) 実施の有無 ③ 性感染症の支援				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	9	0	5	4
%	100.0	0.0	55.6	44.4

(100) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (1) 実施の有無 ④ 月経異常や月経障害等				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	9	0	5	4
%	100.0	0.0	55.6	44.4

(101) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (1) 実施の有無 ⑤ 女性に対する暴力予防の				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	9	1	6	2
%	100.0	11.1	66.7	22.2

(102) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (1) 実施の有無 ⑥ 予期せぬ妊娠をした女性				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	9	0	6	3
%	100.0	0.0	66.7	33.3

(103) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (1) 実施の有無 ⑦ 多様な性の支援				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	9	0	5	4
%	100.0	0.0	55.6	44.4

(104) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (1) 実施の有無 ⑧ 産前・産後のメンタルヘル				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	9	0	5	4
%	100.0	0.0	55.6	44.4

(105) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (1) 実施の有無 ⑨ 産前・産後以外のメンタル				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	9	0	5	4
%	100.0	0.0	55.6	44.4

(106) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (1) 実施の有無 ⑩ 妊娠から育児において支				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	9	2	6	1
%	100.0	22.2	66.7	11.1

(107) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (1) 実施の有無 ⑪ 子育て支援による子どもの				
	全体	実施している	実施していない	無回答
n	9	1	5	3
%	100.0	11.1	55.6	33.3

(108) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (2) 助産師の関わり ① 家族計画の支援					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	0	0	0	0	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
					9

(109) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (2) 助産師の関わり ② 不妊、不育の悩みを持つ女性の支援					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	0	0	0	0	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
					9

(110) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (2) 助産師の関わり ③ 性感染症の支援					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	0	0	0	0	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
					9

	(111) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (2) 助産師の関わり ④ 月経異常や月経障害等の支援 (更年期指導含)				
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	0	0	0	0	9
%	0.0	0.0	0.0	0.0	

	(112) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (2) 助産師の関わり ⑤ 女性に対する暴力予防の支援				
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	1	1	0	0	8
%	100.0	100.0	0.0	0.0	

	(113) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (2) 助産師の関わり ⑥ 予期せぬ妊娠をした女性の支援				
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	0	0	0	0	9
%	0.0	0.0	0.0	0.0	

	(114) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (2) 助産師の関わり ⑦ 多様な性の支援				
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	0	0	0	0	9
%	0.0	0.0	0.0	0.0	

	(115) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (2) 助産師の関わり ⑧ 産前・産後のメンタルヘルスクア				
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	0	0	0	0	9
%	0.0	0.0	0.0	0.0	

	(116) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (2) 助産師の関わり ⑨ 産前・産後以外のメンタルヘルスクア				
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	0	0	0	0	9
%	0.0	0.0	0.0	0.0	

	(117) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (2) 助産師の関わり ⑩ 妊娠から育児において支援を必要とする母親とその				
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	2	2	0	0	7
%	100.0	100.0	0.0	0.0	

	(118) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (2) 助産師の関わり ⑪ 子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の				
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	1	1	0	0	8
%	100.0	100.0	0.0	0.0	

	(119) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (3) 啓発方法 ① 家族計画の支援								
	全体	個人指導	集団指導 (院内)	集団指導 (院外)	啓発資料の 作成・周知	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(120) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (3) 啓発方法 ② 不妊、不育の悩みを持つ女性の支援									
	全体	個人指導	集団指導 (院内)	集団指導 (院外)	啓発資料の 作成・周知	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(121) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (3) 啓発方法 ③ 性感染症の支援									
	全体	個人指導	集団指導 (院内)	集団指導 (院外)	啓発資料の 作成・周知	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(122) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (3) 啓発方法 ④ 月経異常や月経障害等の支援 (更年期指導含む)									
	全体	個人指導	集団指導 (院内)	集団指導 (院外)	啓発資料の 作成・周知	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(123) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (3) 啓発方法 ⑤ 女性に対する暴力予防の支援									
	全体	個人指導	集団指導 (院内)	集団指導 (院外)	啓発資料の 作成・周知	その他	無回答	非該当	累計
n	1	0	0	0	1	0	0	8	1
%	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0

(124) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (3) 啓発方法 ⑥ 予期せぬ妊娠をした女性の支援									
	全体	個人指導	集団指導 (院内)	集団指導 (院外)	啓発資料の 作成・周知	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(125) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (3) 啓発方法 ⑦ 多様な性の支援									
	全体	個人指導	集団指導 (院内)	集団指導 (院外)	啓発資料の 作成・周知	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(126) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (3) 啓発方法 ⑧ 産前・産後のメンタルヘルスクア									
	全体	個人指導	集団指導 (院内)	集団指導 (院外)	啓発資料の 作成・周知	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(127) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (3) 啓発方法 ⑨ 産前・産後以外のメンタルヘルスクア									
	全体	個人指導	集団指導 (院内)	集団指導 (院外)	啓発資料の 作成・周知	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(128) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (3) 啓発方法 ⑩ 妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援									
	全体	個人指導	集団指導 (院内)	集団指導 (院外)	啓発資料の 作成・周知	その他	無回答	非該当	累計
n	2	1	0	0	0	1	0	7	2
%	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	100.0

(129) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (3) 啓発方法 ⑩ 子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援										
	全体	個人指導	集団指導 (院内)	集団指導 (院外)	啓発資料の 作成・周知	その他	無回答	非該当	累計	
n	1	0	0	0	1	0	0	8	1	
%	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

(130) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (4) 啓発の対象 ① 家族計画の支援											
	全体	受診者	地域住民	中学生	高校生	大学・専門 学校等の学 生	地域社会 人(成熟 期・更年 期)	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(131) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (4) 啓発の対象 ② 不妊、不育の悩みを持つ女性の支援											
	全体	受診者	地域住民	中学生	高校生	大学・専門 学校等の学 生	地域社会 人(成熟 期・更年 期)	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(132) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (4) 啓発の対象 ③ 性感染症の支援											
	全体	受診者	地域住民	中学生	高校生	大学・専門 学校等の学 生	地域社会 人(成熟 期・更年 期)	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(133) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (4) 啓発の対象 ④ 月経異常や月経障害等の支援 (更年期指導含む)											
	全体	受診者	地域住民	中学生	高校生	大学・専門 学校等の学 生	地域社会 人(成熟 期・更年 期)	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(134) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (4) 啓発の対象 ⑤ 女性に対する暴力予防の支援											
	全体	受診者	地域住民	中学生	高校生	大学・専門 学校等の学 生	地域社会 人(成熟 期・更年 期)	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(135) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (4) 啓発の対象 ⑥ 予期せぬ妊娠をした女性の支援											
	全体	受診者	地域住民	中学生	高校生	大学・専門 学校等の学 生	地域社会 人(成熟 期・更年 期)	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(136) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (4) 啓発の対象 ⑦ 多様な性の支援											
	全体	受診者	地域住民	中学生	高校生	大学・専門 学校等の学 生	地域社会 人(成熟 期・更年 期)	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(137) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (4) 啓発の対象 ⑧ 産前・産後のメンタルヘルスケア											
	全体	受診者	地域住民	中学生	高校生	大学・専門 学校等の学 生	地域社会 人(成熟 期・更年 期)	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(138) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (4) 啓発の対象 ⑨ 産前・産後以外のメンタルヘルスケア											
	全体	受診者	地域住民	中学生	高校生	大学・専門学校等の学生	地域社会人(成熟期・更年期)	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(139) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (4) 啓発の対象 ⑩ 妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援											
	全体	受診者	地域住民	中学生	高校生	大学・専門学校等の学生	地域社会人(成熟期・更年期)	その他	無回答	非該当	累計
n	1	1	0	0	0	0	0	0	0	8	1
%	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

(140) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (4) 啓発の対象 ⑪ 子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援											
	全体	受診者	地域住民	中学生	高校生	大学・専門学校等の学生	地域社会人(成熟期・更年期)	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(141) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (5) 実施主体 ① 家族計画の支援											
	全体	自施設	自治体(保健所含む)	学校	地域(町内会、婦人会等)	企業、NPO等	職能団体	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(142) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (5) 実施主体 ② 不妊、不育の悩みを持つ女性の支援											
	全体	自施設	自治体(保健所含む)	学校	地域(町内会、婦人会等)	企業、NPO等	職能団体	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(143) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (5) 実施主体 ③ 性感染症の支援											
	全体	自施設	自治体(保健所含む)	学校	地域(町内会、婦人会等)	企業、NPO等	職能団体	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(144) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (5) 実施主体 ④ 月経異常や月経障害等の支援(更年期指導含む)											
	全体	自施設	自治体(保健所含む)	学校	地域(町内会、婦人会等)	企業、NPO等	職能団体	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(145) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (5) 実施主体 ⑤ 女性に対する暴力予防の支援											
	全体	自施設	自治体(保健所含む)	学校	地域(町内会、婦人会等)	企業、NPO等	職能団体	その他	無回答	非該当	累計
n	1	0	1	0	0	0	0	0	0	8	1
%	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

(146) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (5) 実施主体 ⑥ 予期せぬ妊娠をした女性の支援											
	全体	自施設	自治体(保健所含む)	学校	地域(町内会、婦人会等)	企業、NPO等	職能団体	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(147) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (5) 実施主体 ⑦ 多様な性の支援											
	全体	自施設	自治体 (保健所 含む)	学校	地域(町 内会、婦人 会等)	企業、NPO 等	職能団体	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(148) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (5) 実施主体 ⑧ 産前・産後のメンタルヘルスケア											
	全体	自施設	自治体 (保健所 含む)	学校	地域(町 内会、婦人 会等)	企業、NPO 等	職能団体	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(149) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (5) 実施主体 ⑨ 産前・産後以外のメンタルヘルスケア											
	全体	自施設	自治体 (保健所 含む)	学校	地域(町 内会、婦人 会等)	企業、NPO 等	職能団体	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(150) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (5) 実施主体 ⑩ 妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援											
	全体	自施設	自治体 (保健所 含む)	学校	地域(町 内会、婦人 会等)	企業、NPO 等	職能団体	その他	無回答	非該当	累計
n	2	0	1	0	0	0	0	0	1	7	2
%	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0

(151) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (5) 実施主体 ⑪ 子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援											
	全体	自施設	自治体 (保健所 含む)	学校	地域(町 内会、婦人 会等)	企業、NPO 等	職能団体	その他	無回答	非該当	累計
n	1	0	1	0	0	0	0	0	0	8	1
%	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

(152) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (6) 普及啓発に要する費用 ① 家族計画の支援								
	全体	医療機関の 持出し	対象者から 徴収	委託元から 徴収(委 託者)	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(153) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (6) 普及啓発に要する費用 ② 不妊、不育の悩みを持つ女性の支援								
	全体	医療機関の 持出し	対象者から 徴収	委託元から 徴収(委 託者)	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(154) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (6) 普及啓発に要する費用 ③ 性感染症の支援								
	全体	医療機関の 持出し	対象者から 徴収	委託元から 徴収(委 託者)	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(155) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (6) 普及啓発に要する費用 ④ 月経異常や月経障害等の支援(更年期指導含む)								
	全体	医療機関の 持出し	対象者から 徴収	委託元から 徴収(委 託者)	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(156) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (6) 普及啓発に要する費用 ⑤ 女性に対する暴力予防の支援								
	全体	医療機関の 持出し	対象者から 徴収	委託元から 徴収 (委 託者)	その他	無回答	非該当	累計
n	1	0	0	1	0	0	8	1
%	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		100.0

(157) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (6) 普及啓発に要する費用 ⑥ 予期せぬ妊娠をした女性の支援								
	全体	医療機関の 持出し	対象者から 徴収	委託元から 徴収 (委 託者)	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0

(158) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (6) 普及啓発に要する費用 ⑦ 多様な性の支援								
	全体	医療機関の 持出し	対象者から 徴収	委託元から 徴収 (委 託者)	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0

(159) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (6) 普及啓発に要する費用 ⑧ 産前・産後のメンタルヘルスケア								
	全体	医療機関の 持出し	対象者から 徴収	委託元から 徴収 (委 託者)	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0

(160) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (6) 普及啓発に要する費用 ⑨ 産前・産後以外のメンタルヘルスケア								
	全体	医療機関の 持出し	対象者から 徴収	委託元から 徴収 (委 託者)	その他	無回答	非該当	累計
n	0	0	0	0	0	0	9	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0

(161) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (6) 普及啓発に要する費用 ⑩ 妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援								
	全体	医療機関の 持出し	対象者から 徴収	委託元から 徴収 (委 託者)	その他	無回答	非該当	累計
n	2	0	0	0	1	1	7	2
%	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0		100.0

(162) 問10 支援内容に関連した普及啓発 (6) 普及啓発に要する費用 ⑪ 子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援								
	全体	医療機関の 持出し	対象者から 徴収	委託元から 徴収 (委 託者)	その他	無回答	非該当	累計
n	1	0	0	1	0	0	8	1
%	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		100.0

(163) 問11 乳児家庭全戸訪問事業の実施状況				
	全体	委託を受け ている	委託を受け ていない	無回答
n	9	1	8	0
%	100.0	11.1	88.9	0.0

(166) 問11 乳児家庭全戸訪問事業への助産師の関わり					
	全体	関わっている	関わって いない	無回答	非該当
n	1	1	0	0	8
%	100.0	100.0	0.0	0.0	

(167) 問12 産後ケア事業の実施					
	全体	実施している	実施していない	条件が整えば実施する	無回答
n	9	2	7	0	0
%	100.0	22.2	77.8	0.0	0.0

(168) 問13 母乳外来の実施状況					
	全体	実施している	以前実施していたが、現在は実施していない	一度も実施したことがない	無回答
n	9	6	3	0	0
%	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0

(171) 問13-1 母乳外来の対象							
	全体	自施設で分娩した母児	他施設で分娩した母児	その他	無回答	非該当	累計
n	6	2	5	0	0	3	7
%	100.0	33.3	83.3	0.0	0.0		116.7

(172) 問13-2 母乳外来への助産師の関わり					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
n	6	6	0	0	3
%	100.0	100.0	0.0	0.0	

(174) 問13-4 母乳外来に関わる助産師の所属									
	全体	産科病棟	婦人科病棟	産科外来	婦人科外来	その他	無回答	非該当	累計
n	6	2	0	2	3	1	0	3	8
%	100.0	33.3	0.0	33.3	50.0	16.7	0.0		133.3

(175) 問13-5 母乳外来に関わる助産師の要件							
	全体	助産師として一定の経験年数を満たしていること	特定の研修プログラムを修了していること	その他	無回答	非該当	累計
n	6	3	0	2	1	3	6
%	100.0	50.0	0.0	33.3	16.7		100.0

(181) 問13-7 ②平成27年度の母乳外来の実利用者数の記入はできない					
	全体	記入できない		無回答	非該当
n	6	2	0	4	3
%	100.0	33.3	0.0	66.7	

(183) 問13-8 母乳外来の導入・再開の条件								
	全体	助産師の確保	他職種の理解・協力	導入・再開に当たった費用補助	その他	無回答	非該当	累計
n	3	3	1	0	1	0	6	5
%	100.0	100.0	33.3	0.0	33.3	0.0		166.7

(184) 問13-9 母乳外来の導入・再開の希望・予定					
	全体	導入・再開の希望がある	導入・再開の希望はない	無回答	非該当
n	3	2	0	1	6
%	100.0	66.7	0.0	33.3	

(185) 問13-9 母乳外来の導入・再開の実施予定						
	全体	実施を予定 (実施が決 まっている)	実施の準備 中(実施は 未確定)	実施の予定 はないが、 導入希望は ある	無回答	非該当
n	2	0	0	2	0	7
%	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	

(186) 問14 育児相談の実施状況					
	全体	実施してい る	以前実施し ていたが、 現在は実施 していない	一度も実施 したことがな い	無回答
n	9	4	3	2	0
%	100.0	44.4	33.3	22.2	0.0

(189) 問14-1 育児相談への助産師の関わり					
	全体	関わっている	関わってい ない	無回答	非該当
n	4	4	0	0	5
%	100.0	100.0	0.0	0.0	

(191) 問14-3 育児相談に関わる助産師の所属										
	全体	産科病棟	婦人科病 棟	産科外来	婦人科外 来	小児科	その他	無回答	非該当	累計
n	4	2	0	1	2	0	0	0	5	5
%	100.0	50.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0		125.0

(192) 問14-4 育児相談に関わる助産師の要件							
	全体	助産師とし て一定の経 験年数を満 たしているこ と	特定の研修 プログラムを 修了してい ること	その他	無回答	非該当	累計
n	4	4	0	0	0	5	4
%	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0		100.0

(195) 問14-6 ②平成27年度の育児相談の実利用者数の記入はできない					
	全体	on	off	無回答	非該当
n	4	2	0	2	5
%	100.0	50.0	0.0	50.0	

(197) 問14-7 育児相談の導入・再開の条件								
	全体	助産師の確 保	他職種の理 解・協力	導入・再開 に当たっての 費用補助	その他	無回答	非該当	累計
n	5	5	1	2	2	0	4	10
%	100.0	100.0	20.0	40.0	40.0	0.0		200.0

(198) 問14-8 育児相談の導入・再開の希望・予定					
	全体	導入・再開 の希望があ る	導入・再開 の希望はな い	無回答	非該当
n	5	3	2	0	4
%	100.0	60.0	40.0	0.0	

(199) 問14-8 育児相談の導入・再開の実施予定						
	全体	実施を予定 (実施が決 まっている)	実施の準備 中(実施は 未確定)	実施の予定 はないが、 導入希望は ある	無回答	非該当
n	3	0	0	3	0	6
%	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	

(200) 問15 母性看護実習の受け入れ状況					
	全体	受け入れて いる	以前受け入 れていたが、 現在は受け 入れていな い	一度も受け 入れたことが ない	無回答
n	9	2	5	2	0
%	100.0	22.2	55.6	22.2	0.0

(204) 問15-1 平成27年度の母性看護実習の受け入れ実績 ④複数の実習受け入れ時期が重なることの有無					
	全体	ある	ない	無回答	非該当
n	2	1	1	0	7
%	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0

(205) 問15-2 母性看護実習専任の実習指導者の配置状況					
	全体	配置してい る	配置してい ない	無回答	非該当
n	2	1	1	0	7
%	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0

(207) 問15-3 母性看護実習専任の実習指導者の状況					
	全体	業務から独 立して実習 指導を行う	業務と兼ね て、実習指 導を行う	無回答	非該当
n	1	0	1	0	8
%	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0

(208) 問15-4 母性看護実習専任の実習指導者を配置していない場合の状況									
	全体	妊産婦のそ の日の受け 持ち助産師 が実習指導 を行う	妊産婦のそ の日の受け 持ち看護師 が実習指導 を行う	病棟管理 者が実習指 導を行う	学校の教員 が実習指導 を行い、職 員は関与し ない	その他	無回答	非該当	累計
n	2	2	2	2	2	0	0	7	8
%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	400.0

(209) 問15-5 母性看護実習受け入れにあたっての学校からの 費用の受け取り					
	全体	費用を受け 取っている	費用は特に 受け取って いない	無回答	非該当
n	2	1	1	0	7
%	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0

(210) 問15-5 母性看護実習で受け取っている金額の種類							
	全体	学校当たり	学生一人 当たり	その他	無回答	非該当	累計
n	1	0	1	0	0	8	1
%	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0

(214) 問15-6 母性看護学生の実習受け入れが可能になる条件															
	全体	勤務助産 師の数が増 えれば、受 け入れが可 能	専任の実習 指導者を配 置できれば、 受け入れが 可能	勤務助産 師や看護師 の協力が整 えば、受け 入れが可能	産科医師の 協力が得ら れれば、受 け入れが可 能	妊産婦の理 解と協力が 得られれば、 受け入れが 可能	学校側の指 導者が実習 にはほぼ毎日 同行してく れば、受け 入れが可能	実習期間 中の、施設 と学校側と の連携や話 合いの機会 が増えれば、 受け入れが 可能	学生用の ロッカールーム や寮の整備 など、物的 環境が整えば、 受け入れが 可能	将来的に就 職に結びつ ければ、受け 入れが可能	看護手順の 整備が整え ば、受け入 れが可能	実習費用 手当が増額 されれば、 受け入れが 可能	その他	無回答	非該当
n	7	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	2
%	100.0	42.9	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	71.4	14.3	28.6

(214) 問15-6 母性看護学生の実習受け入れ		
	全体	累計
n	7	12
%	100.0	171.4

(218) 施設所在地															
全体	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	
n	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1

(218) 施設所在地															
全体	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	
n	9	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	
%	100.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	

(218) 施設所在地															
全体	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	
n	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

(218) 施設所在地							
全体	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	無回答	
n	9	1	0	0	0	3	
%	100.0	11.1	0.0	0.0	0.0	33.3	

<数量データカテゴリ化>

(220) 問13-3 母乳外来に関わる助産師の人数（実人数）											
全体	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差	
n	6	4	1	0	0	0	1	0	3	7.00	9.550
%	100.0	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0			

(221) 問13-6 母乳外来の運営状況 ① 1週間あたりの運営日数（日/週間）												
全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	非該当	平均	標準偏差	
n	6	1	0	1	0	1	0	0	3	3	3.17	1.756
%	100.0	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	50.0			

(222) 問13-6 母乳外来の運営状況 ② 1日の対応可能人数（人/日）									
全体	1～3人	4～5人	6～10人	11人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差	
n	6	2	1	0	0	3	3	3.00	1.000
%	100.0	33.3	16.7	0.0	0.0	50.0			

(223) 問13-6 母乳外来の運営状況 ③ 1人当たり所要時間（予約枠）（分/人）										
全体	1～15分	16～30分	31～45分	46～60分	61分以上	無回答	非該当	平均	標準偏差	
n	6	0	2	0	1	0	3	3	40.00	17.321
%	100.0	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0	50.0			

(224) 問13-6 母乳外来の運営状況 ④料金設定 (利用1回当たりの料金) (円/回)													
	全体	0円	500円未満	500円以上1000円未満	1000円以上1500円未満	1500円以上2000円未満	2000円以上2500円未満	2500円以上3000円未満	3000円以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	6	0	0	0	0	0	1	0	2	3	3	2720.00	484.974
%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	33.3	50.0			

(225) 問13-7 ①平成27年度の母乳外来の延べ利用者数 (人)															
	全体	0人	1人以上50人未満	50人以上100人未満	100人以上200人未満	200人以上300人未満	300人以上400人未満	400人以上500人未満	500人以上600人未満	600人以上700人未満	700人以上800人未満	800人以上900人未満	900人以上1000人未満	1000人以上	無回答
n	6	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
%	100.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7

(225) 問13-7 ①平成27年度の母乳外来の延べ利用者数 (人)				
	全体	非該当	平均	標準偏差
n	6	3	84.00	69.296
%	100.0			

(226) 問13-7 ②平成27年度の母乳外来の実利用者数 (人)															
	全体	0人	1人以上50人未満	50人以上100人未満	100人以上200人未満	200人以上300人未満	300人以上400人未満	400人以上500人未満	500人以上600人未満	600人以上700人未満	700人以上800人未満	800人以上900人未満	900人以上1000人未満	1000人以上	無回答
n	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

(226) 問13-7 ②平成27年度の母乳外来の実利用者数 (人)				
	全体	非該当	平均	標準偏差
n	6	3	1-	1-
%	100.0			

(227) 問14-2 育児相談に関わる助産師の人数 (実人数)											
	全体	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	4	2	1	0	0	0	1	0	5	9.75	11.026
%	100.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0			

(228) 問14-5 育児相談の利用1回当たりの料金設定 (円/回)													
	全体	0円	500円未満	500円以上1000円未満	1000円以上1500円未満	1500円以上2000円未満	2000円以上2500円未満	2500円以上3000円未満	3000円以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	4	0	0	0	0	0	1	0	1	2	5	2580.00	593.970
%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	50.0			

(229) 問14-6 ①平成27年度の育児相談の延べ利用者数 (人)															
	全体	0人	1人以上50人未満	50人以上100人未満	100人以上200人未満	200人以上300人未満	300人以上400人未満	400人以上500人未満	500人以上600人未満	600人以上700人未満	700人以上800人未満	800人以上900人未満	900人以上1000人未満	1000人以上	無回答
n	4	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
%	100.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0

(229) 問14-6 ①平成27年度の育児相談の延べ利用者数 (人)				
	全体	非該当	平均	標準偏差
n	4	5	286.75	479.230
%	100.0			

(230) 問14-6 ②平成27年度の育児相談の実利用者数（人）															
	全体	0人	1人以上 50人未満	50人以上 100人未 満	100人以 上200人 未満	200人以 上300人 未満	300人以 上400人 未満	400人以 上500人 未満	500人以 上600人 未満	600人以 上1000人 未満	1000人以 上	無回答	非該当	平均	標準偏差
n	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	6.00	8.485
%	100.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0			

診療所調査

(1) 問1 分娩の取扱状況				
	全体	分娩を取り扱っている	分娩は取り扱っていない	無回答
回答数	487	471	13	3
割合(%)	100.0	96.7	2.7	0.6

(2) 問2 診療所について					
	全体	単科の診療所	複数の診療科を有する診療所	無回答	非該当
回答数	471	383	64	24	16
割合(%)	100.0	81.3	13.6	5.1	

(6) 問4 高度生殖医療の実施					
	全体	実施している	実施していない	無回答	非該当
回答数	471	36	426	9	16
割合(%)	100.0	7.6	90.4	1.9	

(15) 問6 最近3年間の分娩件数							
	全体	分娩件数は増加傾向にある	分娩件数に大きな変化はない	分娩件数は減少傾向にある	その他	無回答	非該当
回答数	471	82	197	173	3	16	16
割合(%)	100.0	17.4	41.8	36.7	0.6	3.4	

(16) 問6 「01 分娩件数は増加傾向にある」場合の理由							
	全体	地域の妊産婦の増加	他の医療機関の産科廃止	その他	無回答	非該当	累計
回答数	82	17	47	22	4	405	90
割合(%)	100.0	20.7	57.3	26.8	4.9		109.8

(16) 問6 「01 分娩件数は増加傾向にある」場合の理由						
	全体	地域の妊産婦の増加	他の医療機関の産科廃止	その他	無回答	累計
回答数	82	17	47	22	4	90
割合(%)	100.0	20.7	57.3	26.8	4.9	109.8

(17) 問6 「03 分娩件数は減少傾向にある」場合の理由								
	全体	地域の妊産婦の減少	分娩件数の受け入れ増加による制限実施	他の医療機関の新設・集中	その他	無回答	非該当	累計
回答数	173	100	3	75	13	11	314	202
割合(%)	100.0	57.8	1.7	43.4	7.5	6.4		116.8

(18) 問7 専門的自律能力の育成に関する研修の実施 ① コーディネーション					
	全体	実施している	実施していない	無回答	非該当
回答数	471	32	397	42	16
割合(%)	100.0	6.8	84.3	8.9	

(19) 問7 専門的自律能力の育成に関する研修の実施 ② 意思決定支援					
	全体	実施している	実施していない	無回答	非該当
回答数	471	33	398	40	16
割合(%)	100.0	7.0	84.5	8.5	

(20) 問7 専門的自律能力の育成に関する研修の実施 ③接 遇					
	全体	実施してい る	実施してい ない	無回答	非該当
回答数	471	200	245	26	16
割合(%)	100.0	42.5	52.0	5.5	

(21) 問7 専門的自律能力の育成に関する研修の実施 ④企 画力					
	全体	実施してい る	実施してい ない	無回答	非該当
回答数	471	36	394	41	16
割合(%)	100.0	7.6	83.7	8.7	

(22) 問7 専門的自律能力の育成に関する研修の実施 ⑤コ ミュニケーション					
	全体	実施してい る	実施してい ない	無回答	非該当
回答数	471	102	331	38	16
割合(%)	100.0	21.7	70.3	8.1	

(23) 問8 支援について (1) 実施の有無 ①家族計画の 支援					
	全体	実施してい る	実施してい ない	無回答	非該当
回答数	471	351	64	56	16
割合(%)	100.0	74.5	13.6	11.9	

(24) 問8 支援について (1) 実施の有無 ②不妊、不育の 悩みを持つ女性の支援					
	全体	実施してい る	実施してい ない	無回答	非該当
回答数	471	309	100	62	16
割合(%)	100.0	65.6	21.2	13.2	

(25) 問8 支援について (1) 実施の有無 ③感染症の 支援					
	全体	実施してい る	実施してい ない	無回答	非該当
回答数	471	323	91	57	16
割合(%)	100.0	68.6	19.3	12.1	

(26) 問8 支援について (1) 実施の有無 ④月経異常や 月経障害等の支援 (更年期指導含む)					
	全体	実施してい る	実施してい ない	無回答	非該当
回答数	471	351	66	54	16
割合(%)	100.0	74.5	14.0	11.5	

(28) 問8 支援について (1) 実施の有無 ⑥予期せぬ妊 娠をした女性の支援					
	全体	実施してい る	実施してい ない	無回答	非該当
回答数	471	291	112	68	16
割合(%)	100.0	61.8	23.8	14.4	

(29) 問8 支援について (1) 実施の有無 ⑦多様な性の 支援					
	全体	実施してい る	実施してい ない	無回答	非該当
回答数	471	114	290	67	16
割合(%)	100.0	24.2	61.6	14.2	

(30) 問8 支援について (1) 実施の有無 ⑧産前・産後のメンタルヘルスクア					
	全体	実施している	実施していない	無回答	非該当
回答数	471	360	56	55	16
割合(%)	100.0	76.4	11.9	11.7	

(31) 問8 支援について (1) 実施の有無 ⑨産前・産後以外のメンタルヘルスクア					
	全体	実施している	実施していない	無回答	非該当
回答数	471	205	206	60	16
割合(%)	100.0	43.5	43.7	12.7	

(32) 問8 支援について (1) 実施の有無 ⑩妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援					
	全体	実施している	実施していない	無回答	非該当
回答数	471	332	83	56	16
割合(%)	100.0	70.5	17.6	11.9	

(33) 問8 支援について (1) 実施の有無 ⑪子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援					
	全体	実施している	実施していない	無回答	非該当
回答数	471	239	171	61	16
割合(%)	100.0	50.7	36.3	13.0	

(34) 問8 支援について (2) 支援に関わっている職種 ①家族計画の支援									
	全体	医師	看護師	助産師	准看護師	その他	無回答	非該当	累計
回答数	351	252	170	286	102	1	2	136	813
割合(%)	100.0	71.8	48.4	81.5	29.1	0.3	0.6		231.6

(35) 問8 支援について (2) 支援に関わっている職種 ②不妊、不育の悩みを持つ女性の支援									
	全体	医師	看護師	助産師	准看護師	その他	無回答	非該当	累計
回答数	309	302	85	84	46	14	1	178	532
割合(%)	100.0	97.7	27.5	27.2	14.9	4.5	0.3		172.2

(36) 問8 支援について (2) 支援に関わっている職種 ③性感染症の支援									
	全体	医師	看護師	助産師	准看護師	その他	無回答	非該当	累計
回答数	323	316	84	88	57	1	1	164	547
割合(%)	100.0	97.8	26.0	27.2	17.6	0.3	0.3		169.3

(37) 問8 支援について (2) 支援に関わっている職種 ④月経異常や月経障害等の支援 (更年期指導含む)									
	全体	医師	看護師	助産師	准看護師	その他	無回答	非該当	累計
回答数	351	344	83	79	53	4	4	136	567
割合(%)	100.0	98.0	23.6	22.5	15.1	1.1	1.1		161.5

(38) 問8 支援について (2) 支援に関わっている職種 ⑤女性に対する暴力予防の支援									
	全体	医師	看護師	助産師	准看護師	その他	無回答	非該当	累計
回答数	155	125	64	90	40	2	3	332	324
割合(%)	100.0	80.6	41.3	58.1	25.8	1.3	1.9		209.0

(39) 問8 支援について (2) 支援に関わっている職種 ⑥ 予期せぬ妊娠をした女性の支援									
	全体	医師	看護師	助産師	准看護師	その他	無回答	非該当	累計
回答数	291	275	123	175	73	4	2	196	652
割合(%)	100.0	94.5	42.3	60.1	25.1	1.4	0.7	196	224.1

(40) 問8 支援について (2) 支援に関わっている職種 ⑦ 多様な性の支援									
	全体	医師	看護師	助産師	准看護師	その他	無回答	非該当	累計
回答数	114	109	31	37	21	0	1	373	199
割合(%)	100.0	95.6	27.2	32.5	18.4	0.0	0.9	373	174.6

(41) 問8 支援について (2) 支援に関わっている職種 ⑧ 産前・産後のメンタルヘルスケア									
	全体	医師	看護師	助産師	准看護師	その他	無回答	非該当	累計
回答数	360	257	236	327	152	14	6	127	992
割合(%)	100.0	71.4	65.6	90.8	42.2	3.9	1.7	127	275.6

(42) 問8 支援について (2) 支援に関わっている職種 ⑨ 産前・産後以外のメンタルヘルスケア									
	全体	医師	看護師	助産師	准看護師	その他	無回答	非該当	累計
回答数	205	174	86	112	59	8	4	282	443
割合(%)	100.0	84.9	42.0	54.6	28.8	3.9	2.0	282	216.1

(43) 問8 支援について (2) 支援に関わっている職種 ⑩ 妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援									
	全体	医師	看護師	助産師	准看護師	その他	無回答	非該当	累計
回答数	332	183	204	306	128	7	10	155	838
割合(%)	100.0	55.1	61.4	92.2	38.6	2.1	3.0	155	252.4

(44) 問8 支援について (2) 支援に関わっている職種 ⑪ 子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援									
	全体	医師	看護師	助産師	准看護師	その他	無回答	非該当	累計
回答数	239	157	148	218	90	6	3	248	622
割合(%)	100.0	65.7	61.9	91.2	37.7	2.5	1.3	248	260.3

(45) 問9 母児の2週間健診の実施状況						
	全体	実施している	以前実施していたが、現在は実施していない	一度も実施したことがない	無回答	非該当
回答数	471	279	6	172	14	16
割合(%)	100.0	59.2	1.3	36.5	3.0	16

(48) 問9-1 母児の2週間健診の対象												
	全体	自施設で分娩をした母児のみ	自施設で分娩をした母のみ	自施設で出生した児のみ	他施設で分娩をした母児のみ	他施設で分娩をした母のみ	他施設で出生した児のみ	条件は設けていない	その他	無回答	非該当	累計
回答数	279	230	15	47	30	6	4	24	19	1	208	376
割合(%)	100.0	82.4	5.4	16.8	10.8	2.2	1.4	8.6	6.8	0.4	208	134.8

(49) 問9-2 母児の2週間健診の費用								
	全体	医療機関の持ち出しで実施	利用者から自己負担として徴収	市町村からの委託費	その他	無回答	非該当	累計
回答数	279	92	173	4	24	5	208	298
割合(%)	100.0	33.0	62.0	1.4	8.6	1.8		106.8

(50) 問9-3 母児の2週間健診への助産師の関わり					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
回答数	279	247	25	7	208
割合(%)	100.0	88.5	9.0	2.5	

(57) 問9-7 母児の2週間健診の導入・再開の条件								
	全体	助産師の確保	他職種の理解・協力	導入・再開に当たった費用補助	その他	無回答	非該当	累計
回答数	178	84	45	42	62	28	309	261
割合(%)	100.0	47.2	25.3	23.6	34.8	15.7		146.6

(58) 問9-8 母児の2週間健診の導入・再開の希望・予定					
	全体	導入・再開の希望がある	導入・再開の希望はない	無回答	非該当
回答数	178	57	91	30	309
割合(%)	100.0	32.0	51.1	16.9	

(59) 問9-8 母児の2週間健診の導入・再開の実施予定						
	全体	実施を予定(実施が決まっている)	実施の準備中(実施は未確定)	実施の予定はないが、導入希望はある	無回答	非該当
回答数	57	0	5	50	2	430
割合(%)	100.0	0.0	8.8	87.7	3.5	

(60) 問10 分娩後2週間以内の母児の健診の実施状況					
	全体	実施している	実施していない	無回答	非該当
回答数	471	226	212	33	16
割合(%)	100.0	48.0	45.0	7.0	

(61) 問11 生後1か月健診の実施状況						
	全体	実施している	以前実施していたが、現在は実施していない	一度も実施したことがない	無回答	非該当
回答数	471	447	6	14	4	16
割合(%)	100.0	94.9	1.3	3.0	0.8	

(64) 問11-1 生後1か月健診の対象									
	全体	自施設で出生した児全員	自施設で出征した児のうち一部	他施設で出征した児	特に条件は設けていない	その他	無回答	非該当	累計
回答数	447	413	10	91	54	14	1	40	583
割合(%)	100.0	92.4	2.2	20.4	12.1	3.1	0.2		130.4

(65) 問11-2 生後1か月健診の費用								
	全体	医療機関の持ち出しで実施	利用者から自己負担として徴収	市町村から委託費	その他	無回答	非該当	累計
回答数	447	15	367	108	6	15	40	511
割合(%)	100.0	3.4	82.1	24.2	1.3	3.4		114.3

(66) 問11-3 生後1か月健診への助産師の関わり					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
回答数	447	331	96	20	40
割合(%)	100.0	74.0	21.5	4.5	

(73) 問11-7 自施設で分娩した母児で1か月健診を受診しなかった場合の対応					
	全体	対応している	特に対応していない	無回答	非該当
回答数	427	260	114	53	60
割合(%)	100.0	60.9	26.7	12.4	

(74) 問12 新生児訪問の実施状況						
	全体	実施している	以前実施していたが現在は実施していない	一度も実施したことがない	無回答	非該当
回答数	471	21	28	395	27	16
割合(%)	100.0	4.5	5.9	83.9	5.7	

(77) 問12-1 新生児訪問の訪問時期									
	全体	生後2週間程度まで	生後1か月程度まで	生後2か月程度まで	生後3か月程度まで	その他	無回答	非該当	累計
回答数	21	6	9	5	0	0	2	466	22
割合(%)	100.0	28.6	42.9	23.8	0.0	0.0	9.5		104.8

(78) 問12-2 新生児訪問の対象												
	全体	自施設で分娩した母児	自施設で分娩した母児のみ	自施設で出生した児のみ	他施設で分娩した母児	他施設で分娩した母児のみ	他施設で出生した児のみ	条件は設けていない	その他	無回答	非該当	累計
回答数	21	17	1	1	1	0	0	0	4	3	466	27
割合(%)	100.0	81.0	4.8	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0	19.0	14.3		128.6

(79) 問12-3 新生児訪問の費用								
	全体	医療機関の持ち出しで実施している	利用者から自己負担として徴収している	市町村から委託費をもらっている	その他	無回答	非該当	累計
回答数	21	9	5	5	2	2	466	23
割合(%)	100.0	42.9	23.8	23.8	9.5	9.5		109.5

(80) 問12-4 新生児訪問への助産師の関わり					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
回答数	21	18	0	3	466
割合(%)	100.0	85.7	0.0	14.3	

(87) 問12-8 新生児訪問の導入・再開の条件								
	全体	助産師の確保	他職種の理解・協力	運営等の費用補助	その他	無回答	非該当	累計
回答数	423	301	165	213	82	47	64	808
割合(%)	100.0	71.2	39.0	50.4	19.4	11.1		191.0

(88) 問12-9 新生児訪問の導入・再開の希望・予定					
	全体	導入・再開の希望がある	導入・再開の希望はない	無回答	非該当
回答数	423	78	313	32	64
割合(%)	100.0	18.4	74.0	7.6	

(89) 問12-9 新生児訪問の導入・再開の実施予定						
	全体	実施を予定(実施が決まっている)	実施の準備中(実施は未確定)	実施の予定はないが、導入希望はある	無回答	非該当
回答数	78	1	3	73	1	409
割合(%)	100.0	1.3	3.8	93.6	1.3	

(90) 問13 乳児家庭全戸訪問事業の実施状況					
	全体	委託を受けている	委託を受けていない	無回答	非該当
回答数	471	2	447	22	16
割合(%)	100.0	0.4	94.9	4.7	

(93) 問13-1 乳児家庭全戸訪問事業への助産師の関わり					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
回答数	2	2	0	0	485
割合(%)	100.0	100.0	0.0	0.0	

(94) 問14 産後ケア事業としての母児に対するケアやサービス								
	全体	産後ケア事業として母児に対するケアやサービスを提供している	産後ケア事業としては実施していないが、支援があれば実施したい	産後ケア事業としては実施していません、今後も実施する予定・希望はない	よく分からない	その他	無回答	非該当
回答数	471	136	119	136	30	23	27	16
割合(%)	100.0	28.9	25.3	28.9	6.4	4.9	5.7	

(95) 問15 母乳外来の実施状況						
	全体	実施している	以前実施していたが、現在は実施していない	一度も実施したことがない	無回答	非該当
回答数	471	377	9	79	6	16
割合(%)	100.0	80.0	1.9	16.8	1.3	

(96) 問15-1 母乳外来の対象							
	全体	自施設で分娩した母児	他施設で分娩した母児	その他	無回答	非該当	累計
回答数	377	362	284	22	0	110	668
割合(%)	100.0	96.0	75.3	5.8	0.0		177.2

(97) 問15-2 母乳外来への助産師の関わり					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
回答数	377	366	8	3	110
割合(%)	100.0	97.1	2.1	0.8	

(104) 問15-5 ②平成27年度の母乳外来の実利用者数の記入はできない					
	全体	記入できない		無回答	非該当
回答数	377	237	0	140	110
割合(%)	100.0	62.9	0.0	37.1	

(106) 問15-6 母乳外来の導入・再開の条件								
	全体	助産師の確保	他職種の理解・協力	導入・再開に当たった費用補助	その他	無回答	非該当	累計
回答数	88	70	34	30	18	8	399	160
割合(%)	100.0	79.5	38.6	34.1	20.5	9.1		181.8

(107) 問15-7 母乳外来の導入・再開の希望・予定					
	全体	導入・再開の希望がある	導入・再開の希望はない	無回答	非該当
回答数	88	36	46	6	399
割合(%)	100.0	40.9	52.3	6.8	

(108) 問15-7 母乳外来の導入・再開の実施予定						
	全体	実施を予定(実施が決まっている)	実施の準備中(実施は未確定)	実施の予定はないが、導入希望はある	無回答	非該当
回答数	88	0	4	31	53	399
割合(%)	100.0	0.0	4.5	35.2	60.2	

(109) 問16 育児相談の実施状況						
	全体	実施している	以前実施していたが、現在は実施していない	一度も実施したことがない	無回答	非該当
回答数	471	225	5	226	15	16
割合(%)	100.0	47.8	1.1	48.0	3.2	

(112) 問16-1 育児相談への助産師の関わり					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
回答数	225	212	10	3	262
割合(%)	100.0	94.2	4.4	1.3	

(116) 問16-4 ②平成27年度の育児相談の実利用者数の記入はできない					
	全体	記入できない		無回答	非該当
回答数	225	129	0	96	262
割合(%)	100.0	57.3	0.0	42.7	

(118) 問16-5 育児相談の導入・再開の条件								
	全体	助産師の確保	他職種の理解・協力	導入・再開に当たった費用補助	その他	無回答	非該当	累計
回答数	231	167	100	77	38	29	256	411
割合(%)	100.0	72.3	43.3	33.3	16.5	12.6		177.9

(119) 問16-6 育児相談の導入・再開の希望・予定					
	全体	導入・再開の希望がある	導入・再開の希望はない	無回答	非該当
回答数	231	63	143	25	256
割合(%)	100.0	27.3	61.9	10.8	

(120) 問16-6 育児相談の導入・再開の実施予定						
	全体	実施を予定(実施が決まっている)	実施の準備中(実施は未確定)	実施の予定はないが、導入希望はある	無回答	非該当
回答数	63	1	3	59	0	424
割合(%)	100.0	1.6	4.8	93.7	0.0	

(121) 問17 助産外来の実施状況						
	全体	実施している	以前実施していたが、現在は実施していない	一度も実施したことがない	無回答	非該当
回答数	471	120	18	326	7	16
割合(%)	100.0	25.5	3.8	69.2	1.5	

(124) 問17-1 助産外来の対象						
	全体	全員に実施	条件に該当する一部の妊産婦に実施	その他	無回答	非該当
回答数	120	77	38	5	0	367
割合(%)	100.0	64.2	31.7	4.2	0.0	

(125) 問17-1 助産外来の条件							
	全体	ローリスクの妊産婦	助産外来を希望する妊産婦	その他	無回答	非該当	累計
回答数	38	14	28	9	0	449	51
割合(%)	100.0	36.8	73.7	23.7	0.0		134.2

(134) 問17-5 助産外来の導入・再開の条件								
	全体	助産師の確保	他職種の理解・協力	導入・再開に当たった費用補助	その他	無回答	非該当	累計
回答数	344	242	154	110	76	40	143	622
割合(%)	100.0	70.3	44.8	32.0	22.1	11.6		180.8

(135) 問17-6 助産外来の導入・再開の希望・予定					
	全体	導入・再開の希望がある	導入・再開の希望はない	無回答	非該当
回答数	344	127	194	23	143
割合(%)	100.0	36.9	56.4	6.7	

(136) 問17-6 助産外来の導入・再開の実施予定						
	全体	実施を予定 (実施が 決まってい る)	実施の準備 中(実施は 未確定)	実施の予定 はないが、 導入希望は ある	無回答	非該当
回答数	127	3	15	106	3	360
割合(%)	100.0	2.4	11.8	83.5	2.4	

(137) 問18 院内助産の実施状況						
	全体	実施してい る	以前実施し ていたが、 現在は実施 していない	一度も実施 したことがな い	無回答	非該当
回答数	471	25	6	422	18	16
割合(%)	100.0	5.3	1.3	89.6	3.8	

(140) 問18-1 院内助産の対象						
	全体	全員に実 施	条件に該当 する一部の 妊産婦に実 施	その他	無回答	非該当
回答数	25	15	9	1	0	462
割合(%)	100.0	60.0	36.0	4.0	0.0	

(141) 問18-1 院内助産の条件							
	全体	ローリスクの 妊産婦	院内助産を 希望する妊 産婦	その他	無回答	非該当	累計
回答数	9	8	3	2	0	478	13
割合(%)	100.0	88.9	33.3	22.2	0.0		144.4

(145) 問18-4 院内助産の導入・再開の条件								
	全体	助産師の 確保	他職種の理 解・協力	導入・再開 に当たっての 費用補助	その他	無回答	非該当	累計
回答数	428	240	178	114	123	83	59	738
割合(%)	100.0	56.1	41.6	26.6	28.7	19.4		172.4

(146) 問18-5 院内助産の導入・再開の希望・予定					
	全体	導入・再開 の希望があ る	導入・再開 の希望はな い	無回答	非該当
回答数	428	73	312	43	59
割合(%)	100.0	17.1	72.9	10.0	

(147) 問18-5 院内助産の導入・再開の実施予定						
	全体	実施を予定 (実施が 決まってい る)	実施の準備 中(実施は 未確定)	実施の予定 はないが、 導入希望は ある	無回答	非該当
回答数	73	2	4	67	0	414
割合(%)	100.0	2.7	5.5	91.8	0.0	

(148) 問19 助産師の出向システムの取り組み						
	全体	取り組んで いる	以前取り組 んでいたが、 現在は取り 組んでいな い	一度も取り 組んだこと はない	無回答	非該当
回答数	471	24	17	420	10	16
割合(%)	100.0	5.1	3.6	89.2	2.1	

(149) 問19-1 助産師の意向システム ①他施設への意向							
	全体	取り組んでいる	過去に取り組んだことがある	今後取り組む予定である	取り組んでいない(取り組む予定もない)	無回答	非該当
回答数	24	3	1	4	10	6	463
割合(%)	100.0	12.5	4.2	16.7	41.7	25.0	

(150) 問19-1 助産師の意向システム ②他施設からの意向の受け入れ							
	全体	取り組んでいる	過去に取り組んだことがある	今後取り組む予定である	取り組んでいない(取り組む予定もない)	無回答	非該当
回答数	24	18	3	1	1	1	463
割合(%)	100.0	75.0	12.5	4.2	4.2	4.2	

(151) 問19-2 助産師の意向システムに取り組む理由													
	全体	自施設の助産師が不足しているため	他施設の助産師に不足しているため	自施設の助産師に経験を積ませるため	他施設の助産師に経験を積ませるため	人事交流のため	地域貢献のため	助産学生の助産実習受け入れのため	看護学生の母性看護実習受け入れのため	その他	無回答	非該当	累計
回答数	24	15	2	5	13	12	8	4	5	1	0	463	65
割合(%)	100.0	62.5	8.3	20.8	54.2	50.0	33.3	16.7	20.8	4.2	0.0		270.8

(152) 問20 助産実習等の受け入れ状況								
	全体	母性看護実習・助産実習ともに受け入れている	助産実習のみ受け入れている	母性看護実習のみ受け入れている	母性看護実習・助産実習ともに受け入れている	無回答	非該当	累計
回答数	471	66	34	100	244	28	16	472
割合(%)	100.0	14.0	7.2	21.2	51.8	5.9		100.2

(153) 問20-1 助産学生の実習受け入れが可能になる条件															
	全体	勤務助産師の数が増えれば、受け入れが可能	専任の実習指導者を配置できれば、受け入れが可能	勤務助産師や看護師の協力が整えば、受け入れが可能	産科医師の協力が得られれば、受け入れが可能	妊産婦の理解と協力が得られれば、受け入れが可能	学校側の指導者が実習にほぼ毎日同行してくれば、受け入れが可能	実習期間中の、施設と学校側との連携や話し合いの機会が増えれば、受け入れが可能	助産学生が、すでに看護師免許を有していれば、受け入れが可能	学生用のロッカールームや寮の整備など、物理的な環境が整えば、受け入れが可能	将来的に就職に結びつければ、受け入れが可能	正常分娩の件数が増えれば、受け入れが可能	看護手順の整備が整えば、受け入れが可能	実習費用の手当が増額されれば、受け入れが可能	その他
回答数	343	143	100	80	58	45	64	8	6	48	33	27	4	2	60
割合(%)	100.0	41.7	29.2	23.3	16.9	13.1	18.7	2.3	1.7	14.0	9.6	7.9	1.2	0.6	17.5

(153) 問20-1 助産学生の実習受け入れが可能になる条件				
	全体	無回答	非該当	累計
回答数	343	62	144	740
割合(%)	100.0	18.1		215.7

(156) 問21 支援について (1) 実施の有無 ①家族計画の支援				
	全体	実施している	実施していない	無回答
回答数	13	11	0	2
割合(%)	100.0	84.6	0.0	15.4

(157) 問21 支援について (1) 実施の有無 ②不妊、不育の悩みを持つ女性の支援				
	全体	実施している	実施していない	無回答
回答数	13	10	1	2
割合(%)	100.0	76.9	7.7	15.4

	(158) 問21 支援について (1) 実施の有無 ③性感染症の支援			
	全体	実施している	実施していない	無回答
回答数 割合(%)	13 100.0	11 84.6	0 0.0	2 15.4

	(159) 問21 支援について (1) 実施の有無 ④月経異常や月経障害等の支援(更年期指導)			
	全体	実施している	実施していない	無回答
回答数 割合(%)	13 100.0	11 84.6	0 0.0	2 15.4

	(160) 問21 支援について (1) 実施の有無 ⑤女性に対する暴力予防の支援			
	全体	実施している	実施していない	無回答
回答数 割合(%)	13 100.0	7 53.8	4 30.8	2 15.4

	(161) 問21 支援について (1) 実施の有無 ⑥予期せぬ妊娠をした女性の支援			
	全体	実施している	実施していない	無回答
回答数 割合(%)	13 100.0	11 84.6	0 0.0	2 15.4

	(162) 問21 支援について (1) 実施の有無 ⑦多様な性の支援			
	全体	実施している	実施していない	無回答
回答数 割合(%)	13 100.0	10 76.9	1 7.7	2 15.4

	(163) 問21 支援について (1) 実施の有無 ⑧産前・産後のメンタルヘルスケア			
	全体	実施している	実施していない	無回答
回答数 割合(%)	13 100.0	9 69.2	2 15.4	2 15.4

	(164) 問21 支援について (1) 実施の有無 ⑨産前・産後以外のメンタルヘルスケア			
	全体	実施している	実施していない	無回答
回答数 割合(%)	13 100.0	8 61.5	3 23.1	2 15.4

	(165) 問21 支援について (1) 実施の有無 ⑩妊娠から育児において支援を必要とする母親とそ			
	全体	実施している	実施していない	無回答
回答数 割合(%)	13 100.0	8 61.5	3 23.1	2 15.4

	(166) 問21 支援について (1) 実施の有無 ①子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援			
	全体	実施している	実施していない	無回答
回答数 割合(%)	13 100.0	7 53.8	4 30.8	2 15.4

	(167) 問21 支援について (2) 支援に関わっている職種 ①家族計画の支援								
	全体	医師	看護師	助産師	准看護師	その他	無回答	非該当	累計
回答数 割合(%)	11 100.0	10 90.9	3 27.3	2 18.2	0 0.0	0 0.0	1 9.1	476	16 145.5

	(168) 問21 支援について (2) 支援に関わっている職種 ②不妊、不育の悩みを持つ女性の支援								
	全体	医師	看護師	助産師	准看護師	その他	無回答	非該当	累計
回答数 割合(%)	10 100.0	9 90.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	477	13 130.0

	(169) 問21 支援について (2) 支援に関わっている職種 ③感染症の支援								
	全体	医師	看護師	助産師	准看護師	その他	無回答	非該当	累計
回答数 割合(%)	11 100.0	10 90.9	2 18.2	1 9.1	0 0.0	0 0.0	1 9.1	476	14 127.3

	(170) 問21 支援について (2) 支援に関わっている職種 ④月経異常や月経障害等の支援 (更年期指導含む)								
	全体	医師	看護師	助産師	准看護師	その他	無回答	非該当	累計
回答数 割合(%)	11 100.0	10 90.9	2 18.2	1 9.1	0 0.0	0 0.0	1 9.1	476	14 127.3

	(171) 問21 支援について (2) 支援に関わっている職種 ⑤女性に対する暴力予防の支援								
	全体	医師	看護師	助産師	准看護師	その他	無回答	非該当	累計
回答数 割合(%)	7 100.0	6 85.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	480	7 100.0

	(172) 問21 支援について (2) 支援に関わっている職種 ⑥予期せぬ妊娠をした女性の支援 医師								
	全体	医師	看護師	助産師	准看護師	その他	無回答	非該当	累計
回答数 割合(%)	11 100.0	10 90.9	3 27.3	2 18.2	0 0.0	0 0.0	1 9.1	476	16 145.5

	(173) 問21 支援について (2) 支援に関わっている職種 ⑦多様な性の支援								
	全体	医師	看護師	助産師	准看護師	その他	無回答	非該当	累計
回答数 割合(%)	10 100.0	9 90.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	477	12 120.0

	(174) 問21 支援について (2) 支援に関わっている職種 ⑧産前・産後のメンタルヘルスマスク								
	全体	医師	看護師	助産師	准看護師	その他	無回答	非該当	累計
回答数 割合(%)	9 100.0	8 88.9	5 55.6	4 44.4	2 22.2	0 0.0	1 11.1	478	20 222.2

(175) 問21 支援について (2) 支援に関わっている職種 ⑨産前・産後以外のメンタルヘルスケア									
	全体	医師	看護師	助産師	准看護師	その他	無回答	非該当	累計
回答数	8	7	4	3	2	0	1	479	17
割合(%)	100.0	87.5	50.0	37.5	25.0	0.0	12.5		212.5

(176) 問21 支援について (2) 支援に関わっている職種 ⑩妊娠から育児において支援を必要とする母親とその家族の支援									
	全体	医師	看護師	助産師	准看護師	その他	無回答	非該当	累計
回答数	8	7	5	4	2	0	1	479	19
割合(%)	100.0	87.5	62.5	50.0	25.0	0.0	12.5		237.5

(177) 問21 支援について (2) 支援に関わっている職種 ⑪子育て支援による子どもの虐待予防とその家族の支援									
	全体	医師	看護師	助産師	准看護師	その他	無回答	非該当	累計
回答数	7	7	4	4	3	0	0	480	18
割合(%)	100.0	100.0	57.1	57.1	42.9	0.0	0.0		257.1

(178) 問22 乳児家庭全戸訪問事業の実施状況				
	全体	委託を受けている	委託を受けていない	無回答
回答数	13	0	11	2
割合(%)	100.0	0.0	84.6	15.4

(181) 問22 乳児家庭全戸訪問事業への助産師の関わり					
	全体	関わっている	関わっていない	無回答	非該当
回答数	0	0	0	0	487
割合(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	

(182) 問23 産後ケア事業としての母親に対するケアやサービス							
	全体	産後ケア事業として母親に対するケアやサービスを提供している	産後ケア事業としては実施していないが、支援があれば実施したい	産後ケア事業としては実施しておらず、今後も実施する予定・希望はない	よく分からない	無回答	非該当
回答数	13	0	2	6	3	2	474
割合(%)	100.0	0.0	15.4	46.2	23.1	15.4	

(183) 問24 助産師の意向システムの取り組み					
	全体	取り組んでいる	以前取り組んでいたが、現在は取り組んでいない	一度も取り組んだことはない	無回答
回答数	13	0	0	10	3
割合(%)	100.0	0.0	0.0	76.9	23.1

(184) 問24-1 助産師の意向システム ①他施設への意向							
	全体	取り組んでいる	過去に取り組んだことがある	今後取り組む予定である	取り組んでいない(取り組む予定もない)	無回答	非該当
回答数	0	0	0	0	0	0	487
割合(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

(185) 問24-1 助産師の意向システム ②他施設からの意向の受け入れ							
	全体	取り組んでいる	過去に取り組んだことがある	今後取り組む予定である	取り組んでいない(取り組む予定もない)	無回答	非該当
回答数	0	0	0	0	0	0	487
割合(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

(186) 問24-2 助産師の意向システムに取り組む理由												
	全体	自施設の助産師が不足しているため	他施設の助産師が不足しているため	自施設の助産師に経験を積ませるため	他施設の助産師に経験を積ませるため	人事交流のため	地域貢献のため	看護学生の母性看護実習受け入れのため	その他	無回答	非該当	累計
回答数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	487	0
割合(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(187) 問25 母性看護実習の受け入れ状況					
	全体	受け入れている	以前受け入れていたが、現在は受け入れていない	一度も受け入れたことがない	無回答
回答数	13	1	7	4	1
割合(%)	100.0	7.7	53.8	30.8	7.7

(191) 問25-1 平成27年度の母性看護実習の受け入れ実績 ④複数の実習受け入れ時期が重なることの有無					
	全体	ある	ない	無回答	非該当
回答数	1	0	1	0	486
割合(%)	100.0	0.0	100.0	0.0	

(192) 問25-2 母性看護実習受け入れにあたっての学校からの費用の受け取り					
	全体	実習受け入れ費を受け取っている	費用は特に受け取っていない	無回答	非該当
回答数	1	0	1	0	486
割合(%)	100.0	0.0	100.0	0.0	

(194) 問25-3 母性看護学生の実習受け入れが可能になる条件															
	全体	勤務助産師の数が増えれば、受け入れが可能	専任の実習指導者を配置できれば、受け入れが可能	勤務助産師や看護師の協力体制が整えば、受け入れが可能	産科医師の協力が得られれば、受け入れが可能	妊産婦の理解と協力が得られれば、受け入れが可能	学校側の指導者が実習にはほぼ毎日同行してくれば、受け入れが可能	実習期間と学校側との連携や話し合いの機会が増えれば、受け入れが可能	学生用のロッカールームや寮の整備など、物理的な環境が整えば、受け入れが可能	将来的に就職に結びつけば、受け入れが可能	正常分娩の件数が増えれば、受け入れが可能	看護手順の整備が整えば、受け入れが可能	実習費用の手当が増額されれば、受け入れが可能	その他	無回答
回答数	11	2	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	4	4
割合(%)	100.0	18.2	0.0	9.1	18.2	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.4	36.4

(194) 問25-3 母性看護学生の実習受け入れが可能になる条件			
	全体	非該当	累計
回答数	11	476	14
割合(%)	100.0		127.3

(198) 施設所在地															
	全体	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
回答数	487	17	4	5	5	4	5	6	9	12	6	12	18	21	15
割合(%)	100.0	3.5	0.8	1.0	1.0	0.8	1.0	1.2	1.8	2.5	1.2	2.5	3.7	4.3	3.1

(198) 施設所在地															
全体	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	
回答数	487	4	3	4	2	4	5	10	14	24	4	7	9	17	15
割合(%)	100.0	0.8	0.6	0.8	0.4	0.8	1.0	2.1	2.9	4.9	0.8	1.4	1.8	3.5	3.1

(198) 施設所在地															
全体	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	
回答数	487	4	4	4	3	7	4	2	2	2	6	2	32	5	9
割合(%)	100.0	0.8	0.8	0.8	0.6	1.4	0.8	0.4	0.4	0.4	1.2	0.4	6.6	1.0	1.8

(198) 施設所在地							
全体	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	無回答	
回答数	487	9	13	3	12	6	97
割合(%)	100.0	1.8	2.7	0.6	2.5	1.2	19.9

<数量データカテゴリ化>

(200) 問3 ①施設全体の勤務看護職員数													
全体	0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26～30人	31人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差	
回答数	471	0	4	66	138	127	66	31	30	9	16	18.24	14.447
割合(%)	100.0	0.0	0.8	14.0	29.3	27.0	14.0	6.6	6.4	1.9			

(201) 問3 ② (①のうち、) 助産師免許保持者												
全体	0人	1～3人	4～6人	7～10人	11～15人	16～20人	21人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差	
回答数	471	8	90	96	131	97	24	15	10	16	8.25	5.749
割合(%)	100.0	1.7	19.1	20.4	27.8	20.6	5.1	3.2	2.1			

(202) 問3 ③ (①のうち、) アドバンス助産師												
全体	0人	1～3人	4～6人	7～10人	11～15人	16～20人	21人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差	
回答数	471	308	72	17	10	3	1	0	60	16	0.79	2.077
割合(%)	100.0	65.4	15.3	3.6	2.1	0.6	0.2	0.0	12.7			

(203) 問5 ①年間分娩件数															
全体	0件	1～50件	51～100件	101～200件	201～300件	301～400件	401～500件	501～600件	601～700件	701～800件	80～900件	9001～10000件	1001件以上	無回答	
回答数	471	2	4	10	67	98	87	63	38	41	23	10	4	10	14
割合(%)	100.0	0.4	0.8	2.1	14.2	20.8	18.5	13.4	8.1	8.7	4.9	2.1	0.8	2.1	3.0

(203) 問5 ①年間分娩件数				
全体	非該当	平均	標準偏差	
回答数	471	16	402.96	234.950
割合(%)	100.0			

(204) 問5 ② (①のうち、) 予定帝王切開術件数															
全体	0件	1～10件	11～20件	21～30件	31～40件	41～50件	51～60件	61～70件	71～80件	81～90件	91～100件	101件以上	無回答	非該当	
回答数	471	26	44	74	69	52	49	38	19	14	14	10	15	47	16
割合(%)	100.0	5.5	9.3	15.7	14.6	11.0	10.4	8.1	4.0	3.0	3.0	2.1	3.2	10.0	

(204) 問5 ② (①のうち、) 予定帝王切開術件数			
	全体	平均	標準偏差
回答数	471	37.33	30.622
割合(%)	100.0		

(205) 問5 ③ (①のうち、) 緊急帝王切開術件数															
	全体	0件	1~10件	11~20件	21~30件	31~40件	41~50件	51~60件	61~70件	71~80件	81~90件	91~100件	101件以上	無回答	非該当
回答数	471	32	140	105	59	39	26	10	7	6	7	5	11	24	16
割合(%)	100.0	6.8	29.7	22.3	12.5	8.3	5.5	2.1	1.5	1.3	1.5	1.1	2.3	5.1	

(205) 問5 ③ (①のうち、) 緊急帝王切開術件数			
	全体	平均	標準偏差
回答数	471	23.38	26.942
割合(%)	100.0		

(206) 問5 ④ (①のうち、) 未妊健分娩件数								
	全体	0件	1~10件	11件以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	471	427	16	1	27	16	0.20	3.423
割合(%)	100.0	90.7	3.4	0.2	5.7			

(207) 問5-1 産後における通常の入院日数 ①経膈分娩 初産婦										
	全体	4日	5日	6日	7日	8日以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	471	78	223	121	33	2	14	16	5.36	2.226
割合(%)	100.0	16.6	47.3	25.7	7.0	0.4	3.0			

(208) 問5-1 産後における通常の入院日数 ①経膈分娩 経産婦											
	全体	3日	4日	5日	6日	7日	8日以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	471	3	145	198	73	10	2	40	16	5.07	3.215
割合(%)	100.0	0.6	30.8	42.0	15.5	2.1	0.4	8.5			

(209) 問5-1 産後における通常の入院日数 ②帝王切開術 初産婦													
	全体	0日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	471	1	1	6	76	123	99	53	71	41	16	7.85	1.646
割合(%)	100.0	0.2	0.2	1.3	16.1	26.1	21.0	11.3	15.1	8.7			

(210) 問5-1 産後における通常の入院日数 ②帝王切開術 経産婦													
	全体	0日	3日	5日	6日	7日	8日	9日	10日以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	471	1	1	9	74	128	93	50	63	52	16	7.74	1.591
割合(%)	100.0	0.2	0.2	1.9	15.7	27.2	19.7	10.6	13.4	11.0			

(211) 問9-4 母児の2週間健診に関わる助産師の人数 (実人数)									
	全体	1~3人	4~6人	7~10人	11人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	247	82	54	59	24	28	240	5.73	4.338
割合(%)	100.0	33.2	21.9	23.9	9.7	11.3			

(212) 問9-5 母児の2週間健診の運営状況 ①1週間あたりの運営日数(日/週間)												
	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	272	18	29	18	19	62	78	14	34	215	4.62	1.882
割合(%)	100.0	6.6	10.7	6.6	7.0	22.8	28.7	5.1	12.5			

(213) 問9-5 母児の2週間健診の運営状況 ②1日の対応可能人数(人/日)									
	全体	1~3人	4~6人	7~10人	11人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	272	52	64	36	12	108	215	5.92	4.319
割合(%)	100.0	19.1	23.5	13.2	4.4	39.7			

(214) 問9-5 母児の2週間健診の運営状況 ③1人当たり所要時間(予約枠)(分/人)										
	全体	1~15分	16~30分	31~45分	46~60分	61~90分	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	272	50	114	12	25	0	71	215	29.25	15.192
割合(%)	100.0	18.4	41.9	4.4	9.2	0.0	26.1			

(215) 問9-5 母児の2週間健診の運営状況 ④料金設定(利用1回当たりの料金)(円/回)													
	全体	0円	500円未満	500円以上1000円未満	1000円以上1500円未満	1500円以上2000円未満	2000円以上2500円未満	2500円以上3000円未満	3000円以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	272	96	2	8	29	10	22	2	67	36	215	1620.89	2001.263
割合(%)	100.0	35.3	0.7	2.9	10.7	3.7	8.1	0.7	24.6	13.2			

(216) 問9-6 平成27年度の母児の2週間健診の対応実績(人)												
	全体	0人	1人以上50人未満	50人以上100人未満	100人以上200人未満	200人以上300人未満	300人以上400人未満	400人以上500人未満	500人以上	無回答	平均	標準偏差
回答数	272	2	7	13	47	44	45	28	53	33	348.66	230.442
割合(%)	100.0	0.7	2.6	4.8	17.3	16.2	16.5	10.3	19.5	12.1		

(217) 問11-4 生後1か月健診に関わる助産師の人数(実人数)									
	全体	1~3人	4~6人	7~10人	11人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	331	140	44	68	26	53	156	5.00	4.226
割合(%)	100.0	42.3	13.3	20.5	7.9	16.0			

(218) 問11-5 生後1か月健診の運営状況 ①1週間あたりの運営日数(日/週間)												
	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	427	147	49	22	24	48	77	7	53	60	3.12	2.306
割合(%)	100.0	34.4	11.5	5.2	5.6	11.2	18.0	1.6	12.4			

(219) 問11-5 生後1か月健診の運営状況 ②1日の対応可能人数(人/日)									
	全体	1~3人	4~6人	7~10人	11人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	427	51	71	57	80	168	60	9.22	6.275
割合(%)	100.0	11.9	16.6	13.3	18.7	39.3			

(220) 問11-5 生後1か月健診の運営状況 ③1人当たり所要時間(予約枠)(分/人)										
	全体	1~15分	16~30分	31~45分	46~60分	61分以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	427	126	149	11	28	5	108	60	25.54	17.269
割合(%)	100.0	29.5	34.9	2.6	6.6	1.2	25.3			

(221) 問11-5 生後1か月健診の運営状況 ④乳児1人当たりの基本料金 (円/人)															
	全体	0円	500円以上1000円未満	1000円以上1500円未満	1500円以上2000円未満	2000円以上2500円未満	2500円以上3000円未満	3000円以上3500円未満	3500円以上4000円未満	4000円以上5000円未満	5000円以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	427	28	2	9	17	46	18	72	16	55	76	88	60	3322.41	1903.639
割合(%)	100.0	6.6	0.5	2.1	4.0	10.8	4.2	16.9	3.7	12.9	17.8	20.6			

(222) 問11-6 平成27年度の生後1か月健診の対応実績 (人)												
	全体	1人以上50人未満	50人以上100人未満	100人以上200人未満	200人以上300人未満	300人以上400人未満	400人以上500人未満	500人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	427	4	11	56	75	71	49	105	56	60	429.40	691.865
割合(%)	100.0	0.9	2.6	13.1	17.6	16.6	11.5	24.6	13.1			

(223) 問12-5 新生児訪問に関わる助産師の人数 (実人数)									
	全体	1~3人	4~6人	7~10人	11人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	18	7	6	2	1	2	469	4.63	3.052
割合(%)	100.0	38.9	33.3	11.1	5.6	11.1			

(224) 問12-6 新生児訪問の対応状況 ①1週間あたりの対応可能日数 (日/週間)												
	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	21	1	1	2	1	4	2	2	8	466	4.54	1.854
割合(%)	100.0	4.8	4.8	9.5	4.8	19.0	9.5	9.5	38.1			

(225) 問12-6 新生児訪問の対応状況 ②1日の対応可能人数 (人/日)									
	全体	1~3人	4~6人	7~10人	11人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	21	14	1	0	0	6	466	2.27	0.884
割合(%)	100.0	66.7	4.8	0.0	0.0	28.6			

(226) 問12-6 新生児訪問の対応状況 ③1人当たり所要時間 (予約枠) (分/人)										
	全体	1~15分	16~30分	31~45分	46~60分	61分以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	21	1	4	1	7	2	6	466	52.40	28.834
割合(%)	100.0	4.8	19.0	4.8	33.3	9.5	28.6			

(227) 問12-6 新生児訪問の対応状況 ④料金設定 (訪問1回当たりの料金) (円/回)							
	全体	0円	3000円以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	21	9	6	6	466	1596.67	2089.469
割合(%)	100.0	42.9	28.6	28.6			

(228) 問12-7 平成27年度の新生児訪問の対応実績 (人)										
	全体	0人	1人以上50人未満	50人以上100人未満	100人以上200人未満	200人以上300人未満	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	21	1	4	2	8	1	5	466	101.06	81.386
割合(%)	100.0	4.8	19.0	9.5	38.1	4.8	23.8			

(229) 問15-3 母乳外来に関わる助産師の人数 (実人数)									
	全体	1~3人	4~6人	7~10人	11人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	367	139	71	90	42	25	120	5.64	4.558
割合(%)	100.0	37.9	19.3	24.5	11.4	6.8			

(230) 問15-4 母乳外来の運営状況 ① 1週間あたりの運営日数 (日/週間)													
	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	非該当	平均	標準偏差	
回答数	377	28	26	21	25	65	93	26	93	110	4.56	1.866	
割合(%)	100.0	7.4	6.9	5.6	6.6	17.2	24.7	6.9	24.7				

(231) 問15-4 母乳外来の運営状況 ② 1日の対応可能人数 (人/日)									
	全体	1~3人	4~6人	7~10人	11人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	377	107	77	19	8	166	110	4.20	2.971
割合(%)	100.0	28.4	20.4	5.0	2.1	44.0			

(232) 問15-4 母乳外来の運営状況 ③ 1人当たり所要時間 (予約枠) (分/人)										
	全体	1~15分	16~30分	31~45分	46~60分	61分以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	377	4	127	16	99	2	129	110	42.58	16.097
割合(%)	100.0	1.1	33.7	4.2	26.3	0.5	34.2			

(233) 問15-4 母乳外来の運営状況 ④ 料金設定 (利用1回当たりの料金) (円/回)															
	全体	0円	500円以上1000円未満	1000円以上1500円未満	1500円以上2000円未満	2000円以上2500円未満	2500円以上3000円未満	3000円以上3500円未満	3500円以上4000円未満	4000円以上5000円未満	5000円以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	377	16	6	24	17	74	11	70	5	11	17	126	110	2376.26	1281.407
割合(%)	100.0	4.2	1.6	6.4	4.5	19.6	2.9	18.6	1.3	2.9	4.5	33.4			

(234) 問15-5 ①平成27年度の母乳外来の延べ利用者数 (人)													
	全体	0人	1人以上50人未満	50人以上100人未満	100人以上200人未満	200人以上300人未満	300人以上400人未満	400人以上500人未満	500人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	377	3	48	42	33	23	12	9	35	172	110	358.08	969.463
割合(%)	100.0	0.8	12.7	11.1	8.8	6.1	3.2	2.4	9.3	45.6			

(235) 問15-5 ②平成27年度の母乳外来の実利用者数 (人)													
	全体	0人	1人以上50人未満	50人以上100人未満	100人以上200人未満	200人以上300人未満	300人以上400人未満	400人以上500人未満	500人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	377	3	21	18	14	5	2	4	6	304	110	188.42	316.510
割合(%)	100.0	0.8	5.6	4.8	3.7	1.3	0.5	1.1	1.6	80.6			

(236) 問16-2 育児相談に関わる助産師の人数 (実人数)									
	全体	1~3人	4~6人	7~10人	11人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	212	74	45	49	27	17	275	5.90	5.031
割合(%)	100.0	34.9	21.2	23.1	12.7	8.0			

(237) 問16-3 育児相談の利用1回当たりの料金設定 (円/回)															
	全体	0円	500円以上1000円未満	1000円以上1500円未満	1500円以上2000円未満	2000円以上2500円未満	2500円以上3000円未満	3000円以上3500円未満	3500円以上4000円未満	4000円以上5000円未満	5000円以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	222	83	13	21	15	18	3	12	2	2	6	47	265	1019.20	1339.781
割合(%)	100.0	37.4	5.9	9.5	6.8	8.1	1.4	5.4	0.9	0.9	2.7	21.2			

(238) 問16-4 ①平成27年度の育児相談の延べ利用者数 (人)													
	全体	0人	1人以上50人未満	50人以上100人未満	100人以上200人未満	200人以上300人未満	300人以上400人未満	400人以上500人未満	500人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	225	6	31	11	20	9	3	1	8	136	262	178.58	328.416
割合(%)	100.0	2.7	13.8	4.9	8.9	4.0	1.3	0.4	3.6	60.4			

(239) 問16-4 ②平成27年度の育児相談の実利用者数（人）												
	全体	0人	1人以上 50人未満	50人以上 100人未 満	100人以上 200人未 満	200人以上 300人未 満	300人以上 400人未 満	500人以 上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	225	4	13	5	10	2	1	1	189	262	86.03	111.639
割合(%)	100.0	1.8	5.8	2.2	4.4	0.9	0.4	0.4	84.0			

(240) 問17-2 ①助産外来に関わる助産師の人数（実人数）									
	全体	1～3人	4～6人	7～10人	11人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	120	19	22	45	32	2	367	8.43	4.686
割合(%)	100.0	15.8	18.3	37.5	26.7	1.7			

(241) 問17-2 ②（①のうち、）アドバンス助産師（実人数）										
	全体	0人	1～3人	4～6人	7～10人	11人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	120	70	23	11	5	3	8	367	1.53	3.055
割合(%)	100.0	58.3	19.2	9.2	4.2	2.5	6.7			

(242) 問17-3 助産外来の運営状況 ①1週間あたりの運営日数（日/週間）												
	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	120	14	10	8	5	22	49	4	8	367	4.48	1.942
割合(%)	100.0	11.7	8.3	6.7	4.2	18.3	40.8	3.3	6.7			

(243) 問17-3 助産外来の運営状況 ②1日の対応可能人数（人/日）									
	全体	1～3人	4～6人	7～10人	11人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	120	13	16	26	26	39	367	11.40	11.224
割合(%)	100.0	10.8	13.3	21.7	21.7	32.5			

(244) 問17-3 助産外来の運営状況 ③1人当たり所要時間（予約枠）（分/人）									
	全体	1～15分	16～30分	31～45分	46～60分	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	120	15	58	12	0	35	367	31.35	13.308
割合(%)	100.0	12.5	48.3	10.0	0.0	29.2			

(245) 問17-3 母乳外来の運営状況 ④料金設定（利用1回当たりの料金）（円/回）															
	全体	0円	500円以 上1000円 未満	1000円以 上1500円 未満	1500円以 上2000円 未満	2000円以 上2500円 未満	2500円以 上3000円 未満	3000円以 上3500円 未満	3500円以 上4000円 未満	4000円以 上5000円 未満	5000円以 上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	120	37	2	3	4	7	1	3	1	10	27	25	367	2411.79	2382.964
割合(%)	100.0	30.8	1.7	2.5	3.3	5.8	0.8	2.5	0.8	8.3	22.5	20.8			

(246) 問17-4 ①平成27年度の助産外来の利用人数（人）													
	全体	0人	1人以上 50人未満	50人以上 100人未 満	100人以上 200人未 満	200人以上 300人未 満	300人以上 400人未 満	400人以上 500人未 満	500人以 上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	120	2	9	3	6	13	8	7	39	33	367	660.78	1129.489
割合(%)	100.0	1.7	7.5	2.5	5.0	10.8	6.7	5.8	32.5	27.5			

(247) 問17-4 ②平成27年度の助産外来の利用者1人当たり利用回数（回/人）										
	全体	1回以上2 回未満	2回以上4 回未満	4回以上6 回未満	6回以上9 回未満	9回以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	120	23	30	6	6	4	51	367	3.04	2.711
割合(%)	100.0	19.2	25.0	5.0	5.0	3.3	42.5			

(248) 問18-2 ①院内助産に関わる助産師の人数 (実人数)									
	全体	1～3人	4～6人	7～10人	11人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	25	3	3	8	11	0	462	10.48	5.945
割合(%)	100.0	12.0	12.0	32.0	44.0	0.0			

(249) 問18-2 ② (①のうち、) アドバンス助産師 (実人数)										
	全体	0人	1～3人	4～6人	7～10人	11人以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	25	11	5	2	3	2	2	462	3.00	4.681
割合(%)	100.0	44.0	20.0	8.0	12.0	8.0	8.0			

(250) 問18-3 平成27年度の院内助産の分娩件数 (件)									
	全体	0件	1～10件	31～40件	101件以上	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	25	1	2	1	14	7	462	254.78	204.812
割合(%)	100.0	4.0	8.0	4.0	56.0	28.0			

(251) 問20-2 年間あたりの受け入れ助産学生数							
	全体	0人	1人以上5人未満	無回答	非該当	平均	標準偏差
回答数	100	0	46	54	387	9.06	15.009
割合(%)	100.0	0.0	46.0	54.0			

本調査の協力委員

平成28年度 日本看護協会 地域母子保健推進等検討委員会

委員	阿真 京子	一般社団法人知ろう小児医療守ろう子ども達の会 代表
(五十音順)	市川 香織	一般社団法人 産前産後ケア推進協会 代表理事 (文京学院大学 保健医療技術学部看護学科 准教授)
	井村 真澄	公益社団法人 全国助産師教育協議会 会長 (日本赤十字看護大学 母性看護学・大学院 国際保健助産学 教授)
	内田 美恵子	埼玉医科大学総合医療センター 看護部副部長兼総合周産期母子医療センター副センター長
	岡井 崇	社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 総合母子保健センター 愛育病院 院長
	黒川 寿美江	学校法人 聖路加国際大学 聖路加国際病院 師長
	古宇田 千恵	日本妊産婦支援協議会 りんごの木 代表
	相良 裕美	多摩市 子ども青少年部子育て支援課 手当・医療・相談担当主査 (公益社団法人 日本看護協会 保健師職能委員会 委員)
	中井 章人	公益社団法人 日本産婦人科医会 常務理事
	中村 知夫	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 総合診療部 在宅診療科 医長 医療連携・患者支援センター 在宅医療支援室 室長
	澁元 純子	公益社団法人 日本助産師会 理事/保健指導部会長 (ふちもと助産院 院長)
	武藤 正樹	国際医療福祉大学大学院 医療福祉政策領域 教授

(所属は2017年3月現在)

平成28年度 地域母子保健に関するワーキンググループ

委員	市川 香織	一般社団法人 産前産後ケア推進協会 代表理事
(五十音順)		(文京学院大学 保健医療技術学部看護学科 准教授)
	酒井 照枝	プラット・フォーム助産院 院長
	相良 裕美	多摩市 子ども青少年部子育て支援課 手当・医療・相談担当主査 (公益社団法人 日本看護協会 保健師職能委員会 委員)
	谷口 由紀子	淑徳大学 看護栄養学部看護学科 地域看護学領域 助手
	中村 知夫	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 総合診療部 在宅診療科 医長 医療連携・患者支援センター 在宅医療支援室 室長
	廣瀬 孝子	日本赤十字社医療センター GCU 師長
	澁元 純子	公益社団法人日本助産師会 理事 保健指導部会長 (ふちもと助産院 院長)

(所属は2017年3月現在)

担当役員 福井 トシ子 公益社団法人 日本看護協会 常任理事

担当職員 村中 峯子 公益社団法人 日本看護協会 健康政策部 部長
早川 ひと美 公益社団法人 日本看護協会 健康政策部 助産師課 課長
山西 雅子 公益社団法人 日本看護協会 健康政策部 助産師課
北岡 朋 公益社団法人 日本看護協会 健康政策部 助産師課
千葉 真希子 公益社団法人 日本看護協会 健康政策部 助産師課
長友 千晴 公益社団法人 日本看護協会 健康政策部 助産師課

平成28年度

分娩取扱施設におけるウィメンズヘルスケアと助産ケア提供状況等に関する実態調査 報告書

平成29年3月

発 行 者 公益社団法人 日本看護協会
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2
TEL：03-5778-8831（代表）
FAX：03-5778-5601（代表）
ホームページ <http://www.nurse.or.jp/>

問 合 せ 先 公益社団法人 日本看護協会 健康政策部 助産師課
TEL：03-5778-8843

本書の無断複写・転載は禁じる



